

**第三次加西市男女共同参画ゆめプラン
男女共同参画に関する調査 結果報告書**

令和3年1月

兵庫県 加西市

目 次

I 調査の概要	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査設計	1
(3) 報告書の見方.....	1
II 調査結果	2
あなた自身とご家族のことについて	2
男女平等・役割分担について	10
地域・社会活動について	41
就労・働き方について	53
ハラスメント・DVについて	75
多様な性について.....	82
男女共同参画について	84

I 調査の概要

(1) 調査の目的

加西市では、平成 24 年度に「第二次かさい男女共同参画ゆめプラン」を策定し、「男女が互いに尊重しあい、輝くふるさと加西」の実現をめざして、男女共同参画に関する様々な取り組みを進めているところです。この度、プランを改定するにあたり、男女共同参画に関する市民の考えや意見を把握するために本調査を実施しました。

(2) 調査設計

- 調査地域：加西市全域
- 調査対象者：18 歳以上の市民 2,000 人を対象に無作為抽出
- 調査期間：令和 2 年 11 月 2 日～11 月 16 日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- 回収状況：配布数 2,000 件
有効回収数 900 件（有効回答率 45.0%）

(3) 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフ及び表の「N 数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

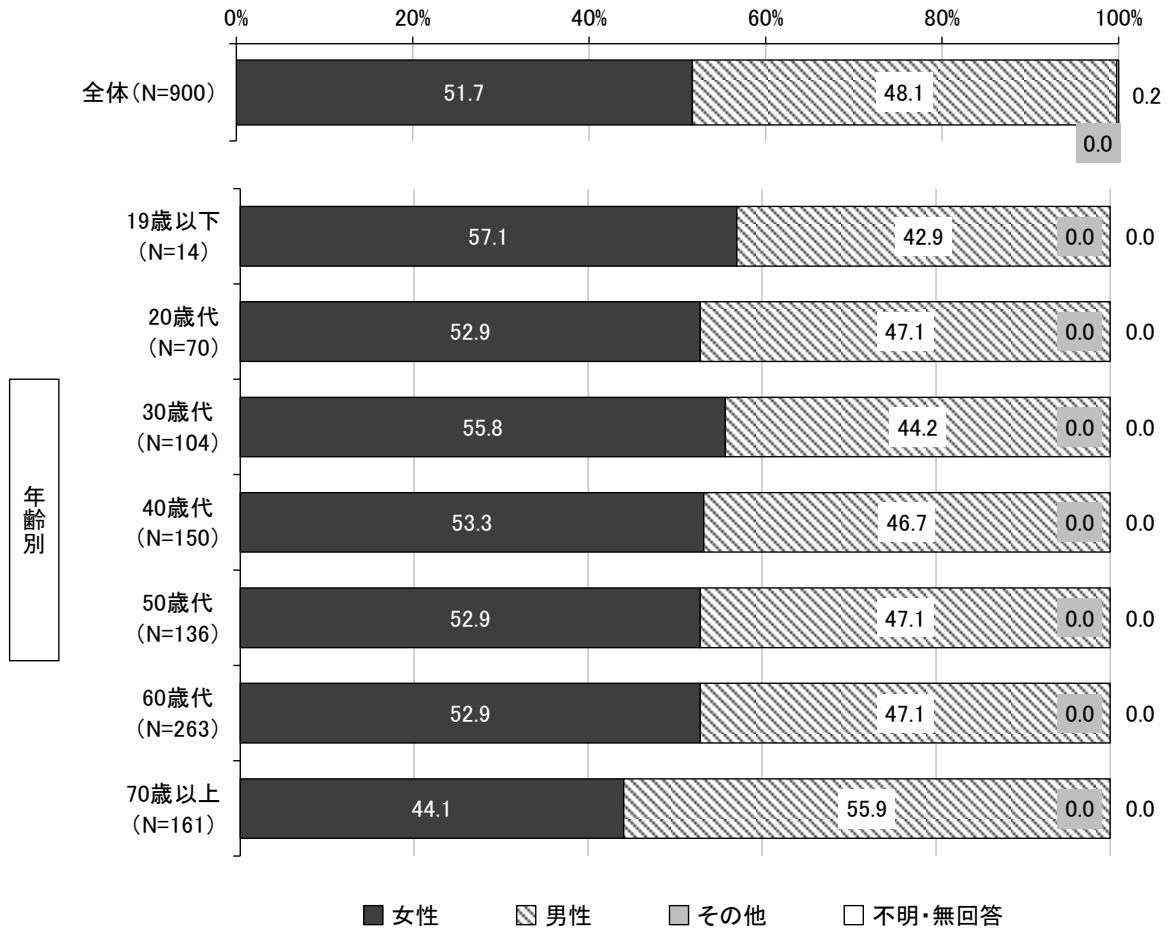
Ⅱ 調査結果

あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

全体でみると、「女性」が51.7%、「男性」が48.1%となっています。

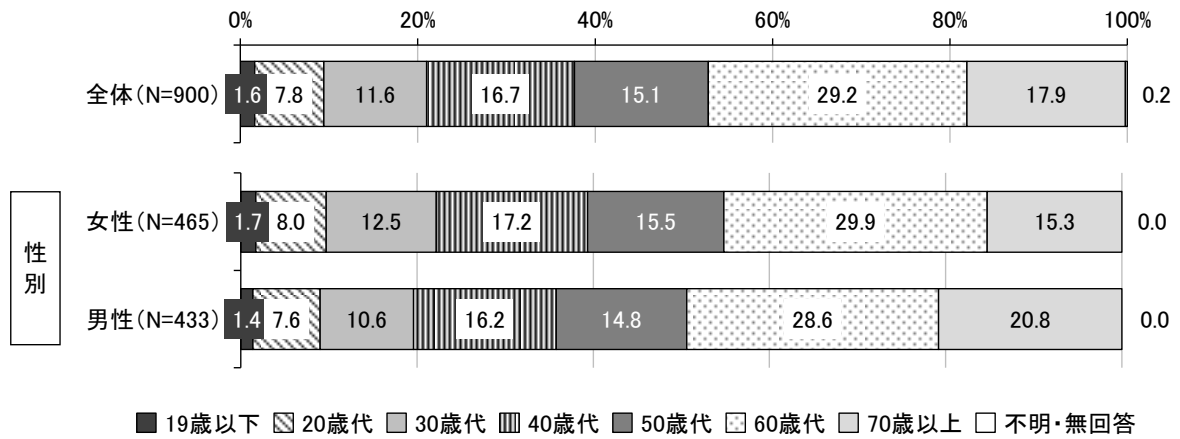
年齢別でみると、70歳以上を除き、男性より女性の割合が高くなっています。



問2 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

全体で見ると、「60歳代」が29.2%と最も高く、次いで「70歳以上」が17.9%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「60歳代」が最も高く、次いで女性では「40歳代」、男性では「70歳以上」が高くなっています。

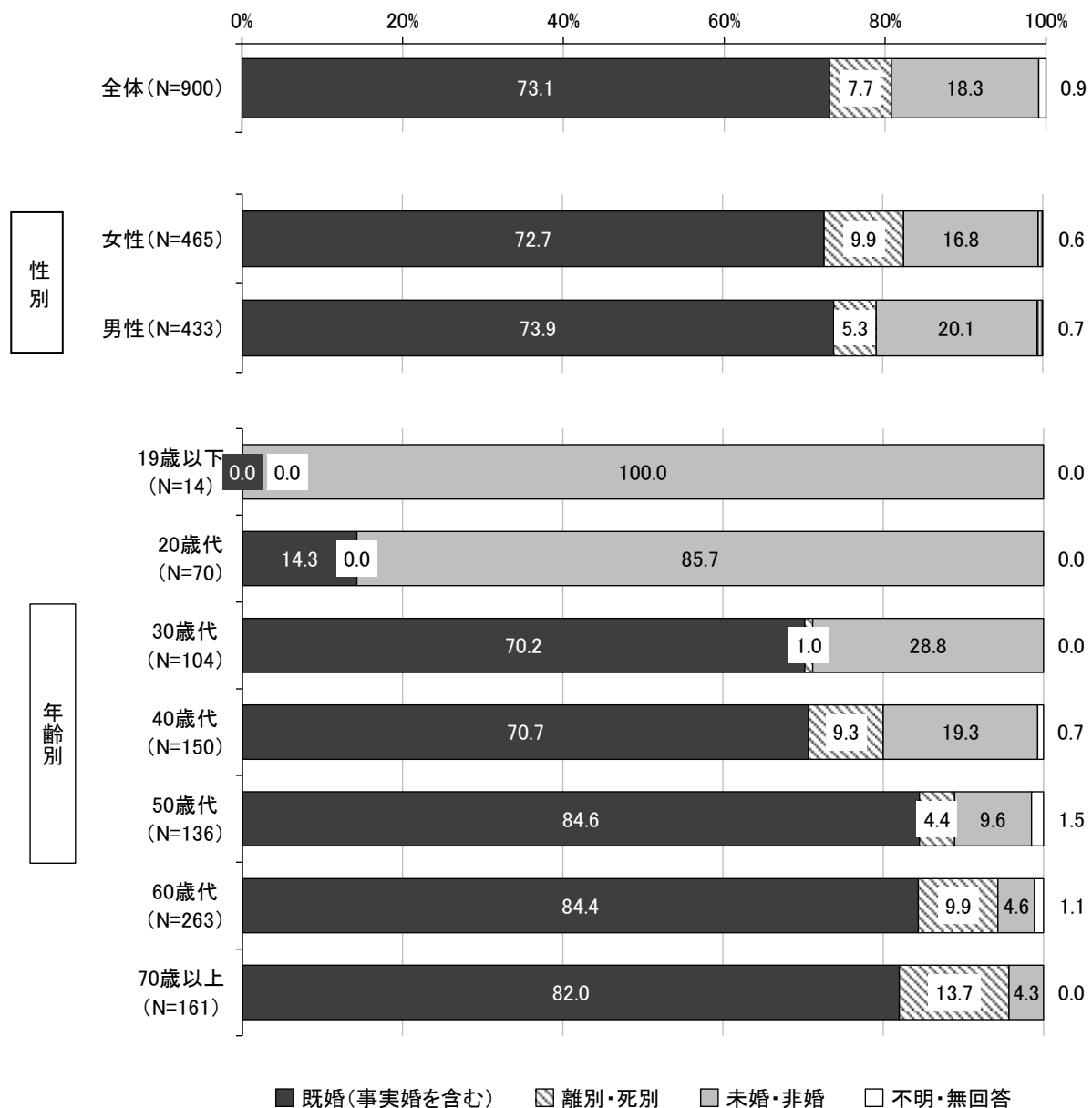


問3 あなたは、結婚（事実婚を含む）していますか。（○は1つ）

全体で見ると、「既婚（事実婚を含む）」が73.1%と最も高く、次いで「未婚・非婚」が18.3%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「既婚（事実婚を含む）」が最も高く、次いで「未婚・非婚」となっています。

年齢別で見ると、20歳代から60歳代では、年代が上がるほど「既婚（事実婚を含む）」の割合が高くなっています。

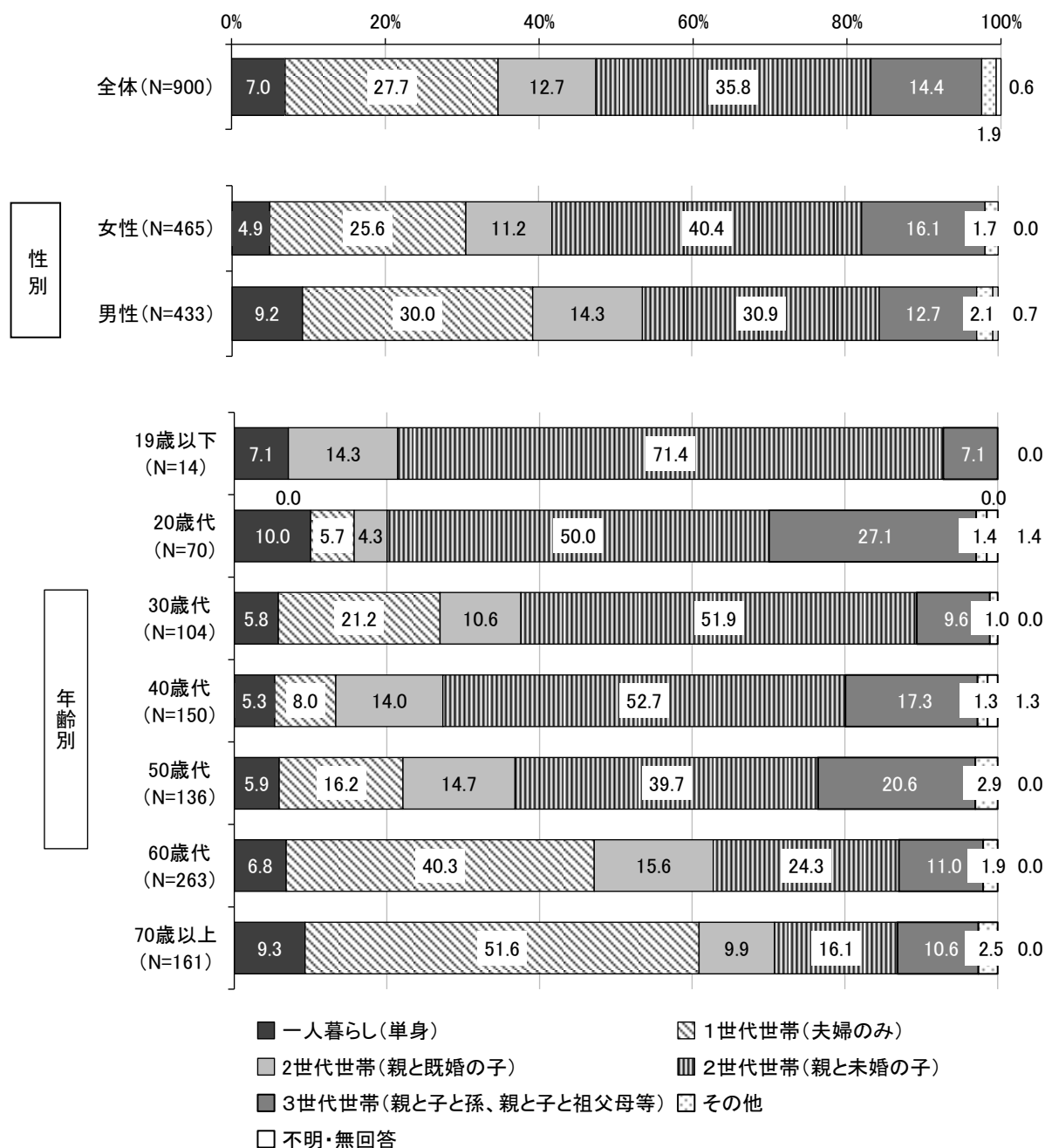


問4 あなたのご家族（同居）の構成は次のどれですか。（○は1つ）

全体で見ると、「2世代世帯（親と未婚の子）」が35.8%と最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみ）」が27.7%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「2世代世帯（親と未婚の子）」が最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦のみ）」となっています。

年齢別で見ると、40歳以上では、年代が上がるほど「1世代世帯（夫婦のみ）」の割合が高くなり、「2世代世帯（親と未婚の子）」の割合が低くなっています。

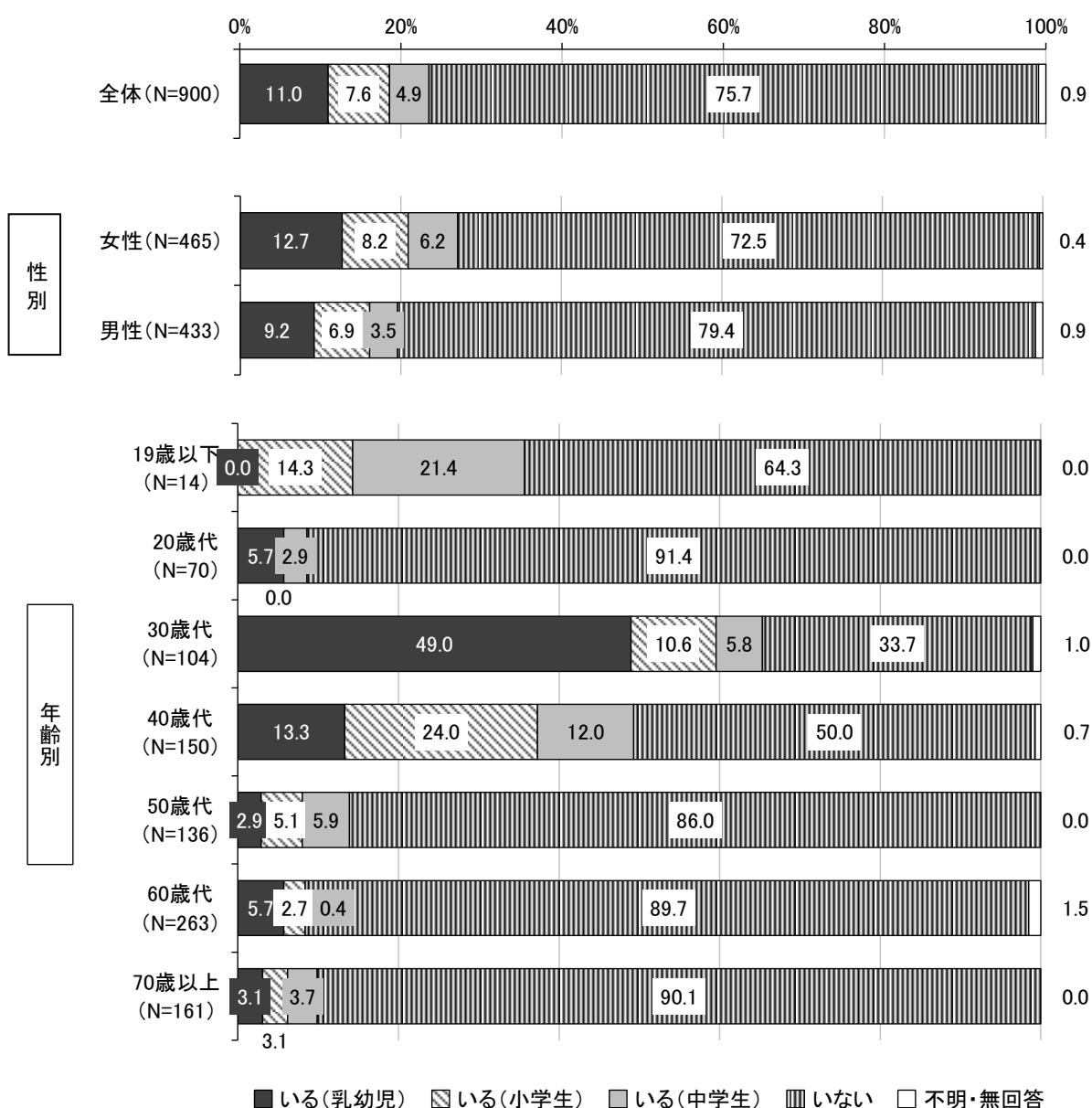


問5 中学生以下の子どもと同居していますか。その場合、一番年齢の小さな子どもは次のどれですか。(○は1つ)

全体で見ると、「いない」が75.7%と最も高く、次いで「いる(乳幼児)」が11.0%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「いない」が最も高く、次いで「いる(乳幼児)」となっています。

年齢別で見ると、30歳代・40歳代では、「いる(乳幼児)」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

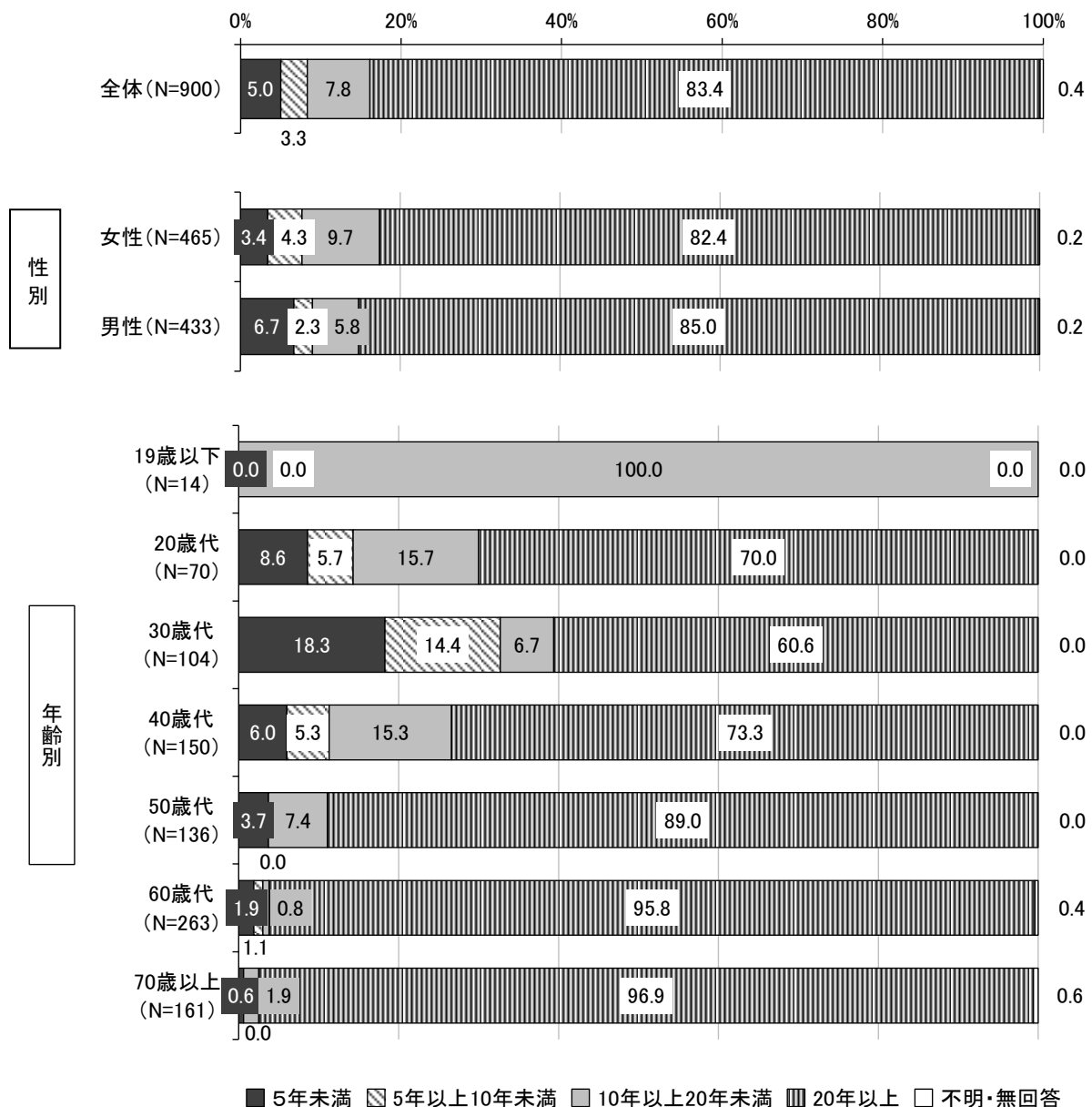


問6 あなたは、加西市に住んで何年になりますか。(○は1つ)

全体で見ると、「20年以上」が83.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が7.8%となっています。

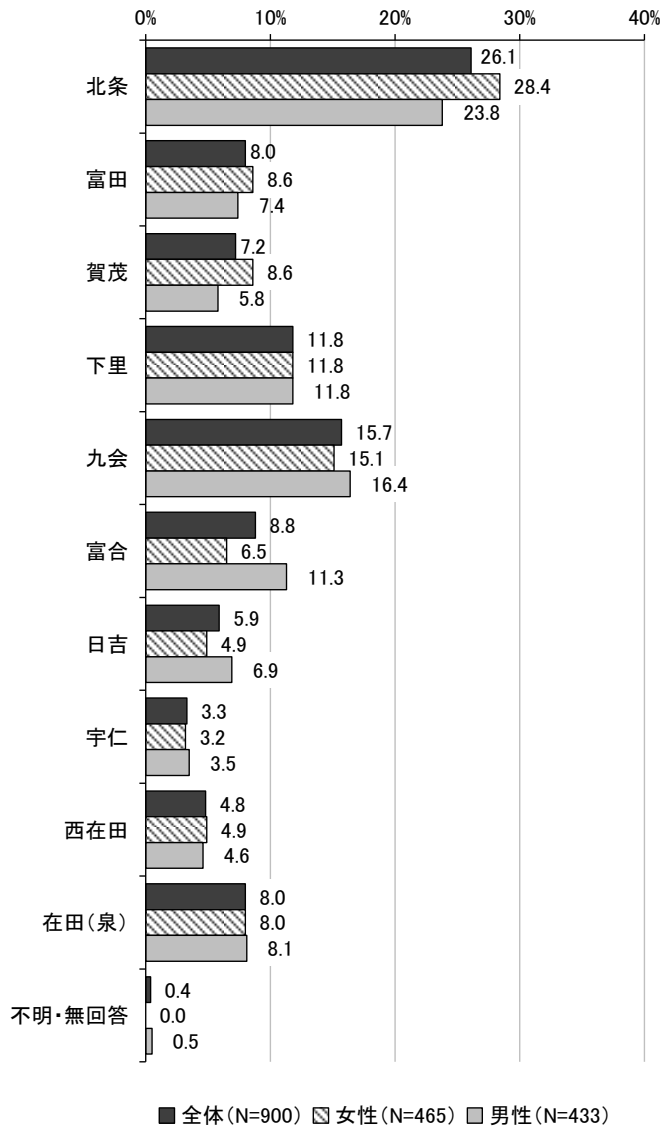
性別で見ると、女性・男性ともに「20年以上」が最も高く、次いで、女性では「10年以上20年未満」、男性では「5年未満」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳代では、『10年未満』（「5年未満」「5年以上10年未満」を合わせたもの）割合が他の年代と比べて高くなっています。



問7 あなたのお住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

全体で見ると、「北条」が26.1%と最も高く、次いで「九会」が15.7%となっています。
性別で見ると、女性・男性ともに「北条」が最も高く、次いで「九会」となっています。
年齢別で見ると、70歳以上を除き、「北条」の割合が高くなっています。



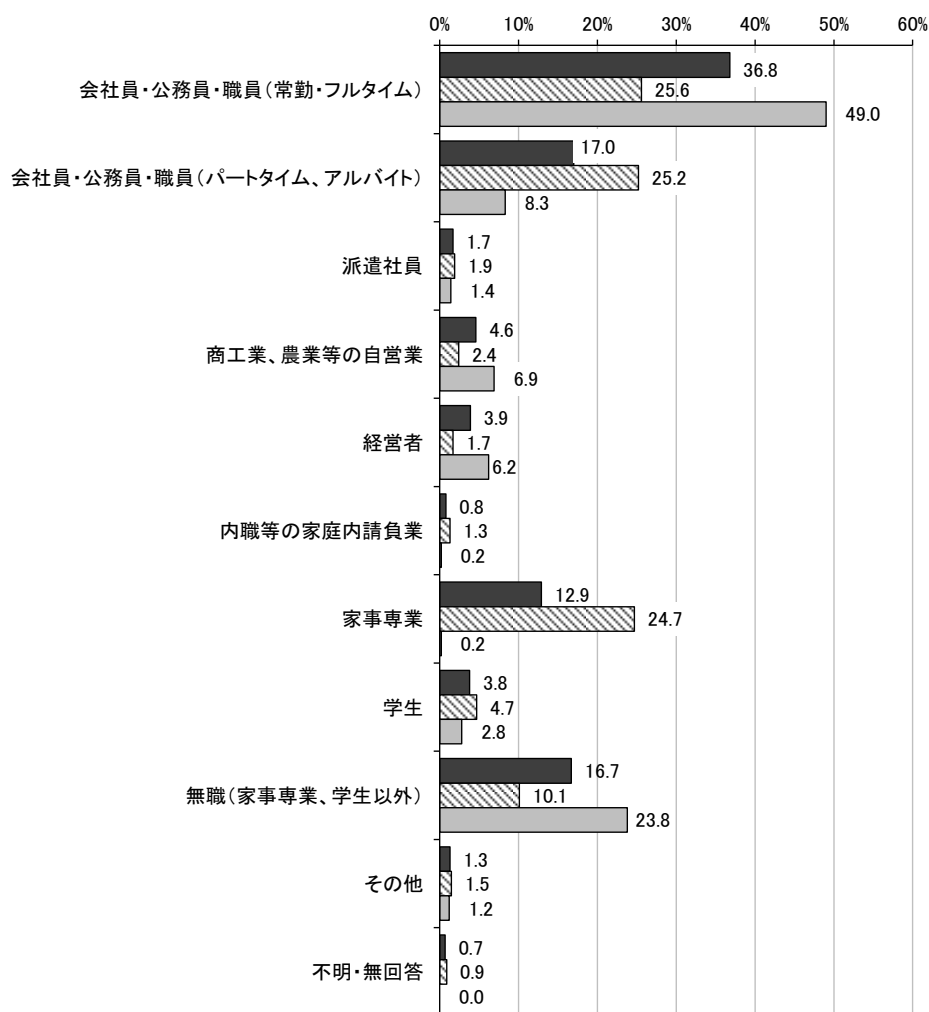
上段:件数 下段:%	合計	北条	富田	賀茂	下里	九会	富合	日吉	宇仁	西在田	在田(泉)	不明・無回答
全体	900 100.0	235 26.1	72 8.0	65 7.2	106 11.8	141 15.7	79 8.8	53 5.9	30 3.3	43 4.8	72 8.0	4 0.4
19歳以下	14 100.0	6 42.9	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 14.3	2 14.3	0 0.0
20歳代	70 100.0	20 28.6	5 7.1	9 12.9	6 8.6	11 15.7	3 4.3	6 8.6	3 4.3	4 5.7	3 4.3	0 0.0
30歳代	104 100.0	40 38.5	8 7.7	3 2.9	16 15.4	14 13.5	5 4.8	4 3.8	3 2.9	4 3.8	7 6.7	0 0.0
40歳代	150 100.0	48 32.0	16 10.7	7 4.7	15 10.0	26 17.3	15 10.0	8 5.3	1 0.7	4 2.7	10 6.7	0 0.0
50歳代	136 100.0	43 31.6	9 6.6	10 7.4	16 11.8	17 12.5	6 4.4	9 6.6	7 5.1	7 5.1	12 8.8	0 0.0
60歳代	263 100.0	50 19.0	20 7.6	21 8.0	33 12.5	43 16.3	31 11.8	15 5.7	13 4.9	11 4.2	25 9.5	1 0.4
70歳以上	161 100.0	28 17.4	14 8.7	15 9.3	18 11.2	29 18.0	18 11.2	11 6.8	3 1.9	11 6.8	13 8.1	1 0.6

問8 あなたの現在のご職業に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

全体で見ると、「会社員・公務員・職員（常勤・フルタイム）」が36.8%と最も高く、次いで「会社員・公務員・職員（パートタイム・アルバイト）」が17.0%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「会社員・公務員・職員（常勤・フルタイム）」が最も高く、次いで、女性では「会社員・公務員・職員（パートタイム・アルバイト）」、男性では「無職（家事専業、学生以外）」となっています。

年齢別で見ると、20歳代から50歳代では「会社員・公務員・職員（常勤・フルタイム）」が約6割となっています。



■ 全体(N=900) □ 女性(N=465) □ 男性(N=433)

上段:件数 下段:%	合計	会社員・公務員・職員(常勤・フルタイム)	会社員・公務員・職員(パートタイム、アルバイト)	派遣社員	商工業、農業等の自営業	経営者	内職等の家庭内請負業	家事専業	学生	無職(専業主婦、学生以外)	その他	不明・無回答
全体	900	331	153	15	41	35	7	116	34	150	12	6
	100.0	36.8	17.0	1.7	4.6	3.9	0.8	12.9	3.8	16.7	1.3	0.7
19歳以下	14	1	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0
	100.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0	0.0	0.0
20歳代	70	39	4	1	1	0	0	1	21	2	1	0
	100.0	55.7	5.7	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	30.0	2.9	1.4	0.0
30歳代	104	64	13	5	1	7	1	8	0	3	2	0
	100.0	61.5	12.5	4.8	1.0	6.7	1.0	7.7	0.0	2.9	1.9	0.0
40歳代	150	87	32	3	3	10	1	7	0	5	2	0
	100.0	58.0	21.3	2.0	2.0	6.7	0.7	4.7	0.0	3.3	1.3	0.0
50歳代	136	82	27	1	5	4	0	13	0	3	1	0
	100.0	60.3	19.9	0.7	3.7	2.9	0.0	9.6	0.0	2.2	0.7	0.0
60歳代	263	54	59	3	17	7	3	57	0	57	4	2
	100.0	20.5	22.4	1.1	6.5	2.7	1.1	21.7	0.0	21.7	1.5	0.8
70歳以上	161	4	18	2	14	7	2	30	0	80	2	2
	100.0	2.5	11.2	1.2	8.7	4.3	1.2	18.6	0.0	49.7	1.2	1.2

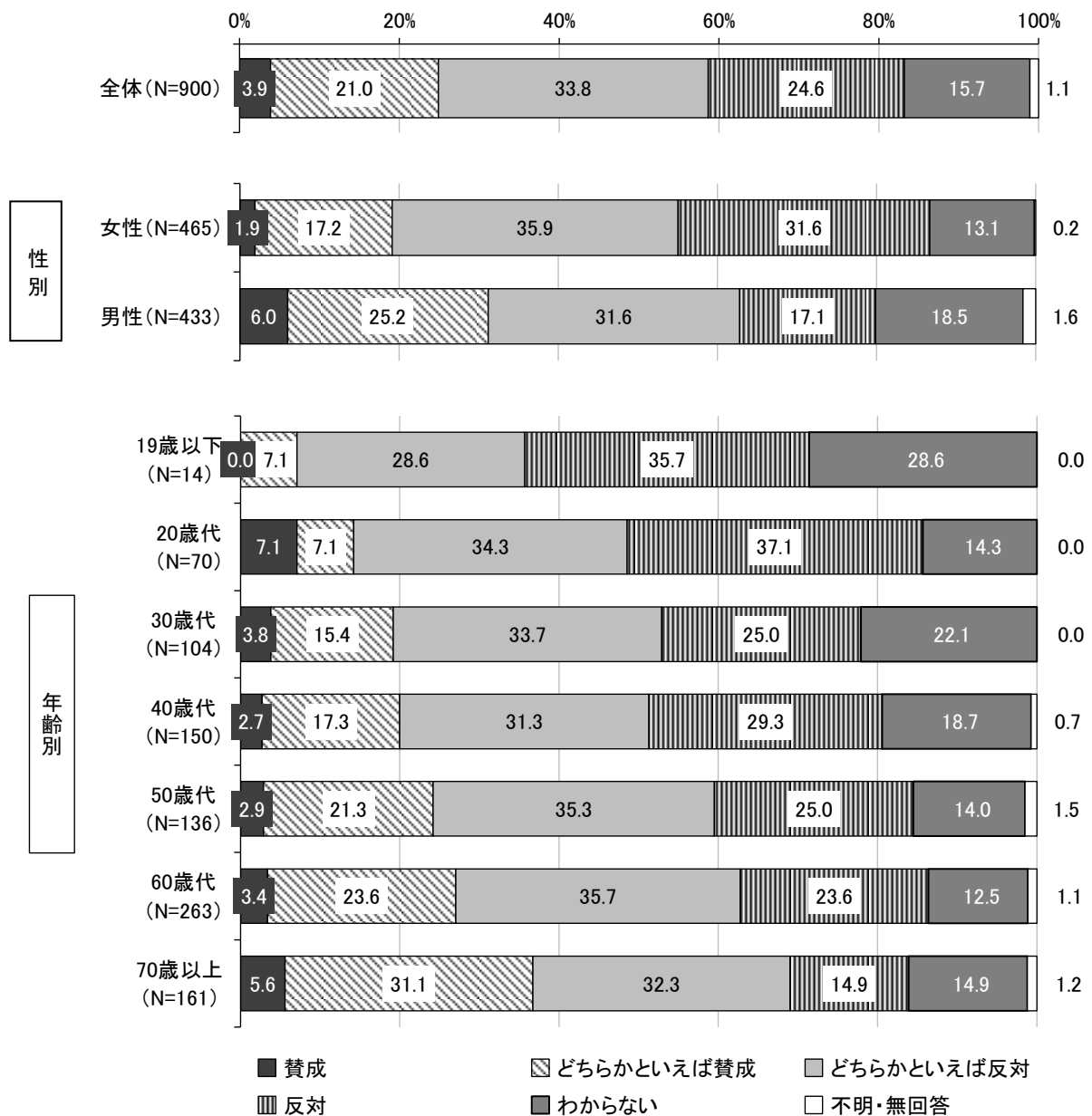
男女平等・役割分担について

問9 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

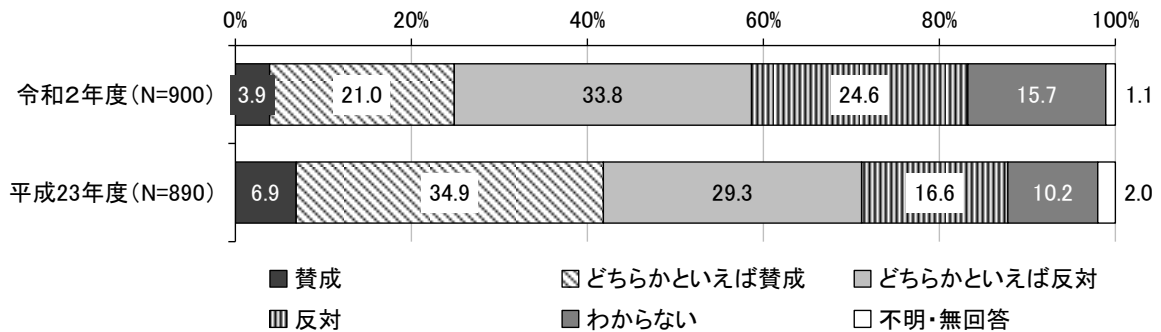
全体で見ると、「どちらかといえば反対」が33.8%と最も高く、次いで「反対」が24.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえば反対」が最も高く、次いで、女性では「反対」、男性では「どちらかといえば賛成」が高くなっています。

年齢別で見ると、年代が上がるほど『賛成』（「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせたもの）の割合が高くなっています。



平成23年度と令和2年度を比較すると、『賛成』（「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせたもの）は16.9ポイント減少し、『反対』（「反対」「どちらかといえば反対」を合わせたもの）は12.5ポイント増加しています。



問 10 日常的な家事・仕事等の役割分担についておうかがいします。(○はそれぞれ1つ)

「A. 理想」はすべての方がお答えください。

「B. 現状」は配偶者のいる方のみお答えください。また、子育て、高齢者の介護に関する項目は、該当する方のみお答えください。

① 生活費の確保

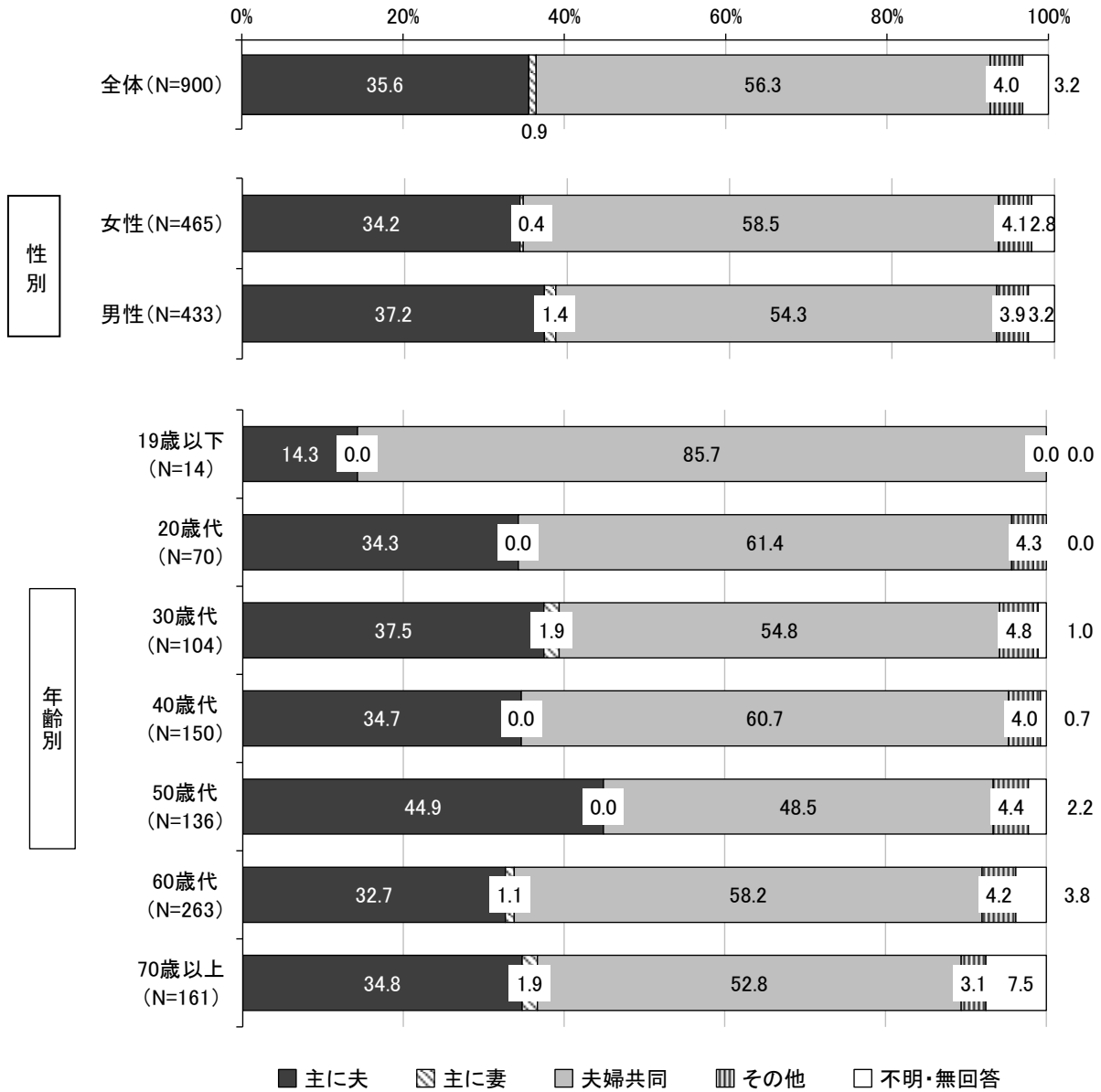
全体で見ると、【理想】は「夫婦共同」が56.3%と最も高く、【現状】の44.4%より11.9ポイント高くなっています。【現状】は「主に夫」が46.2%と最も高く、【理想】においても35.6%と高くなっています。

性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高く、次いで「主に夫」が高くなっています。【現状】は女性・男性ともに「主に夫」が最も高く、次いで「夫婦共同」が高くなっています。

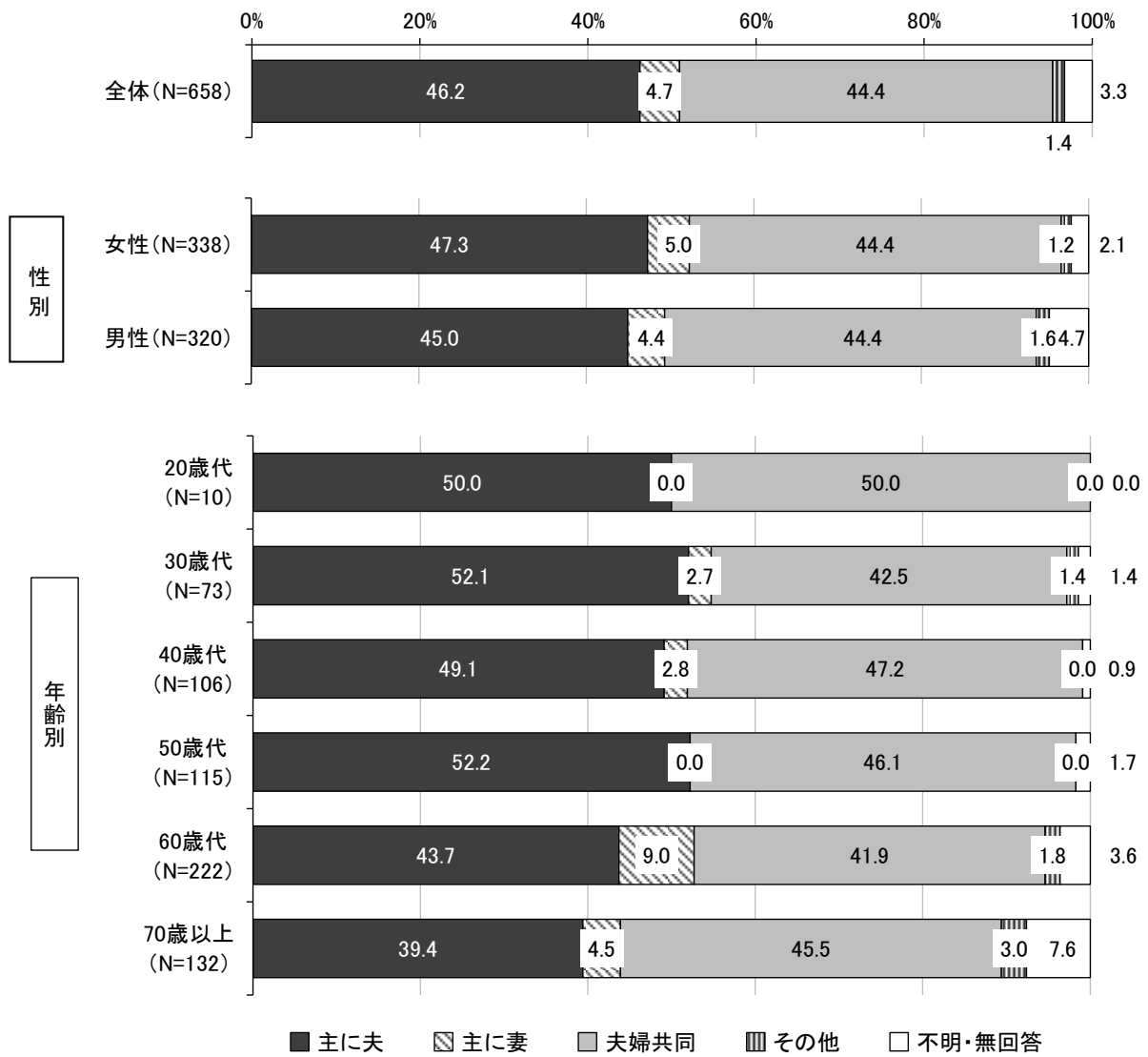
年齢別で見ると、【理想】は50歳代では「夫婦共同」が他の年代と比べて低くなっています。

【現状】は20歳代から50歳代では「主に夫」が約5割となっています。

■理想



■現状



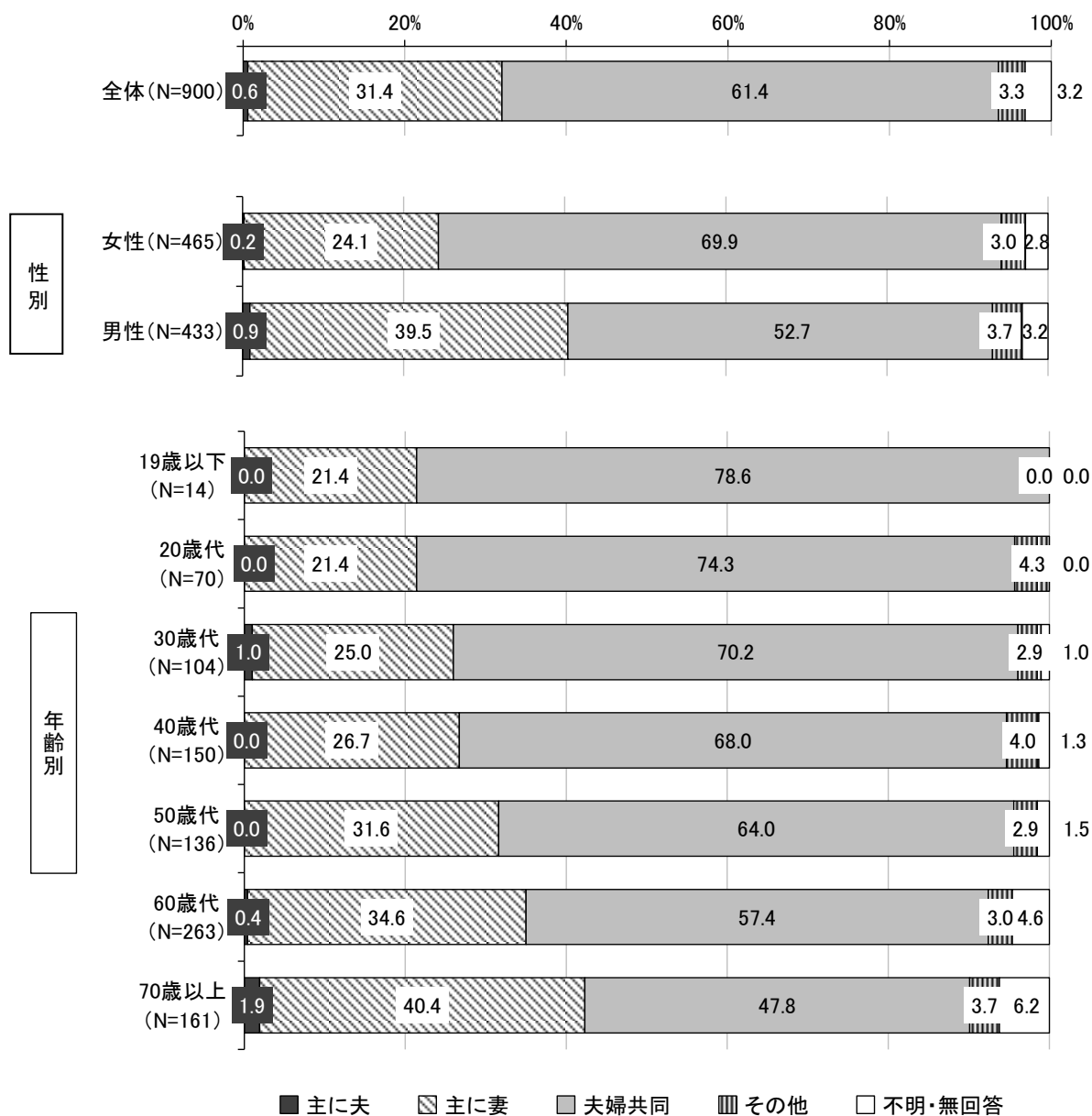
② 炊事・掃除・洗濯等の家事

全体で見ると、【理想】は「夫婦共同」が61.4%と最も高く、【現状】の17.9%より43.5ポイント高くなっています。【現状】は「主に妻」が76.3%と最も高く、【理想】においては31.4%と低くなっています。

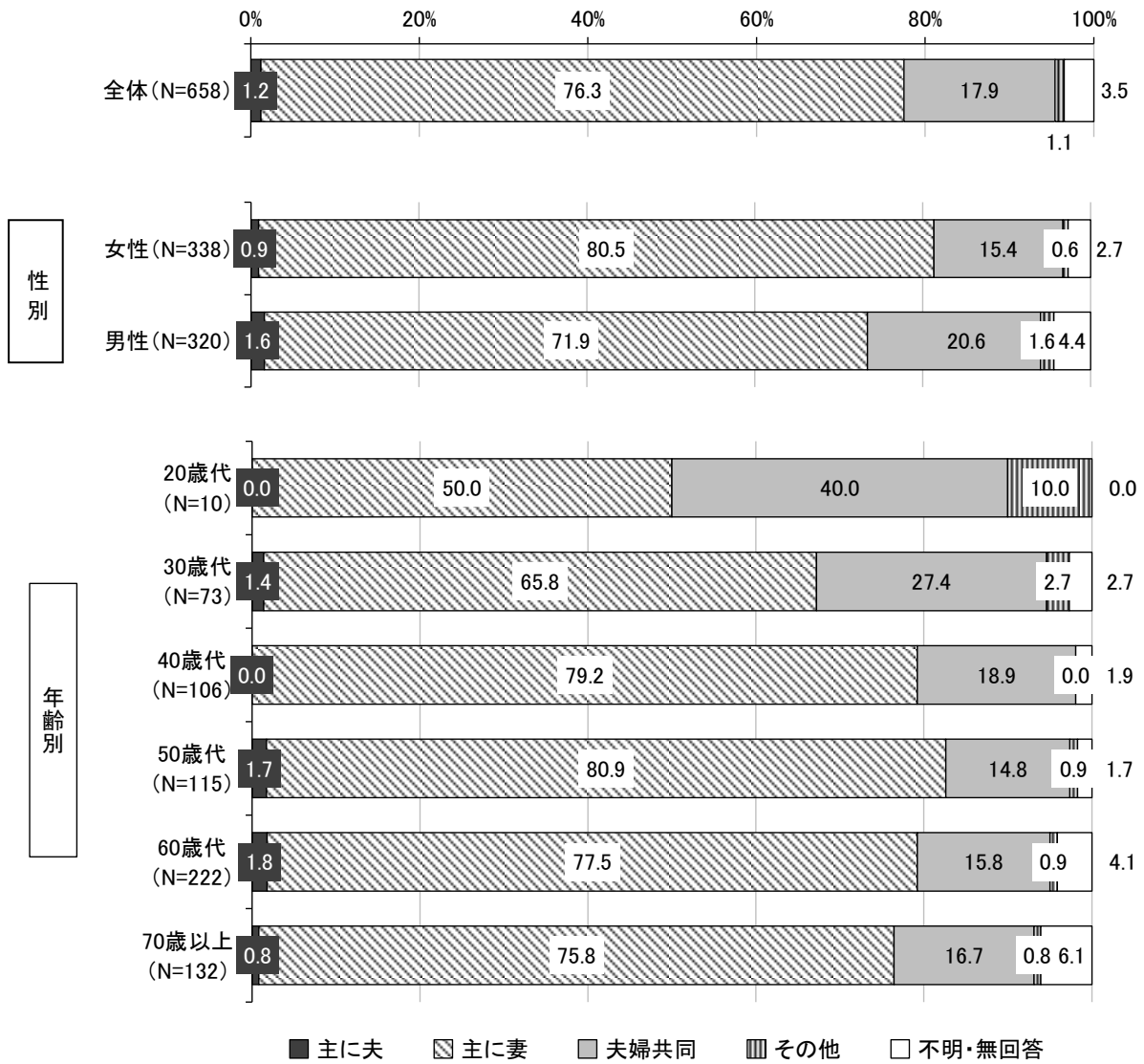
性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高く、次いで「主に妻」が高くなっています。【現状】は女性・男性ともに「主に妻」が最も高く、次いで「夫婦共同」が高くなっています。

年齢別で見ると、【理想】は年代が上がるほど「主に妻」の割合が高くなっています。【現状】は「主に妻」の割合が、30歳代では約7割、40歳以上では約8割となっています。

■理想



■現状



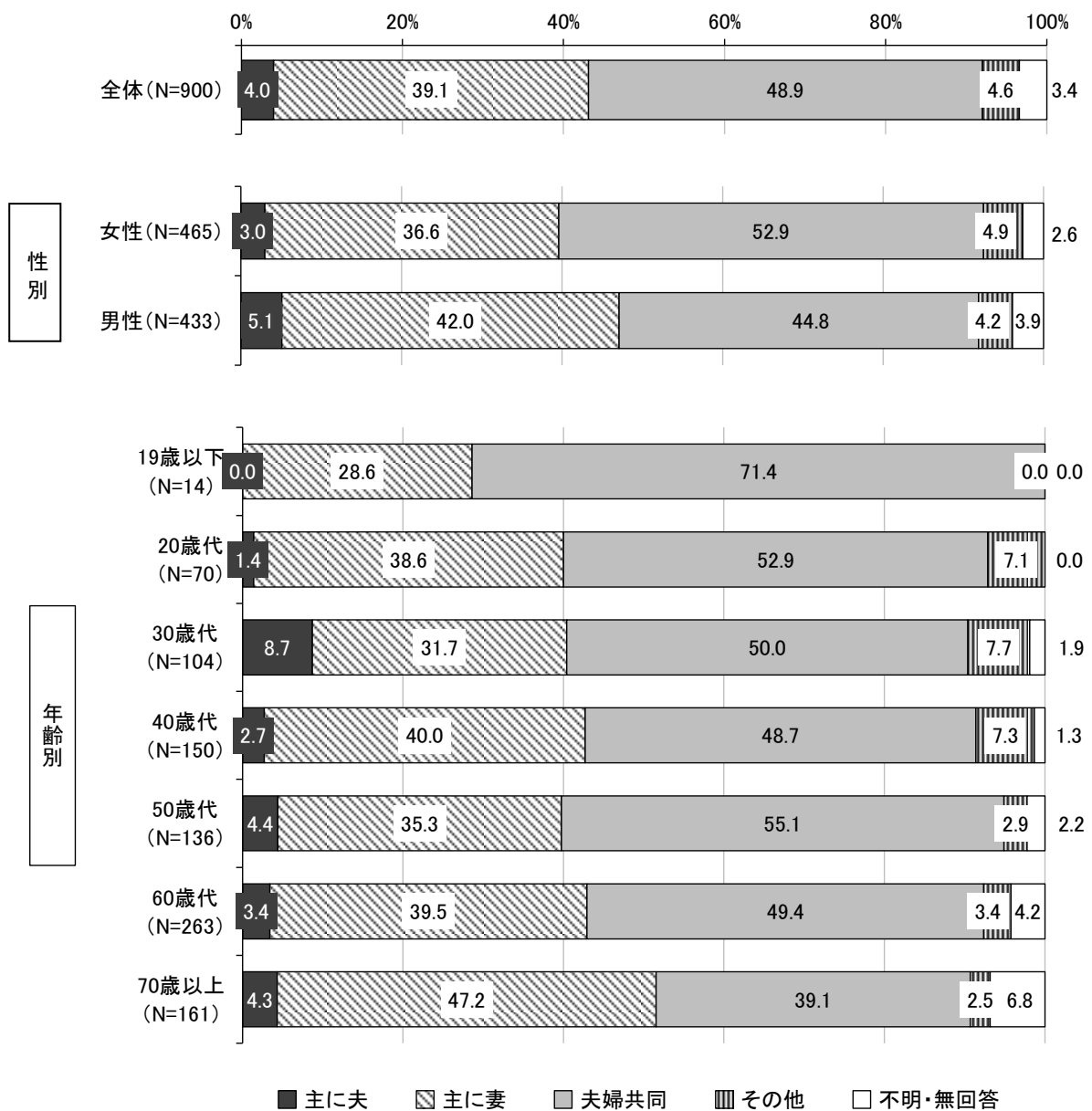
③ 日常の家計管理

全体で見ると、【理想】は「夫婦共同」が48.9%と最も高く、【現状】の20.5%より28.4ポイント高くなっています。【現状】は「主に妻」が63.8%と最も高く、【理想】においては39.1%と低くなっています。

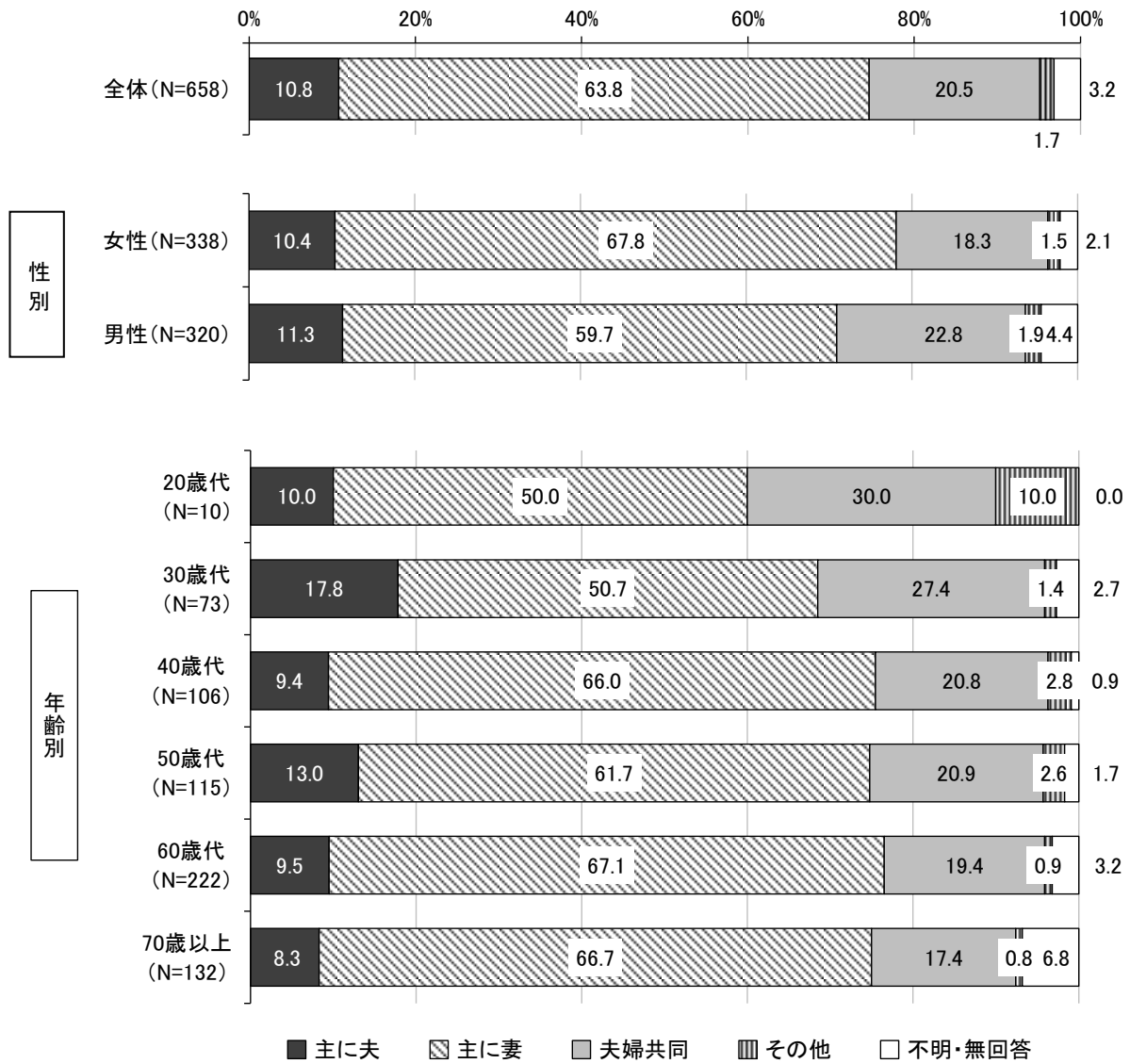
性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高く、次いで「主に妻」が高くなっています。【現状】は女性・男性ともに「主に妻」が最も高く、次いで「夫婦共同」が高くなっています。

年齢別で見ると、【理想】は70歳以上を除き、「夫婦共同」が約5割となっています。【現状】は概ね年代が上がるほど「夫婦共同」が低くなっています。

■理想



■現状



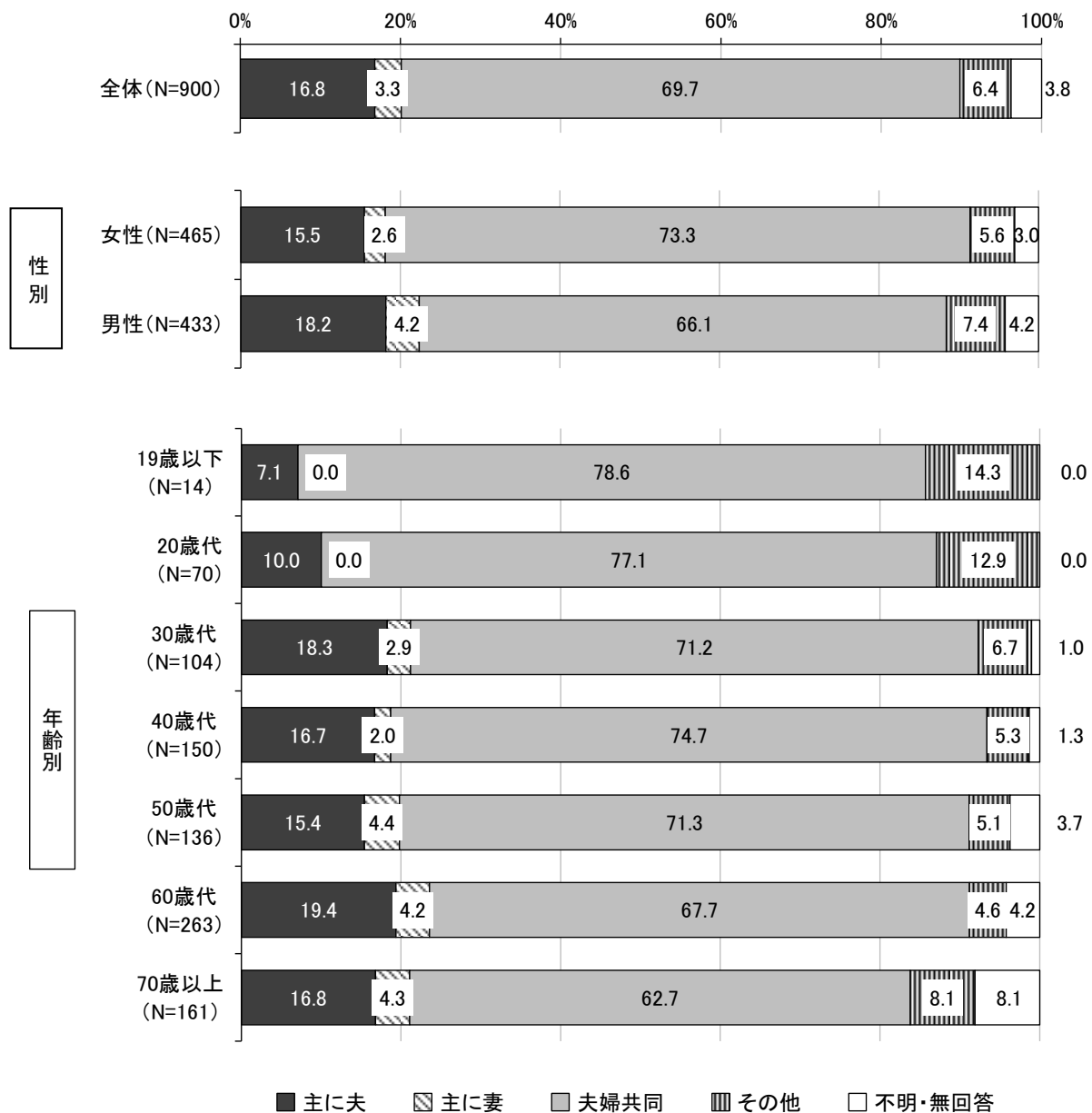
④ 地域活動への参加

全体で見ると、【理想】においては「夫婦共同」が69.7%と最も高く、【現状】においても46.7%と高くなっています。

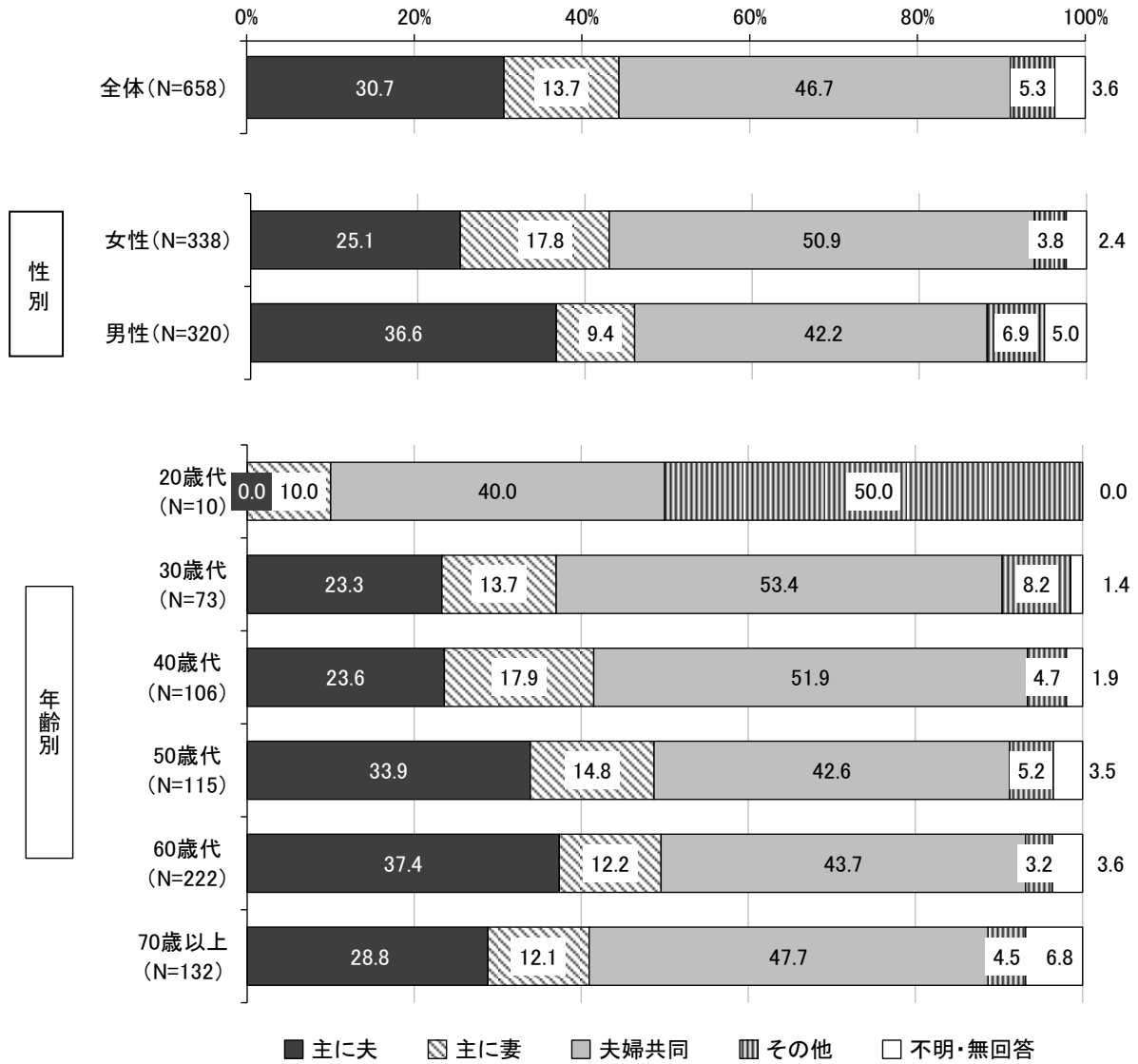
性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高く、次いで「主に夫」が高くなっています。【現状】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高く、次いで「主に夫」が高くなっています。

年齢別で見ると、【理想】は60歳代・70歳以上を除き、「夫婦共同」が7割以上となっています。【現状】は「夫婦共同」が30歳代・40歳代では5割台、20歳代・50歳以上では4割台となっています。

■理想



■現状



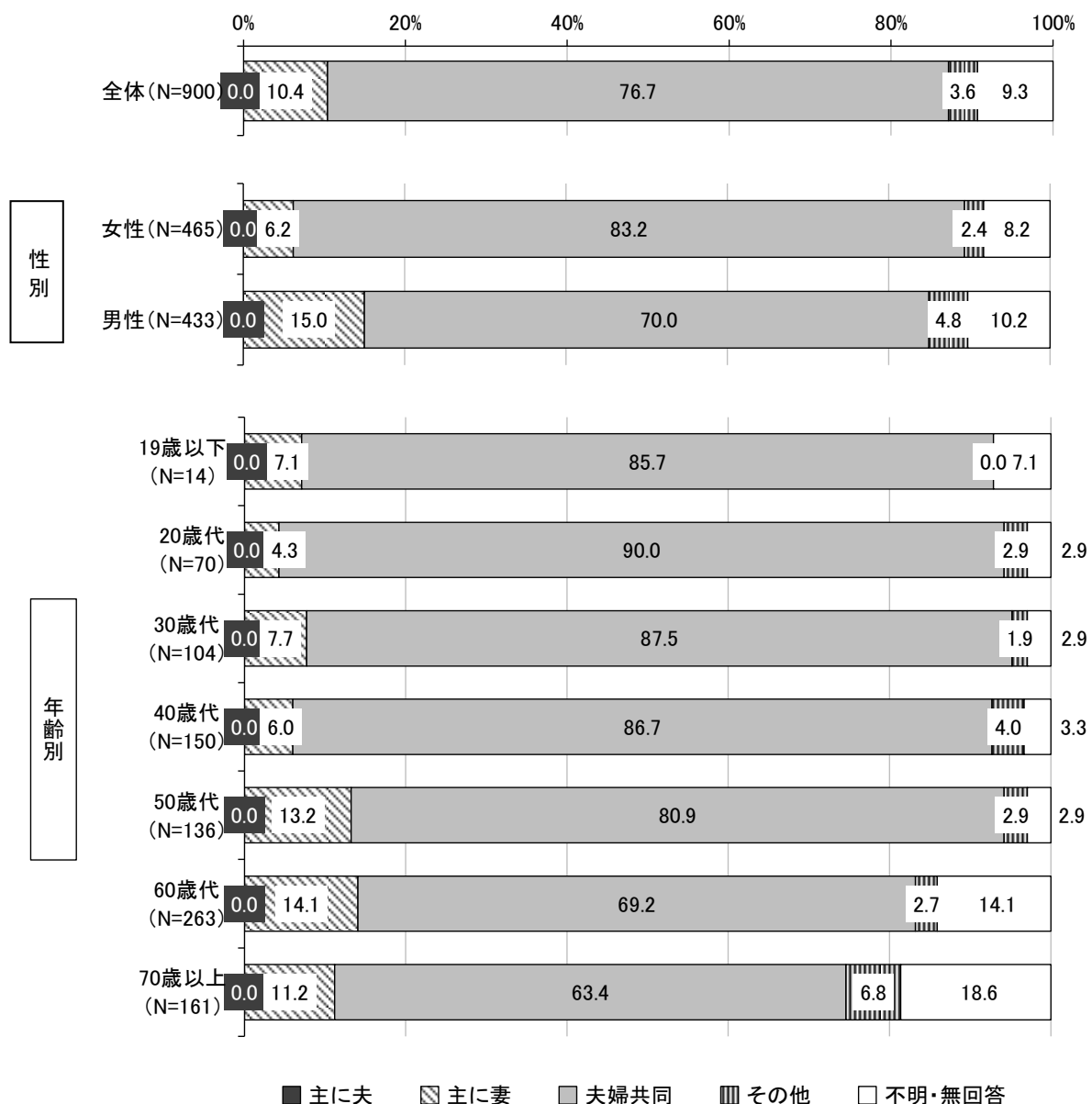
⑤ 子育て

全体で見ると、【理想】は「夫婦共同」が76.7%と最も高く、【現状】の31.2%より45.5ポイント高くなっています。【現状】は「主に妻」が42.1%と最も高く、【理想】においては10.4%と低くなっています。

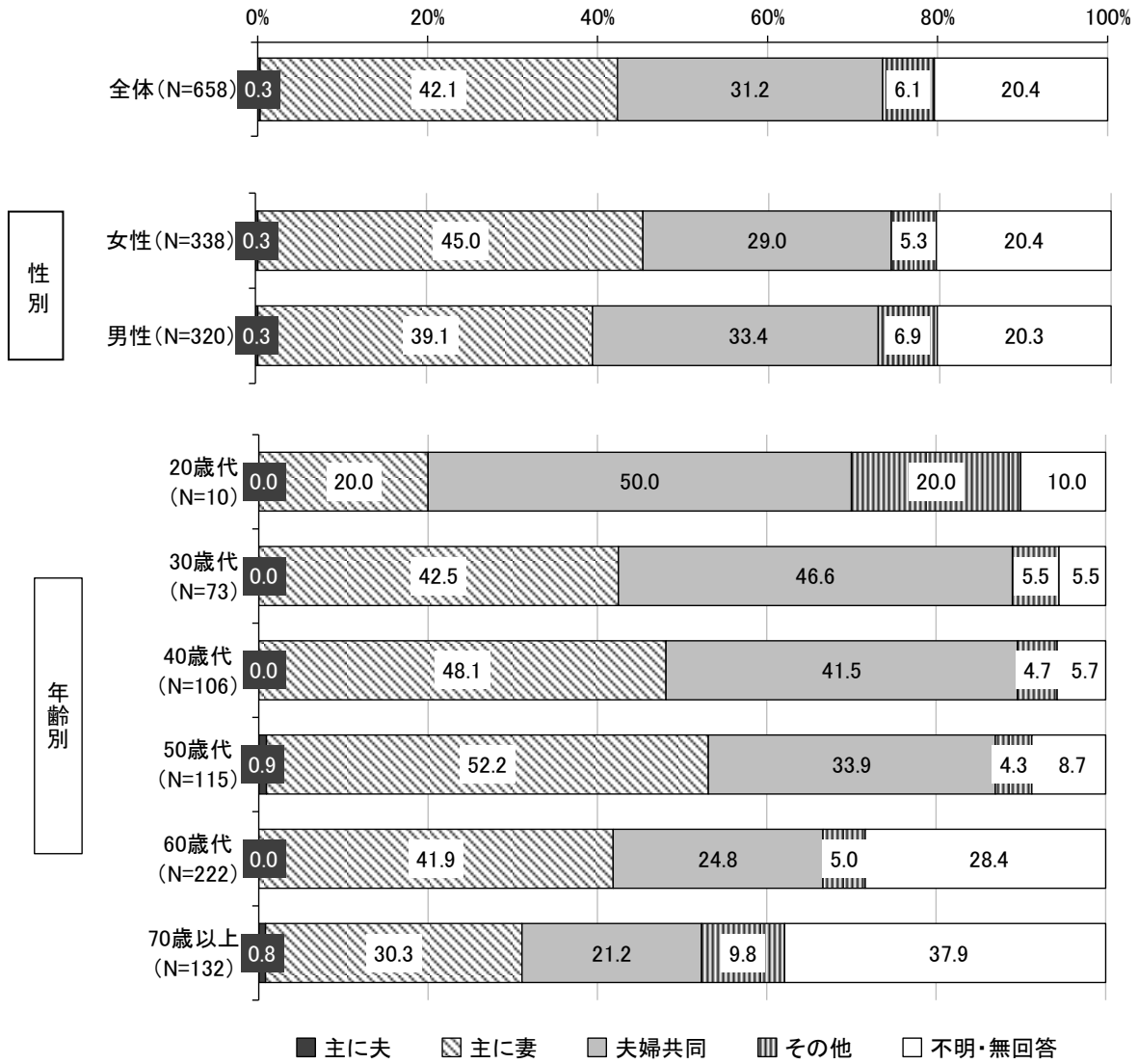
性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高く、次いで「主に妻」が高くなっています。【現状】は女性・男性ともに「主に妻」が最も高く、次いで「夫婦共同」が高くなっています。

年齢別で見ると、【理想】は60歳代・70歳以上では「夫婦共同」の割合が他の年代と比べて低くなっています。【現状】は20歳代・30歳代では「夫婦共同」が最も高くなっていますが、その他の年代では「主に妻」が最も高くなっています。

■理想



■現状



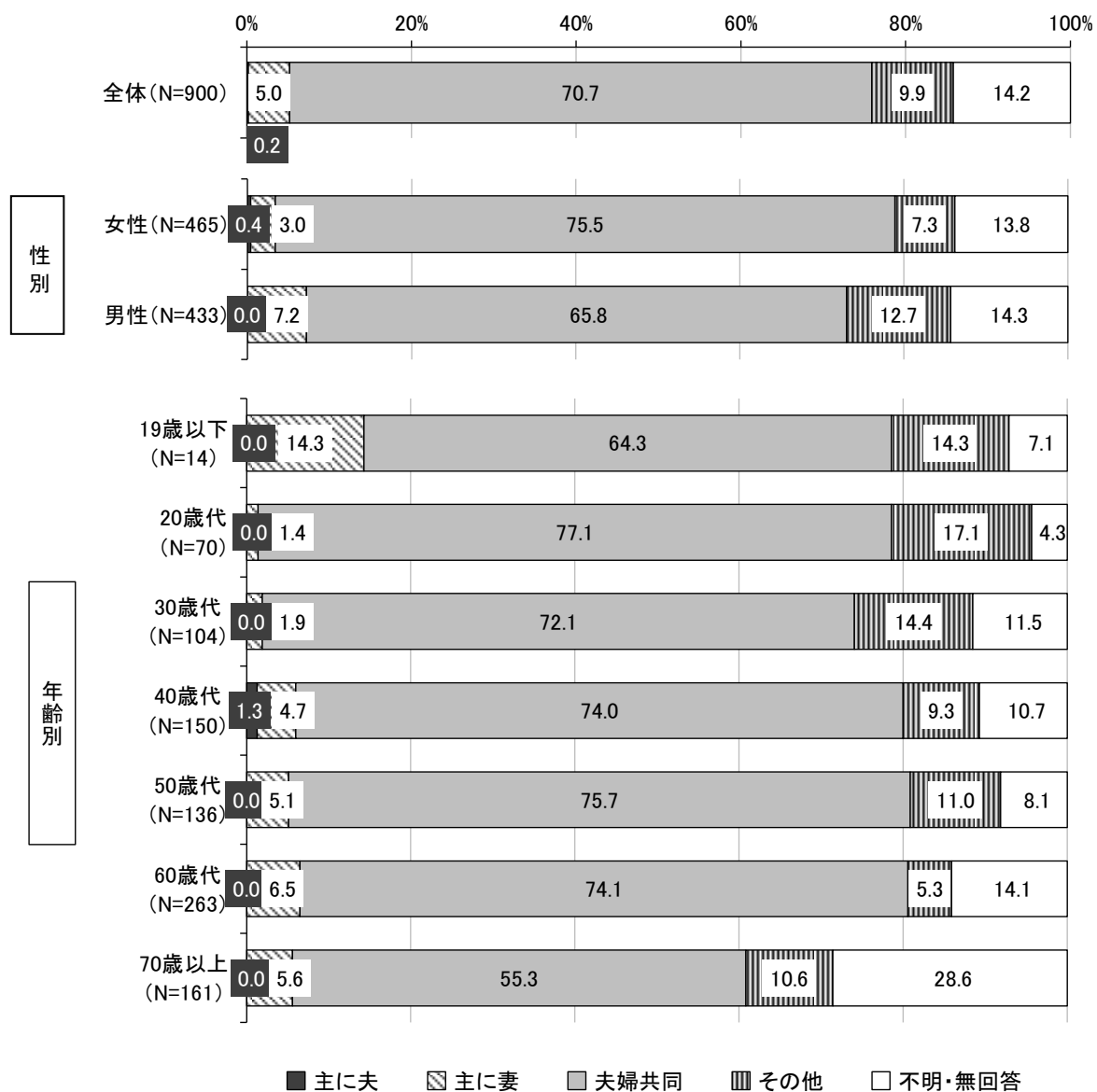
⑥ 高齢者の介護

全体で見ると、【理想】は70.7%と最も高く、【現状】においても「夫婦共同」が22.9%と高くなっています。

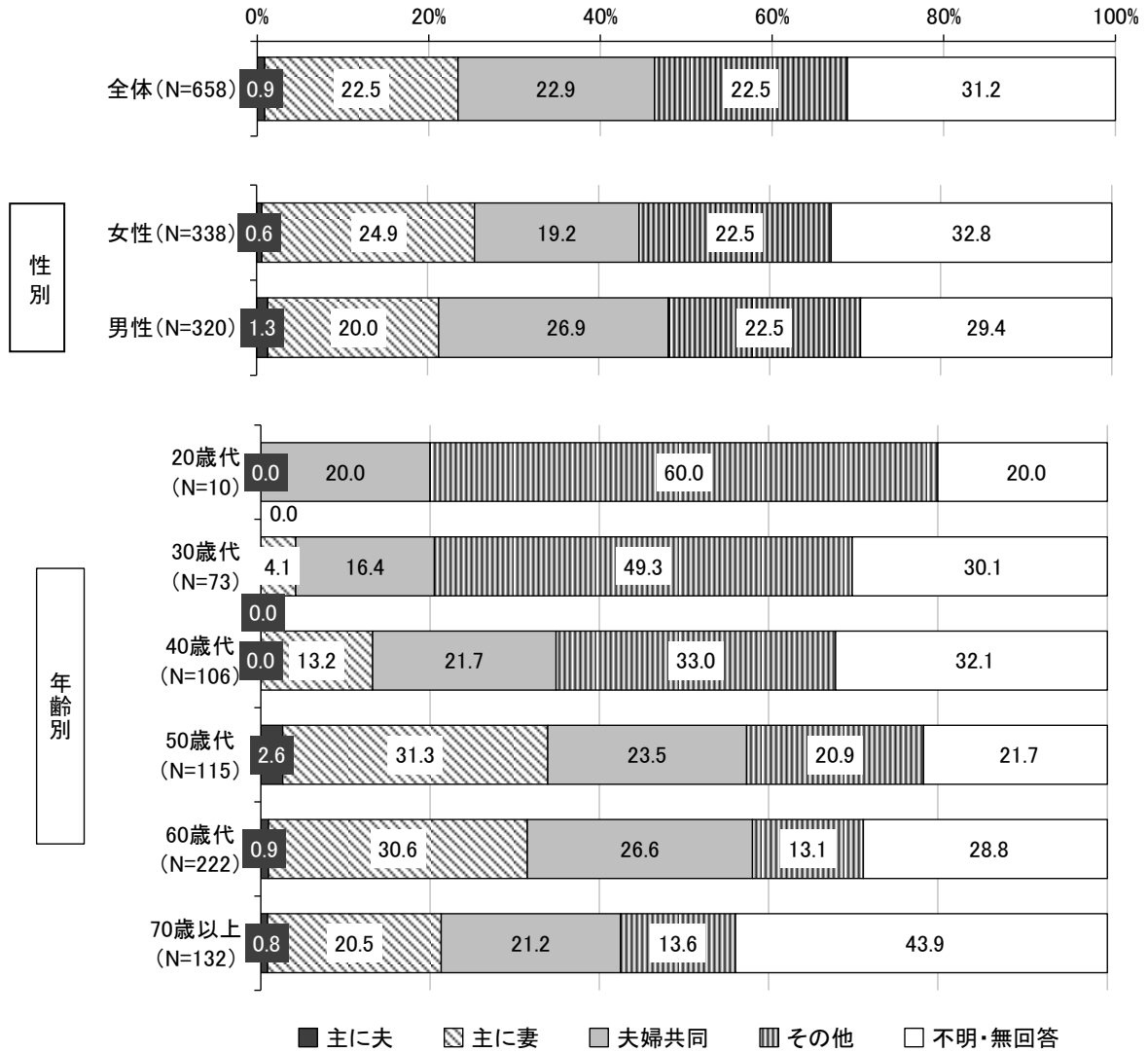
性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「夫婦共同」が最も高くなっています。【現状】は女性では「主に妻」が24.9%と最も高く、男性では「夫婦共同」が26.9%と最も高くなっています。

年齢別で見ると、【理想】は19歳以下・70歳以上を除き、「夫婦共同」が7割台となっています。【現状】は50・60歳代では「主に妻」が最も高く、70歳以上では「夫婦共同」が最も高くなっています。

■理想



■現状



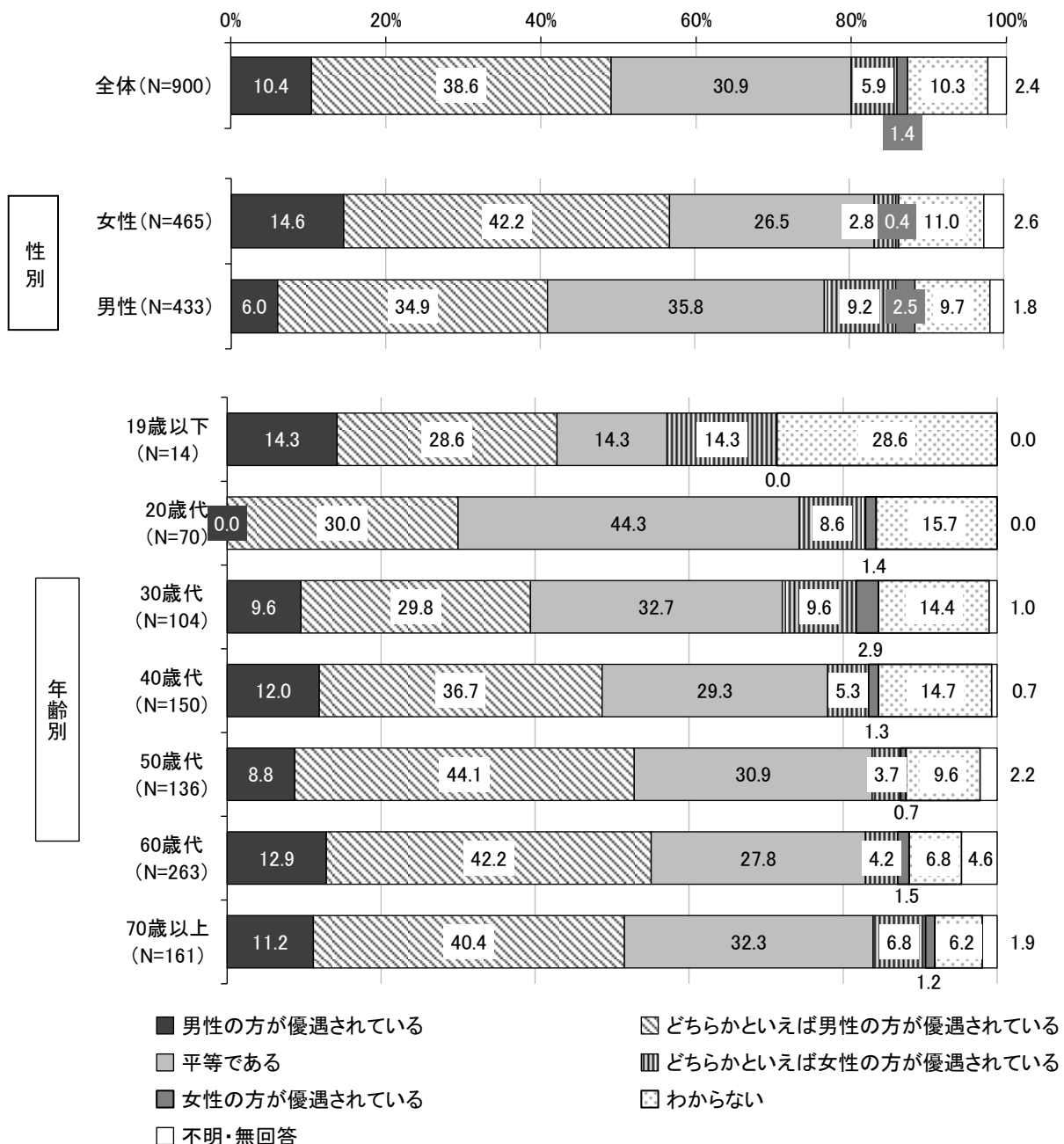
問 11 あなたは、次の各分野において男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

① 家庭生活

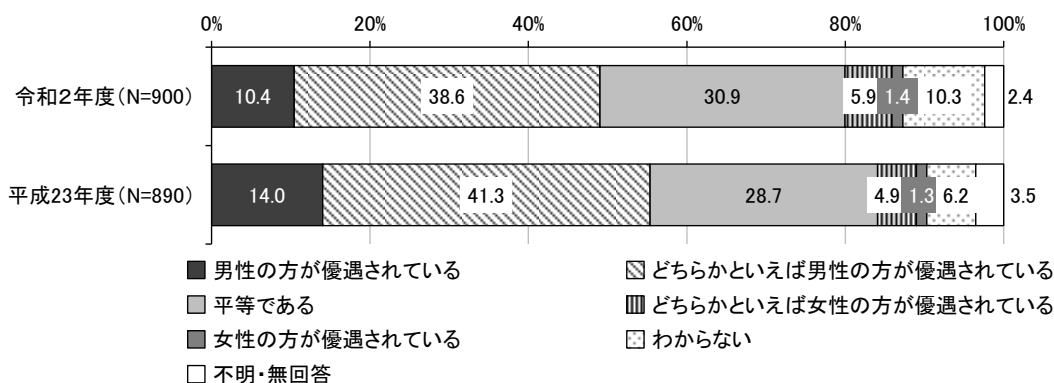
全体で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は38.6%と最も高く、次いで「平等である」が30.9%となっています。

性別で見ると、女性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が42.2%と最も高く、次いで「平等である」が26.5%となっています。男性では「平等である」が35.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が34.9%となっています。

年齢別で見ると、30歳代から60歳代では年齢が上がるほど『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）が高くなっています。



平成 23 年度と令和 2 年度を比較すると、『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）は 6.3 ポイント減少しています。

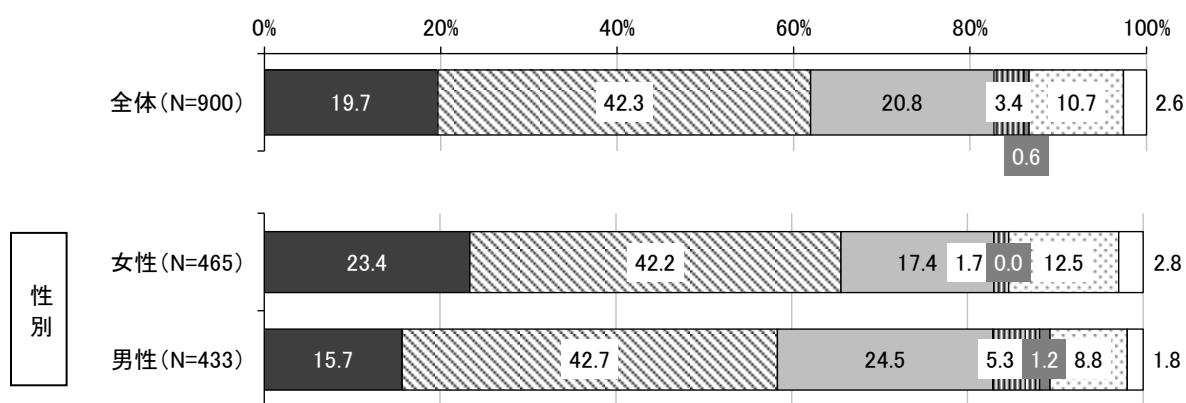


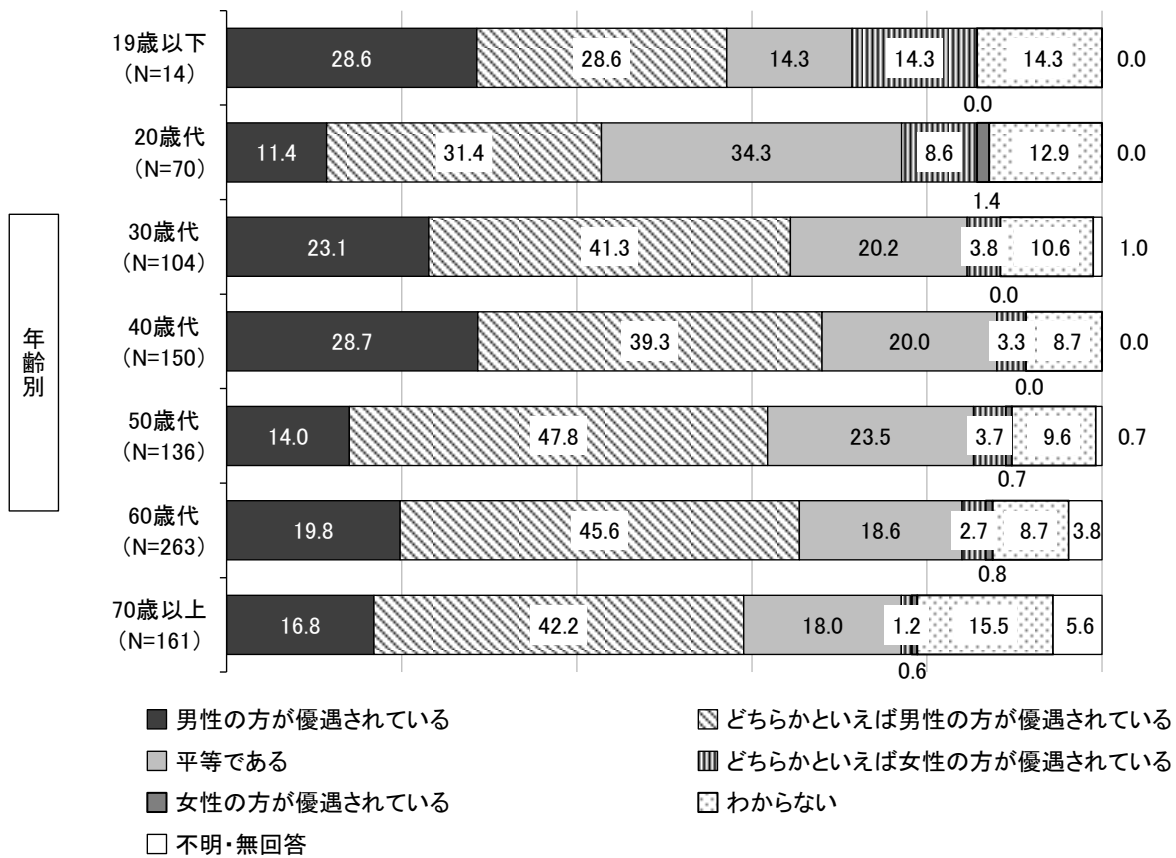
② 職場

全体で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は 42.3%と最も高く、次いで「平等である」が 20.8%となっています。

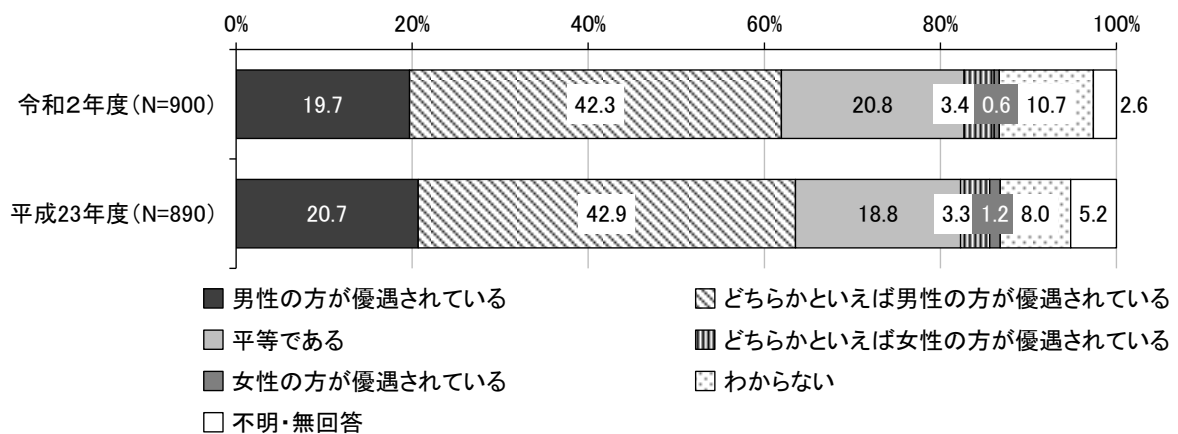
性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっています。次いで、女性では「男性の方が優遇されている」、男性では「平等である」が高くなっています。

年齢別で見ると、『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）が 30 歳代から 60 歳代では 6 割台、19 歳以下・70 歳以上では 5 割台となっています。





平成23年度と令和2年度を比較すると、大きな差はみられません。

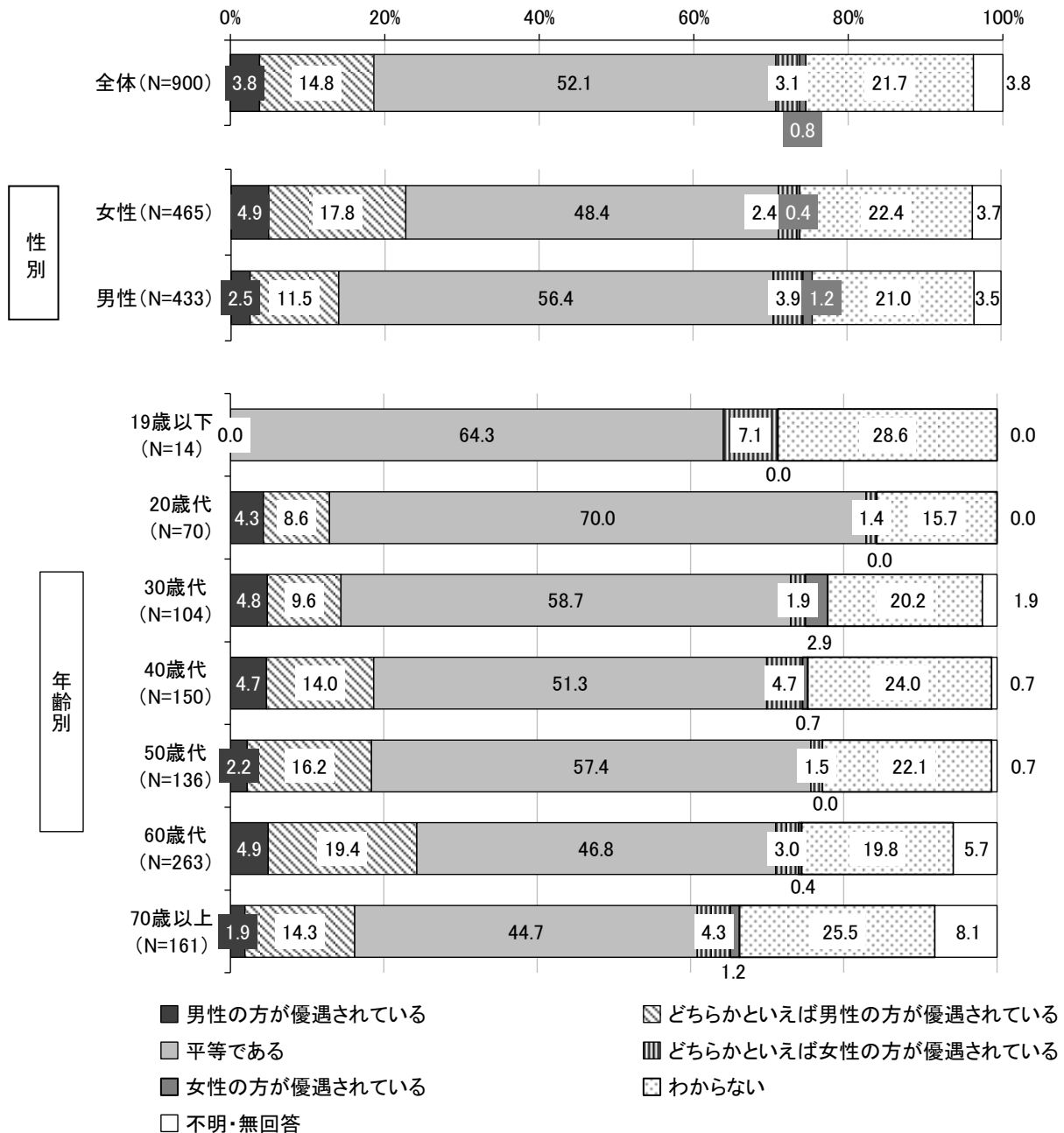


③ 学校教育の場

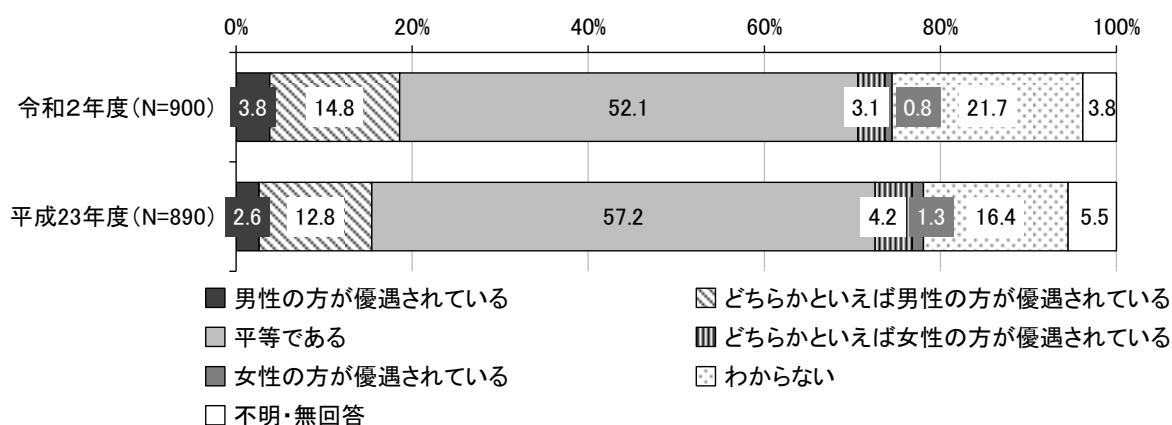
全体で見ると、「平等である」は52.1%と最も高く、次いで「わからない」が21.7%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「平等である」が最も高く、次いで「わからない」が高くなっています。

年齢別で見ると、各年代ともに「平等である」が最も高くなっています。



平成 23 年度と令和 2 年度を比較すると、「平等である」が 5.1 ポイント減少しています。

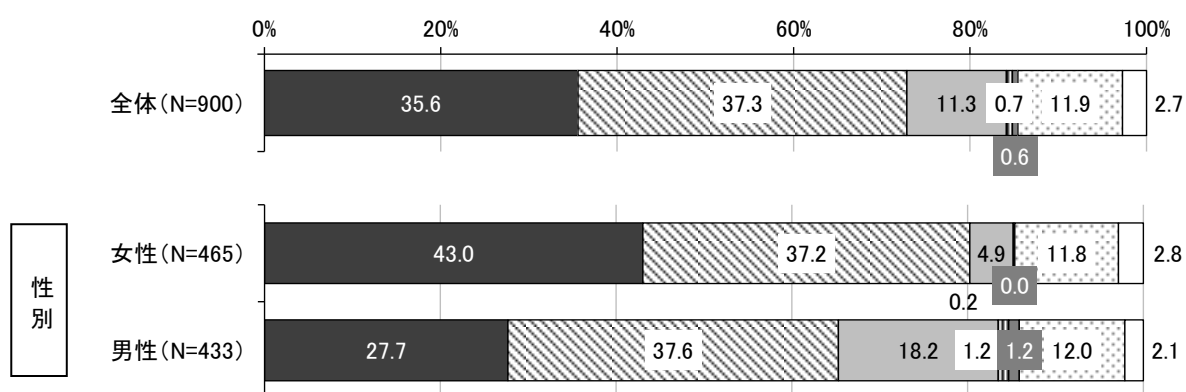


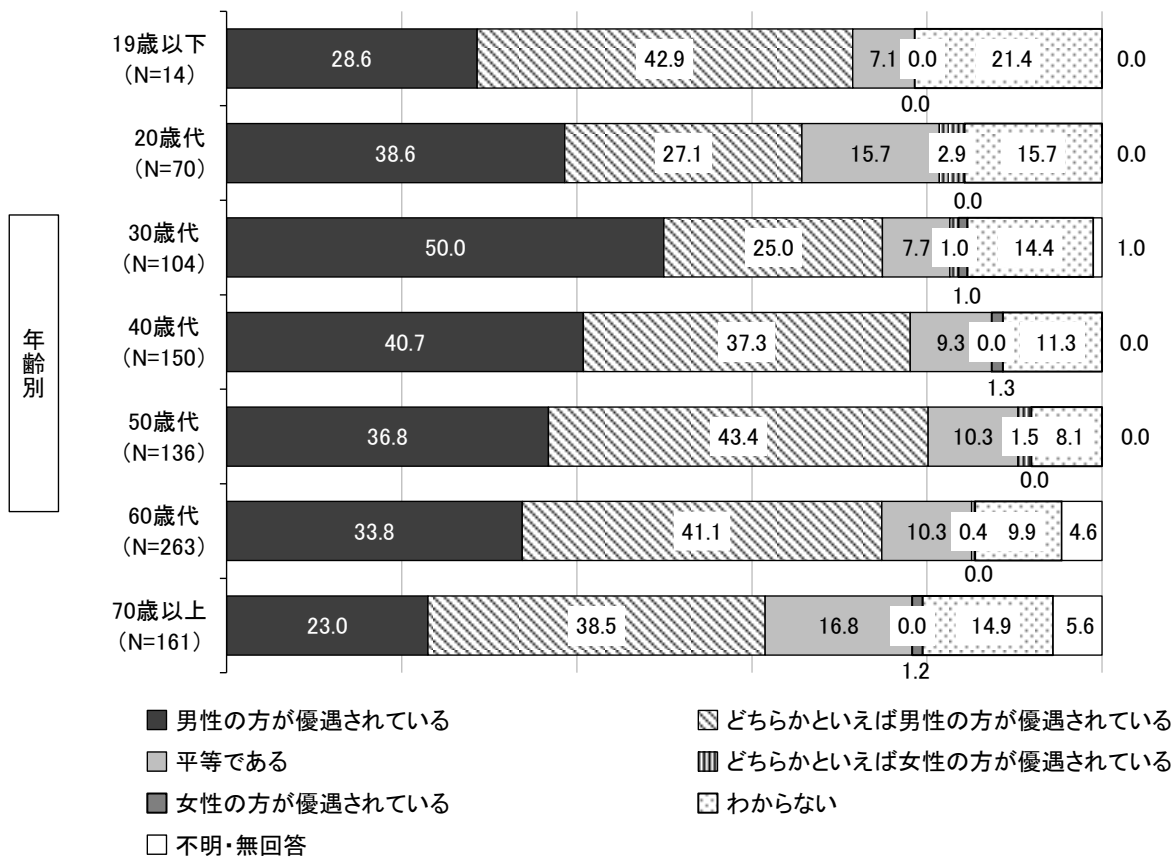
④ 政治の場

全体で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は 37.3%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が 35.6%となっています。

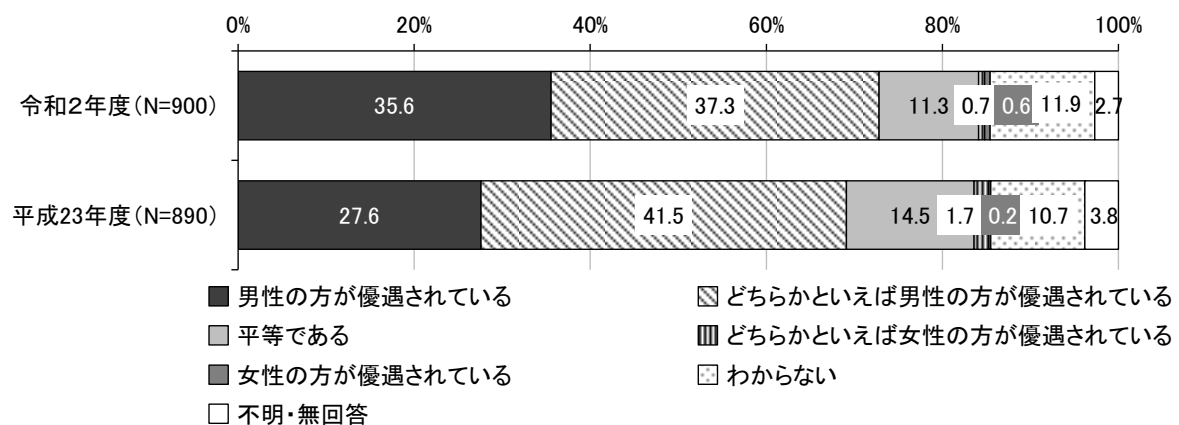
性別で見ると、女性では「男性の方が優遇されている」が 43.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 37.2%となっています。男性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 37.5%と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が 27.7%となっています。

年齢別で見ると、20 歳代・70 歳代を除き、『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）が 7 割以上となっています。





平成23年度と令和2年度を比較すると、「平等である」が3.2ポイント減少しています。

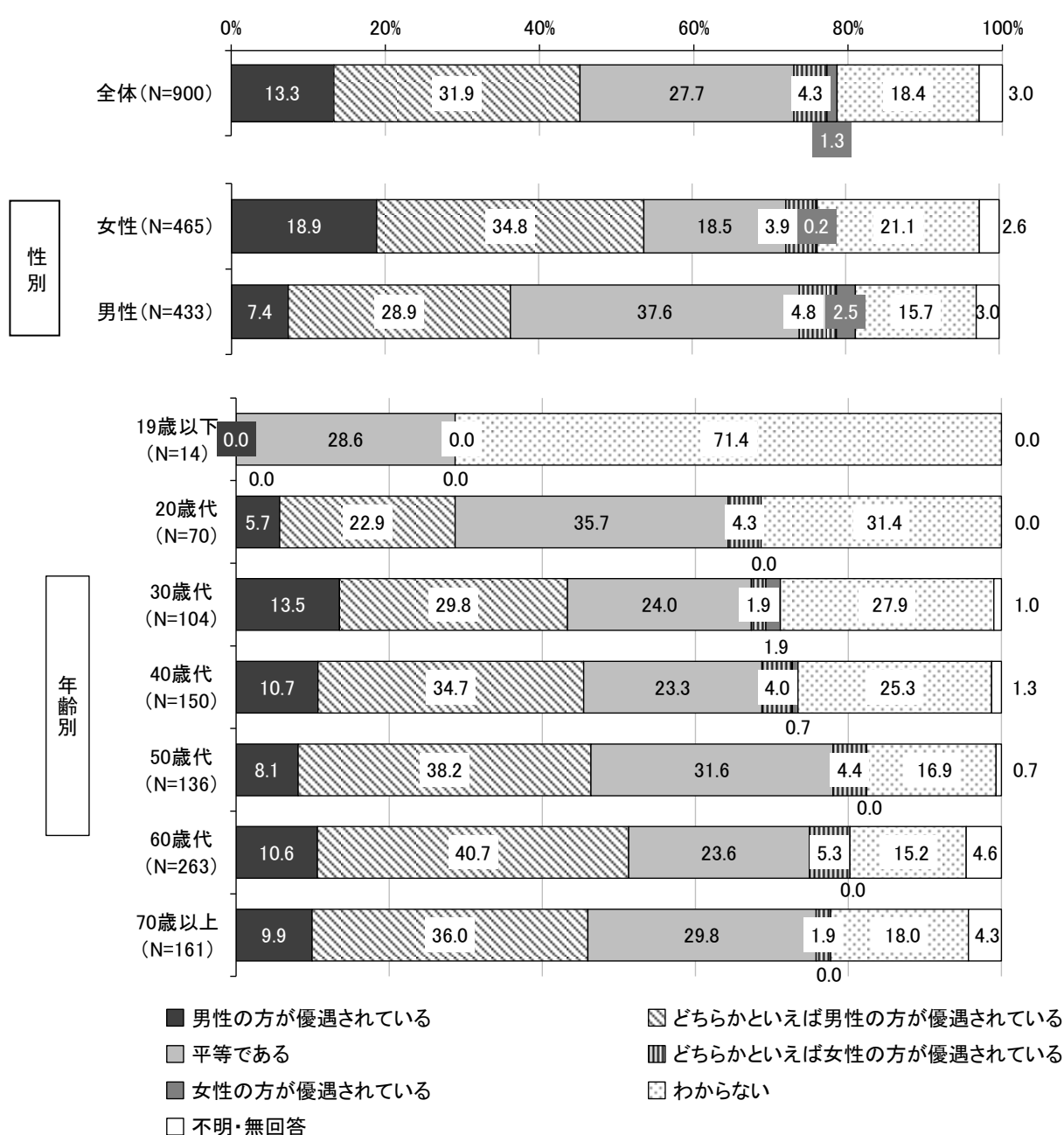


⑤ 法律や制度の上

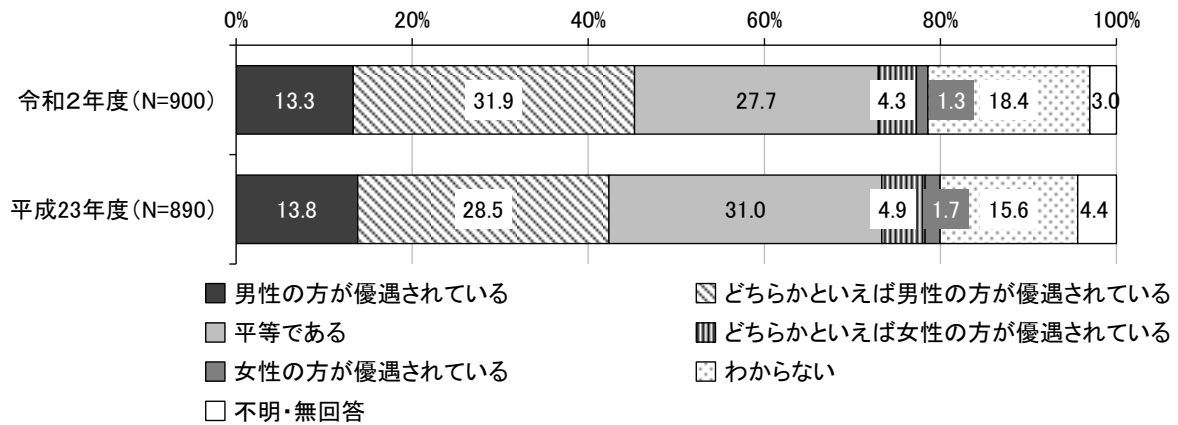
全体でみると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は31.9%と最も高く、次いで「平等である」が27.7%となっています。

性別でみると、女性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が34.8%と最も高く、次いで「わからない」が21.1%となっています。男性では「平等である」が37.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が28.9%となっています。

年齢別でみると、50歳代・60歳代では『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）が5割以上となっています。



平成 23 年度と令和 2 年度を比較すると、「平等である」が 3.3 ポイント減少しています。

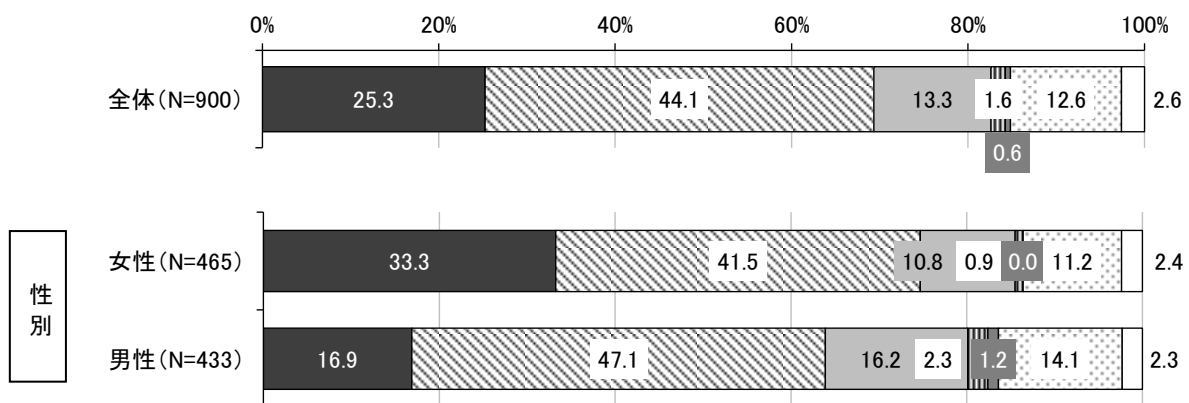


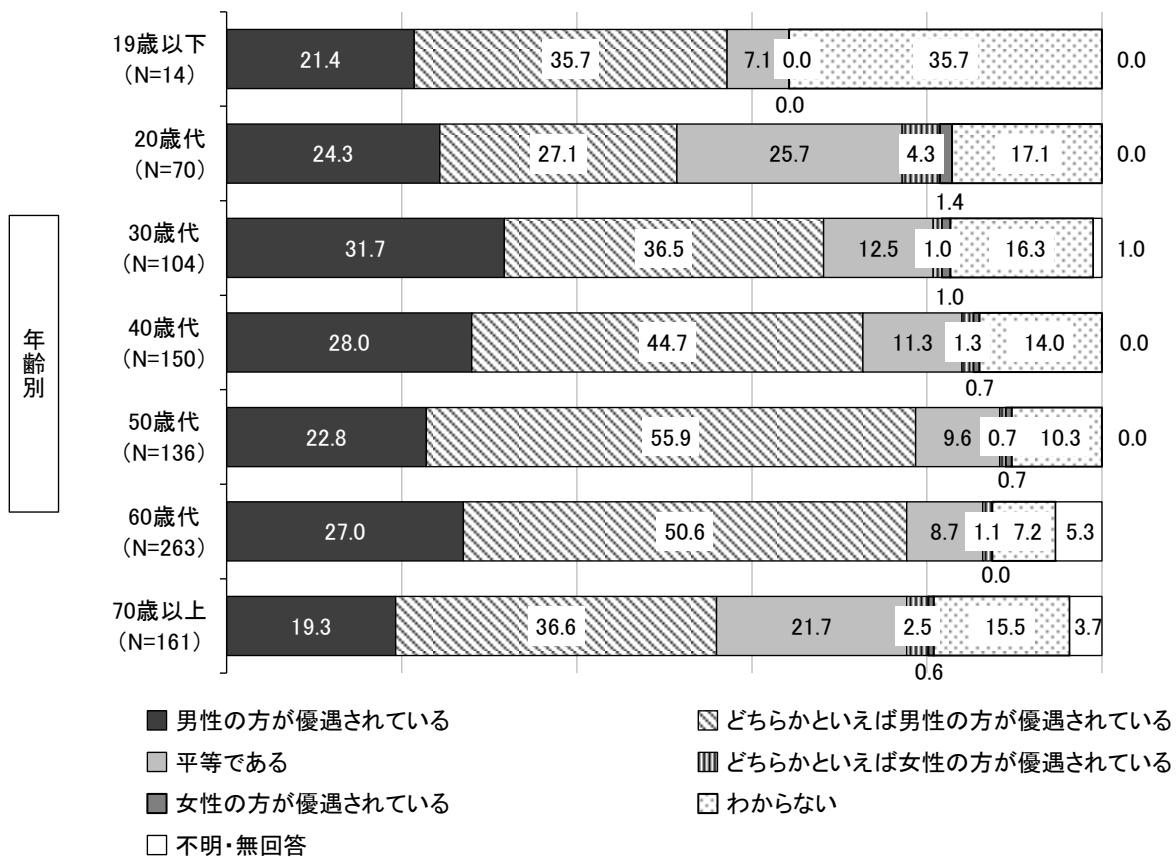
⑥ 社会通念・習慣・しきたり等

全体で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は 44.1% と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が 25.3% となっています。

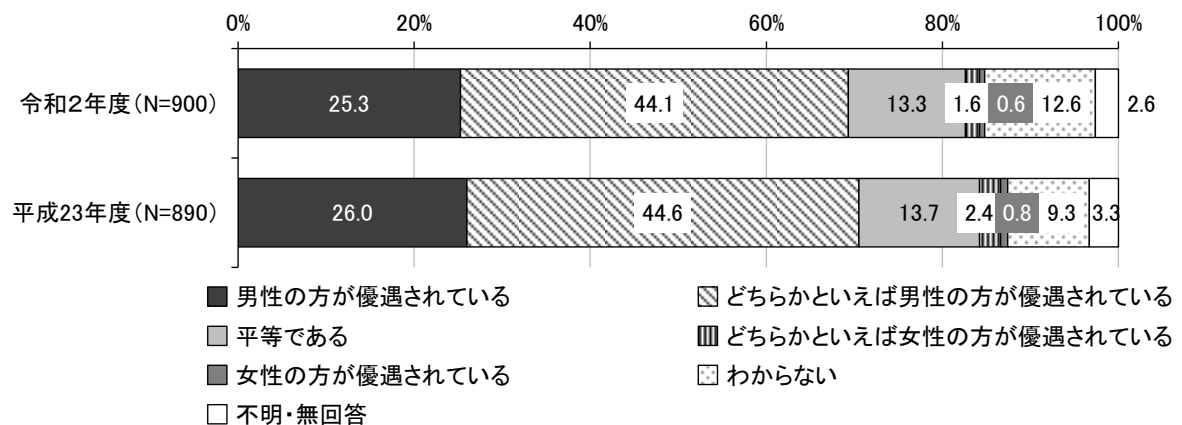
性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が高くなっています。

年齢別で見ると、『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）が 40 歳代から 60 歳代では 7 割台となっています。





平成23年度と令和2年度を比較すると、大きな差はみられません。

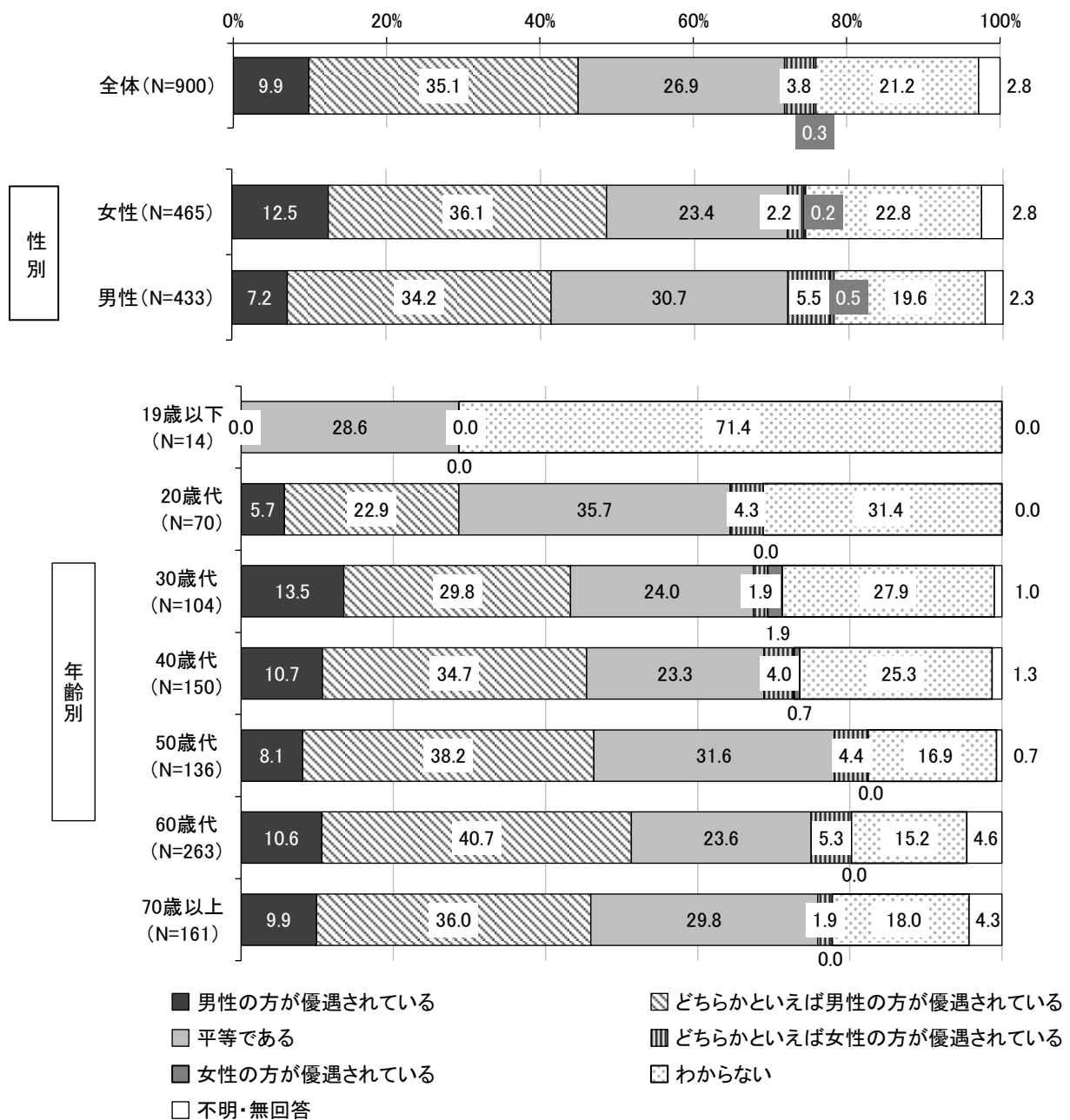


⑦ 自治会やNPO等の地域活動の場

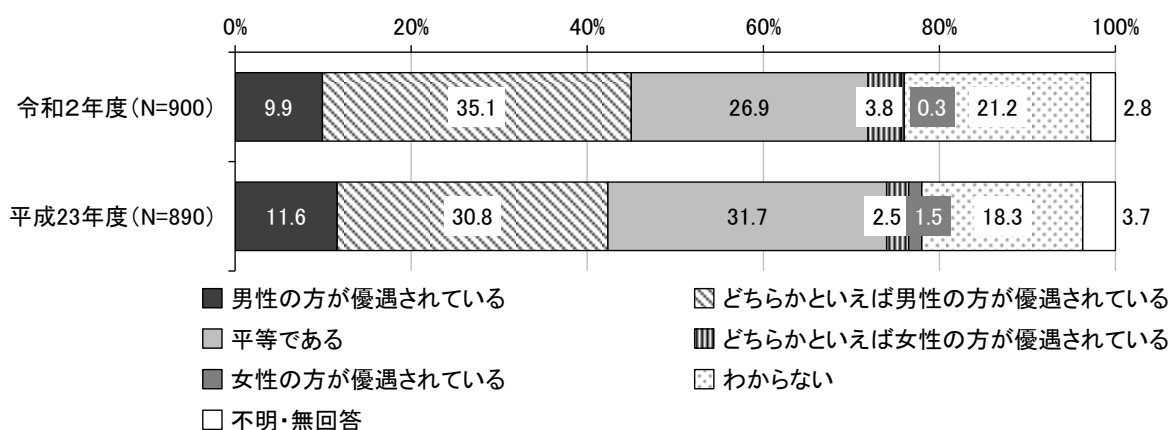
全体で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は35.1%と最も高く、次いで「平等である」が26.9%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高く、次いで「平等である」が高くなっています。

年齢別で見ると、「平等である」は20歳代・50歳代で3割台、その他の年代では2割台となっています。



平成 23 年度と令和 2 年度を比較すると、「平等である」が 4.8 ポイント減少しています。

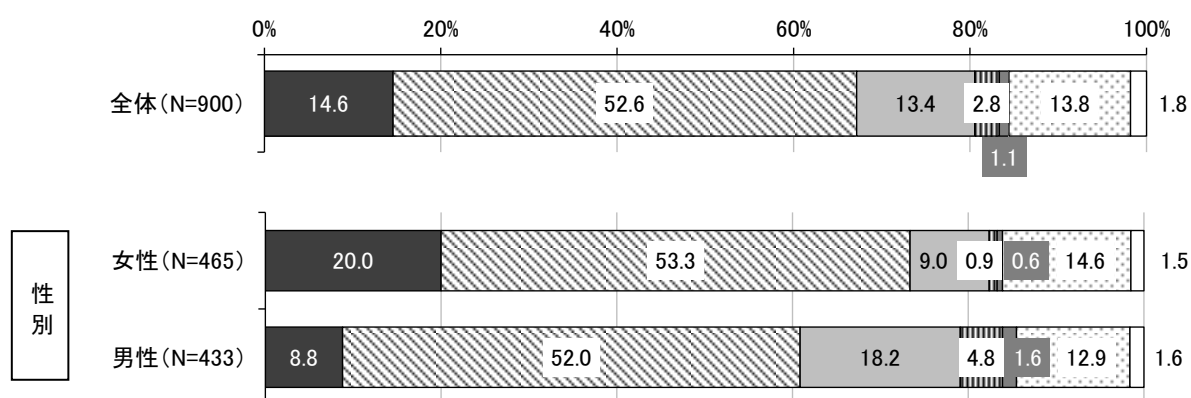


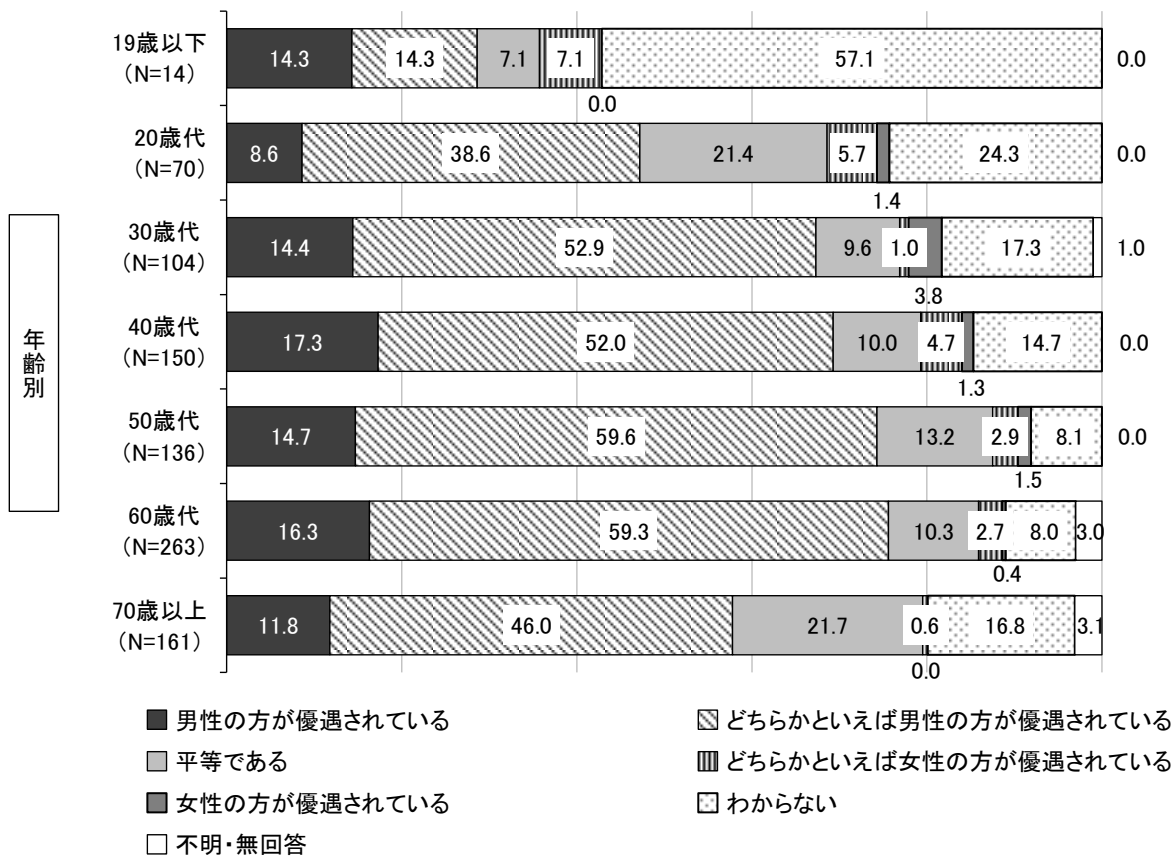
⑧ 社会全体として

全体で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は 52.6% と最も高く、次いで「男性の方が優遇されている」が 14.6% となっています。

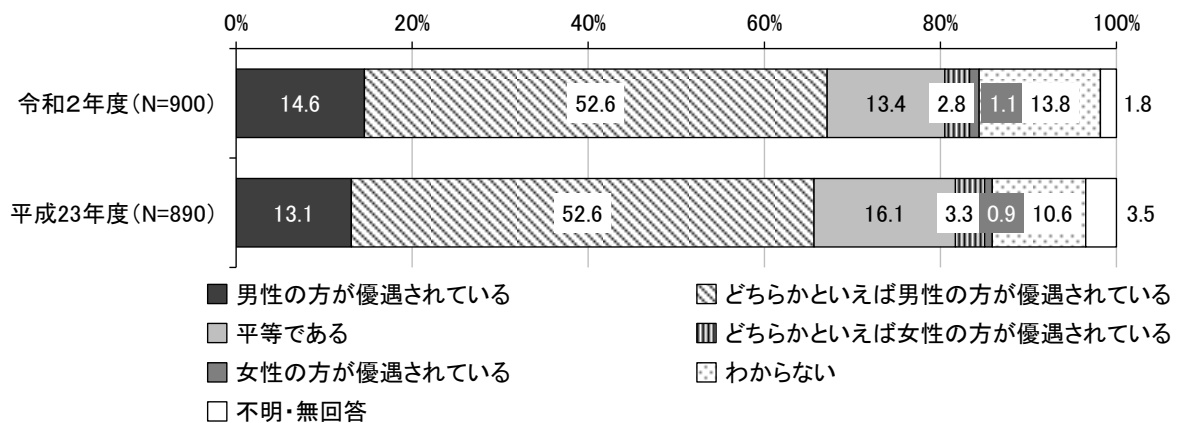
性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も高くなっています。次いで、女性では「男性の方が優遇されている」、男性では「平等である」が高くなっています。

年齢別で見ると、70 歳以上を除いて年代が上がるほど『男性が優遇されている』（「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせたもの）が高くなっています。





平成23年度と令和2年度を比較すると、大きな差はみられません。

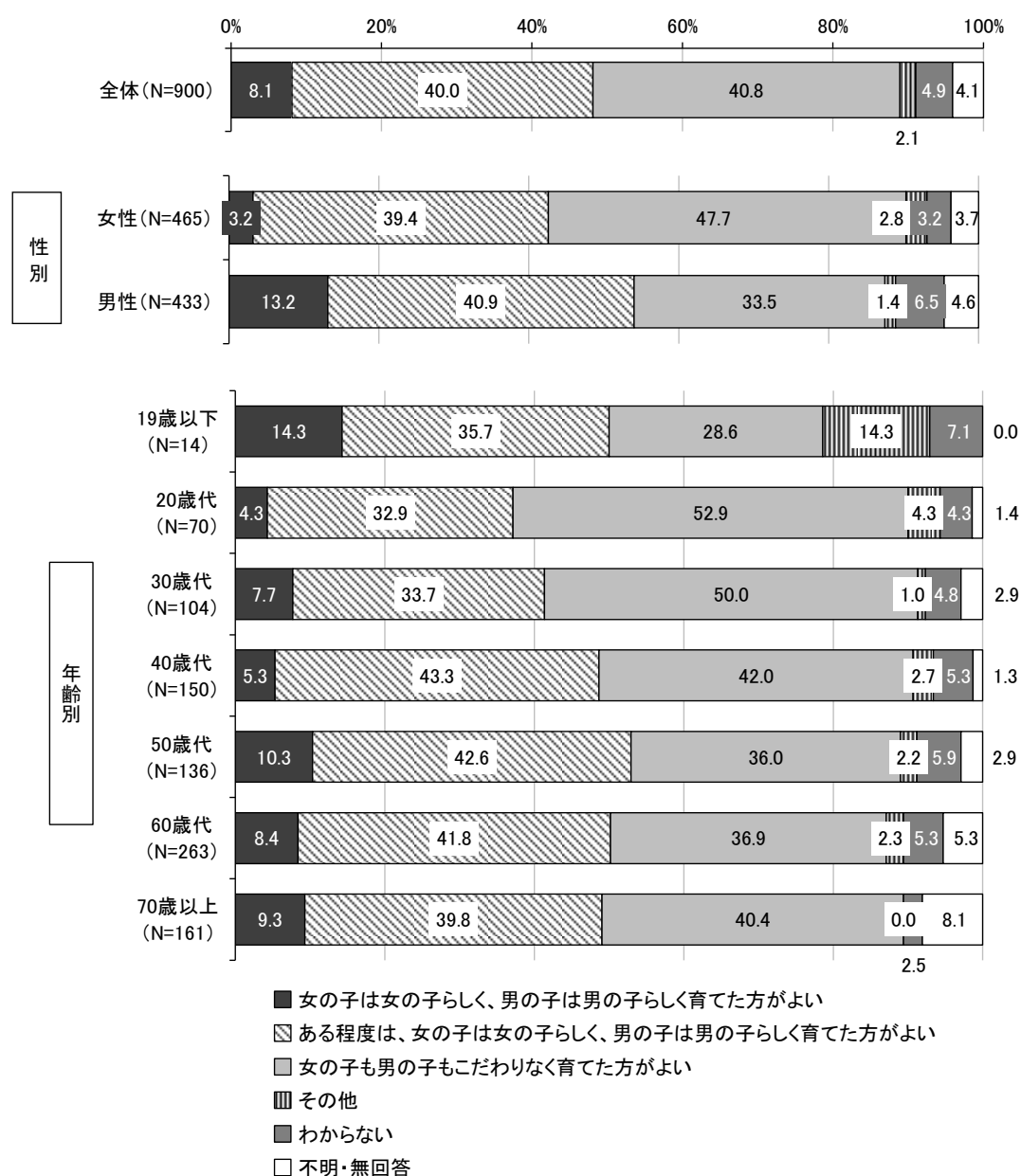


問 12 あなたは、子どもをどう育てていくべきだと思いますか。(○は1つ)

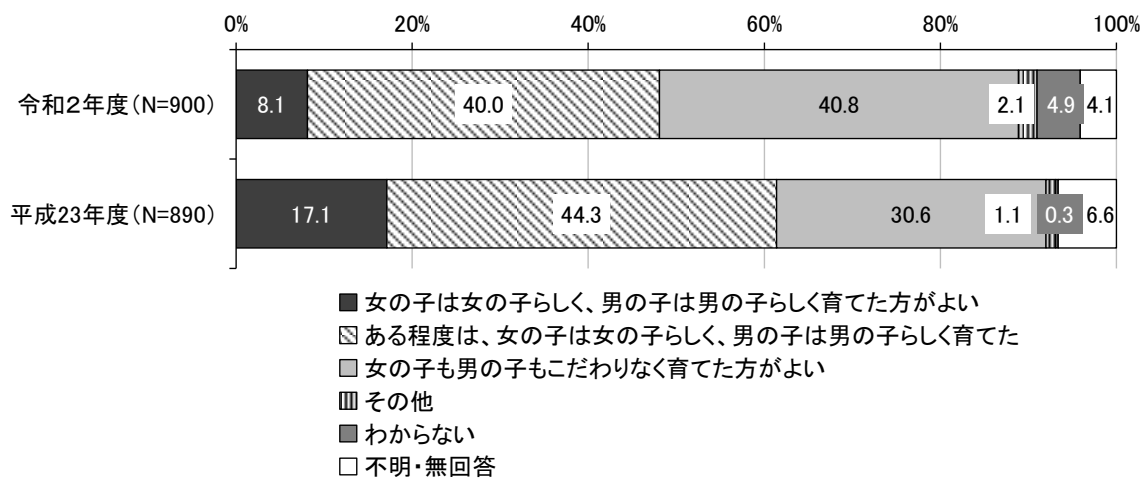
全体でみると、「女の子も男の子もこだわりなく育てた方がよい」が40.8%と最も高く、次いで「ある程度は、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい」が40.0%となっています。

性別でみると、女性では「女の子も男の子もこだわりなく育てた方がよい」が47.7%と最も高く、次いで「ある程度は、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい」が39.4%となっています。男性では「ある程度は、女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく育てた方がよい」が40.9%と最も高く、次いで「女の子も男の子もこだわりなく育てた方がよい」が33.5%となっています。

年齢別でみると、20・30歳代では「女の子も男の子もこだわりなく育てた方がよい」が5割台と他の年代と比べて高くなっています。



平成 23 年度と令和 2 年度を比較すると、「女の子も男の子もこだわりなく育てた方がよい」が 10.2 ポイント増加しています。



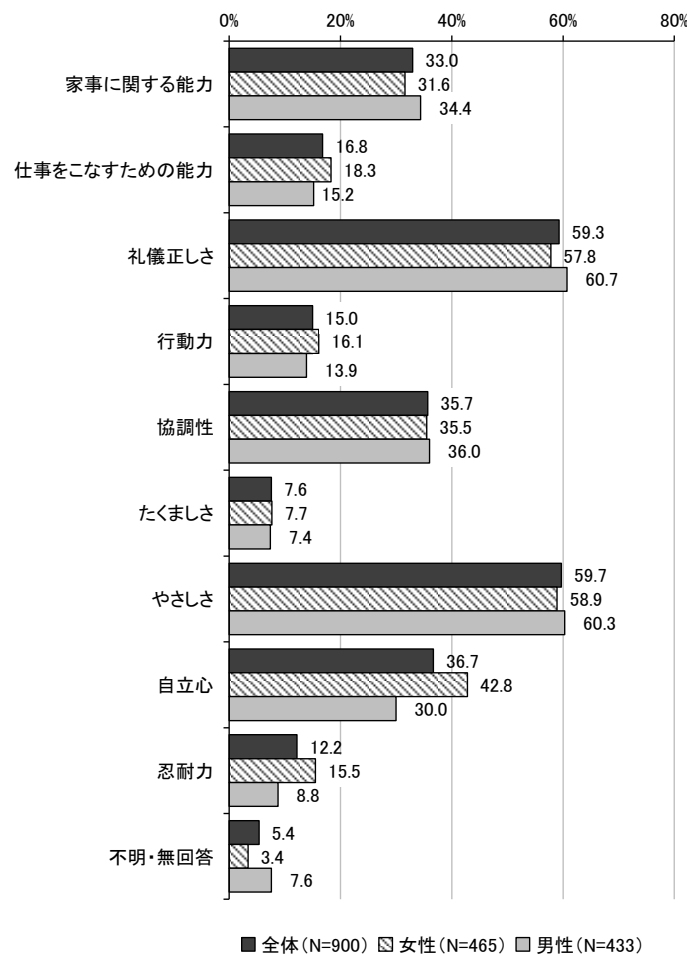
問 13 あなたは、子どもにどのようなことを身につけてほしいと思いますか。(○はそれぞれ3つまで)

① 女の子

全体でみると、「やさしさ」が59.7%と最も高く、次いで「礼儀正しさ」が59.3%となっています。

性別でみると、女性は「やさしさ」が58.9%と最も高く、次いで「礼儀正しさ」が57.8%となっています。男性は「礼儀正しさ」が60.7%と最も高く、次いで「やさしさ」が60.3%となっています。

年齢別でみると、19歳以下・40歳代から60歳代では「礼儀正しさ」、20歳代・30歳代・70歳以上では「やさしさ」が最も高くなっています。



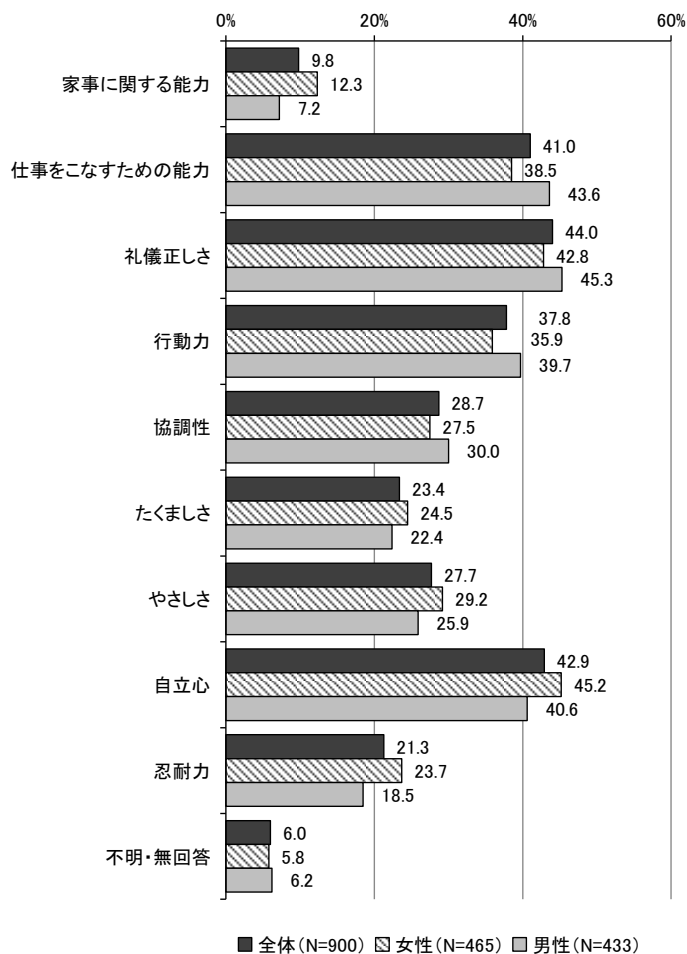
上段:件数 下段:%	合計	家事に関する能力	仕事をこなすための能力	礼儀正しさ	行動力	協調性	たくましさ	やさしさ	自立心	忍耐力	不明・無回答
全体	900 100.0	297 33.0	151 16.8	534 59.3	135 15.0	321 35.7	68 7.6	537 59.7	330 36.7	110 12.2	49 5.4
19歳以下	14 100.0	4 28.6	1 7.1	13 92.9	2 14.3	3 21.4	2 14.3	11 78.6	4 28.6	2 14.3	0 0.0
20歳代	70 100.0	20 28.6	13 18.6	41 58.6	15 21.4	24 34.3	7 10.0	42 60.0	33 47.1	7 10.0	3 4.3
30歳代	104 100.0	34 32.7	17 16.3	57 54.8	22 21.2	39 37.5	11 10.6	62 59.6	44 42.3	14 13.5	5 4.8
40歳代	150 100.0	43 28.7	24 16.0	89 59.3	24 16.0	57 38.0	15 10.0	87 58.0	63 42.0	20 13.3	9 6.0
50歳代	136 100.0	45 33.1	16 11.8	88 64.7	19 14.0	55 40.4	14 10.3	83.0 61.0	47 34.6	18 13.2	4 2.9
60歳代	263 100.0	88 33.5	58 22.1	153 58.2	36 13.7	94 35.7	15 5.7	152 57.8	91 34.6	32 12.2	15 5.7
70歳以上	161 100.0	62 38.5	22 13.7	91 56.5	17 10.6	49 30.4	4 2.5	98 60.9	47 29.2	17 10.6	13 8.1

② 男の子

全体で見ると、「礼儀正しさ」が44.0%と最も高く、次いで「自立心」が42.9%となっています。

性別で見ると、女性は「自立心」が45.2%と最も高く、次いで「礼儀正しさ」が42.8%となっています。男性は「礼儀正しさ」が45.3%と最も高く、次いで「仕事をこなすための能力」が43.6%となっています。

年齢別で見ると、60歳未満では「礼儀正しさ」、60歳代では「自立心」、70歳以上では「仕事をこなすための能力」が最も高くなっています。

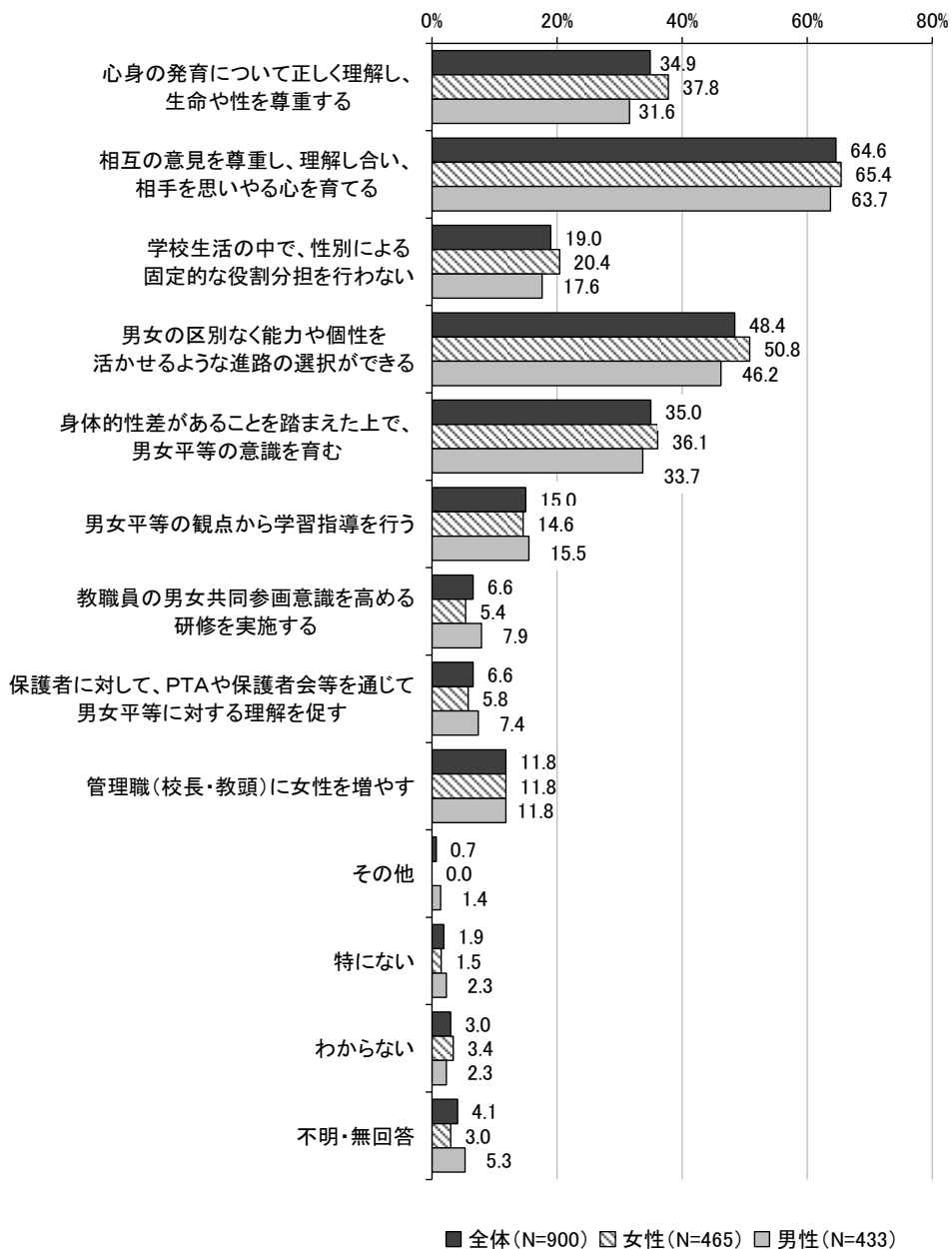


上段:件数 下段:%	合計	家事に関する能力	仕事をこなすための能力	礼儀正しさ	行動力	協調性	たくましさ	やさしさ	自立心	忍耐力	不明・無回答
全体	900 100.0	88 9.8	369 41.0	396 44.0	340 37.8	258 28.7	211 23.4	249 27.7	386 42.9	192 21.3	54 6.0
19歳以下	14 100.0	0 0.0	6 42.9	11 78.6	3 21.4	2 14.3	6 42.9	8 57.1	3 21.4	3 21.4	0 0.0
20歳代	70 100.0	11 15.7	23 32.9	39 55.7	30 42.9	23 32.9	15 21.4	32 45.7	27 38.6	12 17.1	2 2.9
30歳代	104 100.0	17 16.3	45 43.3	49 47.1	36 34.6	32 30.8	24 23.1	36 34.6	47 45.2	20 19.2	5 4.8
40歳代	150 100.0	14 9.3	55 36.7	70 46.7	53 35.3	46 30.7	30 20.0	49 32.7	65 43.3	34 22.7	11 7.3
50歳代	136 100.0	8 5.9	53 39.0	66 48.5	47 34.6	45 33.1	39 28.7	40 29.4	55 40.4	28 20.6	5 3.7
60歳代	263 100.0	29 11.0	114 43.3	102 38.8	103 39.2	71 27.0	60 22.8	64 24.3	119 45.2	55 20.9	17 6.5
70歳以上	161 100.0	9 5.6	72 44.7	58 36.0	67 41.6	39 24.2	37 23.0	19 11.8	70 43.5	38 23.6	14 8.7

問 14 学校教育の場で、男女平等を推進するためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体で見ると、「相互の意見を尊重し、理解し合い、相手を思いやる心を育てる」が64.6%と最も高く、次いで「男女の区別なく能力や個性を活かせるような進路の選択ができる」が48.4%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「相互の意見を尊重し、理解し合い、相手を思いやる心を育てる」が最も高く、次いで「男女の区別なく能力や個性を活かせるような進路の選択ができる」が高くなっています。



地域・社会活動について

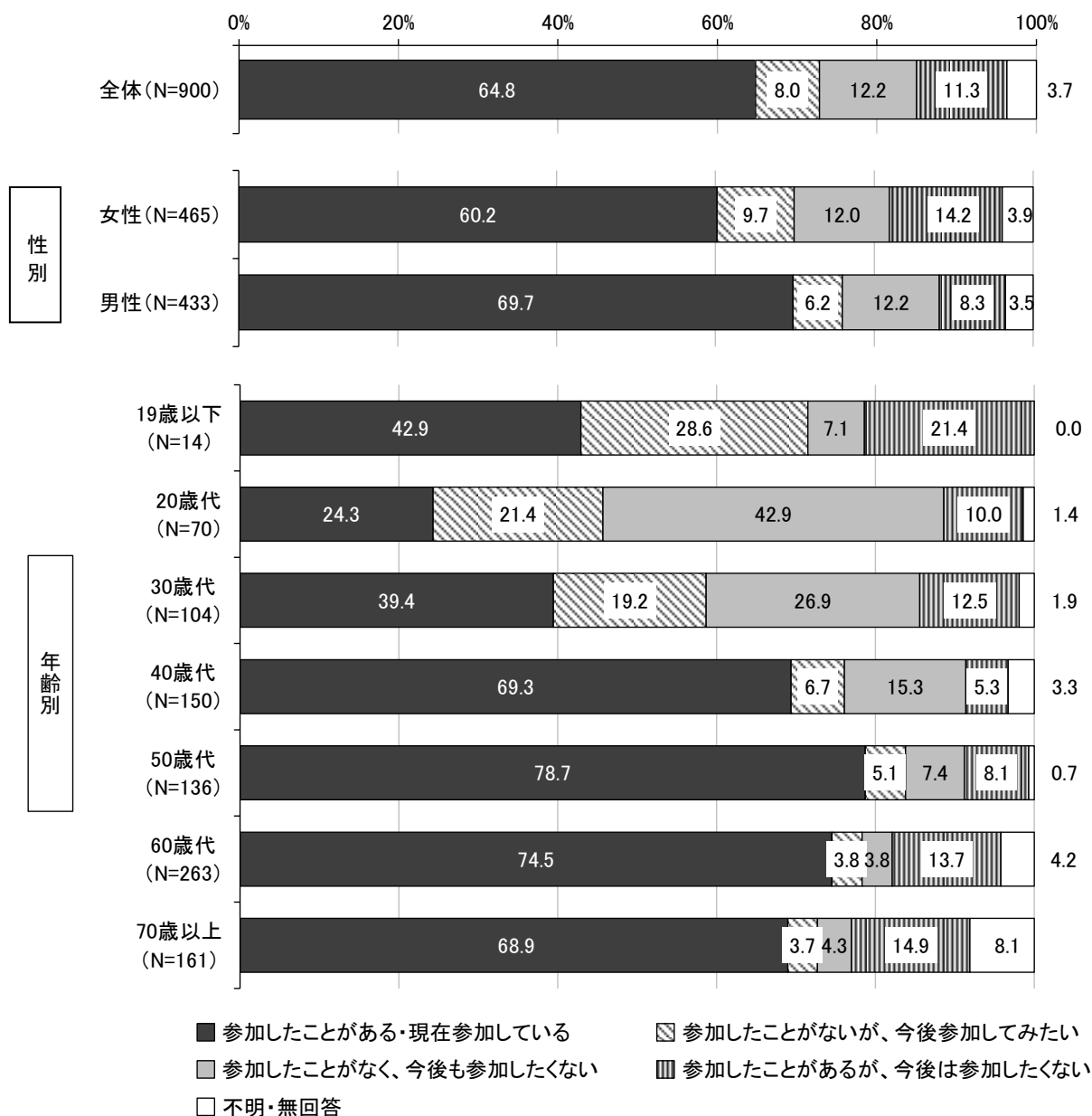
問 16 あなたは地域のための活動（実践的活動）に参加したことがありますか。（○はそれぞれ1つ）

① 自治会や町内会の活動

全体で見ると、「参加したことがある・現在参加している」が64.8%と最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も参加したくない」が12.2%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「参加したことがある・現在参加している」が最も高くなっています。次いで、女性では「参加したことがあるが、今後は参加したくない」、男性では「参加したことがなく、今後も参加したくない」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代・30歳代では「参加したことがなく、今後も参加したくない」が他の年代と比べて高くなっています。

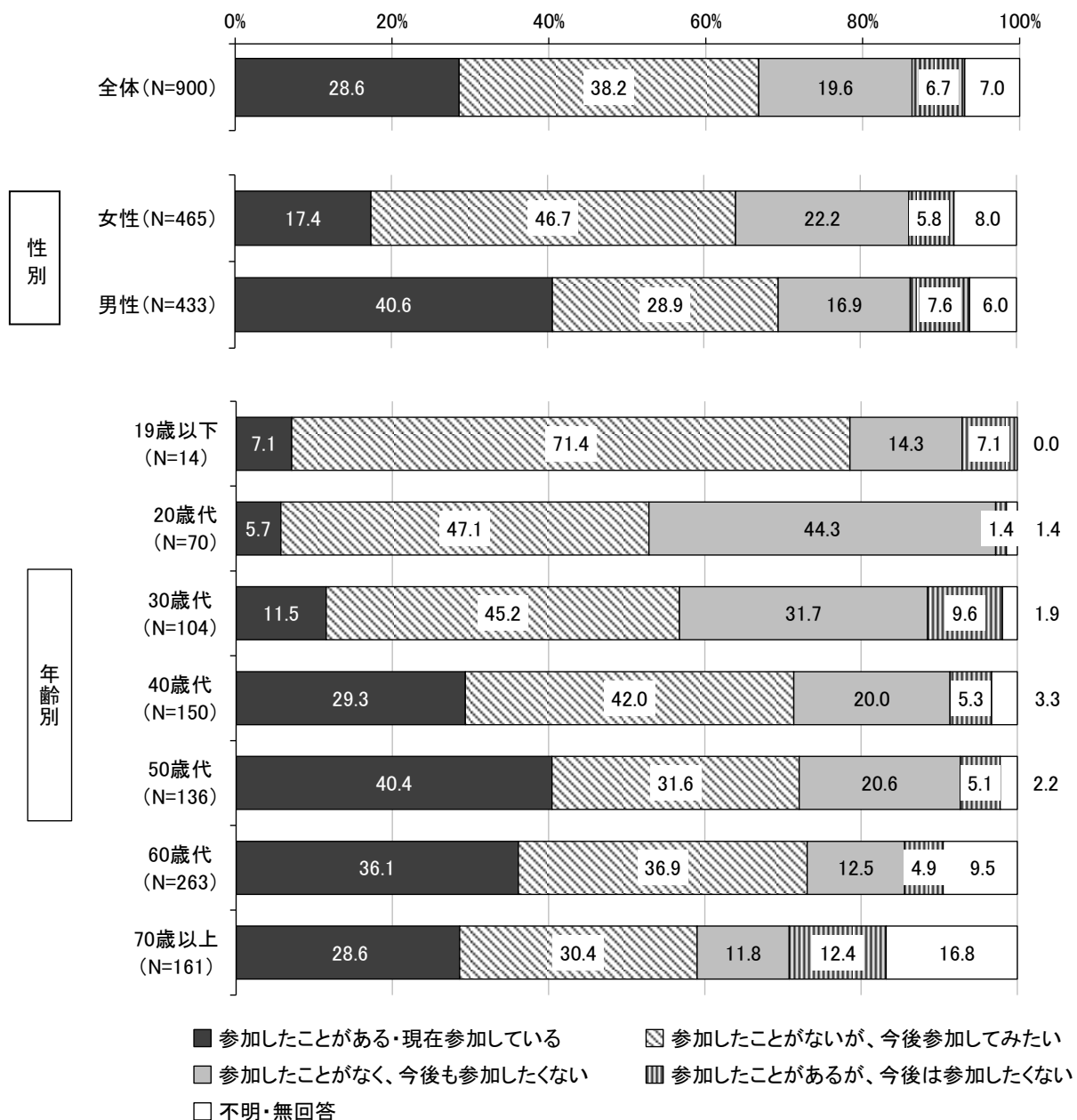


② 自主防災活動や災害援助活動

全体でみると、「参加したことがないが、今後参加してみたい」が38.2%と最も高く、次いで「参加したことがある・現在参加している」が28.6%となっています。

性別でみると、女性は「参加したことがないが、今後参加してみたい」が46.7%と最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も参加したくない」が22.2%となっています。男性は「参加したことがある・現在参加している」が40.6%と最も高く、次いで「参加したことがないが、今後参加してみたい」が28.9%となっています。

年齢別でみると、40歳未満では「参加したことがある・現在参加している」が他の年代と比べて低くなっています。

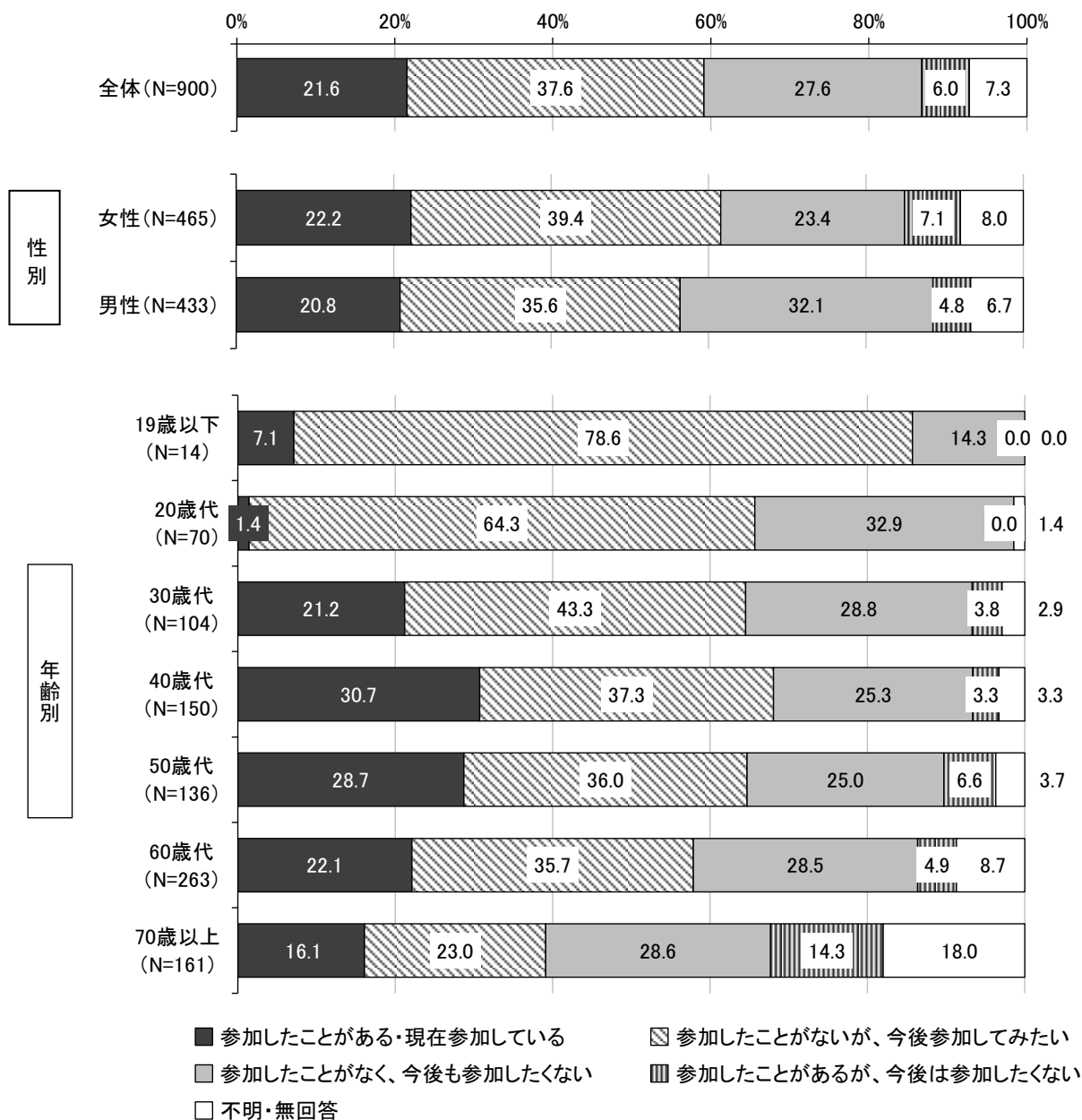


③ 子育て支援に関する活動

全体でみると、「参加したことがないが、今後参加してみたい」が37.6%と最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も参加したくない」が27.6%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「参加したことがないが、今後参加してみたい」が最も高く、次いで「参加したことがなく、今後も参加したくない」が高くなっています。

年齢別でみると、30歳未満では「参加したことがないが、今後参加してみたい」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

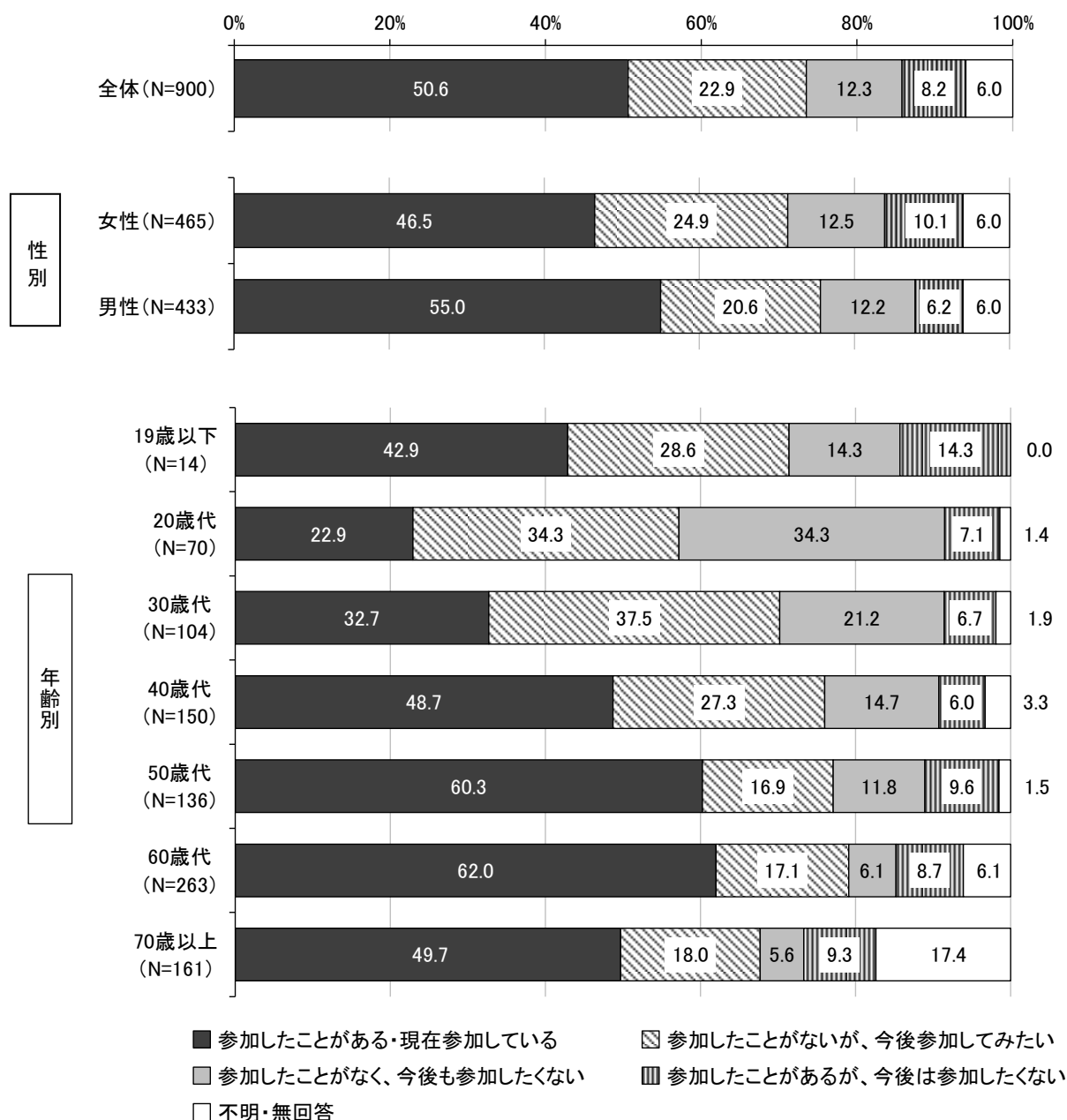


④ 地域の美化・環境保護に関する活動

全体で見ると、「参加したことがある・現在参加している」が50.6%と最も高く、次いで「参加したことがないが、今後参加してみたい」が22.9%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「参加したことがある・現在参加している」が最も高く、次いで「参加したことがないが、今後参加してみたい」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代から60歳代で年代が上がるにつれて「参加したことがある・現在参加している」が高くなっています。



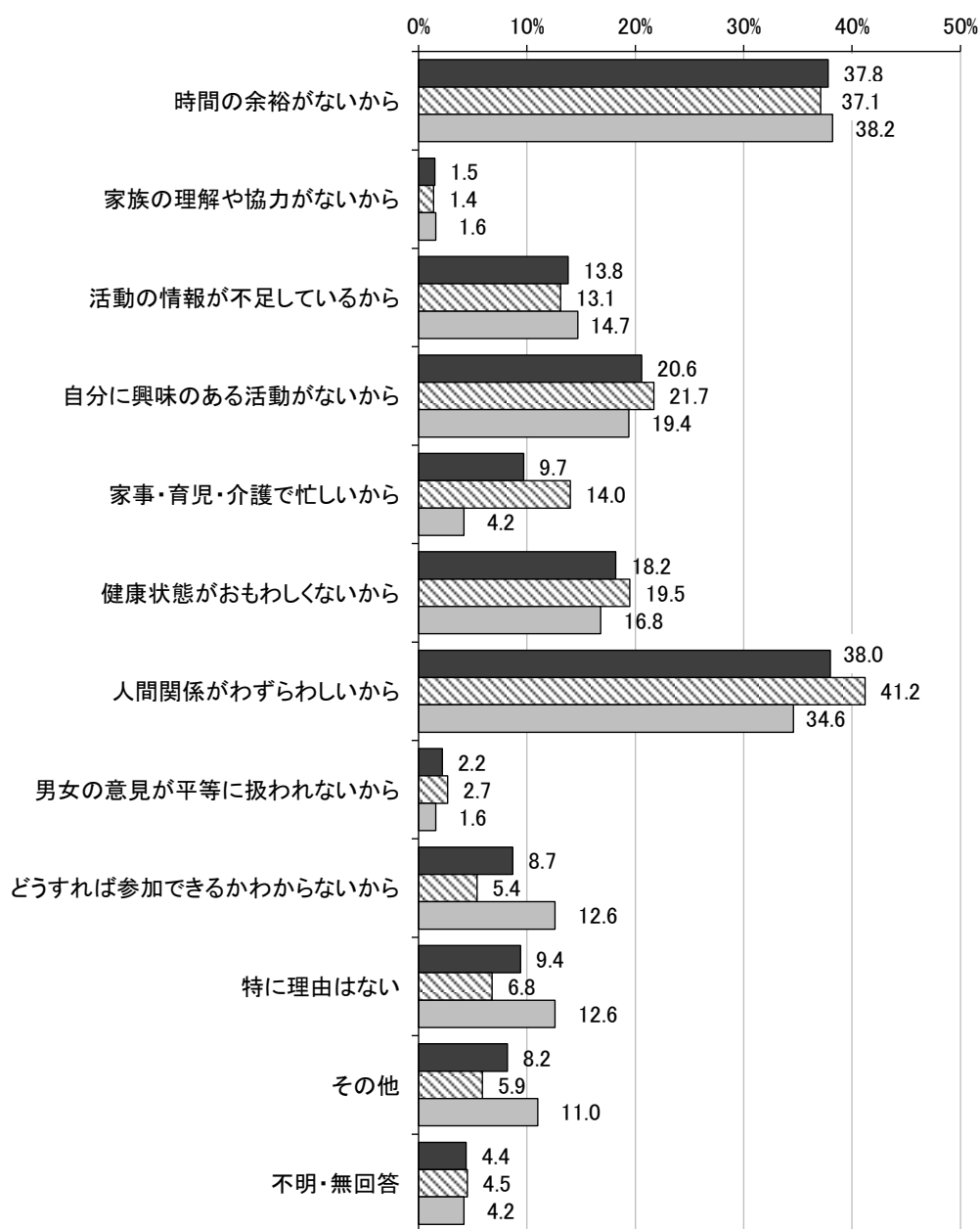
※問 16 の参加状況の①～④のいずれかで「3. 参加したことがなく、今後も参加したくない」「4. 参加したことがあるが、今後は参加したくない」を回答した方

問 17 あなたが参加したことがない・参加したくない理由に近いものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体でみると、「人間関係がわずらわしいから」が 38.0%と最も高く、次いで「時間の余裕がないから」が 37.8%となっています。

性別でみると、女性は「人間関係がわずらわしいから」が 41.2%と最も高く、次いで「時間の余裕がないから」が 37.1%となっています。男性は「時間の余裕がないから」が 38.2%と最も高く、次いで「人間関係がわずらわしいから」が 34.6%となっています。

年齢別でみると、20 歳代から 50 歳代では「時間の余裕がないから」、60 歳代・70 歳以上では「健康状態がおもわしくないから」の割合が他の年代と比べて高くなっています。



■ 全体 (N=413) ▨ 女性 (N=221) □ 男性 (N=191)

上段:件数 下段:%	合計	時間の余裕が ないから	家族の理解や 協力がいないか ら	活動の情報が 不足している から	自分に興味 ある活動がな いから	家事・育児・介 護で忙しいか ら	健康状態がお もわしくないか ら	人間関係がわ ずらわしいか ら	男女の意見が 平等に扱われ ないから	どうすれば参 加できるかわ からないから	特に理由はな い	その他	不明・無回答
全体	413 100.0	156 37.8	6 1.5	57 13.8	85 20.6	40 9.7	75 18.2	157 38.0	9 2.2	36 8.7	39 9.4	34 8.2	18 4.4
19歳以下	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
20歳代	45 100.0	24 53.3	1 2.2	13 28.9	15 33.3	4 8.9	2 4.4	19 42.2	1 2.2	4 8.9	2 4.4	0 0.0	2 4.4
30歳代	56 100.0	32 57.1	3 5.4	13 23.2	17 30.4	11 19.6	4 7.1	33 58.9	3 5.4	5 8.9	2 3.6	2 3.6	2 3.6
40歳代	64 100.0	31 48.4	0 0.0	13 20.3	13 20.3	8 12.5	1 1.6	23 35.9	0 0.0	10 15.6	9 14.1	3 4.7	1 1.6
50歳代	59 100.0	27 45.8	1 1.7	7 11.9	11 18.6	6 10.2	8 13.6	21 35.6	2 3.4	8 13.6	4 6.8	6 10.2	2 3.4
60歳代	105 100.0	27 25.7	1 1.0	7 6.7	17 16.2	6 5.7	32 30.5	39 37.1	2 1.9	5 4.8	13 12.4	11 10.5	4 3.8
70歳以上	78 100.0	13 16.7	0 0.0	4 5.1	10 12.8	4 5.1	28 35.9	21 26.9	1 1.3	4 5.1	9 11.5	12 15.4	6 7.7

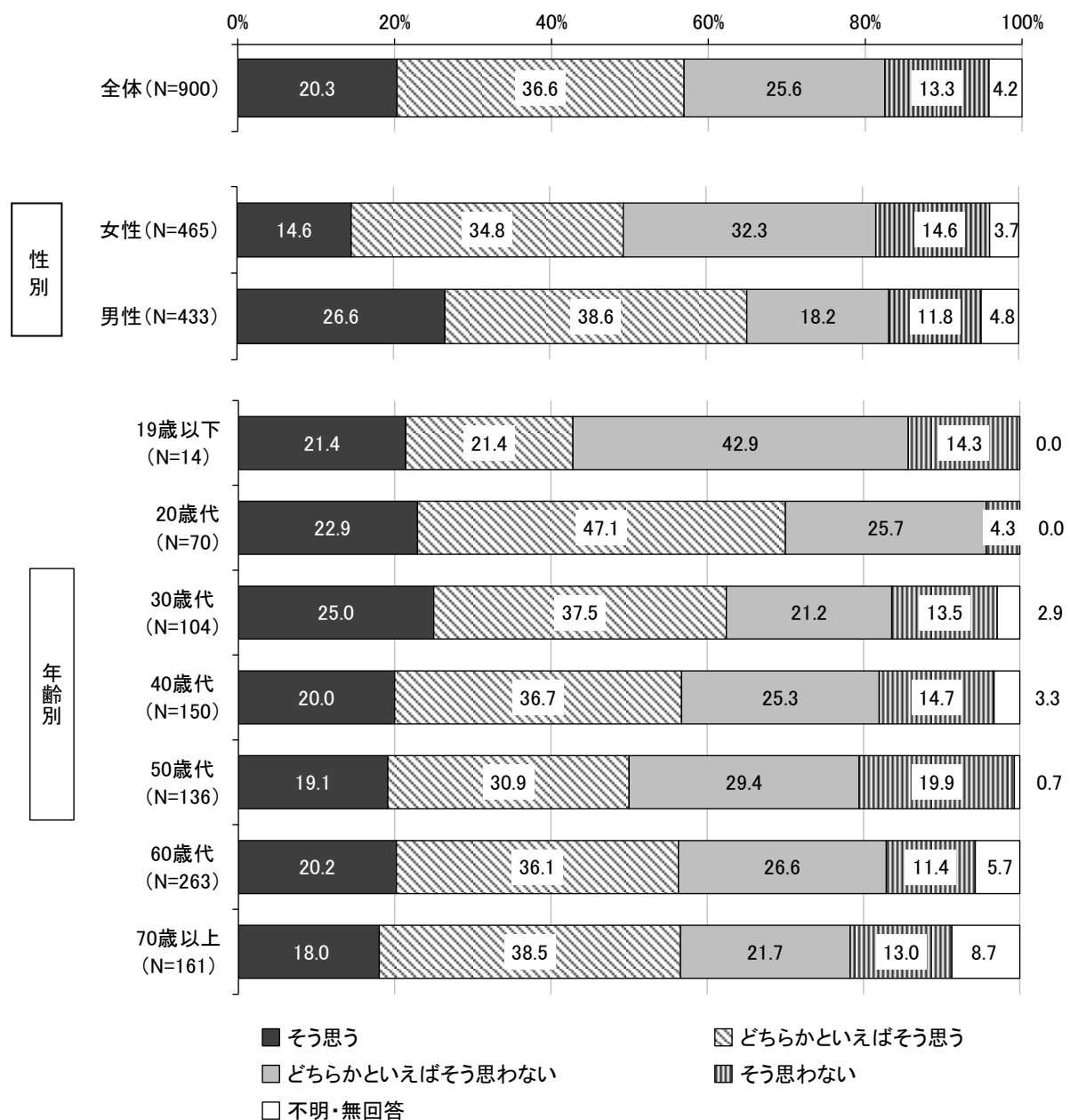
問 18 地域・社会活動を行う上で、あなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

① 自治会等で男性が主導し、女性がサポートするなどのように、役割が分かれていることはおかしい

全体でみると、「どちらかといえばそう思う」が36.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.6%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。次いで、女性では「どちらかといえばそう思わない」、男性では「そう思う」が高くなっています。

年齢別でみると、20歳代から50歳代では年代が上がるほど『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）が低くなっています。

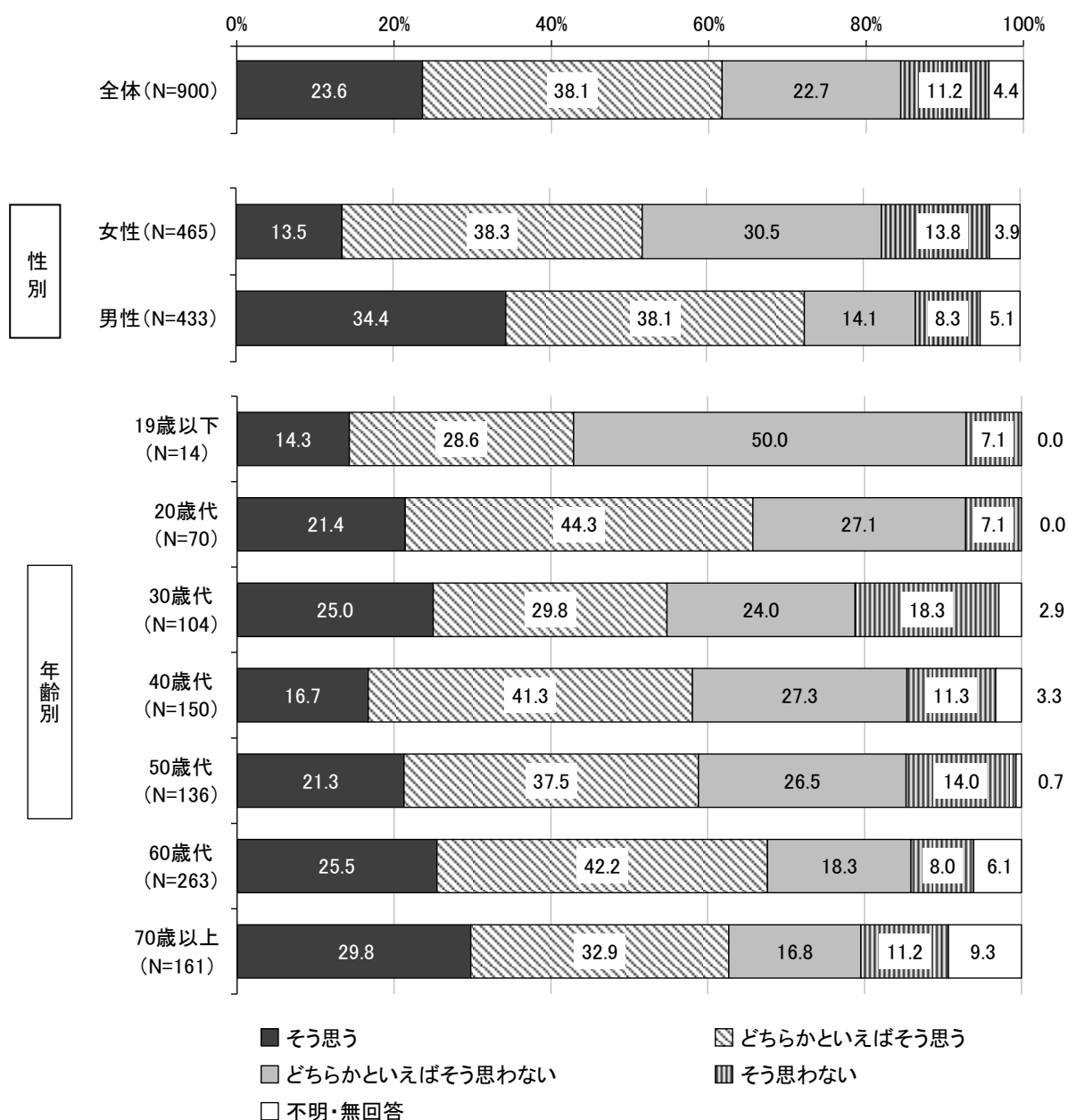


② 自治会等の地域活動の役員にもっと女性が増えた方がよいと思う

全体で見ると、「どちらかといえばそう思う」が 38.1%と最も高く、次いで「そう思う」が 23.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高くなっています。次いで、女性では「どちらかといえばそう思わない」、男性では「そう思う」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳代から60歳代では年代が上がるほど『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）が高くなっています。

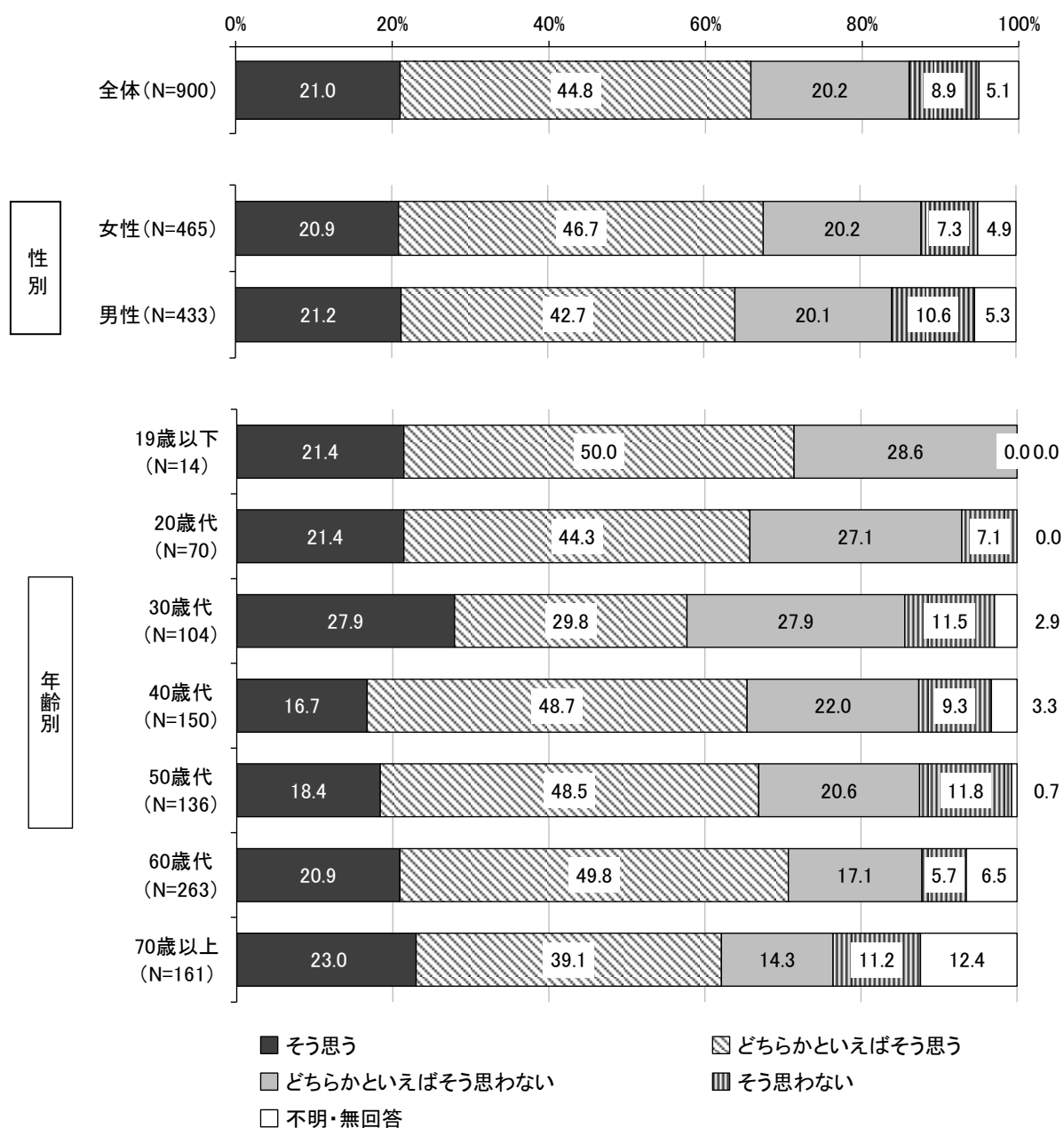


③ 子ども会・保育園・こども園等の役員にもっと男性が増えた方がよいと思う

全体で見ると、「どちらかといえばそう思う」が44.8%と最も高く、次いで「そう思う」が21.0%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高く、次いで「そう思う」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳代から60歳代では年代が上がるほど『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）が高くなっています。

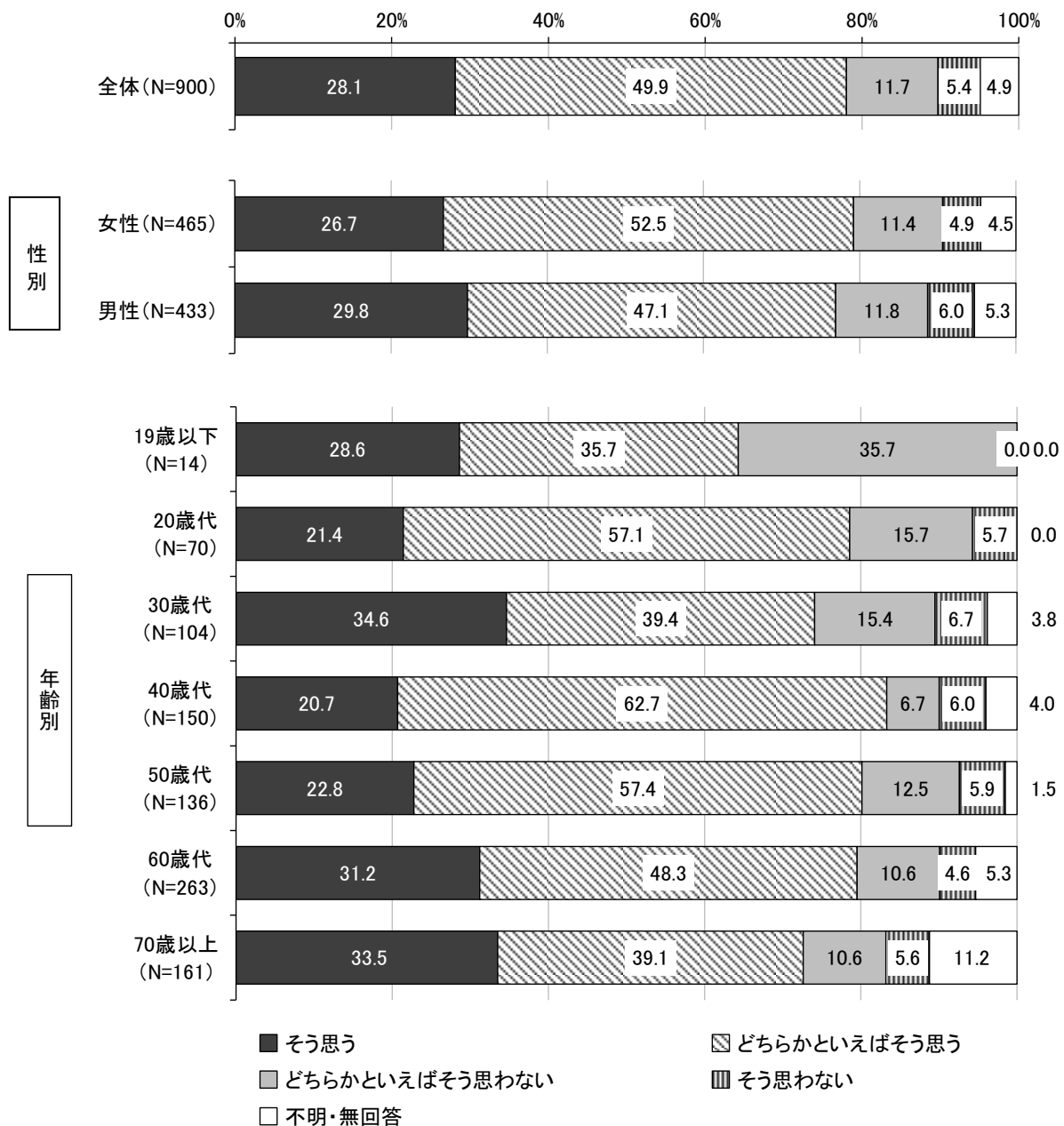


④ 市の審議会等に女性の委員が増えた方がよいと思う

全体でみると、「どちらかといえばそう思う」が 49.9%と最も高く、次いで「そう思う」が 28.1%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「どちらかといえばそう思う」が最も高く、次いで「そう思う」が高くなっています。

年齢別でみると、40歳代・50歳代では『そう思う』（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたもの）が8割台となっています。

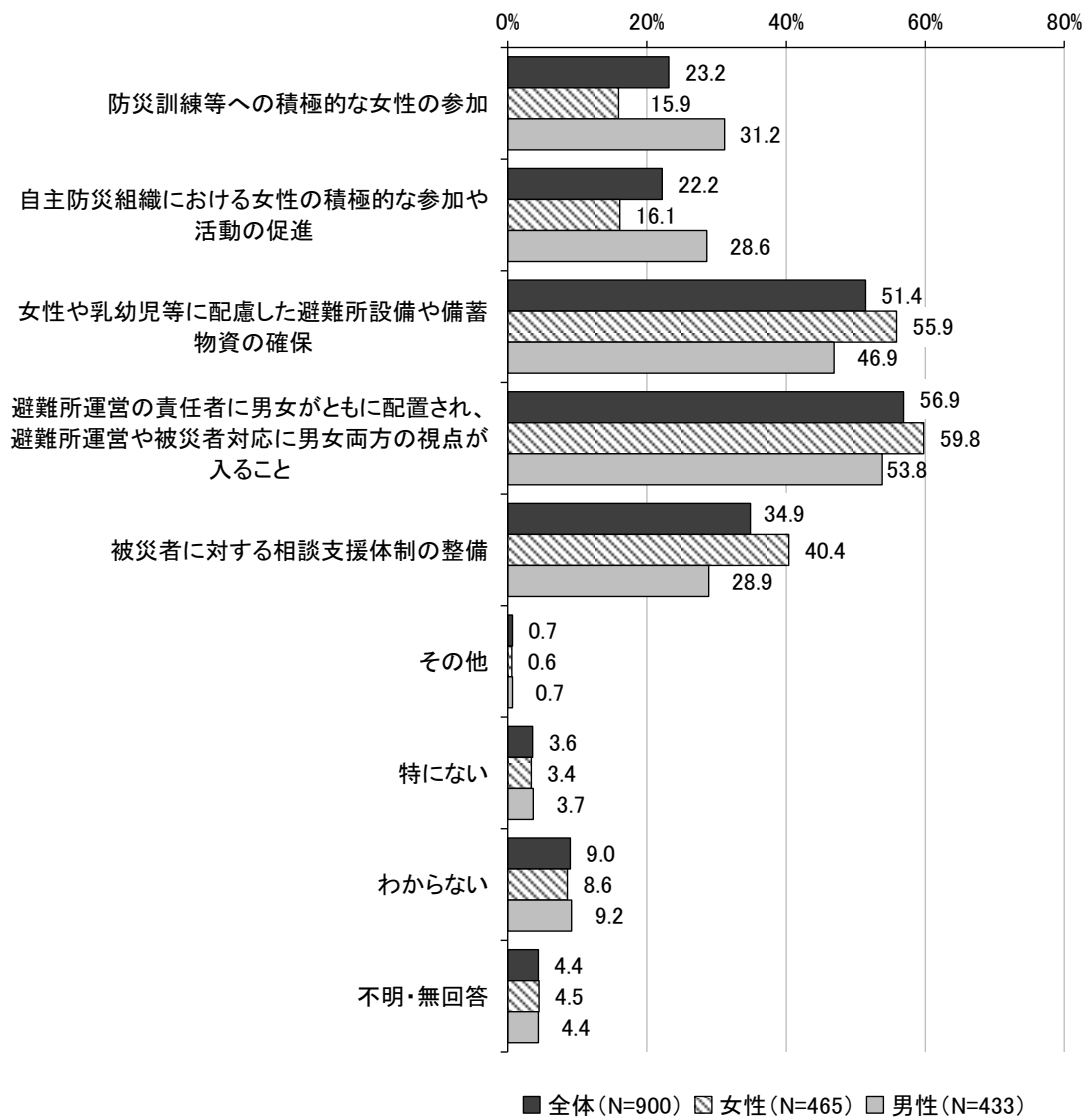


問 19 防災・災害復興対策において、男女共同参画の視点から何が重要だと思いますか。
(○は3つまで)

全体で見ると、「避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」が56.9%と最も高く、次いで「女性や乳幼児等に配慮した避難所設備や備蓄物資の確保」が51.4%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」が最も高く、次いで「女性や乳幼児等に配慮した避難所設備や備蓄物資の確保」が高くなっています。

年齢別で見ると、40歳未満では「女性や乳幼児等に配慮した避難所設備や備蓄物資の確保」、40歳以上では「避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること」が最も高くなっています。



上段:件数 下段:%	合計	防災訓練等への積極的な女性の参加	自主防災組織における女性の積極的な参加や活動の促進	女性や乳幼児等に配慮した避難所設備や備蓄物資の確保	避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること	被災者に対する相談支援体制の整備	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体	900 100.0	209 23.2	200 22.2	463 51.4	512 56.9	314 34.9	6 0.7	32 3.6	81 9.0	40 4.4
19歳以下	14 100.0	2 14.3	1 7.1	9 64.3	7 50.0	3 21.4	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0
20歳代	70 100.0	11 15.7	7 10.0	40 57.1	37 52.9	16 22.9	1 1.4	3 4.3	9 12.9	0 0.0
30歳代	104 100.0	20 19.2	18 17.3	68 65.4	56 53.8	32 30.8	1 1.0	3 2.9	10 9.6	0 0.0
40歳代	150 100.0	24 16.0	32 21.3	86 57.3	97 64.7	58 38.7	2 1.3	3 2.0	14 9.3	4 2.7
50歳代	136 100.0	31 22.8	33 24.3	70 51.5	78 57.4	41 30.1	0 0.0	3 2.2	15 11.0	6 4.4
60歳代	263 100.0	74 28.1	67 25.5	129 49.0	162 61.6	98 37.3	0 0.0	9 3.4	15 5.7	21 8.0
70歳以上	161 100.0	47 29.2	41 25.5	61 37.9	74 46.0	65 40.4	2 1.2	11 6.8	14 8.7	9 5.6

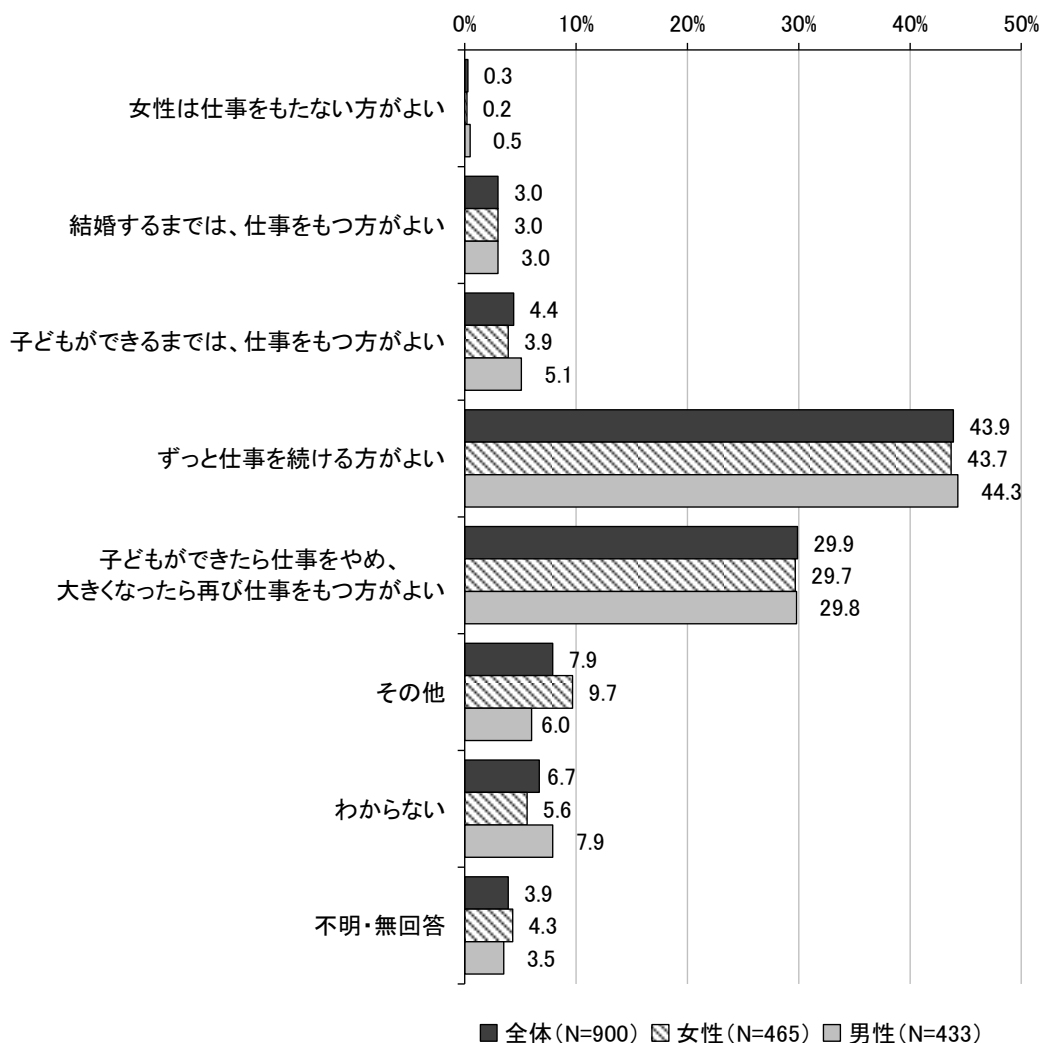
就労・働き方について

問 21 あなたは、一般的に女性が仕事をもつことについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

全体でみると、「ずっと仕事を続ける方がよい」が43.9%と最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が29.9%となっています。

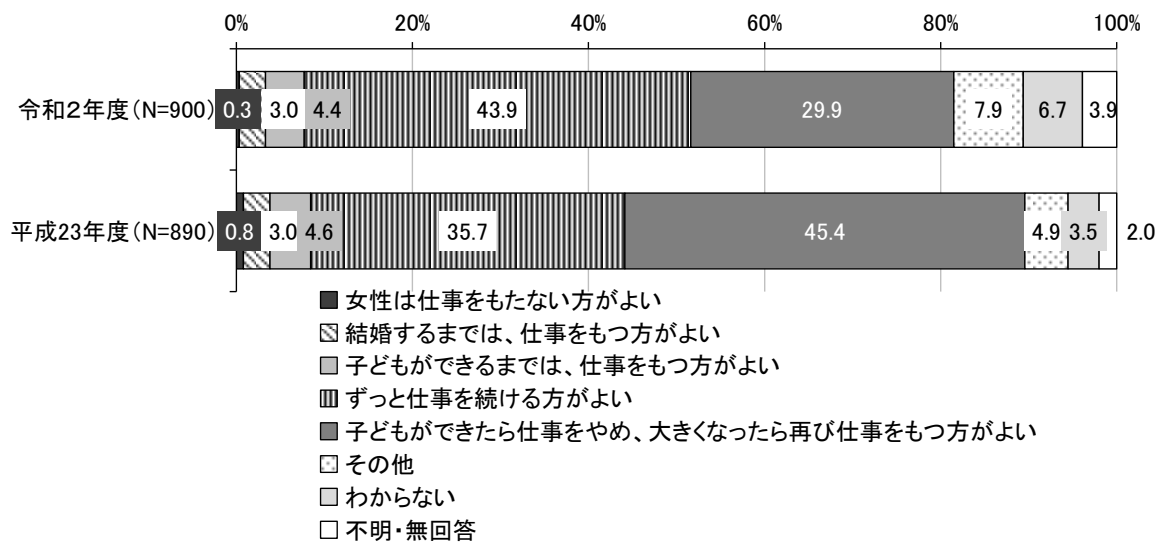
性別でみると、女性・男性ともに「ずっと仕事を続ける方がよい」が最も高く、次いで「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が高くなっています。

年齢別でみると、70歳未満では「ずっと仕事を続ける方がよい」、70歳以上では「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が最も高くなっています。



上段:件数 下段:%	合計	女性は仕事を もたない方が よい	結婚するまで は、仕事を もつ方がよい	子どもが できるまで は、仕事を もつ方が よい	ずっと 仕事を 続ける 方が よい	子どもが できたら 仕事を やめ、 大き なっ たら 再び 仕事 を も つ 方 が よ い	その他	わからない	不明・無回答
全体	900 100.0	3 0.3	27 3.0	40 4.4	395 43.9	269 29.9	71 7.9	60 6.7	35 3.9
19歳以下	14 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 57.1	0 0.0	3 21.4	3 21.4	0 0.0
20歳代	70 100.0	0 0.0	1 1.4	2 2.9	36 51.4	13 18.6	12 17.1	6 8.6	0 0.0
30歳代	104 100.0	0 0.0	2 1.9	5 4.8	47 45.2	25 24.0	15 14.4	10 9.6	0 0.0
40歳代	150 100.0	0 0.0	2 1.3	8 5.3	69 46.0	42 28.0	14 9.3	11 7.3	4 2.7
50歳代	136 100.0	1 0.7	4 2.9	7 5.1	60 44.1	36 26.5	11 8.1	10 7.4	7 5.1
60歳代	263 100.0	2 0.8	6 2.3	6 2.3	119 45.2	90 34.2	13 4.9	11 4.2	16 6.1
70歳以上	161 100.0	0 0.0	12 7.5	12 7.5	56 34.8	61 37.9	3 1.9	9 5.6	8 5.0

平成23年度と令和2年度を比較すると、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が15.5ポイント減少し、「ずっと仕事を続ける方がよい」が8.2ポイント増加しています。



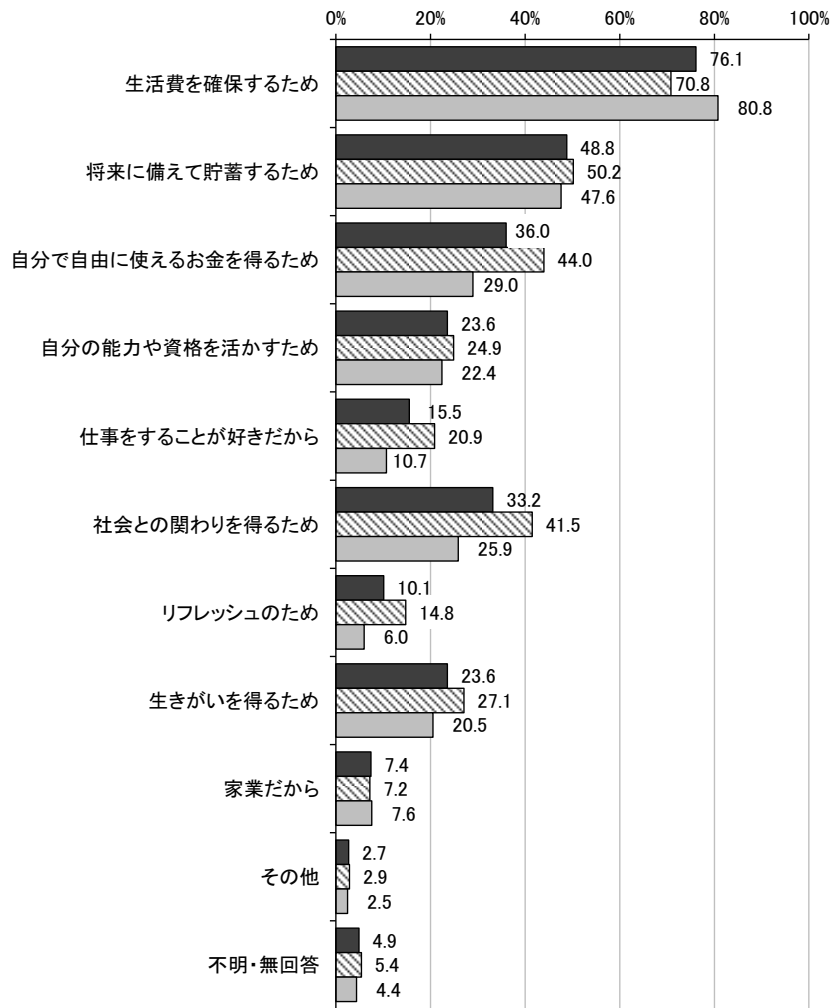
※現在働いている方におうかがいします。

問 22 あなたが働いているのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「生活費を確保するため」が76.1%と最も高く、次いで「将来に備えて貯蓄するため」が48.8%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「生活費を確保するため」が最も高く、次いで「将来に備えて貯蓄するため」が高くなっています。

年齢別で見ると、各年代ともに「生活費を確保するため」が最も高くなっています。



■ 全体(N=594) □ 女性(N=277) □ 男性(N=317)

上段:件数 下段:%	合計	生活費を確保 するため	将来に備えて 貯蓄するため	自分で自由に 使えるお金を得る ため	自分の能力や 資格を活かす ため	仕事をするこ とが好きだから	社会との関わり を得るため	リフレッシュの ため	生きがいを得 るため	家業だから	その他	不明・無回答
全体	594 100.0	452 76.1	290 48.8	214 36.0	140 23.6	92 15.5	197 33.2	60 10.1	140 23.6	44 7.4	16 2.7	29 4.9
19歳以下	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	46 100.0	39 84.8	29 63.0	27 58.7	14 30.4	8 17.4	16 34.8	1 2.2	7 15.2	1 2.2	3 6.5	0 0.0
30歳代	93 100.0	79 84.9	62 66.7	47 50.5	24 25.8	8 8.6	27 29.0	8 8.6	15 16.1	3 3.2	0 0.0	1 1.1
40歳代	138 100.0	121 87.7	77 55.8	47 34.1	35 25.4	26 18.8	56 40.6	11 8.0	29 21.0	11 8.0	5 3.6	2 1.4
50歳代	120 100.0	98 81.7	62 51.7	39 32.5	28 23.3	19 15.8	42 35.0	8 6.7	31 25.8	7 5.8	1 0.8	6 5.0
60歳代	147 100.0	95 64.6	52 35.4	43 29.3	33 22.4	24 16.3	44 29.9	26 17.7	41 27.9	15 10.2	6 4.1	11 7.5
70歳以上	49 100.0	19 38.8	7 14.3	10 20.4	6 12.2	7 14.3	12 24.5	6 12.2	17 34.7	7 14.3	1 2.0	9 18.4

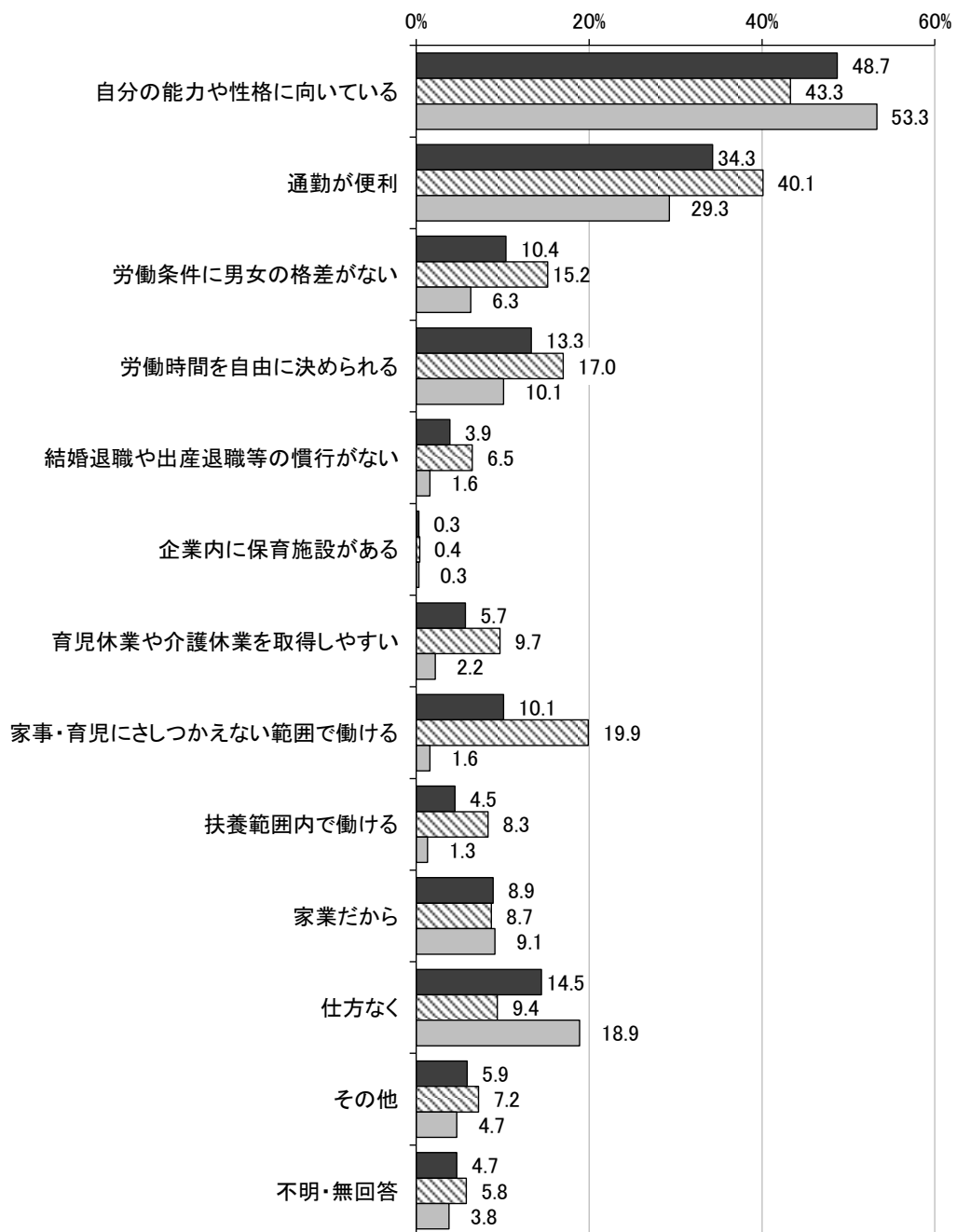
※現在働いている方におうかがいします。

問 23 あなたが現在の仕事を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「自分の能力や性格に向いている」が 48.7%と最も高く、次いで「通勤が便利」が 34.3%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「自分の能力や性格に向いている」が最も高く、次いで「通勤が便利」が高くなっています。

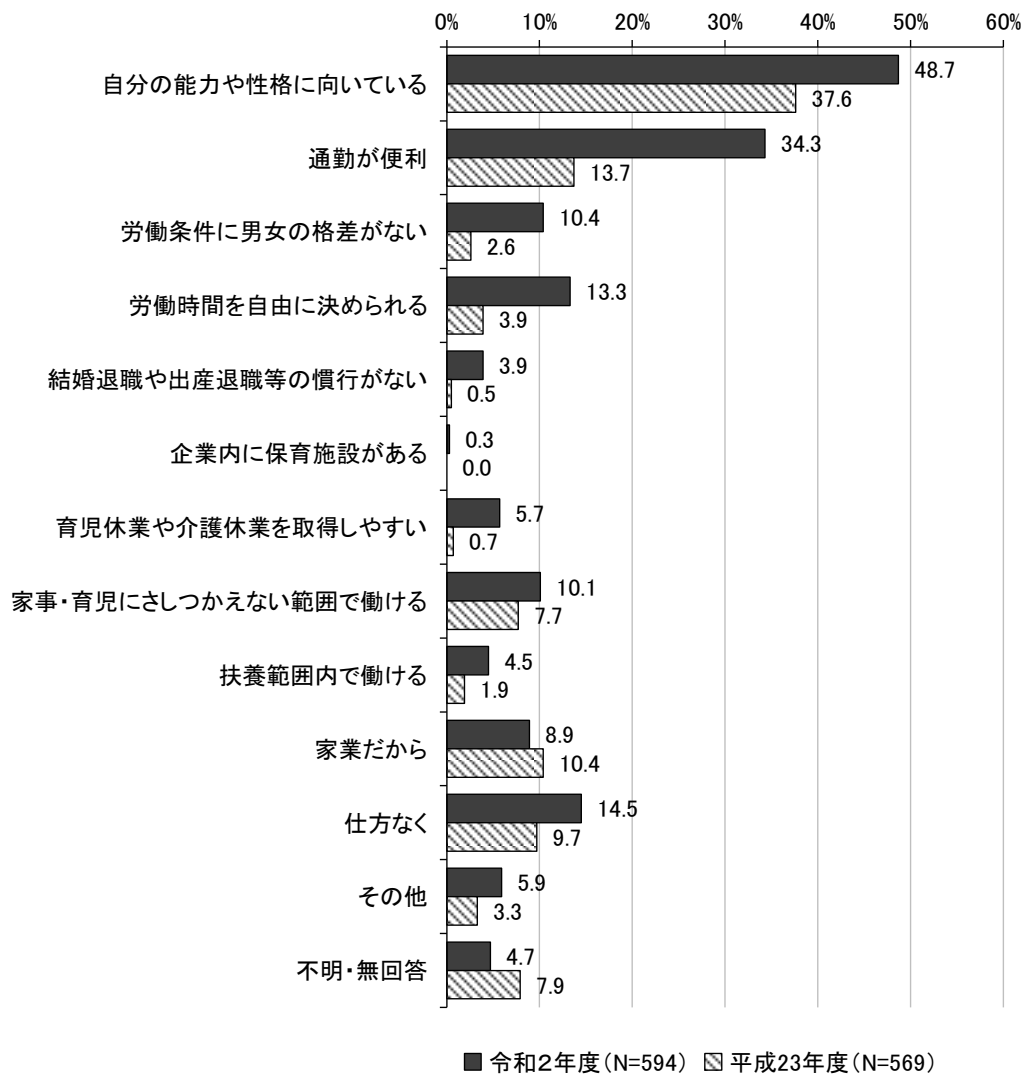
年齢別で見ると、19 歳以下を除き、「自分の能力や性格に向いている」が最も高くなっています。



■ 全体 (N=594) ▨ 女性 (N=277) □ 男性 (N=317)

上段-件数 下段-%	合計	自分の能力や 性格に向いて いる	通勤が便利	労働条件に男 女の格差がな い	労働時間を自 由に決められ る	結婚退職や出 産退職等の慣 行がない	企業内に保育 施設がある	育児休業や介 護休業を取得 しやすい	家事・育児に さしつかえな い範囲で働け る	扶養範囲内で 働ける	家業だから	仕方なく	その他	不明・無回答
全体	594 100.0	289 48.7	204 34.3	62 10.4	79 13.3	23 3.9	2 0.3	34 5.7	60 10.1	27 4.5	53 8.9	86 14.5	35 5.9	28 4.7
19歳以下	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	46 100.0	28 60.9	14 30.4	7 15.2	2 4.3	3 6.5	1 2.2	7 15.2	0 0.0	0 0.0	2 4.3	4 8.7	6 13.0	0 0.0
30歳代	93 100.0	41 44.1	30 32.3	9 9.7	12 12.9	4 4.3	1 1.1	4 4.3	14 15.1	5 5.4	5 5.4	18 19.4	8 8.6	1 1.1
40歳代	138 100.0	68 49.3	61 44.2	14 10.1	18 13.0	8 5.8	0 0.0	13 9.4	22 15.9	9 6.5	13 9.4	22 15.9	5 3.6	2 1.4
50歳代	120 100.0	68 56.7	37 30.8	15 12.5	10 8.3	5 4.2	0 0.0	4 3.3	12 10.0	2 1.7	6 5.0	15 12.5	4 3.3	6 5.0
60歳代	147 100.0	69 46.9	54 36.7	12 8.2	25 17.0	3 2.0	0 0.0	5 3.4	11 7.5	18 12.2	18 12.2	22 15.0	7 4.8	12 8.2
70歳以上	49 100.0	15 30.6	7 14.3	5 10.2	12 24.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.0	0 0.0	9 18.4	5 10.2	5 10.2	7 14.3

平成23年度と令和2年度を比較すると、「通勤が便利」が20.6ポイント、「自分の能力や性格に向いている」が11.1ポイント、「労働時間を自由に決められる」が9.4ポイント高くなっています。



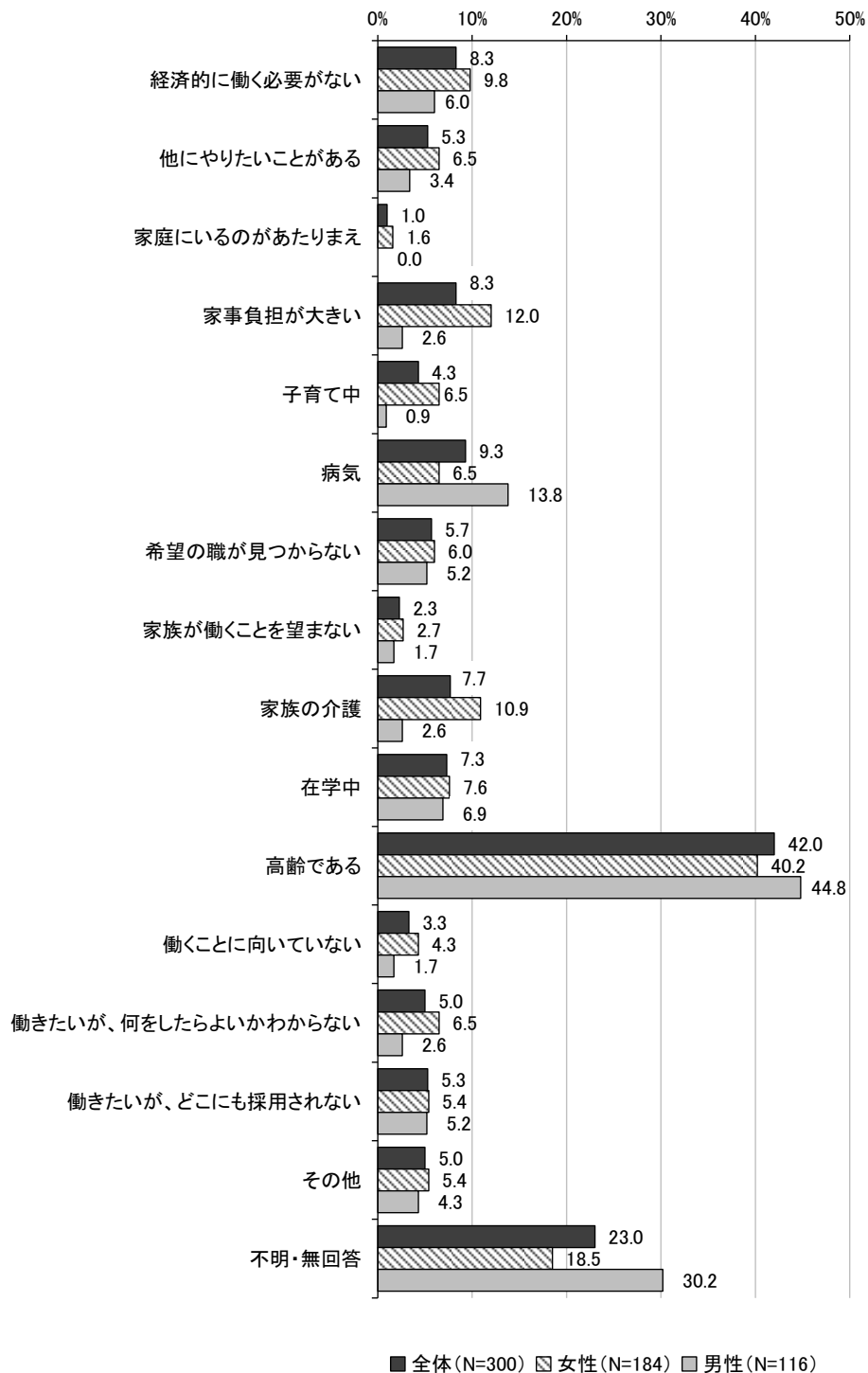
※現在働いていない方におうかがいします。

問 24 あなたが働いていないのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「高齢である」が42.0%と最も高く、次いで「病気」が9.3%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「高齢である」が最も高く、次いで、女性では「家事負担が大きい」、男性では「病気」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳代では「家事負担が大きい」「子育て中」、40歳代では「子育て中」の割合が他の年代と比べて高くなっています。



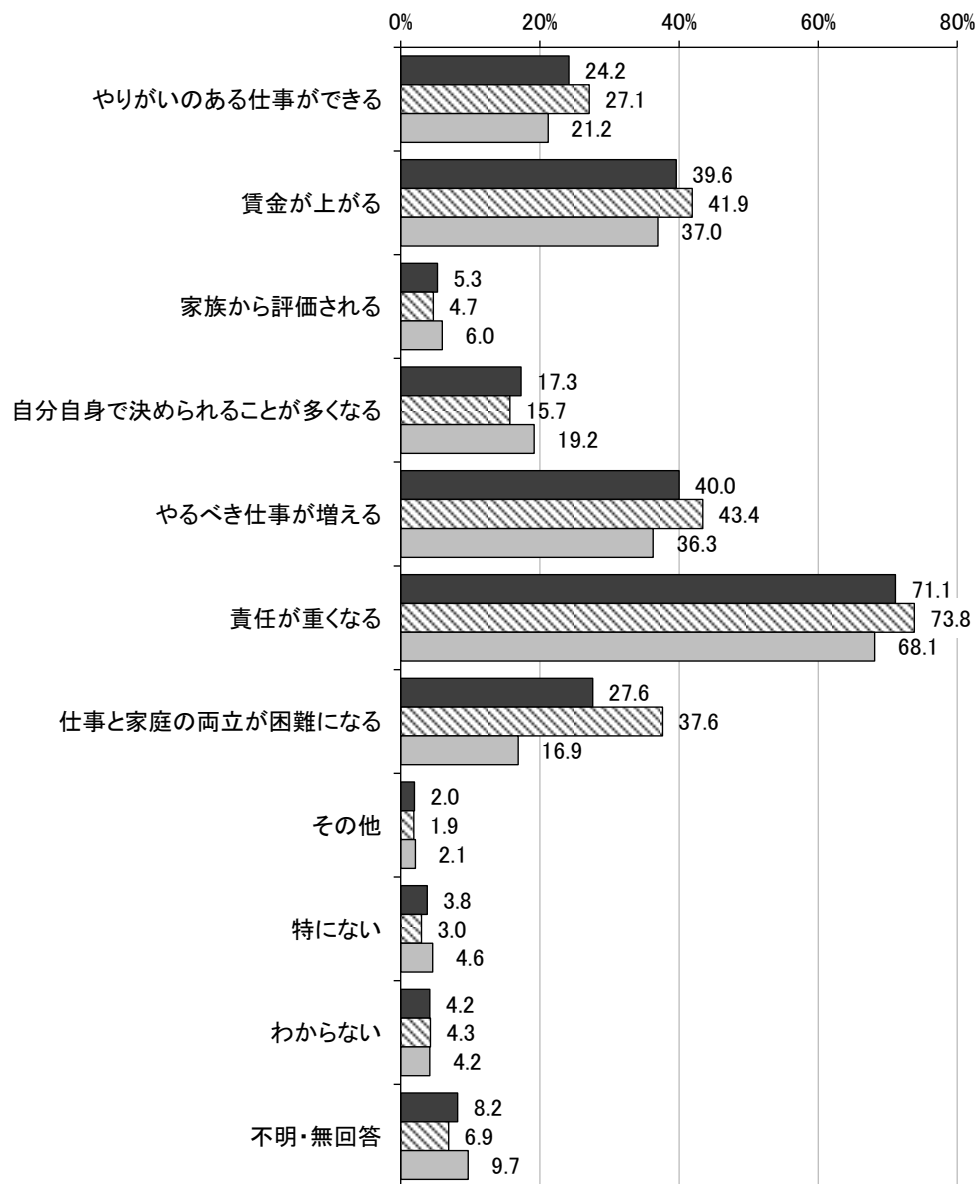
上段件数 下段%	合計	経済的に働く 必要がない	他にやりたい ことがある	家庭に いるの があ たり ま え	家事負 担が大 きい	子育て 中	病 気	希望の 職が見 つから ない	家族が 働くこ とを望 まない	家族の 介護	在学中	高齢で ある	働くこ とに向 いてい ない	働きたい が、何 をし たらよ いかわ から ない	働きたい が、ど こにも 採用さ れない	その他	不明・無 回答
全体	300 100.0	25 8.3	16 5.3	3 1.0	25 8.3	13 4.3	28 9.3	17 5.7	7 2.3	23 7.7	22 7.3	126 42.0	10 3.3	15 5.0	16 5.3	15 5.0	69 23.0
19歳以下	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	53.8 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	46.2 0.0
20歳代	24 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	15 62.5	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	6 25.0
30歳代	11 100.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	5 45.5	4 36.4	1 9.1	2 18.2	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	0 0.0	1 9.1	3 27.3
40歳代	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	5 41.7	1 8.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3
50歳代	16 100.0	1 6.3	1 6.3	0 0.0	3 18.8	2 12.5	3 18.8	2 12.5	0 0.0	5 31.3	2 12.5	0 0.0	3 18.8	2 12.5	2 12.5	1 6.3	7 12.5
60歳代	114 100.0	17 14.9	9 7.9	11 9.9	10 8.8	1 0.9	12 10.5	8 5.3	4 3.5	4 5.3	0 0.0	47 41.2	4 3.5	6 5.3	8 5.3	7 6.1	28 22.8
70歳以上	110 100.0	6 5.5	6 5.5	1 0.9	4 3.6	0 0.0	11 10.0	5 4.5	2 1.8	9 8.2	0 0.0	77 70.0	0 0.0	2 1.8	7 6.4	4 3.6	25 22.7

問 25 あなたは、管理職に昇進することについてどのようなイメージをもっていますか。
(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「責任が重くなる」が71.1%と最も高く、次いで「やるべき仕事が増える」が40.0%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「責任が重くなる」が最も高く、次いで、女性では「やるべき仕事が増える」、男性では「賃金が上がる」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代から40歳代では「やるべき仕事が増える」が5割台と他の年代と比べて高くなっています。



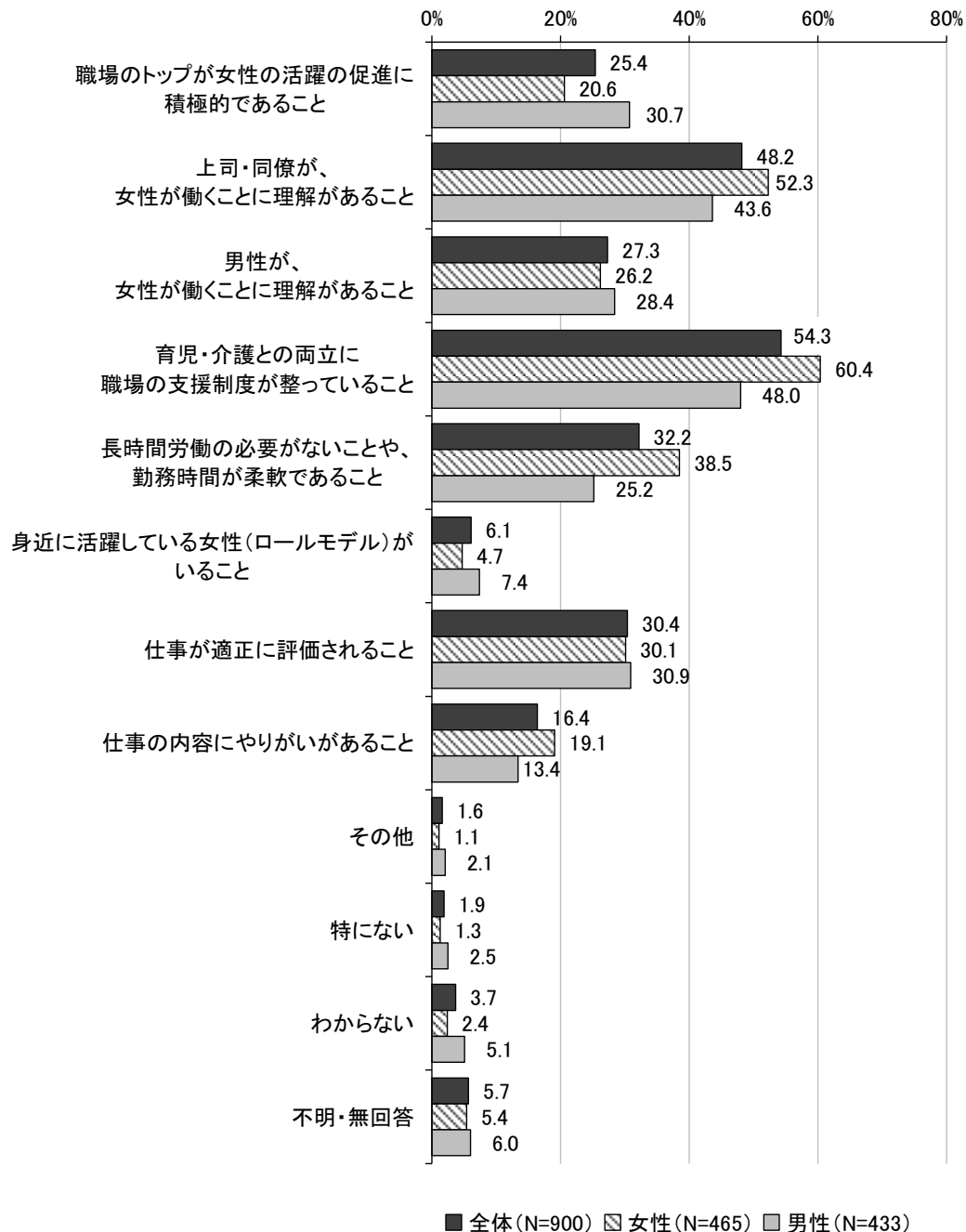
■ 全体(N=900) ▨ 女性(N=465) □ 男性(N=433)

上段:件数 下段:%	合計	やりがいのある 仕事ができる	賃金が上がる	家族から評価 される	自分自身で決 められること が多くなる	やるべき仕事 が増える	責任が重くな る	仕事と家庭の 両立が困難に なる	その他	特にない	わからない	不明・無回答
全体	900 100.0	218 24.2	356 39.6	48 5.3	156 17.3	360 40.0	640 71.1	248 27.6	18 2.0	34 3.8	38 4.2	74 8.2
19歳以下	14 100.0	3 21.4	8 57.1	1 7.1	1 7.1	4 28.6	9 64.3	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	0 0.0
20歳代	70 100.0	20 28.6	38 54.3	5 7.1	12 17.1	36 51.4	55 78.6	13 18.6	0 0.0	0 0.0	5 7.1	0 0.0
30歳代	104 100.0	25 24.0	54 51.9	9 8.7	22 21.2	61 58.7	86 82.7	36 34.6	1 1.0	2 1.9	2 1.9	0 0.0
40歳代	150 100.0	38 25.3	79 52.7	4 2.7	33 22.0	75 50.0	119 79.3	49 32.7	6 4.0	2 1.3	8 5.3	4 2.7
50歳代	136 100.0	33 24.3	54 39.7	6 4.4	27 19.9	51 37.5	99 72.8	34 25.0	3 2.2	7 5.1	6 4.4	8 5.9
60歳代	263 100.0	67 25.5	87 33.1	14 5.3	44 16.7	101 38.4	180 68.4	78 29.7	3 1.1	18 6.8	6 2.3	28 10.6
70歳以上	161 100.0	32 19.9	35 21.7	9 5.6	17 10.6	31 19.3	90 55.9	36 22.4	4 2.5	4 2.5	10 6.2	34 21.1

問 26 女性が活躍できる仕事・職場環境にするために、何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体で見ると、「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること」が54.3%と最も高く、次いで「上司・同僚が、女性が働くことに理解があること」が48.2%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「育児・介護との両立に職場の支援制度が整っていること」が最も高く、次いで「上司・同僚が、女性が働くことに理解があること」が高くなっています。



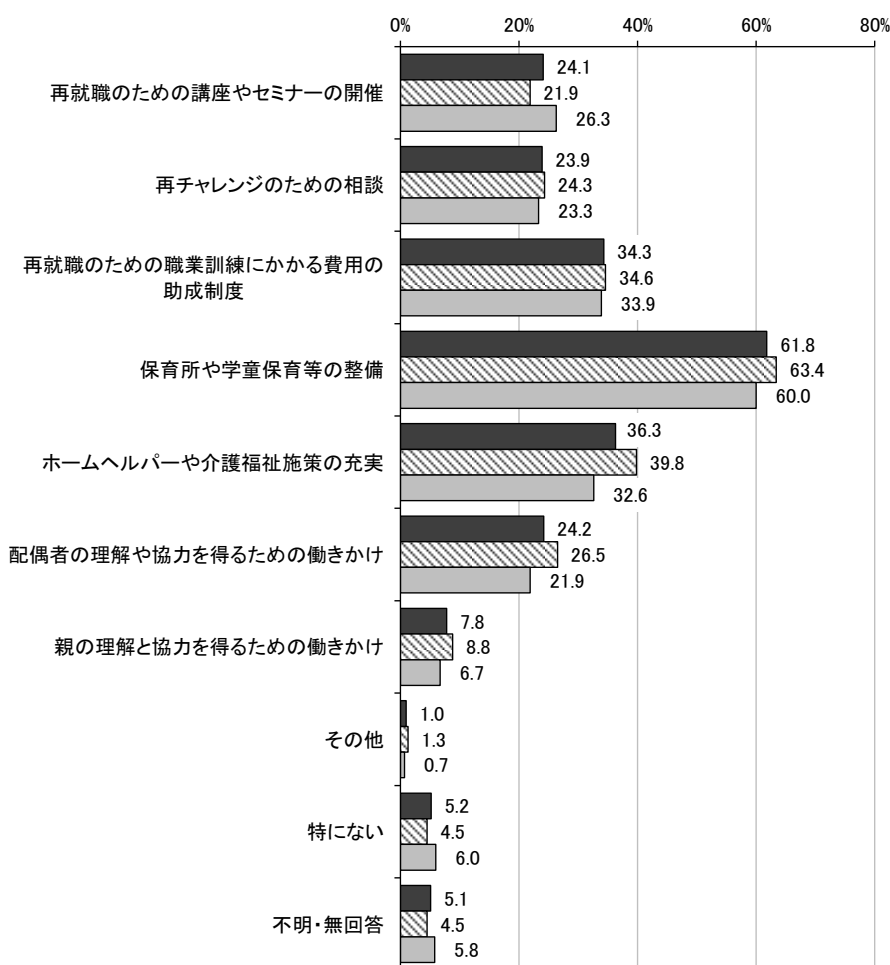
問 27 子育て、介護、家事等のために一旦仕事をやめた女性が再就職等を希望する場合、どのような支援や施策が必要になると思いますか。(〇はそれぞれ3つまで)

① 行政に求めること

全体でみると、「保育所や学童保育等の整備」が61.8%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや介護福祉施策の充実」が36.3%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「保育所や学童保育等の整備」が最も高くなっています。次いで、女性では「ホームヘルパーや介護福祉施策の充実」、男性では「再就職のための職業訓練にかかる費用の助成制度」が高くなっています。

年齢別でみると、各年代ともに「保育所や学童保育等の整備」が最も高くなっています。また、30歳代では、次いで「再就職のための職業訓練にかかる費用の助成制度」となっています。



■ 全体 (N=900) ▨ 女性 (N=465) □ 男性 (N=433)

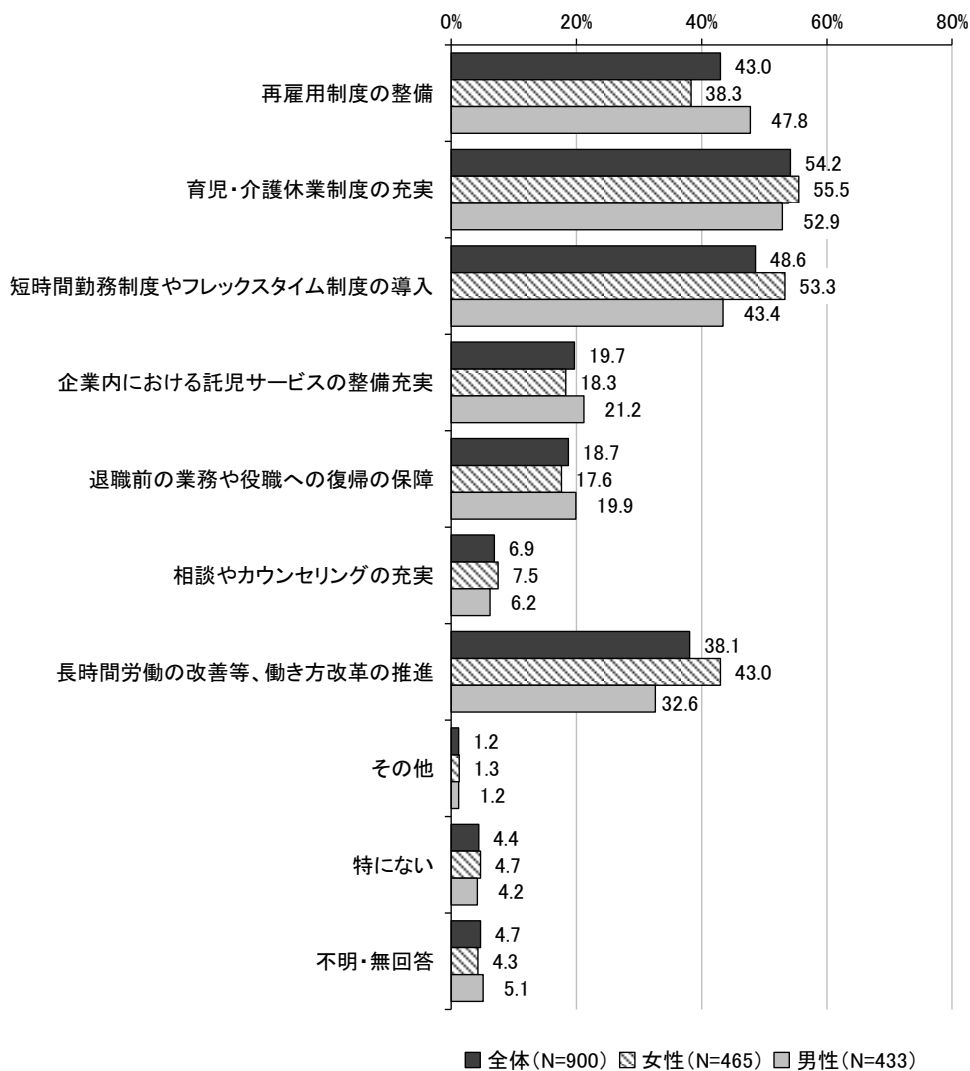
上段:件数 下段:%	合計	再就職のための講座やセミナーの開催	再チャレンジのための相談	再就職のための職業訓練にかかる費用の助成制度	保育所や学童保育等の整備	ホームヘルパーや介護福祉施策の充実	配偶者の理解や協力を得るための働きかけ	親の理解と協力を得るための働きかけ	その他	特にない	不明・無回答
全体	900	217	215	309	556	327	218	70	9	47	46
	100.0	24.1	23.9	34.3	61.8	36.3	24.2	7.8	1.0	5.2	5.1
19歳以下	14	6	4	5	9	3	3	0	0	0	0
	100.0	42.9	28.6	35.7	64.3	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	70	18	18	20	47	20	15	7	2	2	2
	100.0	25.7	25.7	28.6	67.1	28.6	21.4	10.0	2.9	2.9	2.9
30歳代	104	21	23	42	78	26	28	13	1	3	1
	100.0	20.2	22.1	40.4	75.0	25.0	26.9	12.5	1.0	2.9	1.0
40歳代	150	35	29	54	100	58	41	9	3	7	5
	100.0	23.3	19.3	36.0	66.7	38.7	27.3	6.0	2.0	4.7	3.3
50歳代	136	41	33	56	81	26	26	9	1	8	2
	100.0	30.1	24.3	41.2	59.6	42.6	19.1	6.6	0.7	5.9	1.5
60歳代	263	59	66	78	158	104	75	20	1	16	16
	100.0	22.4	25.1	29.7	60.1	39.5	28.5	7.6	0.4	6.1	6.1
70歳以上	161	36	41	53	82	57	30	12	1	11	20
	100.0	22.4	25.5	32.9	50.9	35.4	18.6	7.5	0.6	6.8	12.4

② 企業に求めること

全体で見ると、「育児・介護休業制度の充実」が54.2%と最も高く、次いで「短時間勤務制度やフレックスタイム制度の導入」が48.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「育児・介護休業制度の充実」が最も高くなっています。次いで、女性では「短時間勤務制度やフレックスタイム制度の導入」、男性では「再雇用制度の整備」が高くなっています。

年齢別で見ると、40歳未満・60歳以上では「育児・介護休業制度の充実」、40歳代・50歳代では「短時間勤務制度やフレックスタイム制度の導入」が最も高くなっています。



上段・件数 下段・%	合計	再雇用制度の 整備	育児・介護休 業制度の充実	短時間勤務制 度やフレック スタイム制度 の導入	企業内におけ る託児サービ スの整備充実	退職前の業務 や役職への復 帰の保障	相談やカウ ンセリングの充 実	長時間労働の 改善等、働き 方改革の推進	その他	特になし	不明・無回答
全体	900	387	488	437	177	168	62	343	11	40	42
	100.0	43.0	54.2	48.6	19.7	18.7	6.9	38.1	1.2	4.4	4.7
19歳以下	14	9	10	4	1	5	2	5	2	0	0
	100.0	64.3	71.4	28.6	7.1	35.7	14.3	35.7	14.3	0.0	0.0
20歳代	70	31	40	37	12	14	2	24	1	3	1
	100.0	44.3	57.1	52.9	17.1	20.0	2.9	34.3	1.4	4.3	1.4
30歳代	104	34	68	59	30	25	13	42	1	2	1
	100.0	32.7	65.4	56.7	28.8	24.0	12.5	40.4	1.0	1.9	1.0
40歳代	150	63	85	87	28	30	14	56	2	5	5
	100.0	42.0	56.7	58.0	18.7	20.0	9.3	37.3	1.3	3.3	3.3
50歳代	138	63	69	78	20	33	9	50	2	6	3
	100.0	46.3	50.7	57.4	14.7	24.3	6.6	36.8	1.5	4.4	2.2
60歳代	263	113	132	124	57	40	14	111	0	13	15
	100.0	43.0	50.2	47.1	21.7	15.2	5.3	42.2	0.0	4.9	5.7
70歳以上	161	72	83	47	29	21	8	53	3	11	17
	100.0	44.7	51.6	29.2	18.0	13.0	5.0	32.9	1.9	6.8	10.6

問 28 生活の中での「仕事」と「家庭生活（家事や育児、介護等）」や「地域・個人の生活」について、あなたが最も優先したいもの（理想）と最も現状に近いもの（現状）をお答えください。（○はそれぞれ1つ）

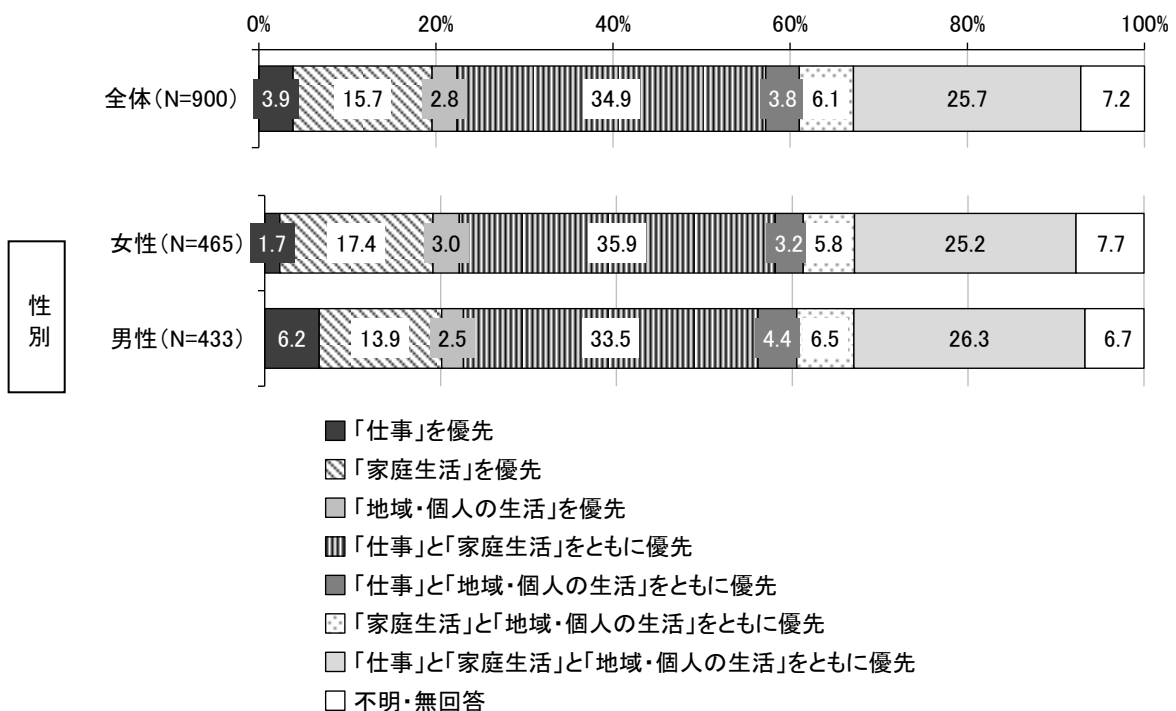
全体で見ると、【理想】は「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」が34.9%と最も高く、【現状】の23.7%より11.2ポイント高くなっています。【現状】は「仕事を優先」が29.3%と最も高く、【理想】においては3.9%と低くなっています。

性別で見ると、【理想】は女性・男性ともに「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」が最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先」が高くなっています。【現状】は女性では「『家庭生活』を優先」が29.5%と最も高く、次いで「『仕事』を優先」が23.7%となっています。男性では「『仕事』を優先」が35.6%と最も高く、次いで「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」が25.4%となっています。

年齢別で見ると、【理想】は「『仕事』と『家庭生活』をともに優先」が最も高く、次いで20歳代・30歳代では「『家庭生活』を優先」、40歳以上では「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先」となっています。

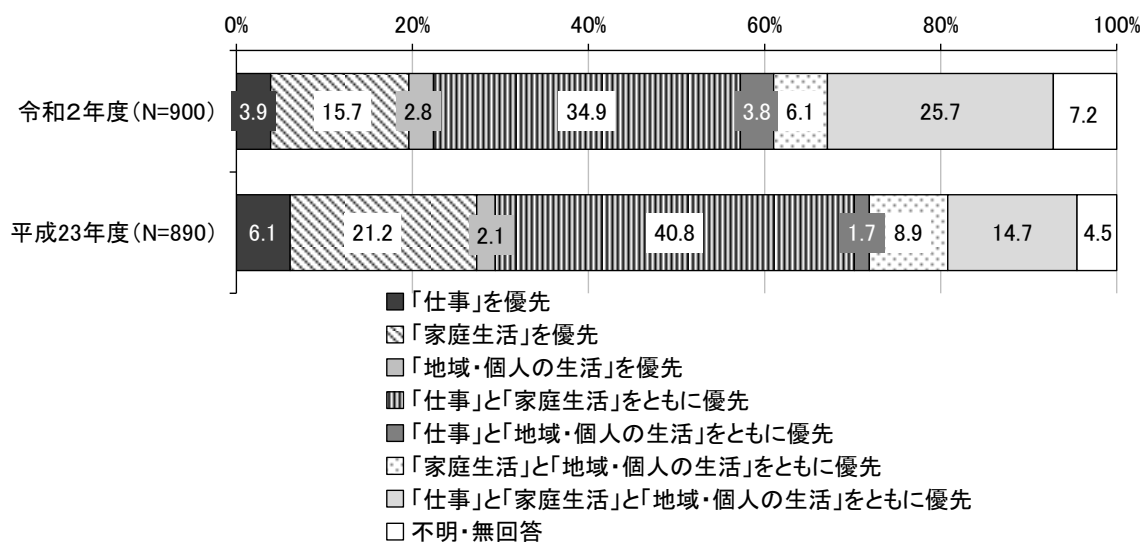
【現状】は19歳以下・70歳以上を除き「『仕事』を優先」が最も高くなっています。

【理想】

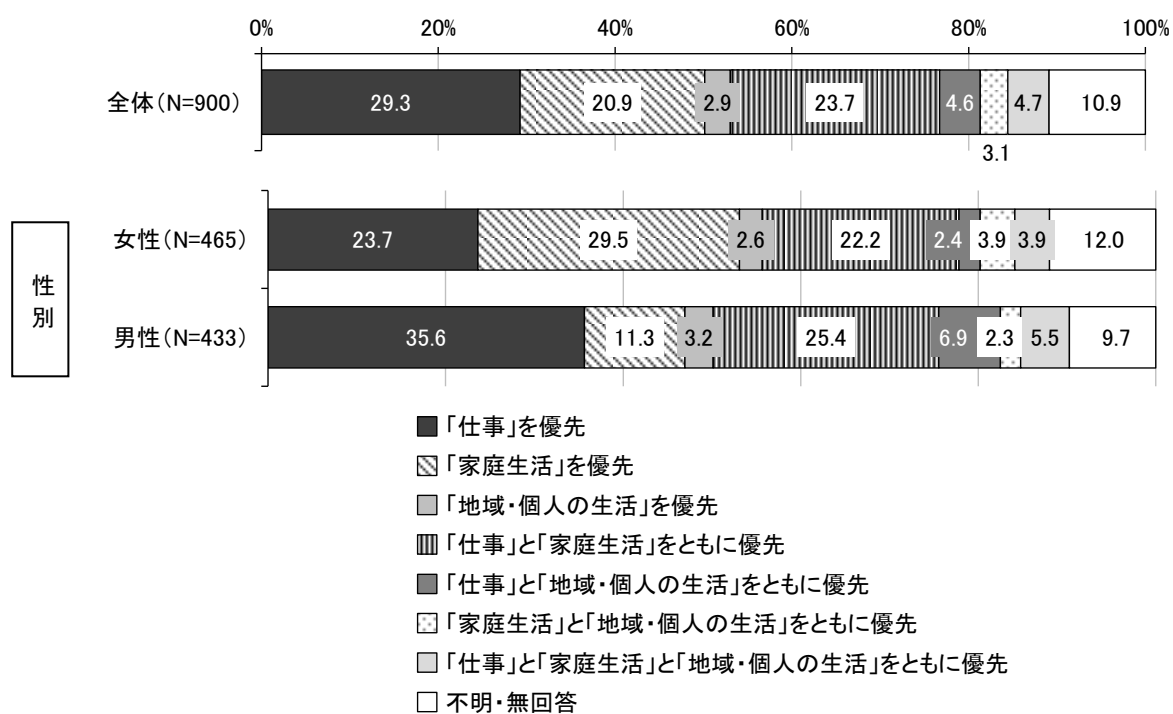


上段:件数 下段:%	合計	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」ともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」ともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」ともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」ともに優先	不明・無回答
全体	900 100.0	35 3.9	141 15.7	25 2.8	314 34.9	34 3.8	55 6.1	231 25.7	65 7.2
19歳以下	14 100.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0	6 42.9	2 14.3	0 0.0	3 21.4	0 0.0
20歳代	70 100.0	5 7.1	12 17.1	2 2.9	33 47.1	2 2.9	4 5.7	10 14.3	2 2.9
30歳代	104 100.0	4 3.8	25 24.0	3 2.9	39 37.5	1 1.0	8 7.7	21 20.2	3 2.9
40歳代	150 100.0	3 2.0	24 16.0	4 2.7	56 37.3	5 3.3	9 6.0	41 27.3	8 5.3
50歳代	136 100.0	6 4.4	21 15.4	5 3.7	42 30.9	4 2.9	13 9.6	39 28.7	6 4.4
60歳代	263 100.0	8 3.0	36 13.7	7 2.7	82 31.2	13 4.9	12 4.6	81 30.8	24 9.1
70歳以上	161 100.0	9 5.6	20 12.4	4 2.5	54 33.5	7 4.3	9 5.6	36 22.4	22 13.7

平成23年度と令和2年度を比較すると、「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』とともに優先」が11ポイント増加しています。

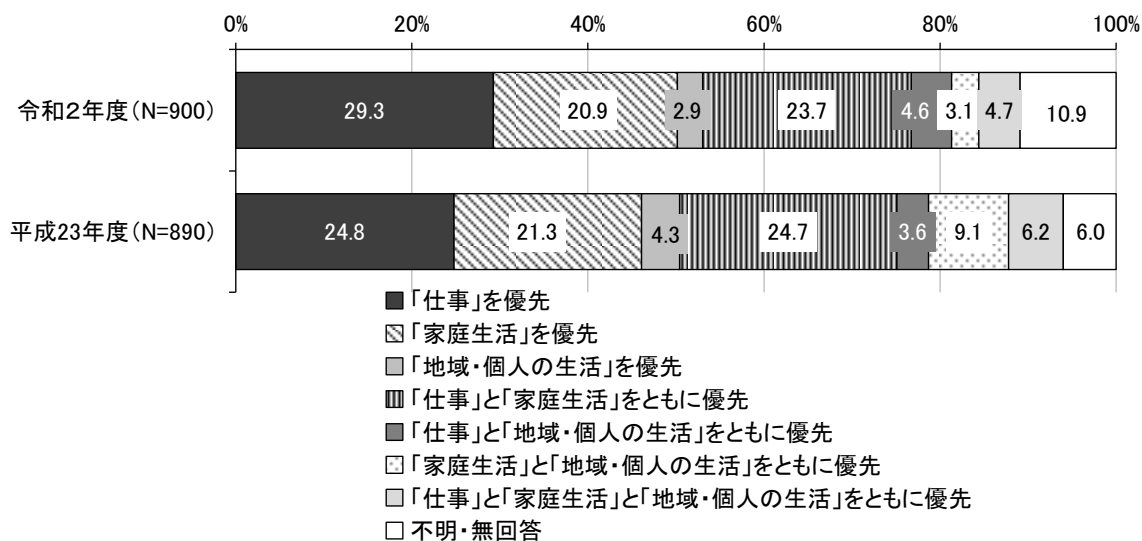


【現状】



上段:件数 下段:%	合計	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	不明・無回答
全体	900 100.0	264 29.3	188 20.9	26 2.9	213 23.7	41 4.6	28 3.1	42 4.7	98 10.9
19歳以下	14 100.0	1 7.1	3 21.4	3 21.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0	1 7.1	2 14.3
20歳代	70 100.0	26 37.1	9 12.9	2 2.9	13 18.6	7 10.0	0 0.0	3 4.3	10 14.3
30歳代	104 100.0	40 38.5	25 24.0	2 1.9	28 26.9	1 1.0	2 1.9	4 3.8	2 1.9
40歳代	150 100.0	51 34.0	29 19.3	2 1.3	41 27.3	8 5.3	3 2.0	8 5.3	8 5.3
50歳代	136 100.0	46 33.8	22 16.2	2 1.5	37 27.2	7 5.1	4 2.9	9 6.6	9 6.6
60歳代	263 100.0	73 27.8	59 22.4	9 3.4	56 21.3	10 3.8	13 4.9	12 4.6	31 11.8
70歳以上	161 100.0	27 16.8	39 24.2	6 3.7	35 21.7	7 4.3	6 3.7	5 3.1	36 22.4

平成23年度と令和2年度を比較すると、「『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先」が6.0ポイント減少しています。

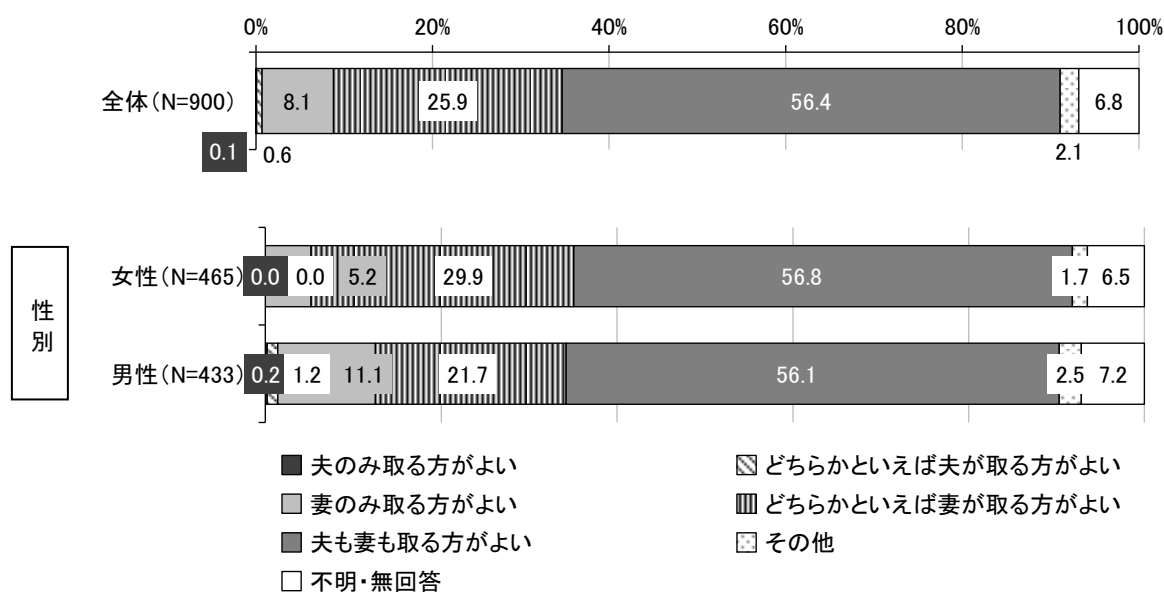


**問 29 育児休業・介護休業を取るとしたら、どうするのがよいと思いますか。
あなたの考えに最も近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つ)**

① 育児休業

全体で見ると、「夫も妻も取る方がよい」が56.4%と最も高く、次いで「どちらかといえば妻が取る方がよい」が25.9%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「夫も妻も取る方がよい」が最も高く、次いで「どちらかといえば妻が取る方がよい」が高くなっています。

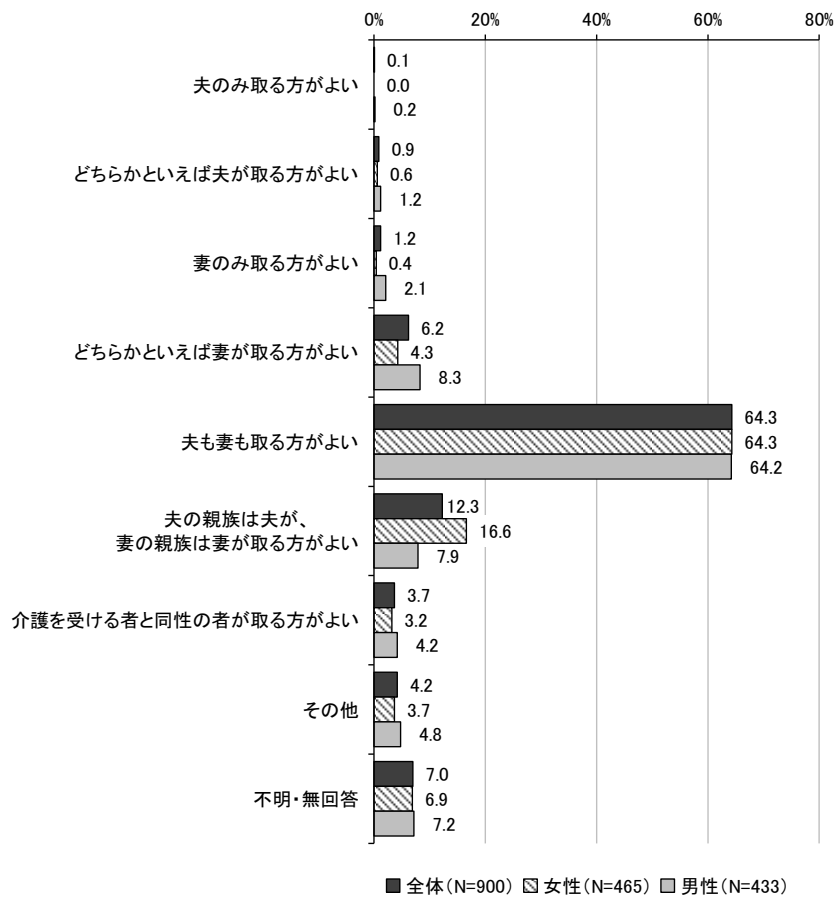


② 介護休業

全体でみると、「夫も妻も取る方がよい」が64.3%と最も高く、次いで「夫の親族は夫が、妻の親族は妻が取る方がよい」が12.3%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「夫も妻も取る方がよい」が最も高くなっています。次いで女性では「夫の親族は夫が、妻の親族は妻が取る方がよい」、男性では「どちらかといえば妻が取る方がよい」が高くなっています。

年齢別でみると、「夫も妻も取る方がよい」が最も高く、次いで20歳代から60歳代では「夫の親族は夫が、妻の親族は妻が取る方がよい」となっています。



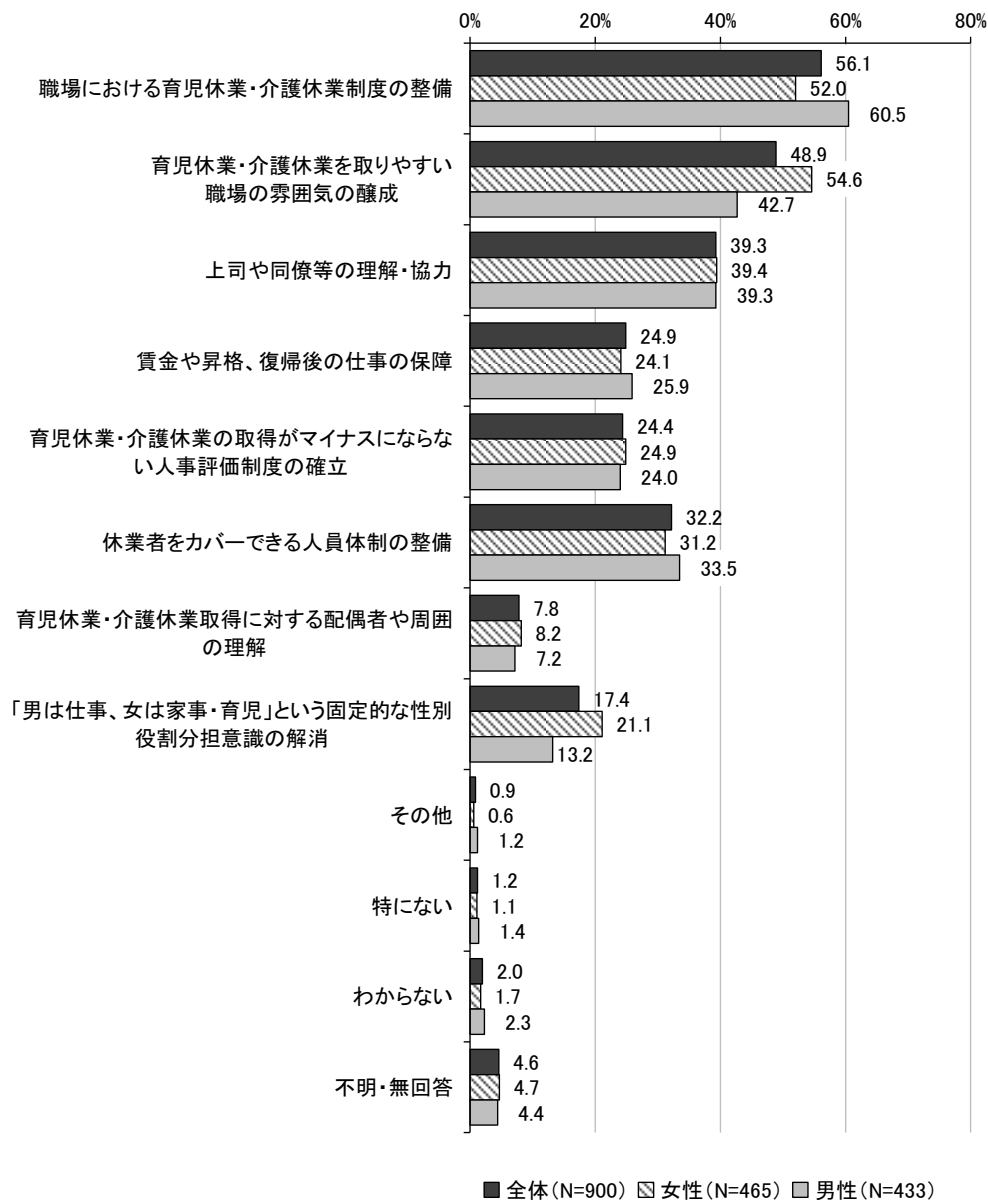
上段:件数 下段:%	合計	夫のみ取る方がよい	どちらかといえば夫が取る方がよい	妻のみ取る方がよい	どちらかといえば妻が取る方がよい	夫も妻も取る方がよい	夫の親族は夫が、妻の親族は妻が取る方がよい	介護を受ける者と同性の者が取る方がよい	その他	不明・無回答
全体	900 100.0	1 0.1	8 0.9	11 1.2	56 6.2	579 64.3	111 12.3	33 3.7	38 4.2	63 7.0
19歳以下	14 100.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	2 14.3	8 57.1	2 14.3	0 0.0	1 7.1	0 0.0
20歳代	70 100.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	3 4.3	44 62.9	11 15.7	4 5.7	5 7.1	2 2.9
30歳代	104 100.0	0 0.0	1 1.0	2 1.9	6 5.8	66 63.5	17 16.3	2 1.9	7 6.7	3 2.9
40歳代	150 100.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	8 5.3	97 64.7	29 19.3	3 2.0	3 2.0	9 6.0
50歳代	136 100.0	0 0.0	0 0.0	3 2.2	10 7.4	94 69.1	18 13.2	2 1.5	5 3.7	4 2.9
60歳代	263 100.0	0 0.0	2 0.8	2 0.8	15 5.7	177 67.3	23 8.7	10 3.8	9 3.4	25 9.5
70歳以上	161 100.0	0 0.0	4 2.5	3 1.9	12 7.5	91 56.5	11 6.8	12 7.5	8 5.0	20 12.4

問 30 あなたは、男女ともに育児休業・介護休業を取りやすくするためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体でみると、「職場における育児休業・介護休業制度の整備」が56.1%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業を取りやすい職場の雰囲気醸成」が48.9%となっています。

性別でみると、女性では「育児休業・介護休業を取りやすい職場の雰囲気醸成」が54.6%と最も高く、次いで「職場における育児休業・介護休業制度の整備」が52.0%となっています。男性では「職場における育児休業・介護休業制度の整備」が60.5%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業を取りやすい職場の雰囲気醸成」が42.7%となっています。

年齢別でみると、20歳代・40歳以上では「職場における育児休業・介護休業制度の整備」、19歳以下では「育児休業・介護休業を取りやすい職場の雰囲気醸成」、30歳代では「職場における育児休業・介護休業制度の整備」「育児休業・介護休業を取りやすい職場の雰囲気醸成」が最も高くなっています。



上段:件数 下段:%	合計	職場における 育児休業・介 護休業制度の 整備	育児休業・介 護休業を取り やすい職場の 雰囲気醸成	上司や同僚等 の理解・協力	賃金や昇格、 復帰後の仕事 の保障	育児休業・介 護休業の取得 がマイナスに ならない人事 評価制度の確 立	休業者をカ バーできる人 員体制の整備
全体	900 100.0	505 56.1	440 48.9	354 39.3	224 24.9	220 24.4	290 32.2
19歳以下	14 100.0	9 64.3	10 71.4	8 57.1	3 21.4	2 14.3	3 21.4
20歳代	70 100.0	48 68.6	39 55.7	22 31.4	16 22.9	13 18.6	18 25.7
30歳代	104 100.0	58 55.8	58 55.8	48 46.2	23 22.1	32 30.8	45 43.3
40歳代	150 100.0	76 50.7	75 50.0	75 50.0	41 27.3	34 22.7	50 33.3
50歳代	136 100.0	83 61.0	66 48.5	52 38.2	42 30.9	40 29.4	40 29.4
60歳代	263 100.0	146 55.5	126 47.9	91 34.6	64 24.3	60 22.8	89 33.8
70歳以上	161 100.0	84 52.2	65 40.4	57 35.4	35 21.7	39 24.2	45 28.0

上段:件数 下段:%	合計	育児休業・介 護休業取得に 対する配偶者 や周囲の理解	「男は仕事、 女は家事・育 児」という固 定的な性別役 割分担意識の 解消	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体	900 100.0	70 7.8	157 17.4	8 0.9	11 1.2	18 2.0	41 4.6
19歳以下	14 100.0	1 7.1	5 35.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	70 100.0	3 4.3	19 27.1	0 0.0	0 0.0	1 1.4	1 1.4
30歳代	104 100.0	5 4.8	17 16.3	1 1.0	1 1.0	1 1.0	1 1.0
40歳代	150 100.0	14 9.3	23 15.3	1 0.7	3 2.0	3 2.0	5 3.3
50歳代	136 100.0	7 5.1	13 9.6	1 0.7	0 0.0	5 3.7	2 1.5
60歳代	263 100.0	25 9.5	48 18.3	3 1.1	3 1.1	6 2.3	17 6.5
70歳以上	161 100.0	14 8.7	30 18.6	2 1.2	4 2.5	2 1.2	15 9.3

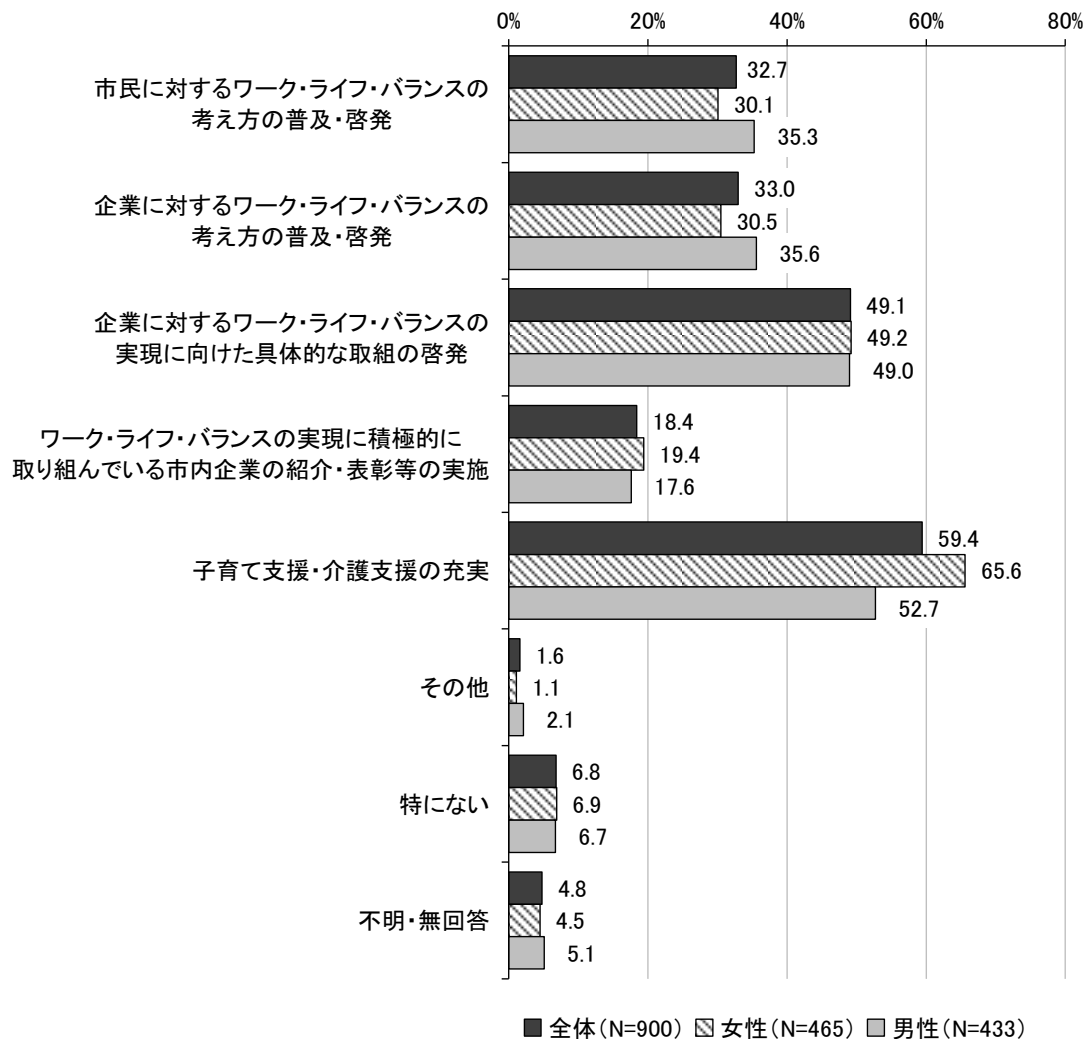
問 31 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた暮らしのために、行政・企業のそれぞれに、今後何が必要だと思いますか。（○はそれぞれ3つまで）

① 行政に求めること

全体で見ると、「子育て支援・介護支援の充実」が59.4%と最も高く、次いで「企業に対するワーク・ライフ・バランスの実現に向けた具体的な取組の啓発」が49.1%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「子育て支援・介護支援の充実」が最も高く、次いで「企業に対するワーク・ライフ・バランスの実現に向けた具体的な取組の啓発」が高くなっています。

年齢別で見ると、19歳以下では「企業に対するワーク・ライフ・バランスの実現に向けた具体的な取組の啓発」「子育て支援・介護支援の充実」、20歳代では「企業に対するワーク・ライフ・バランスの実現に向けた具体的な取組の啓発」、30歳以上では「子育て支援・介護支援の充実」が最も高くなっています。



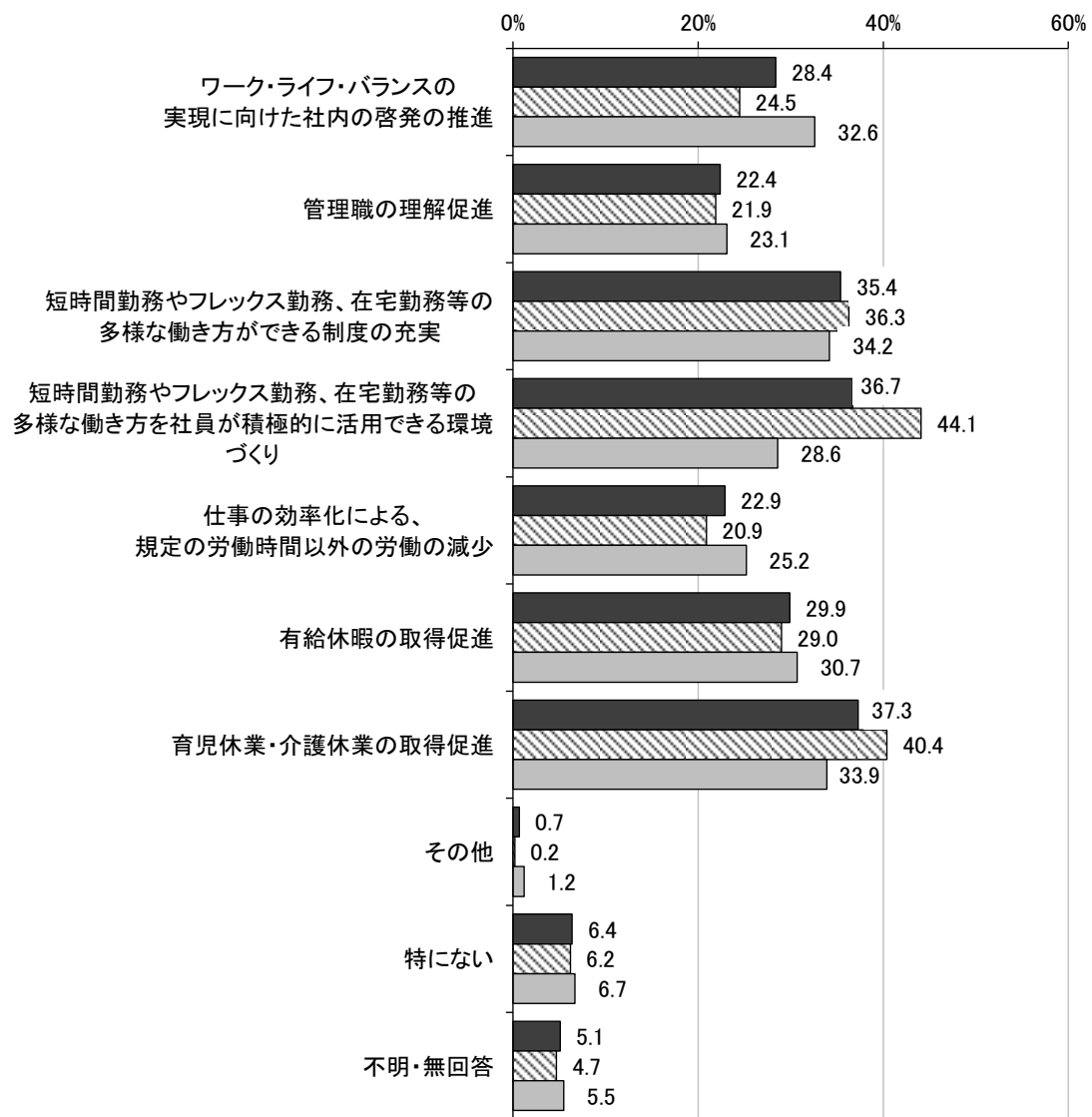
上段:件数 下段:%	合計	市民に対する ワーク・ライフ・ バランスの考 え方の普及・ 啓発	企業に対する ワーク・ライフ・ バランスの考 え方の普及・ 啓発	企業に対する ワーク・ライフ・ バランスの実 現に向けた具 体的な取組の 啓発	ワーク・ライフ・ バランスの実 現に積極的に 取り組んでい る市内企業の 紹介・表彰等 の実施	子育て支援・ 介護支援の充 実	その他	特になし	不明・無回答
全体	900 100.0	294 32.7	297 33.0	442 49.1	166 18.4	535 59.4	14 1.6	61 6.8	43 4.8
19歳以下	14 100.0	5 35.7	7 50.0	8 57.1	2 14.3	8 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	70 100.0	23 32.9	24 34.3	37 52.9	9 12.9	34 48.6	2 2.9	4 5.7	1 1.4
30歳代	104 100.0	31 29.8	42 40.4	50 48.1	29 27.9	64 61.5	1 1.0	8 7.7	1 1.0
40歳代	150 100.0	41 27.3	47 31.3	80 53.3	36 24.0	86 57.3	2 1.3	11 7.3	6 4.0
50歳代	136 100.0	41 30.1	55 40.4	70 51.5	24 17.6	84 61.8	5 3.7	8 5.9	2 1.5
60歳代	263 100.0	87 33.1	85 32.3	124 47.1	47 17.9	167 63.5	3 1.1	15 5.7	18 6.8
70歳以上	161 100.0	65 40.4	36 22.4	72 44.7	19 11.8	90 55.9	1 0.6	15 9.3	15 9.3

② 企業に求めること

全体で見ると、「育児休業・介護休業の取得促進」が37.3%と最も高く、次いで「短時間勤務やフレックス勤務、在宅勤務等の多様な働き方を社員が積極的に活用できる環境づくり」が36.7%となっています。

性別で見ると、女性では「短時間勤務やフレックス勤務、在宅勤務等の多様な働き方を社員が積極的に活用できる環境づくり」が44.1%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業の取得促進」が40.4%となっています。男性では「短時間勤務やフレックス勤務、在宅勤務等の多様な働き方ができる制度の充実」が34.2%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業の取得促進」が33.9%となっています。

年齢別で見ると、20歳代・50歳代では「短時間勤務やフレックス勤務、在宅勤務等の多様な働き方ができる制度の充実」、30歳代・60歳代では「短時間勤務やフレックス勤務、在宅勤務等の多様な働き方を社員が積極的に活用できる環境づくり」、40歳代・70歳以上では「育児休業・介護休業の取得促進」が最も高くなっています。



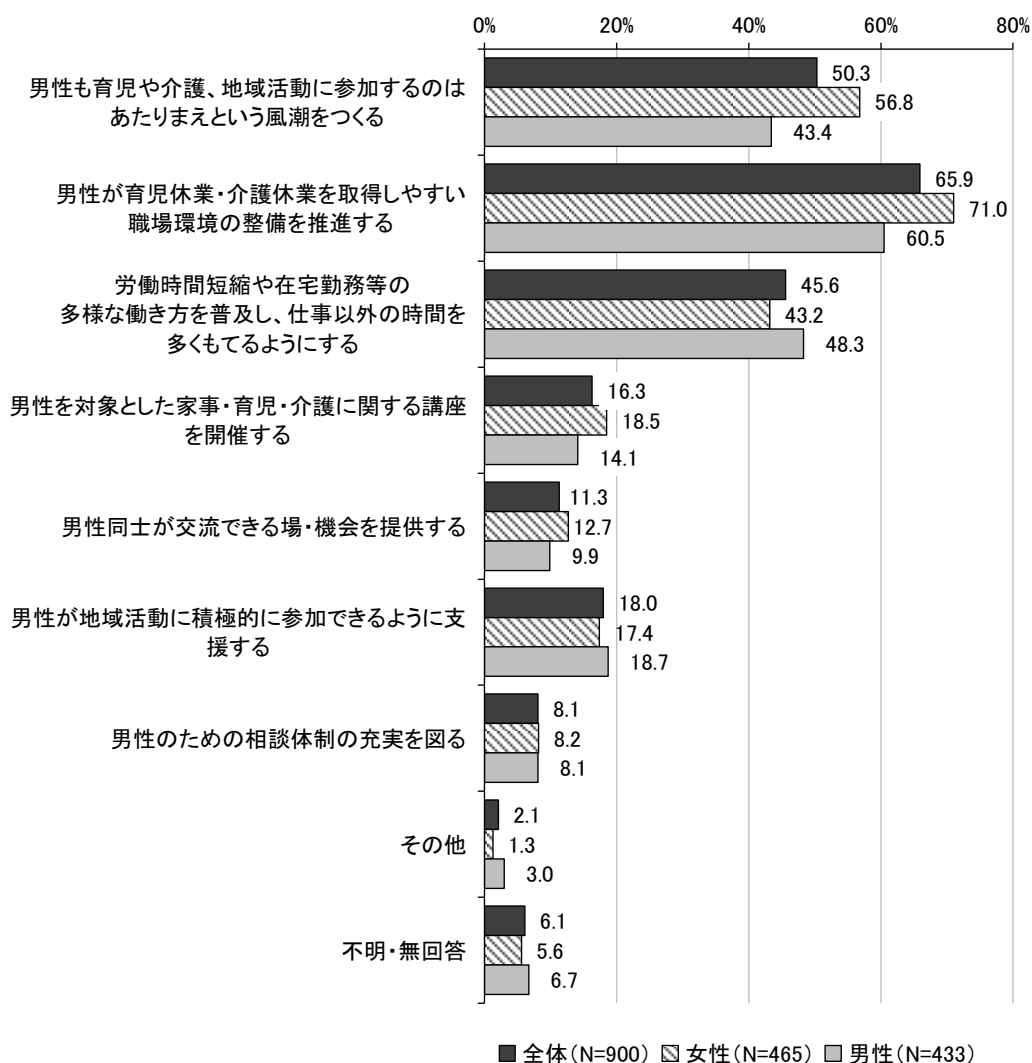
■ 全体 (N=900) ▨ 女性 (N=465) □ 男性 (N=433)

上段:件数 下段:%	合計	ワーク・ライフ・ バランスの実 現に向けた社 内の啓発の推 進	管理職の理解 促進	短時間勤務や フレックス勤 務、在宅勤務 等の多様な働 き方ができる 制度の充実	短時間勤務や フレックス勤 務、在宅勤務 等の多様な働 き方を社員が 積極的に活用 できる環境づ くり	仕事の効率化 による、規定 の労働時間以 外の労働の減 少	有給休暇の取 得促進	育児休業・介 護休業の取得 促進	その他	特にない	不明・無回答
全体	900	256	202	319	330	206	269	336	6	58	46
	100.0	28.4	22.4	35.4	36.7	22.9	29.9	37.3	0.7	6.4	5.1
19歳以下	14	3	3	7	5	4	7	7	0	0	0
	100.0	21.4	21.4	50.0	35.7	28.6	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	70	21	16	29	25	17	16	25	0	4	1
	100.0	30.0	22.9	41.4	35.7	24.3	22.9	35.7	0.0	5.7	1.4
30歳代	104	28	30	39	50	28	39	36	2	4	1
	100.0	26.9	28.8	37.5	48.1	26.9	37.5	34.6	1.9	3.8	1.0
40歳代	150	41	47	51	51	36	51	53	1	10	5
	100.0	27.3	31.3	34.0	34.0	24.0	34.0	35.3	0.7	6.7	3.3
50歳代	136	44	25	61	46	35	42	51	2	9	2
	100.0	32.4	18.4	44.9	33.8	25.7	30.9	37.5	1.5	6.6	1.5
60歳代	263	70	53	84	105	60	79	99	0	18	18
	100.0	26.6	20.2	31.9	39.9	22.8	30.0	37.6	0.0	6.8	6.8
70歳以上	161	48	28	46	47	26	34	64	1	13	19
	100.0	29.8	17.4	28.6	29.2	16.1	21.1	39.8	0.6	8.1	11.8

問 32 男性は仕事を中心に育児や介護、地域活動を担うことが難しい状況にあると言われていますが、男性がそれらに関わるためには、何が有効だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体でみると、「男性が育児休業・介護休業を取得しやすい職場環境の整備を推進する」が65.9%と最も高く、次いで「男性も育児や介護、地域活動に参加するのはあたりまえという風潮をつくる」が50.3%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「男性が育児休業・介護休業を取得しやすい職場環境の整備を推進する」が最も高くなっています。次いで、女性では「男性も育児や介護、地域活動に参加するのはあたりまえという風潮をつくる」、男性では「労働時間短縮や在宅勤務等の多様な働き方を普及し、仕事以外の時間を多くもてるようにする」が高くなっています。



ハラスメント・DVについて

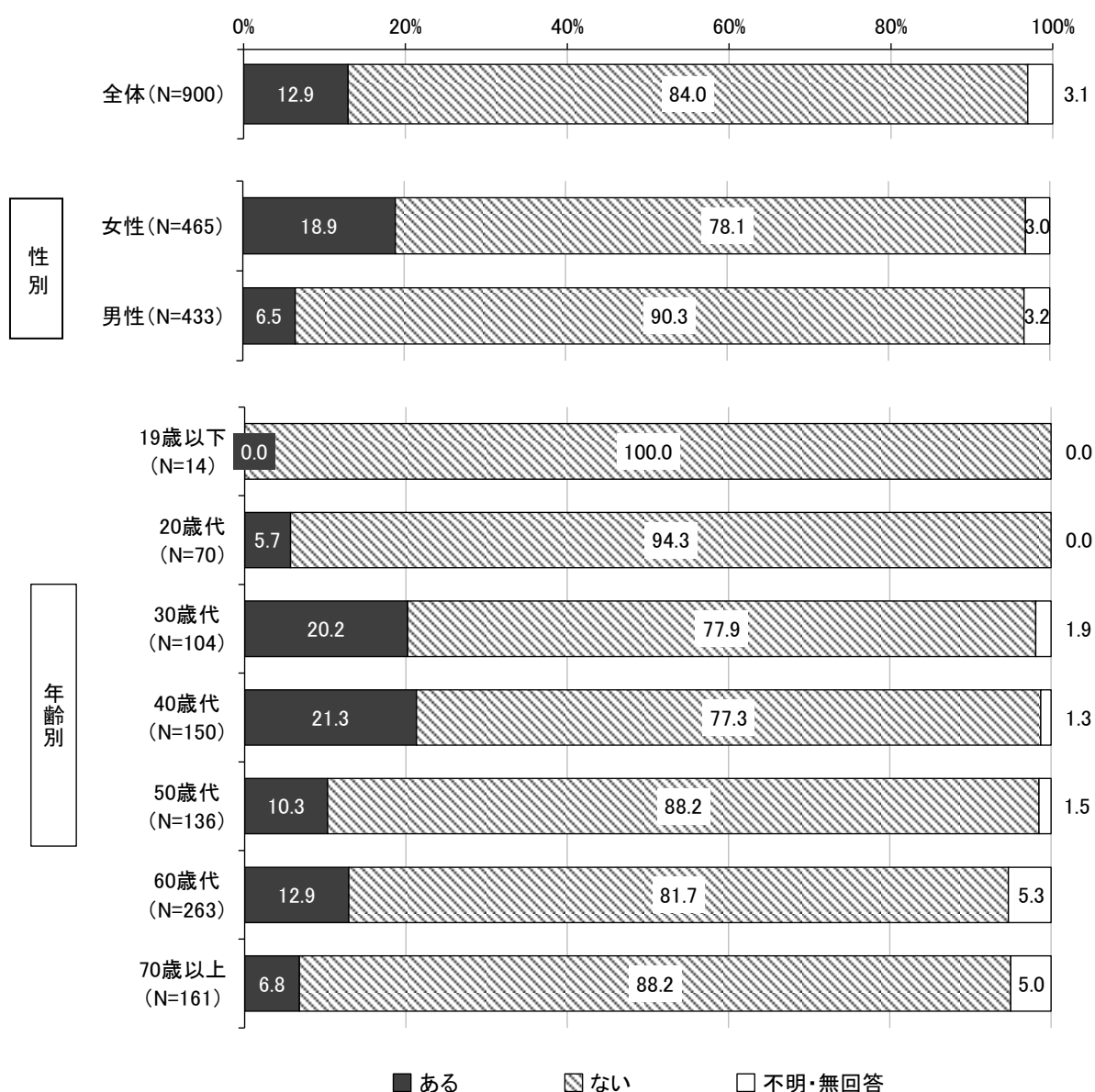
問 34 あなた自身や周りの方がセクシュアル・ハラスメントの被害にあわれたことはありますか。(○はそれぞれ1つ)

① 自分自身

全体でみると、「ある」が12.9%、「ない」が84.0%となっています。

性別でみると、女性は「ある」が18.9%、「ない」が78.1%となっています。男性は「ある」が6.5%、「ない」が90.3%となっています。

年齢別でみると、30歳代・40歳代では「ある」が2割台と他の年代と比べて高くなっています。

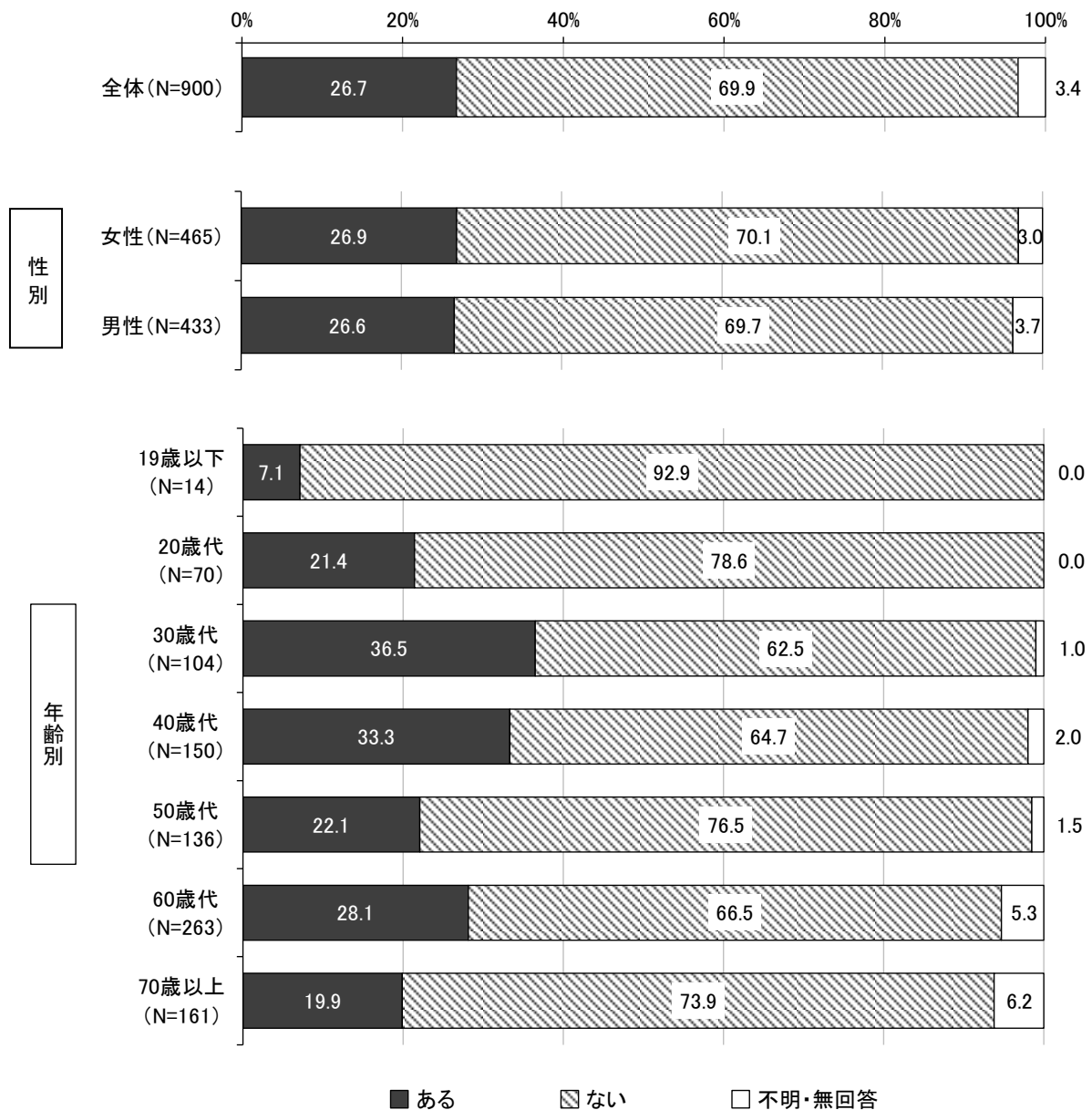


② 友人や職場の仲間等、自分の周りの人

全体で見ると、「ある」が26.7%、「ない」が69.9%となっています。

性別で見ると、女性では「ある」が26.9%、「ない」が70.1%となっています。男性では「ある」が26.6%、「ない」が69.7%となっています。

年齢別で見ると、30歳代・40歳代が3割台と他の年代と比べて高くなっています。



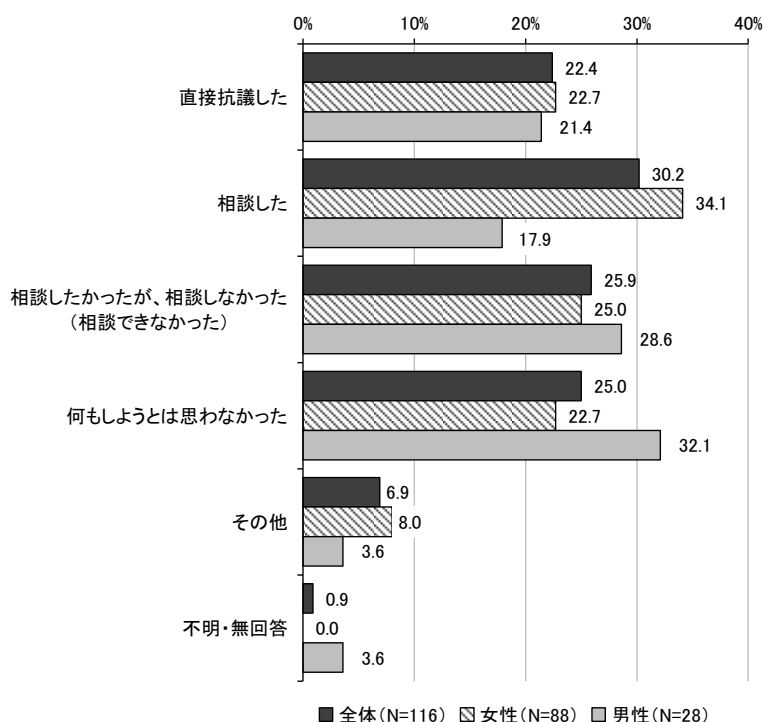
※ご自身がセクシュアル・ハラスメントの被害にあわれた方（問 34 の①で「1. ある」とお答えの方）におうかがいします。

問 35 あなたはどのような対応をしましたか。（あてはまるものすべてに○）

全体でみると、「相談した」が 30.2%と最も高く、次いで「相談したかったが、相談しなかった（相談できなかった）」が 25.9%となっています。

性別でみると、女性では「相談した」が 34.1%と最も高く、次いで「相談したかったが、相談しなかった（相談できなかった）」が 25.0%となっています。男性では「何もしようとは思わなかった」が 32.1%と最も高く、次いで「相談したかったが、相談しなかった（相談できなかった）」が 28.6%となっています。

年齢別でみると、20 歳代・70 歳以上では「直接抗議した」、30 歳代・50 歳代では「相談した」、40 歳代では「相談したかったが、相談しなかった（相談できなかった）」、60 歳代では「相談した」「何もしようとは思わなかった」が最も高くなっています。



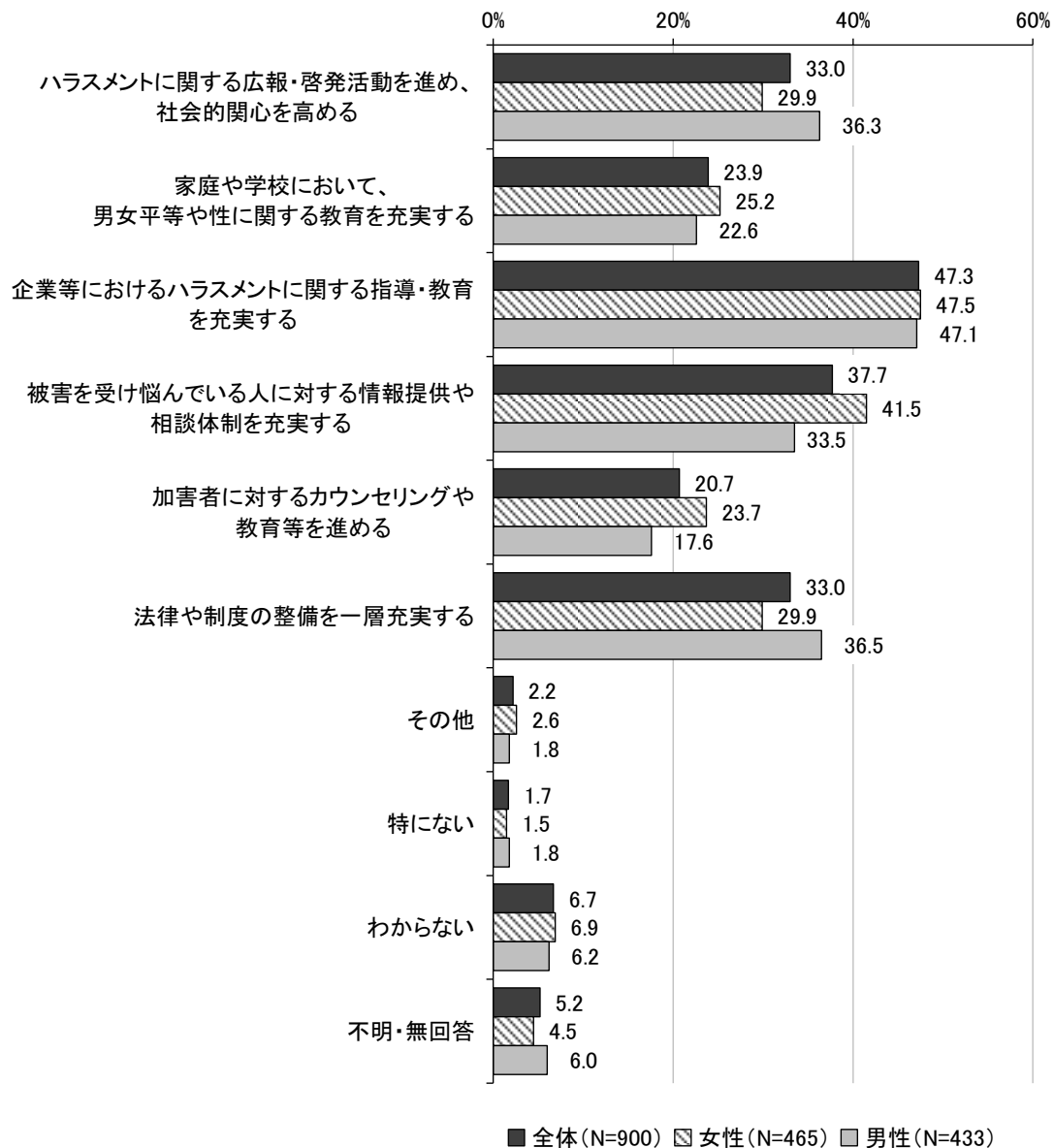
上段:件数 下段:%	合計	直接抗議した	相談した	相談したかったが、相談しなかった(相談できなかった)	何もしようとは思わなかった	その他	不明・無回答
全体	116 100.0	26 22.4	35 30.2	30 25.9	29 25.0	8 6.9	1 0.9
20歳代	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
30歳代	21 100.0	5 23.8	7 33.3	5 23.8	6 28.6	0 0.0	0 0.0
40歳代	32 100.0	5 15.6	11 34.4	12 37.5	6 18.8	1 3.1	1 3.1
50歳代	14 100.0	1 7.1	6 42.9	2 14.3	4 28.6	3 21.4	0 0.0
60歳代	34 100.0	8 23.5	9 26.5	8 23.5	9 26.5	4 11.8	0 0.0
70歳以上	11 100.0	5 45.5	1 9.1	3 27.3	3 27.3	0 0.0	0 0.0

問 36 セクハラやパワハラ、マタハラ等のハラスメントへの対策として、何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

全体で見ると、「企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する」が47.3%と最も高く、次いで「被害を受け悩んでいる人に対する情報提供や相談体制を充実する」が37.7%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する」が最も高くなっています。次いで女性では「被害を受け悩んでいる人に対する情報提供や相談体制を充実する」、男性では「法律や制度の整備を一層充実する」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代では「企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する」「法律や制度の整備を一層充実する」、30歳以上では「企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する」が最も高くなっています。

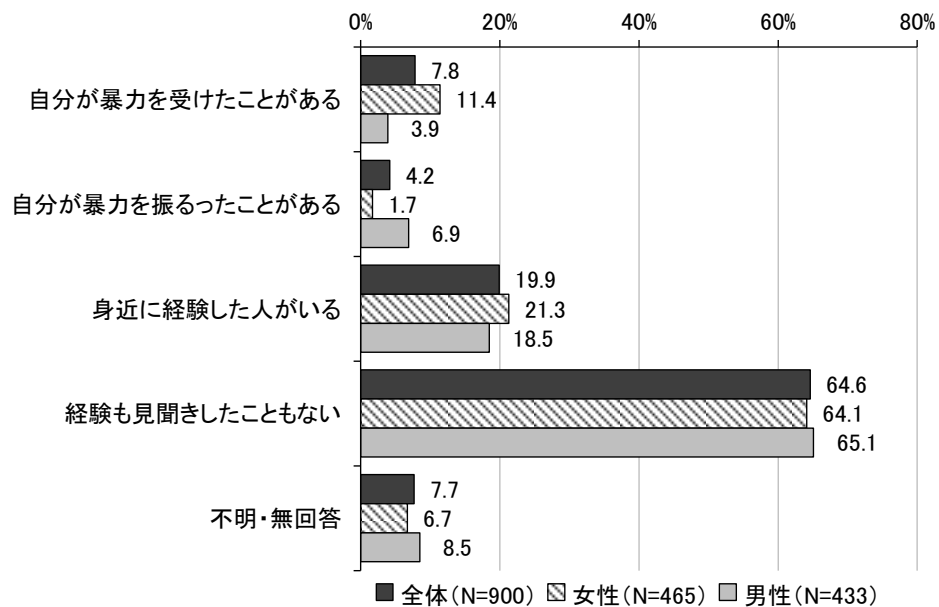


上段:件数 下段:%	合計	ハラスメントに関する広報・啓発活動を進め、社会的関心を高める	家庭や学校において、男女平等や性に関する教育を充実する	企業等におけるハラスメントに関する指導・教育を充実する	被害を受け悩んでいる人に対する情報提供や相談体制を充実する	加害者に対するカウンセリングや教育等を進める	法律や制度の整備を一層充実する	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体	900 100.0	297 33.0	215 23.9	426 47.3	339 37.7	186 20.7	297 33.0	20 2.2	15 1.7	60 6.7	47 5.2
19歳以下	14 100.0	5 35.7	2 14.3	4 28.6	9 64.3	4 28.6	3 21.4	0 0.0	0 0.0	2 14.3	0 0.0
20歳代	70 100.0	24 34.3	19 27.1	29 41.4	24 34.3	15 21.4	29 41.4	1 1.4	0 0.0	3 4.3	0 0.0
30歳代	104 100.0	26 25.0	23 22.1	51 49.0	42 40.4	21 20.2	45 43.3	6 5.8	2 1.9	6 5.8	1 1.0
40歳代	150 100.0	41 27.3	35 23.3	67 44.7	52 34.7	32 21.3	47 31.3	5 3.3	3 2.0	15 10.0	5 3.3
50歳代	136 100.0	45 33.1	27 19.9	73 53.7	55 40.4	36 26.5	45 33.1	1 0.7	2 1.5	11 8.1	2 1.5
60歳代	263 100.0	104 39.5	67 25.5	134 51.0	101 38.4	55 20.9	73 27.8	5 1.9	4 1.5	12 4.6	19 7.2
70歳以上	161 100.0	51 31.7	42 26.1	67 41.6	55 34.2	23 14.3	55 34.2	2 1.2	4 2.5	10 6.2	20 12.4

問 37 あなたは、配偶者・パートナー等からの身体的、精神的、経済的または性的な暴力（DV）について、経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体でみると、「経験も見聞きしたこともない」が64.6%と最も高く、次いで「身近に経験した人がある」が19.9%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「経験も見聞きしたこともない」が最も高く、次いで「身近に経験した人がある」が高くなっています。

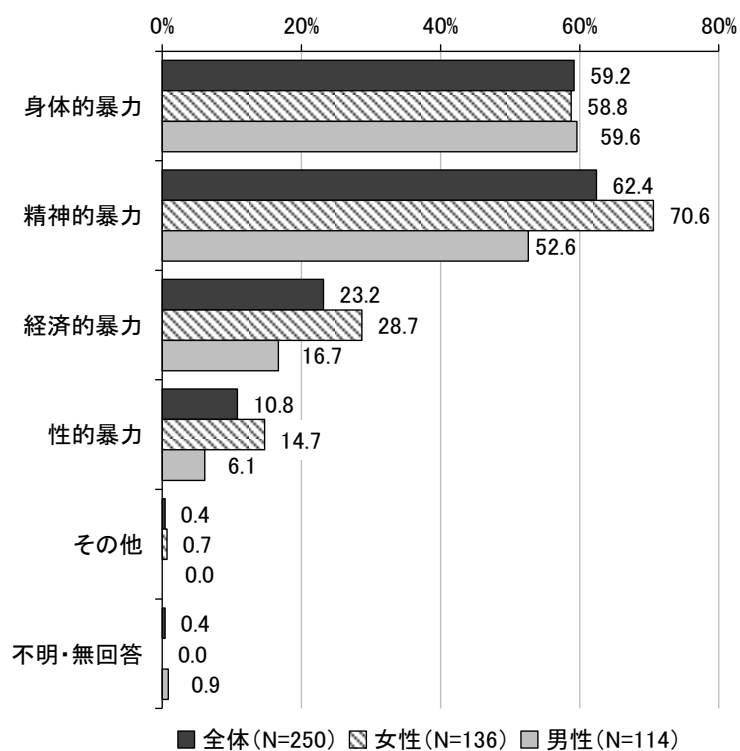


※問 37 で「1」～「3」のいずれかをお答えの方におうかがいします。

問 38 それはどのような暴力ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「精神的暴力」が 62.4% と最も高く、次いで「身体的暴力」が 59.2% となっています。

性別で見ると、女性では「精神的暴力」が 70.6% と最も高く、次いで「身体的暴力」が 58.8% となっています。男性では「身体的暴力」が 59.6% と最も高く、次いで「精神的暴力」が 52.6% となっています。

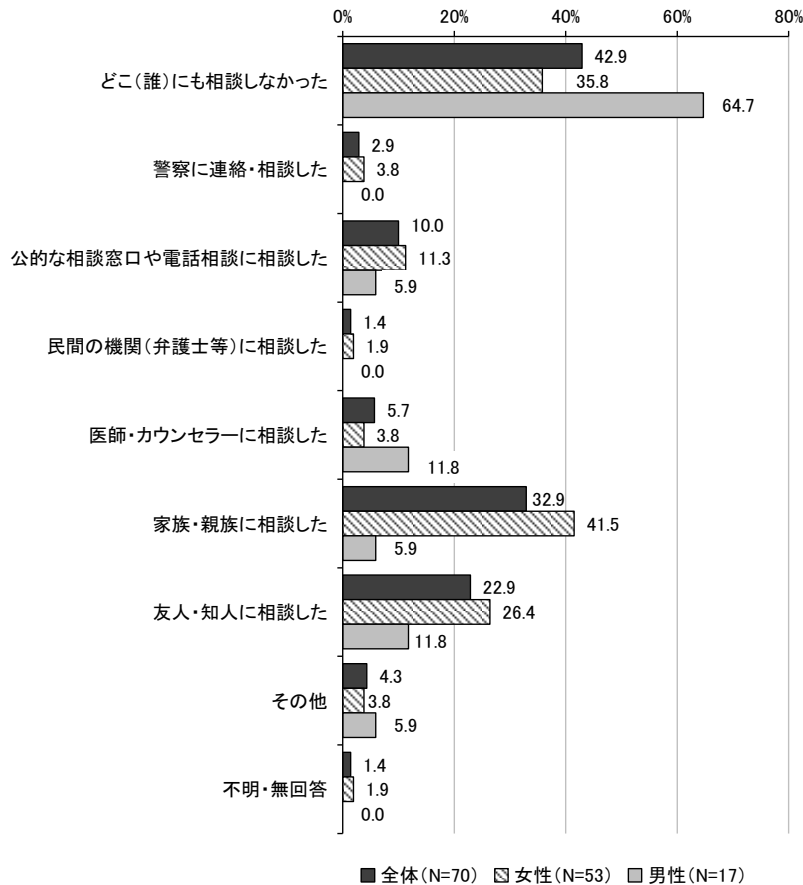


※問 37 で「1. 自分が暴力を受けたことがある」とお答えの方におうかがいします。

問 39 あなたはどのような対応をしましたか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「どこ（誰）にも相談しなかった」が 42.9%と最も高く、次いで「家族・親族に相談した」が 32.9%となっています。

性別で見ると、女性は「家族・親族に相談した」が 41.5%と最も高く、次いで「どこ（誰）にも相談しなかった」が 35.8%となっています。男性は「どこ（誰）にも相談しなかった」が 64.7%と最も高く、次いで「医師・カウンセラーに相談した」「友人・知人に相談した」が 11.8%となっています。



※問 39 で「1. どこ（誰）にも相談しなかった」とお答えの方におうかがいします。

問 40 相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思ったから」が 40.0%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」が 36.7%となっています。

上段:件数 下段:%	合計	どこに相談してよいかわからなかったから	恥ずかしかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思ったから	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	不明・無回答
全体	30 100.0	5 16.7	2 6.7	11 36.7	3 10.0	12 40.0	1 3.3	8 26.7	9 30.0	1 3.3	2 6.7
女性	19 100.0	2 10.5	1 5.3	8 42.1	1 5.3	8 42.1	1 5.3	4 21.1	5 26.3	1 5.3	1 5.3
男性	11 100.0	3 27.3	1 9.1	3 27.3	2 18.2	4 36.4	0 0	4 36.4	4 36.4	0 0	1 9.1

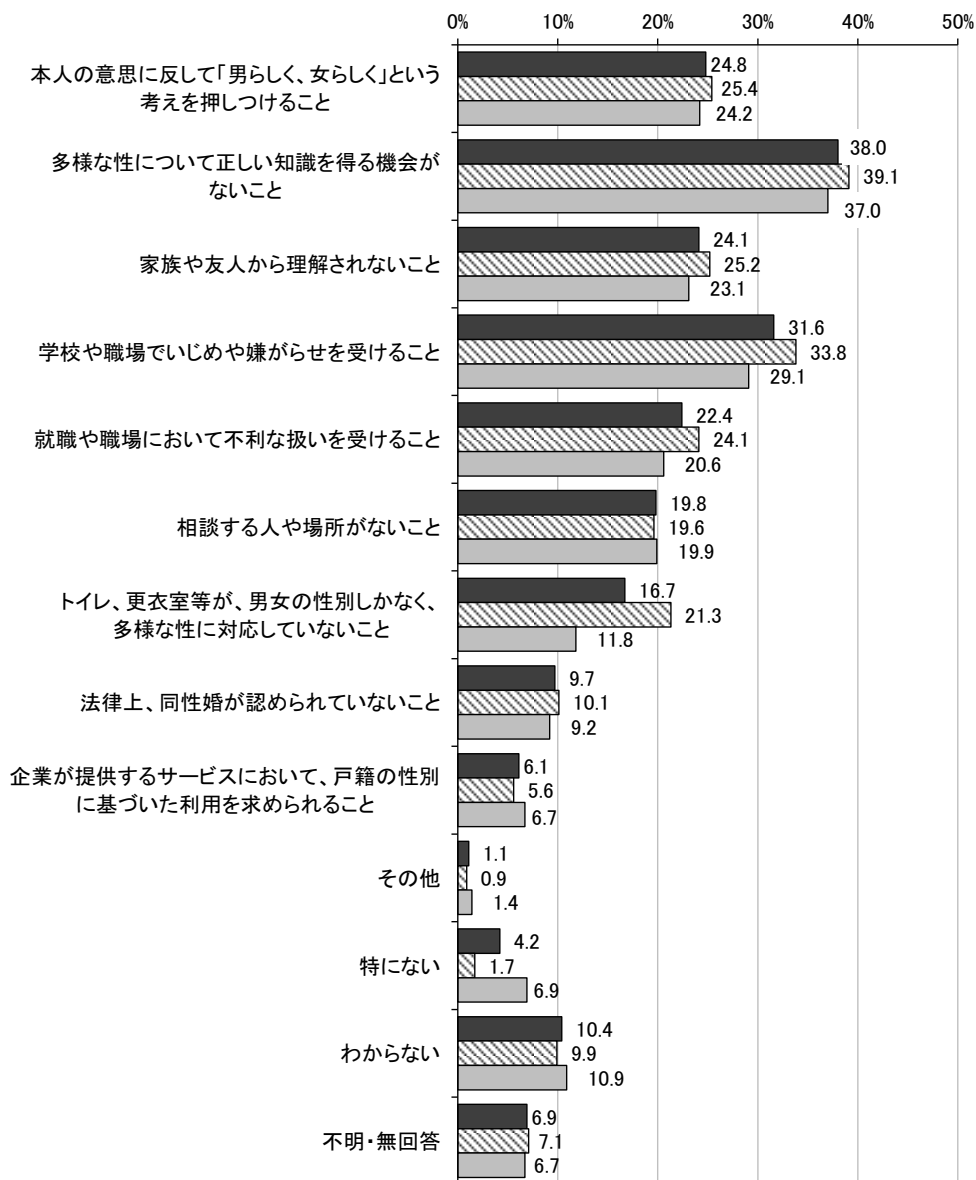
多様な性について

問 42 多様な性への理解について、あなたが特に課題だと思うのは、どのようなことですか。(○は3つまで)

全体でみると、「多様な性について正しい知識を得る機会がないこと」が38.0%と最も高く、次いで「学校や職場でいじめや嫌がらせを受けること」が31.6%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「多様な性について正しい知識を得る機会がないこと」が最も高く、次いで「学校や職場でいじめや嫌がらせを受けること」が高くなっています。

年齢別でみると、30歳代・50歳以上では「多様な性について正しい知識を得る機会がないこと」、20歳代・40歳代では「学校や職場でいじめや嫌がらせを受けること」が最も高くなっています。



■ 全体 (N=900) ▨ 女性 (N=465) □ 男性 (N=433)

上段:件数 下段:%	合計	本人の意思に反して「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること	多様な性について正しい知識を得る機会がないこと	家族や友人から理解されないこと	学校や職場でいじめや嫌がらせを受けやすいこと	就職や職場において不利な扱いを受けやすいこと	相談する人や場所がないこと	トイレ、更衣室等が、男女の性別しかなく、多様な性に対応していないこと
全体	900 100.0	223 24.8	342 38.0	217 24.1	284 31.6	202 22.4	178 19.8	150 16.7
19歳以下	14 100.0	4 28.6	1 7.1	5 35.7	6 42.9	2 14.3	6 42.9	5 35.7
20歳代	70 100.0	18 25.7	20 28.6	20 28.6	25 35.7	18 25.7	14 20.0	14 20.0
30歳代	104 100.0	33 31.7	44 42.3	29 27.9	40 38.5	27 26.0	19 18.3	22 21.2
40歳代	150 100.0	43 28.7	55 36.7	42 28.0	58 38.7	43 28.7	32 21.3	30 20.0
50歳代	136 100.0	27 19.9	60 44.1	31 22.8	42 30.9	28 20.6	29 21.3	28 20.6
60歳代	263 100.0	66 25.1	107 40.7	58 22.1	82 31.2	66 25.1	44 16.7	34 12.9
70歳以上	161 100.0	32 19.9	55 34.2	32 19.9	30 18.6	17 10.6	33 20.5	17 10.6

上段:件数 下段:%	合計	法律上、同性婚が認められていないこと	企業が提供するサービスにおいて、戸籍の性別に基づいた利用を求められること	その他	特になし	わからない	不明・無回答
全体	900 100.0	87 9.7	55 6.1	10 1.1	38 4.2	94 10.4	62 6.9
19歳以下	14 100.0	3 21.4	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	70 100.0	18 25.7	3 4.3	2 2.9	0 0.0	5 7.1	4 5.7
30歳代	104 100.0	17 16.3	10 9.6	0 0.0	2 1.9	6 5.8	1 1.0
40歳代	150 100.0	16 10.7	9 6.0	3 2.0	6 4.0	12 8.0	4 2.7
50歳代	136 100.0	9 6.6	10 7.4	1 0.7	7 5.1	20 14.7	3 2.2
60歳代	263 100.0	19 7.2	19 7.2	1 0.4	8 3.0	26 9.9	28 10.6
70歳以上	161 100.0	5 3.1	4 2.5	2 1.2	15 9.3	24 14.9	22 13.7

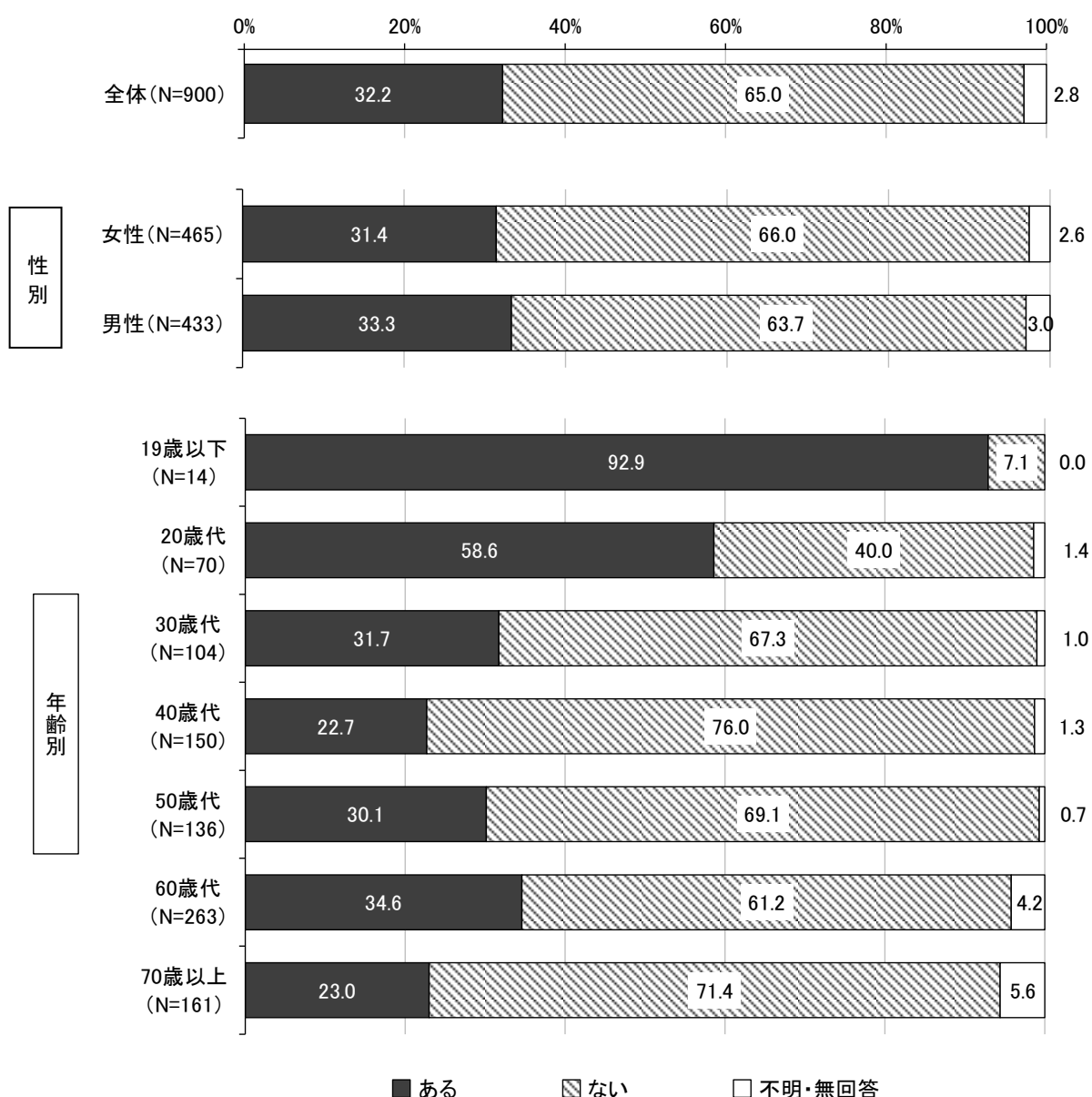
男女共同参画について

問 44 あなたは、男女共同参画がどういうものなのかということ、学んだり、教えられたりしたことがありますか。(○は1つ)

全体で見ると、「ある」が32.2%、「ない」が65.0%となっています。

性別で見ると、女性は「ある」が31.4%、「ない」が66.0%となっています。男性は「ある」が33.3%、「ない」が63.7%となっています。

年齢別で見ると、30歳未満では「ある」が他の年代と比べて高くなっています。



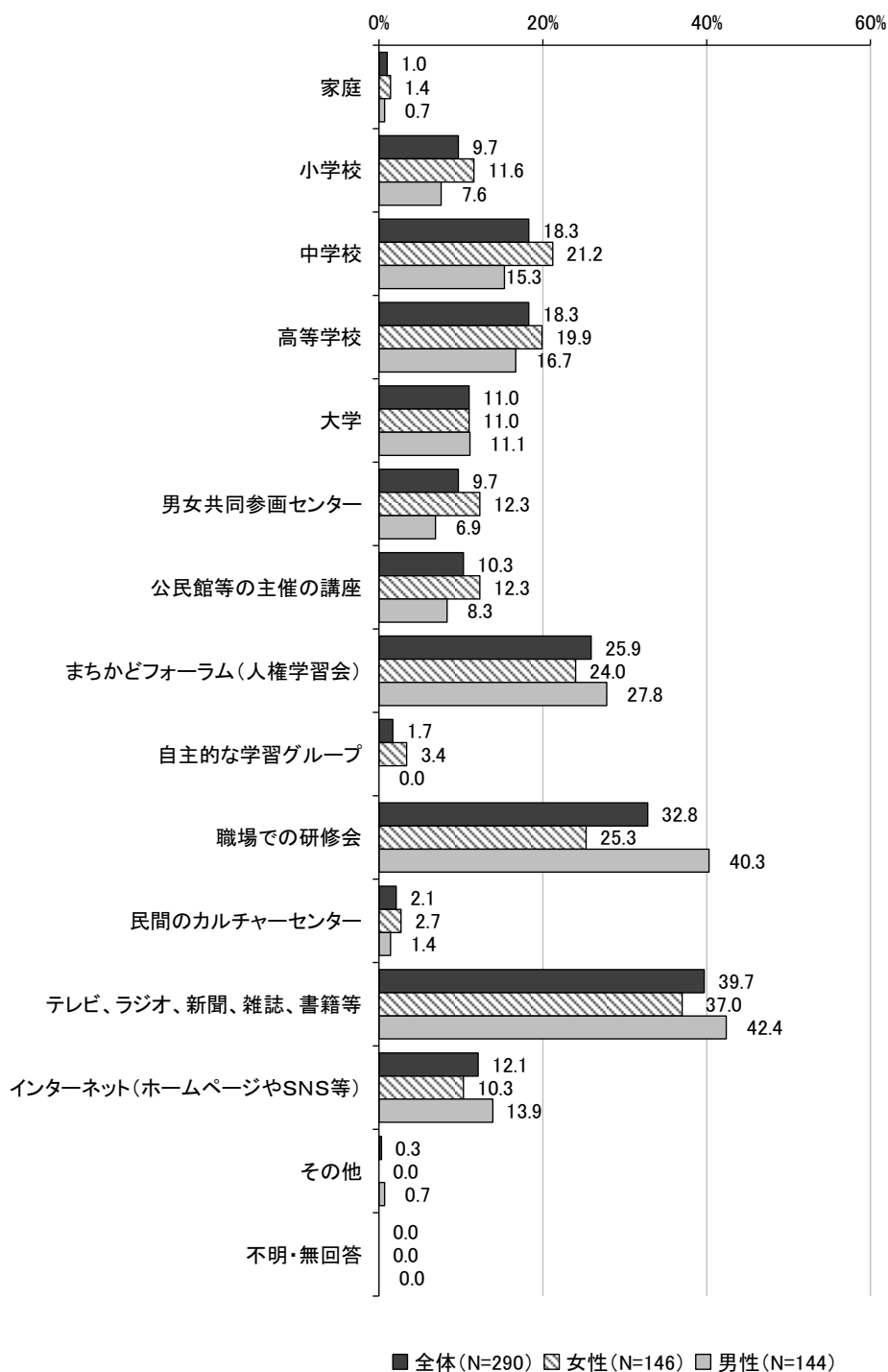
※問 44 で「1. ある」と回答された方

問 45 それはどこで学んだり、教えられたりしましたか。(あてはまるものすべてに○)

全体で見ると、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、書籍等」が 39.7% と最も高く、次いで「職場での研修会」が 32.8% となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、書籍等」が最も高く、次いで「職場での研修会」が高くなっています。

年齢別で見ると、19 歳以下では「中学校」、20 歳代では「高等学校」、30 歳代では「職場での研修会」、40 歳代から 60 歳代では「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、書籍等」、70 歳以上では「まちかどフォーラム（人権学習会）」が最も高くなっています。



上段:件数 下段:%	合計	家庭	小学校	中学校	高等学校	大学	男女共同参画 センター	公民館等の主 催の講座	まちかどフォー ラム(人権学 習会)
全体	290 100.0	3 1.0	28 9.7	53 18.3	53 18.3	32 11.0	28 9.7	30 10.3	75 25.9
19歳以下	13 100.0	0 0.0	5 38.5	11 84.6	6 46.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	41 100.0	1 2.4	12 29.3	26 63.4	29 70.7	12 29.3	1 2.4	0 0.0	0 0.0
30歳代	33 100.0	1 3.0	5 15.2	7 21.2	9 27.3	7 21.2	2 6.1	0 0.0	1 3.0
40歳代	34 100.0	0 0.0	3 8.8	4 11.8	4 11.8	5 14.7	2 5.9	3 8.8	5 14.7
50歳代	41 100.0	0 0.0	1 2.4	3 7.3	2 4.9	2 4.9	5 12.2	3 7.3	10 24.4
60歳代	91 100.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	3 3.3	13 14.3	15 16.5	36 39.6
70歳以上	37 100.0	0 0.0	1 2.7	1 2.7	1 5.4	2 5.4	2 13.5	5 24.3	9 62.2

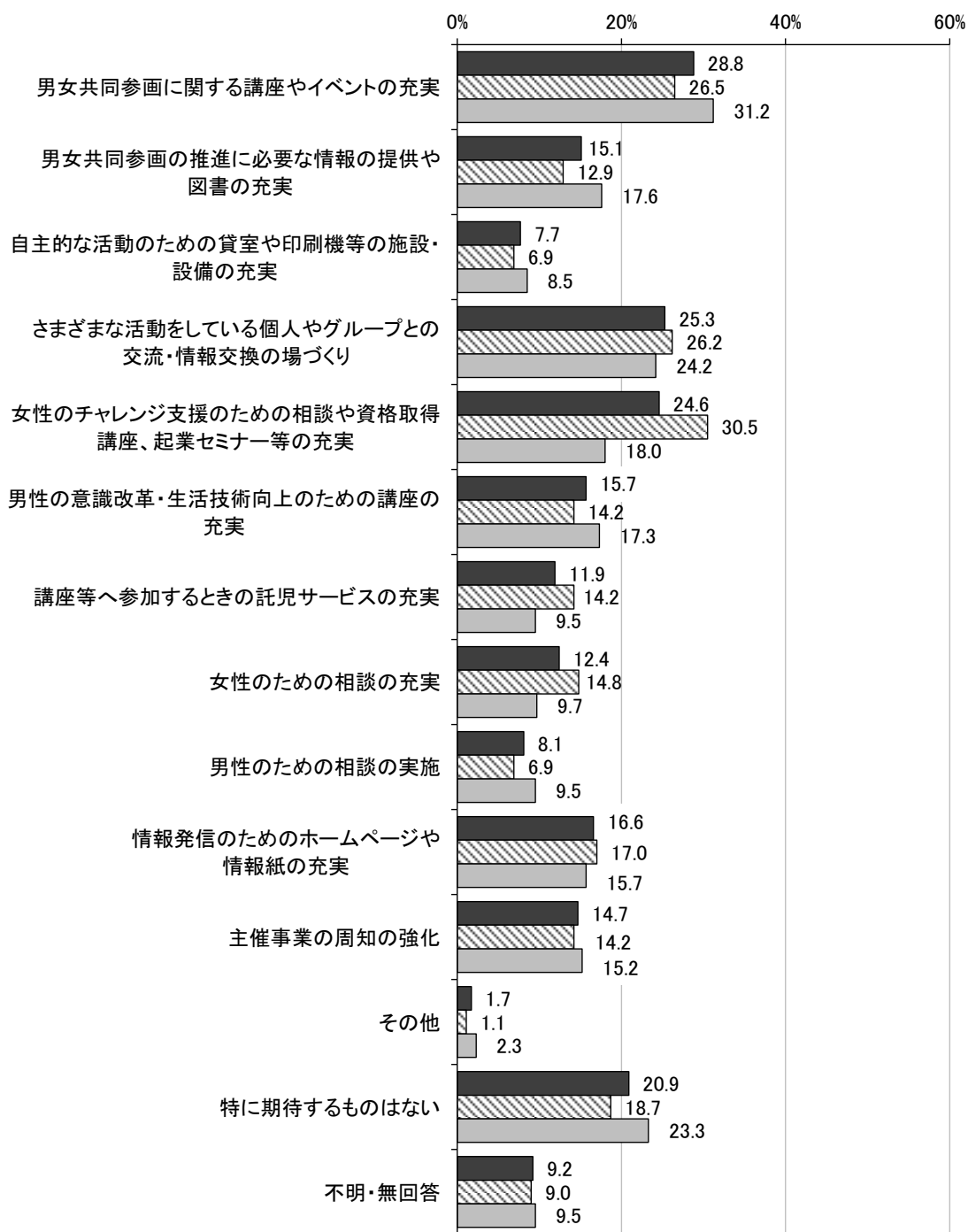
上段:件数 下段:%	合計	自主的な学習 グループ	職場での研修 会	民間のカル チャーセンター	テレビ、ラジ オ、新聞、雑 誌、書籍等	インターネット (ホームペー ジやSNS等)	その他	不明・無回答
全体	290 100.0	5 1.7	95 32.8	6 2.1	115 39.7	35 12.1	1 0.3	0 0.0
19歳以下	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	41 100.0	0 0.0	4 9.8	0 0.0	3 7.3	2 4.9	0 0.0	0 0.0
30歳代	33 100.0	1 3.0	12 36.4	2 6.1	4 12.1	3 9.1	0 0.0	0 0.0
40歳代	34 100.0	2 5.9	14 41.2	1 2.9	15 44.1	11 32.4	1 2.9	0 0.0
50歳代	41 100.0	1 2.4	19 46.3	0 0.0	26 63.4	10 24.4	0 0.0	0 0.0
60歳代	91 100.0	1 1.1	35 38.5	1 1.1	47 51.6	7 7.7	0 0.0	0 0.0
70歳以上	37 100.0	0 0.0	11 29.7	2 5.4	19 51.4	2 5.4	0 0.0	0 0.0

問 46 地域交流センター（アスティアかさい3階）内にある加西市男女共同参画センターでは、男女共同参画に関する講座やイベントを実施しています。あなたが、センターに今後期待するものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

全体で見ると、「男女共同参画に関する講座やイベントの充実」が28.8%と最も高く、次いで「さまざまな活動をしている個人やグループとの交流・情報交換の場づくり」が25.3%となっています。

性別で見ると、女性は「女性のチャレンジ支援のための相談や資格取得講座、起業セミナー等の充実」が30.5%と最も高く、次いで「男女共同参画に関する講座やイベントの充実」が26.5%となっています。男性は「男女共同参画に関する講座やイベントの充実」が31.2%と最も高く、次いで「さまざまな活動をしている個人やグループとの交流・情報交換の場づくり」が24.2%となっています。

年齢別で見ると、19歳以下では「女性のための相談の充実」、20歳代では「特に期待するものはない」、30歳代・40歳代では「女性のチャレンジ支援のための相談や資格取得講座、起業セミナー等の充実」、50歳代・60歳代では「男女共同参画に関する講座やイベントの充実」、70歳以上では「さまざまな活動をしている個人やグループとの交流・情報交換の場づくり」が最も高くなっています。



■ 全体 (N=900) ▨ 女性 (N=465) □ 男性 (N=433)

上段:件数 下段:%	合計	男女共同参画 に関する講座 やイベントの 充実	男女共同参画 の推進に必要 な情報の提供 や図書の充実	自主的な活動 のための貸室 や印刷機等の 施設・設備の 充実	さまざまな活 動をしている 個人やグルー プとの交流・情 報交換の場づ くり	女性のチャレ ンジ支援のた めの相談や資 格取得講座、 起業セミナー 等の充実	男性の意識改 革・生活技術 向上のための 講座の充実	講座等へ参加 するときの託 児サービスの 充実
全体	900 100.0	259 28.8	136 15.1	69 7.7	228 25.3	221 24.6	141 15.7	107 11.9
19歳以下	14 100.0	4 28.6	1 7.1	0 0.0	1 7.1	3 21.4	1 7.1	0 0.0
20歳代	70 100.0	15 21.4	6 8.6	5 7.1	20 28.6	20 28.6	10 14.3	10 14.3
30歳代	104 100.0	22 21.2	7 6.7	8 7.7	26 25.0	32 30.8	15 14.4	18 17.3
40歳代	150 100.0	42 28.0	21 14.0	14 9.3	38 25.3	45 30.0	23 15.3	22 14.7
50歳代	136 100.0	44 32.4	17 12.5	10 7.4	31 22.8	38 27.9	26 19.1	18 13.2
60歳代	263 100.0	92 35.0	51 19.4	21 8.0	67 25.5	51 19.4	40 15.2	25 9.5
70歳以上	161 100.0	39 24.2	33 20.5	11 6.8	44 27.3	31 19.3	26 16.1	14 8.7

上段:件数 下段:%	合計	女性のための 相談の充実	男性のための 相談の実施	情報発信のた めのホーム ページや情報 紙の充実	主催事業の周 知の強化	その他	特に期待する ものはない	不明・無回答
全体	900 100.0	112 12.4	73 8.1	149 16.6	132 14.7	15 1.7	188 20.9	83 9.2
19歳以下	14 100.0	5 35.7	4 28.6	1 7.1	0 0.0	0 0.0	3 21.4	0 0.0
20歳代	70 100.0	13 18.6	6 8.6	6 8.6	7 10.0	2 2.9	22 31.4	2 2.9
30歳代	104 100.0	16 15.4	13 12.5	16 15.4	18 17.3	4 3.8	23 22.1	4 3.8
40歳代	150 100.0	18 12.0	12 8.0	30 20.0	27 18.0	7 4.7	31 20.7	9 6.0
50歳代	136 100.0	17 12.5	10 7.4	27 19.9	23 16.9	1 0.7	30 22.1	4 2.9
60歳代	263 100.0	25 9.5	17 6.5	46 17.5	41 15.6	0 0.0	41 15.6	39 14.8
70歳以上	161 100.0	17 10.6	11 6.8	21 13.0	16 9.9	1 0.6	38 23.6	25 15.5

問 47 あなたは、次のような言葉や名称についてご存知ですか。(○はそれぞれ1つ)

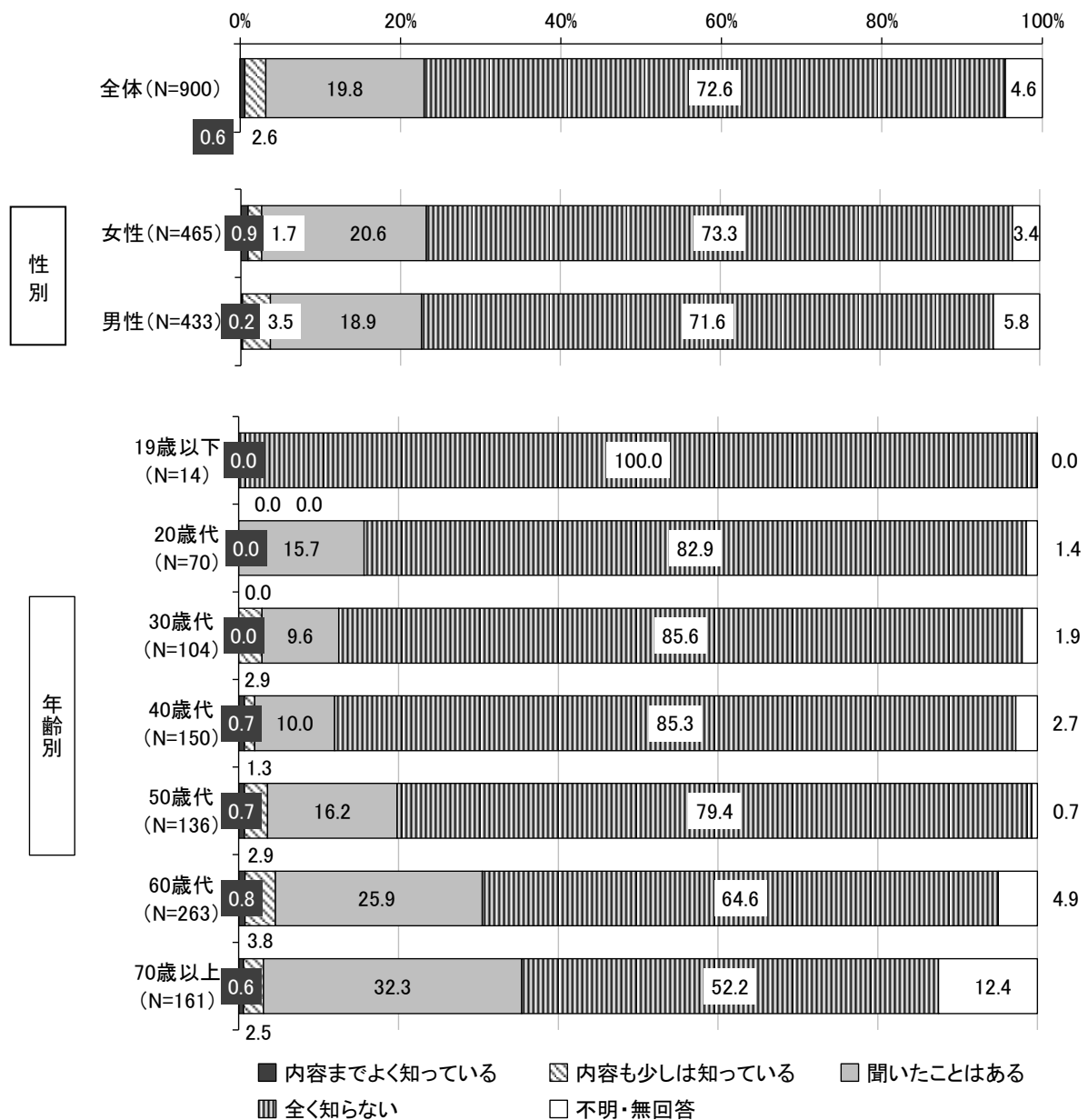
◎ 加西市の取組

① かせい男女共同参画ゆめプラン

全体で見ると、「全く知らない」が72.6%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が19.8%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳以上で年代が上がるほど「聞いたことはある」が高くなっています。

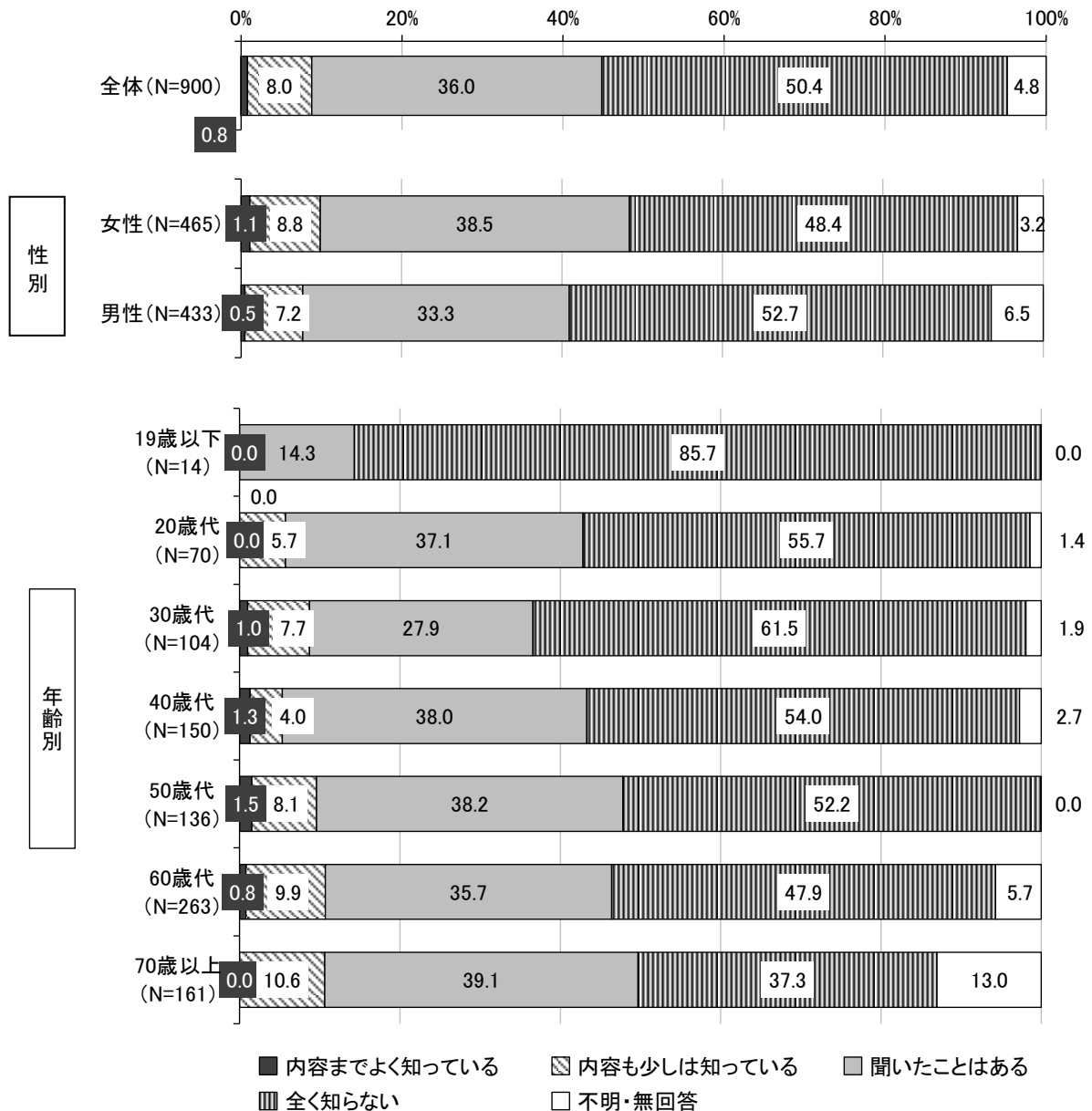


② 加西市男女共同参画センター

全体で見ると、「全く知らない」が50.4%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が36.0%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳以上で年代が上がるほど「全く知らない」が低くなっています。

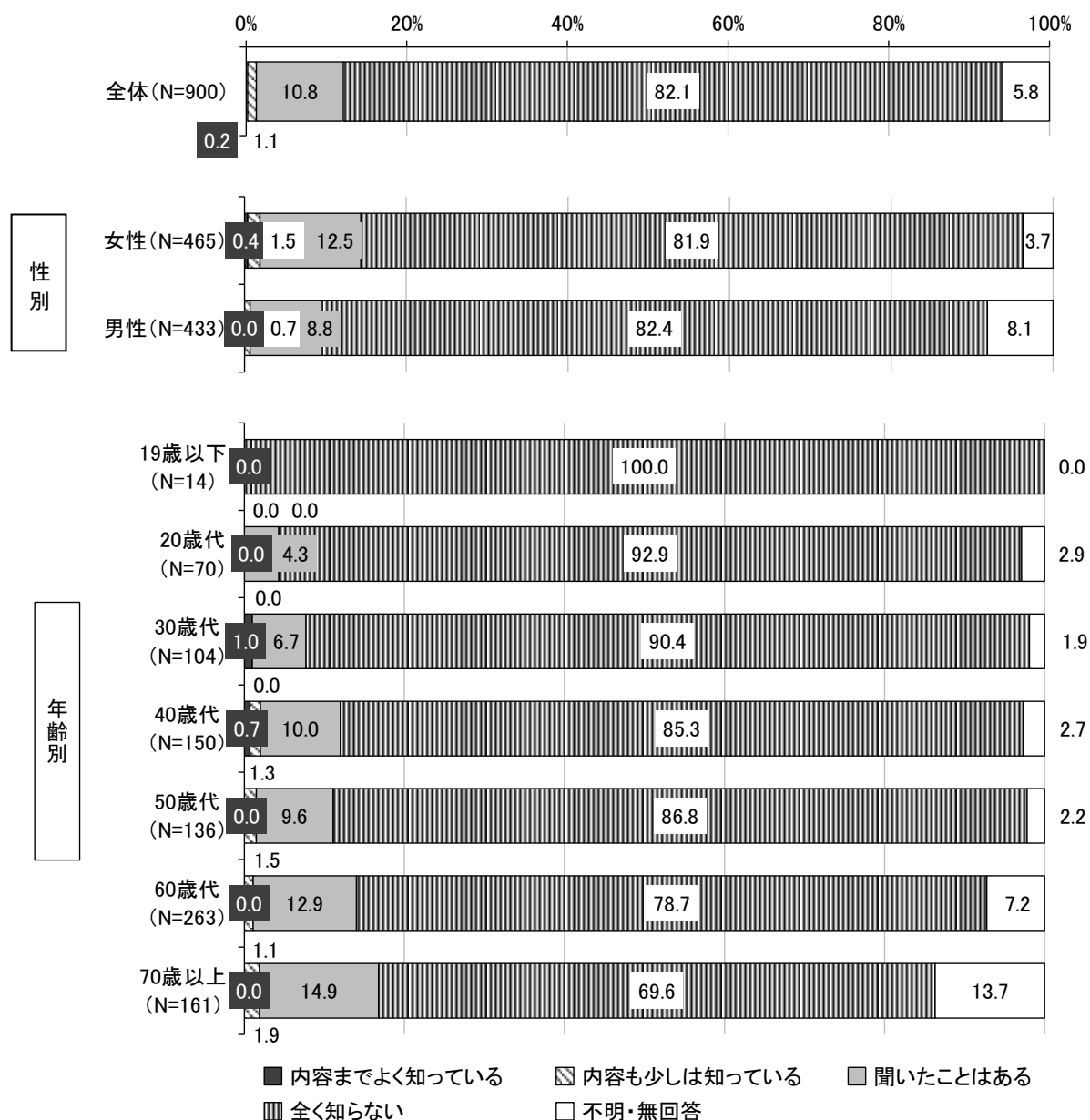


③ 女性のための出前！チャレンジ相談

全体で見ると、「全く知らない」が82.1%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が10.8%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、概ね年代が上がるほど「全く知らない」が低くなっています。

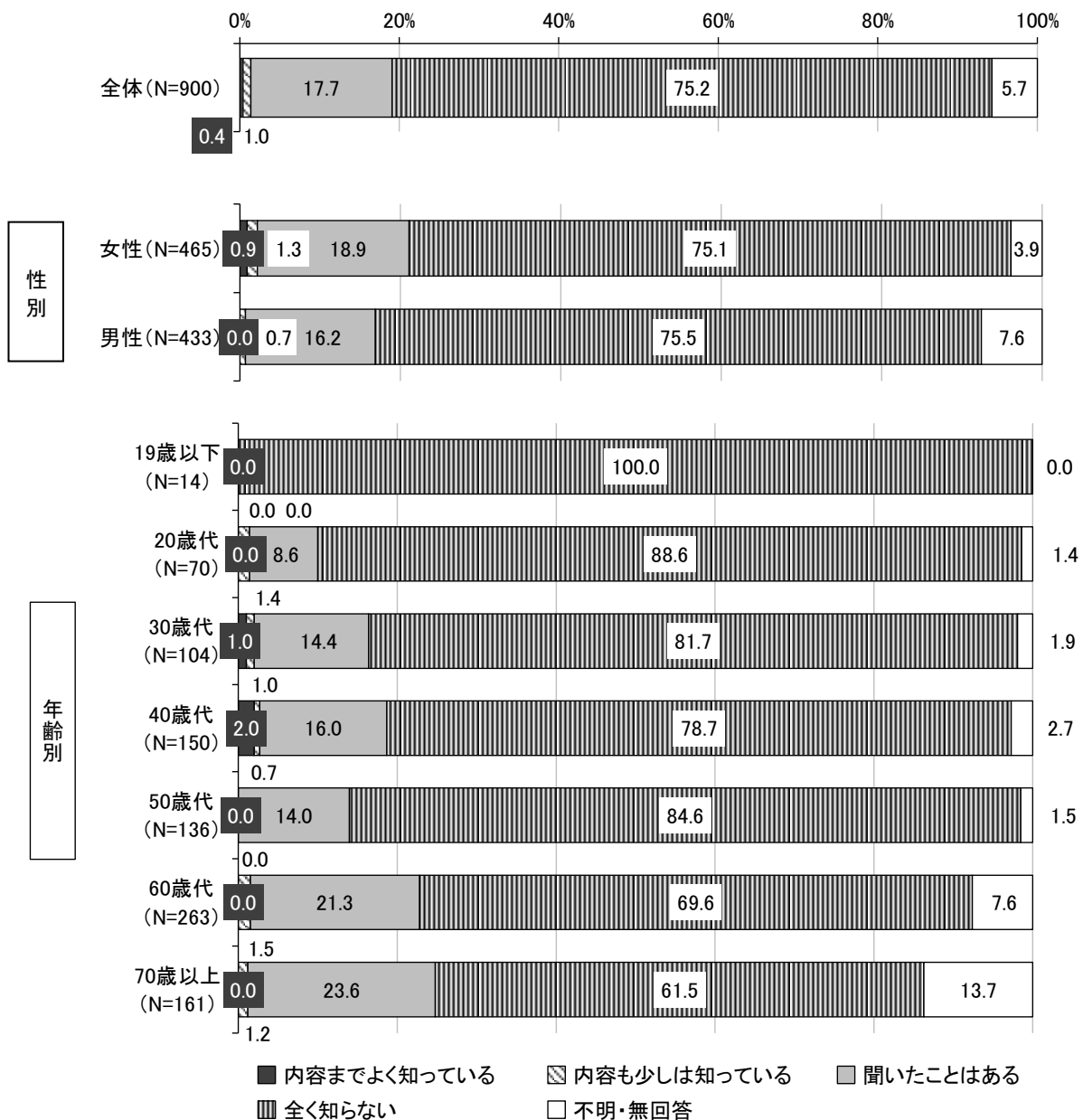


④ 出張！女性のための働き方セミナー

全体で見ると、「全く知らない」が75.2%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が17.7%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、60歳以上では「聞いたことはある」が他の年代と比べて高くなっています。

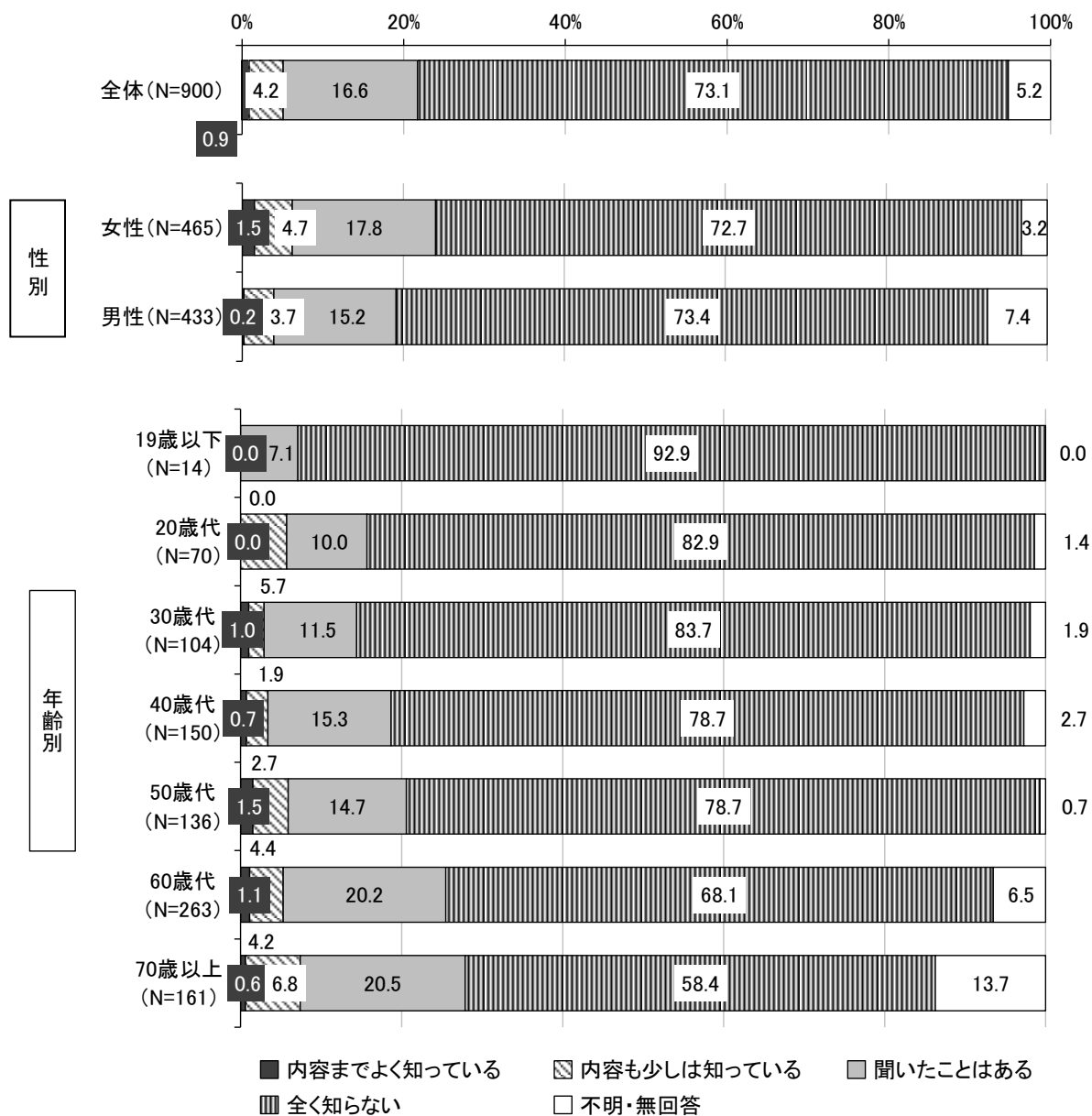


⑤ 男女共同参画啓発映画上映

全体で見ると、「全く知らない」が73.1%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が16.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、概ね年代が上がるほど「聞いたことはある」が高くなっています。

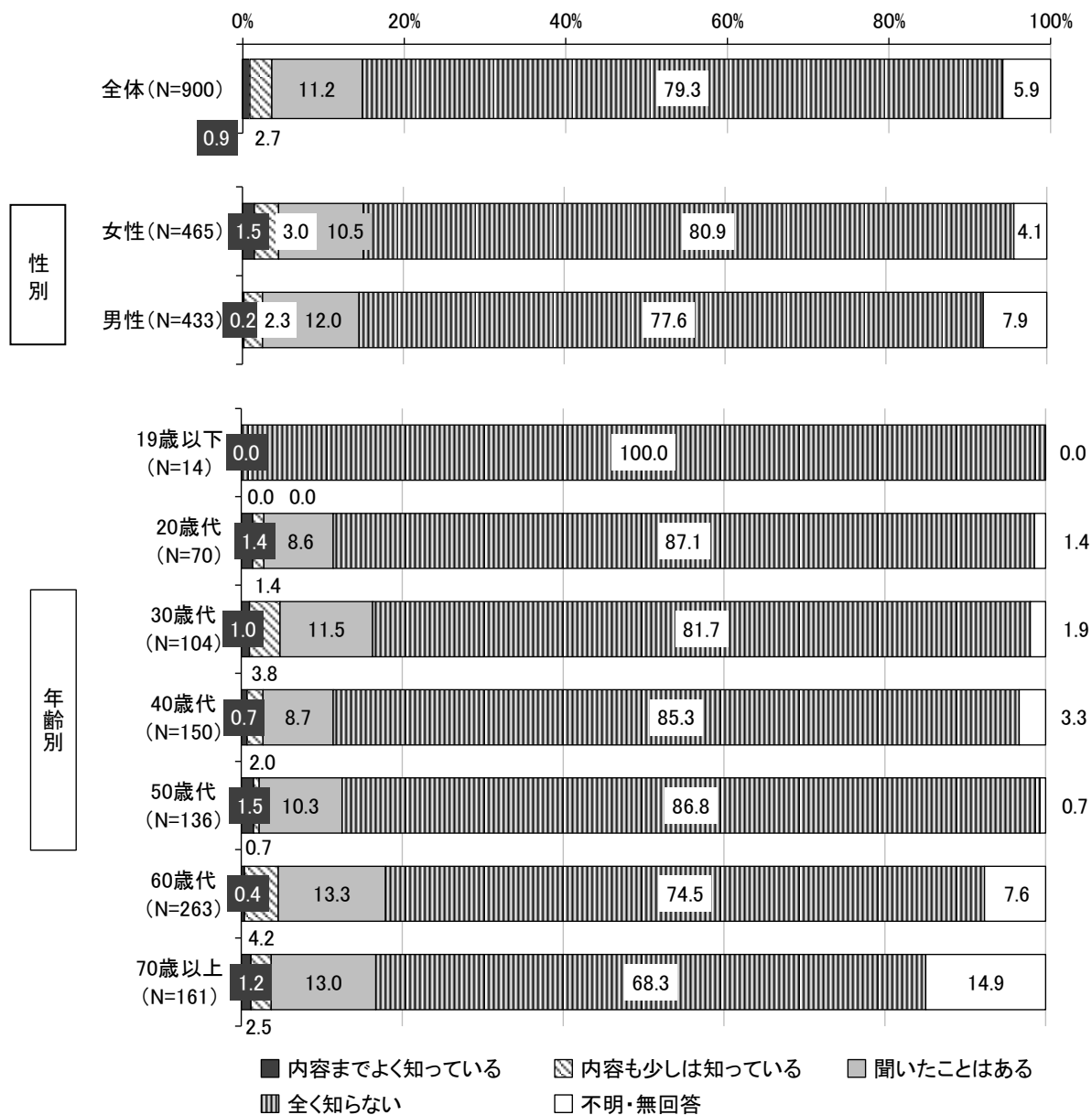


⑥ 男女共同参画に関する書籍等の貸出

全体で見ると、「全く知らない」が79.3%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が11.2%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、60歳以上では「全く知らない」が他の年代と比べて低くなっています。

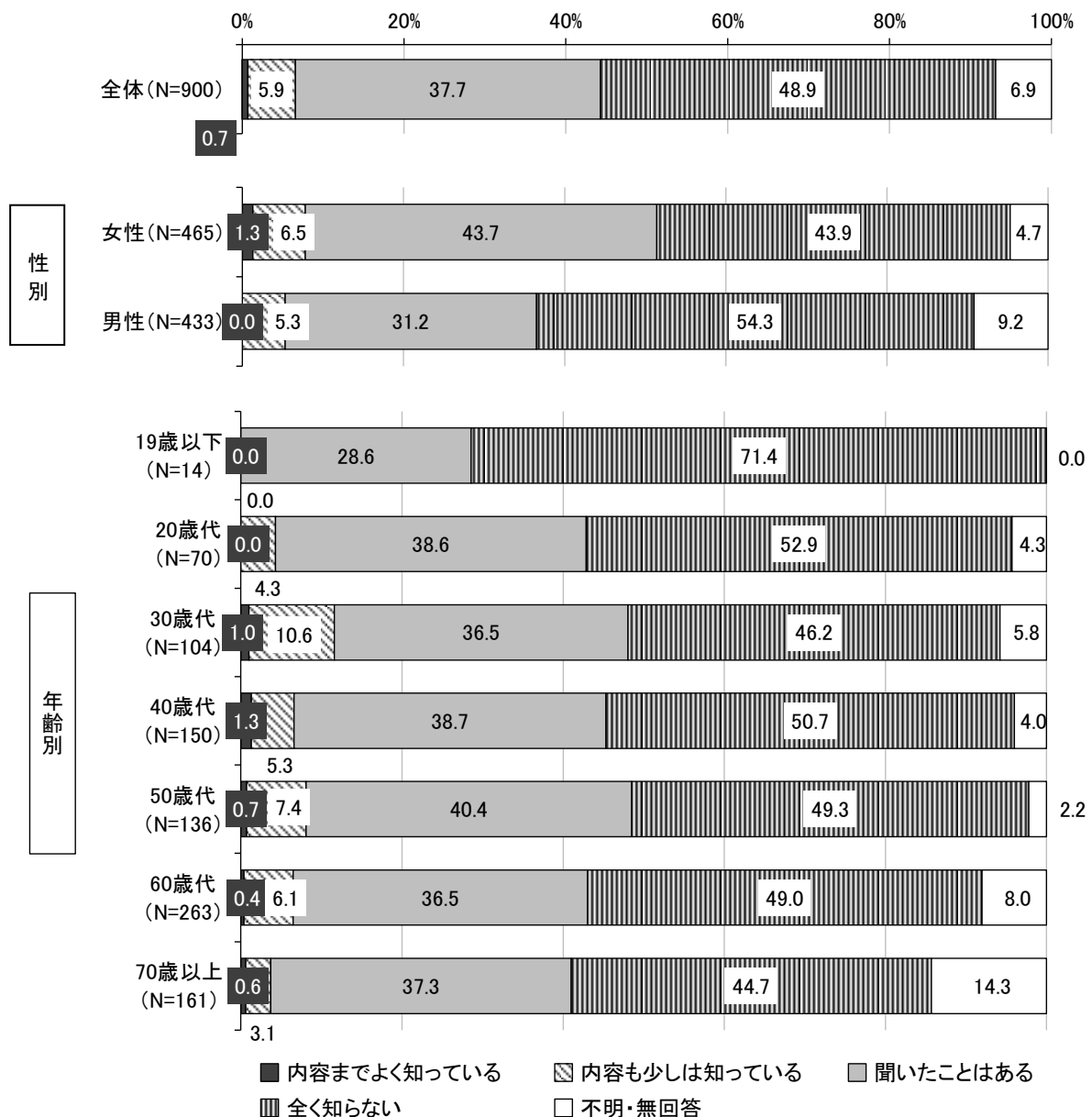


⑦ DV相談室（窓口）

全体で見ると、「全く知らない」が48.9%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が37.7%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳代では『知っている』『内容までよく知っている』『内容も少しは知っている』を合わせたものが1割を超えています。



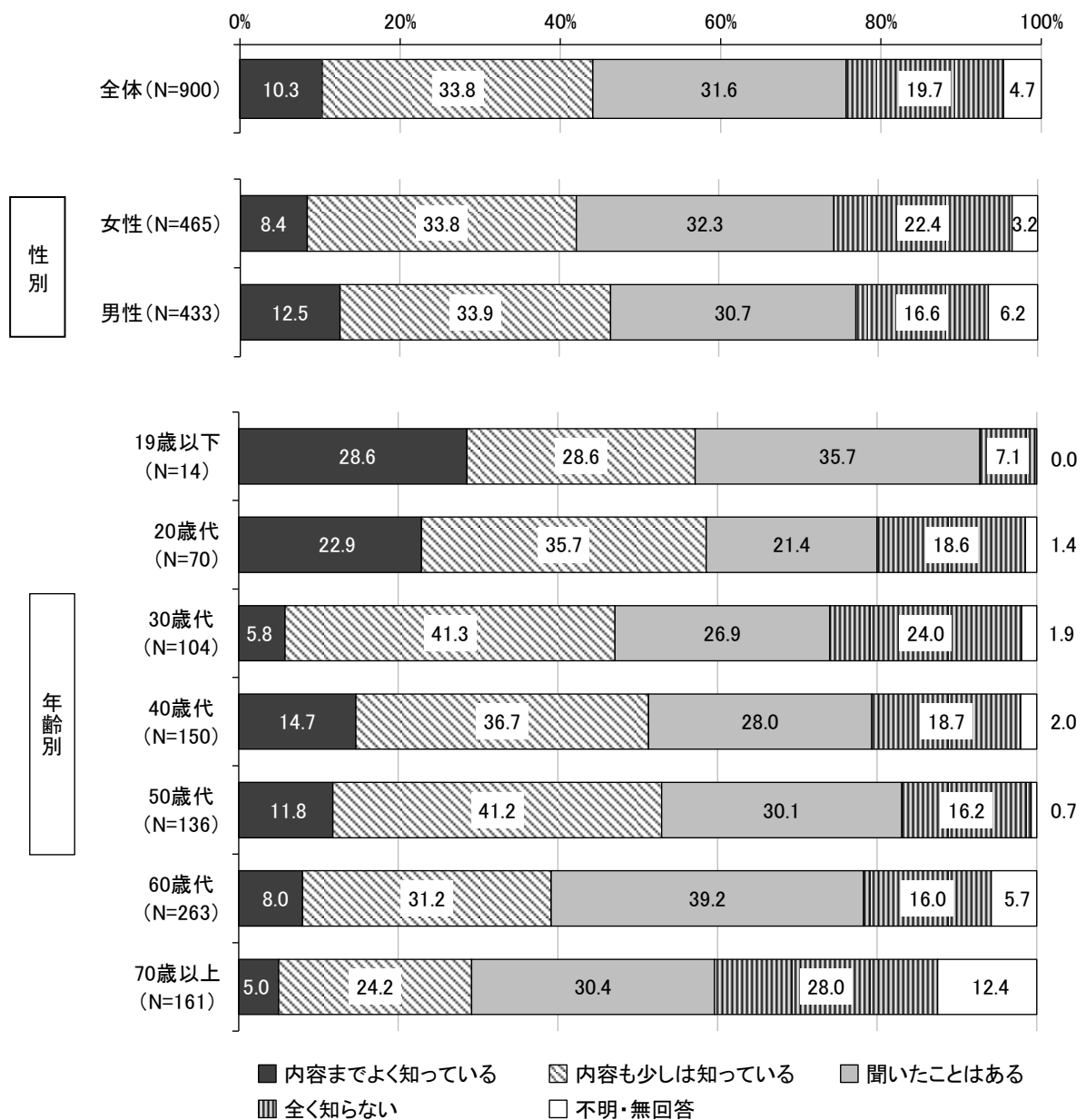
◎ 男女共同参画に関することから

⑧ 男女雇用機会均等法

全体でみると、「内容も少しは知っている」が 33.8%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が 31.6%となっています。

性別でみると、女性・男性ともに「内容も少しは知っている」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別でみると、30歳未満・40歳代・50歳代では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が5割を超えています。

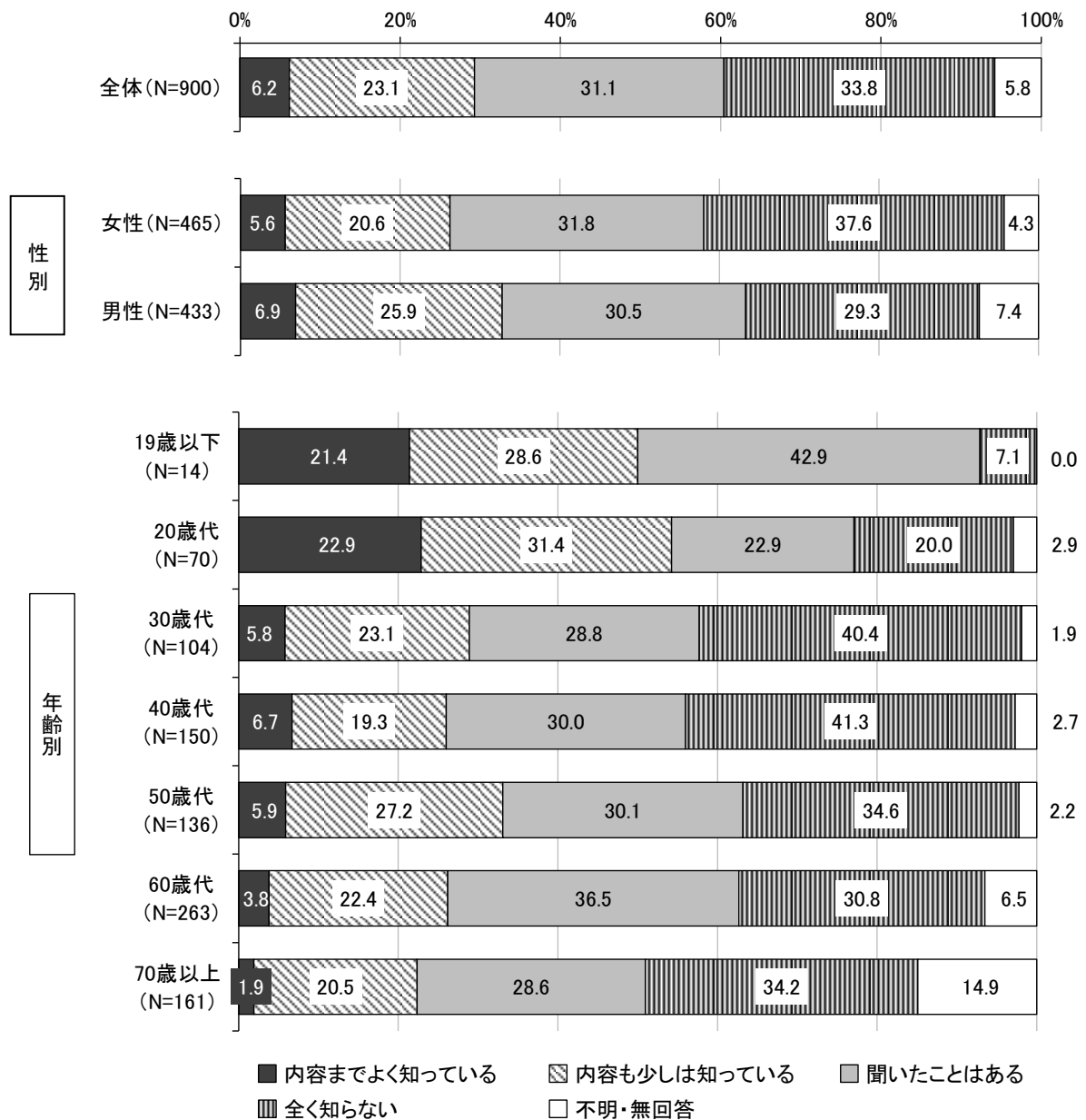


⑨ 男女共同参画社会

全体で見ると、「全く知らない」が33.8%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が31.1%となっています。

性別で見ると、女性は「全く知らない」が37.6%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が31.8%となっています。男性は「聞いたことはある」が30.5%と最も高く、次いで「全く知らない」が29.3%となっています。

年齢別で見ると、30歳未満では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が他の年代と比べて高くなっています。

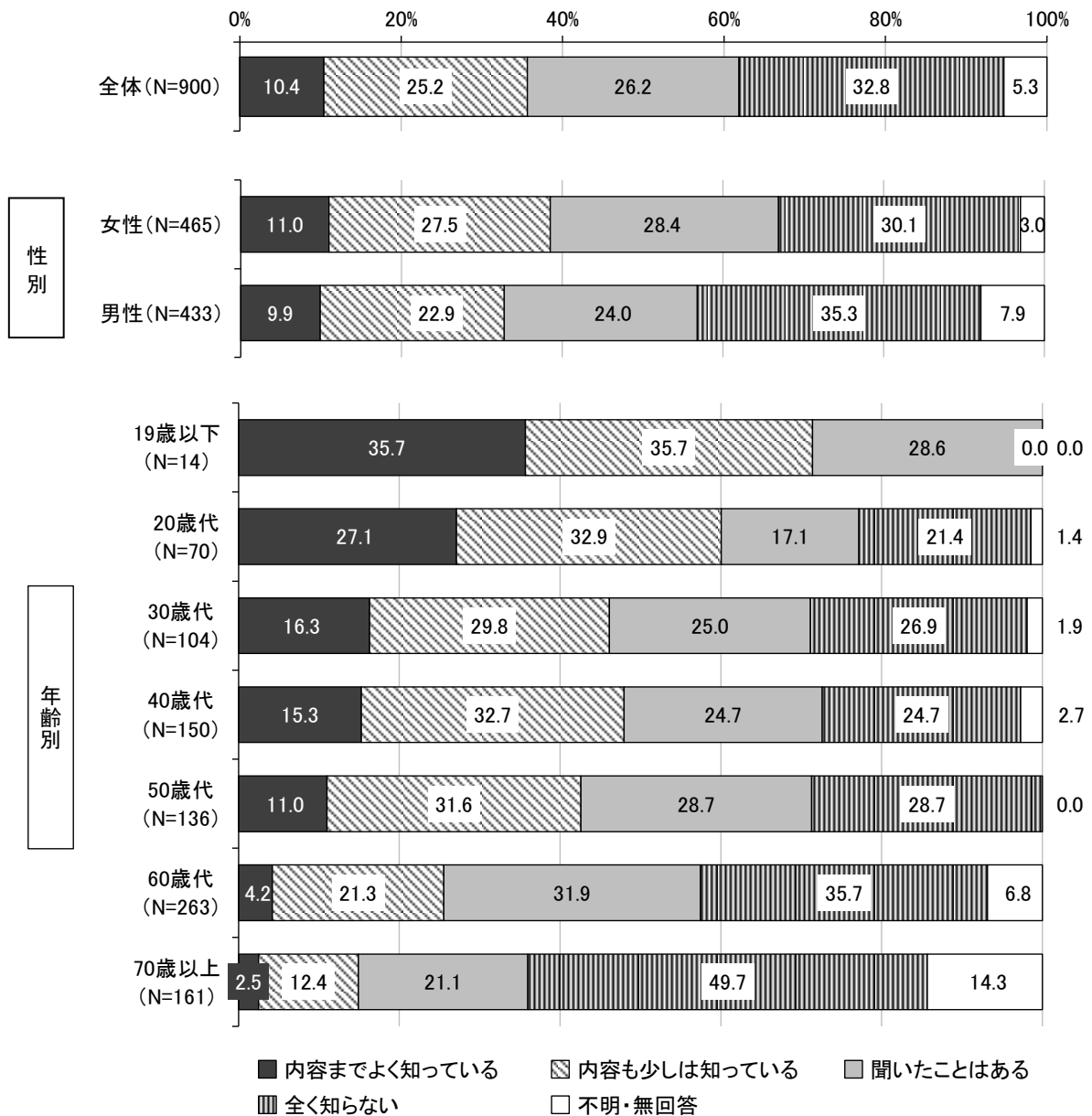


⑩ ジェンダー

全体で見ると、「全く知らない」が32.8%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が26.2%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、概ね年代が上がるほど「全く知らない」が高くなっています。

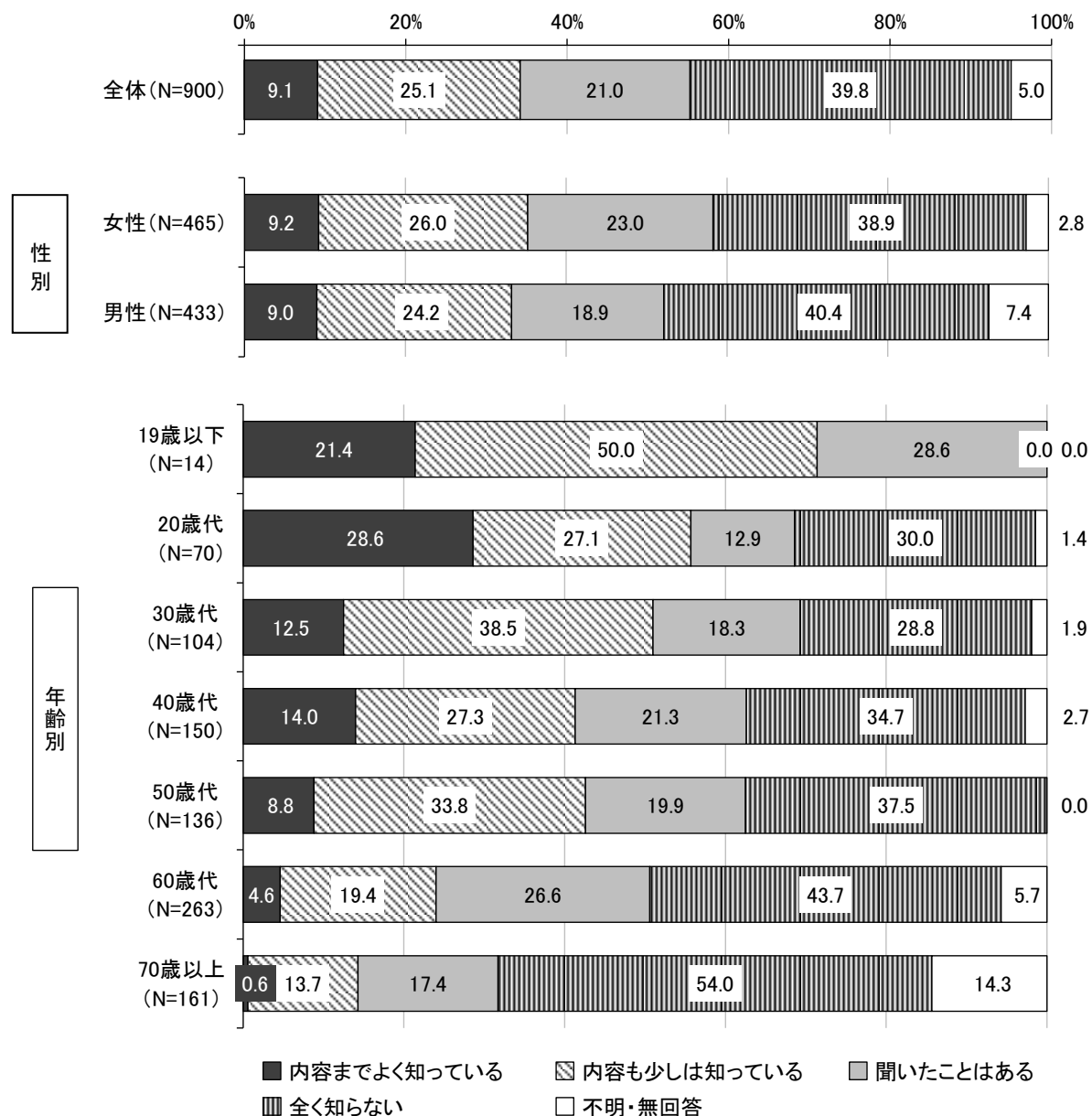


⑪ L G B T Q

全体で見ると、「全く知らない」が39.8%と最も高く、次いで「内容も少しは知っている」が25.1%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「内容も少しは知っている」が高くなっています。

年齢別で見ると、概ね年代が上がるほど「全く知らない」が高くなっています。

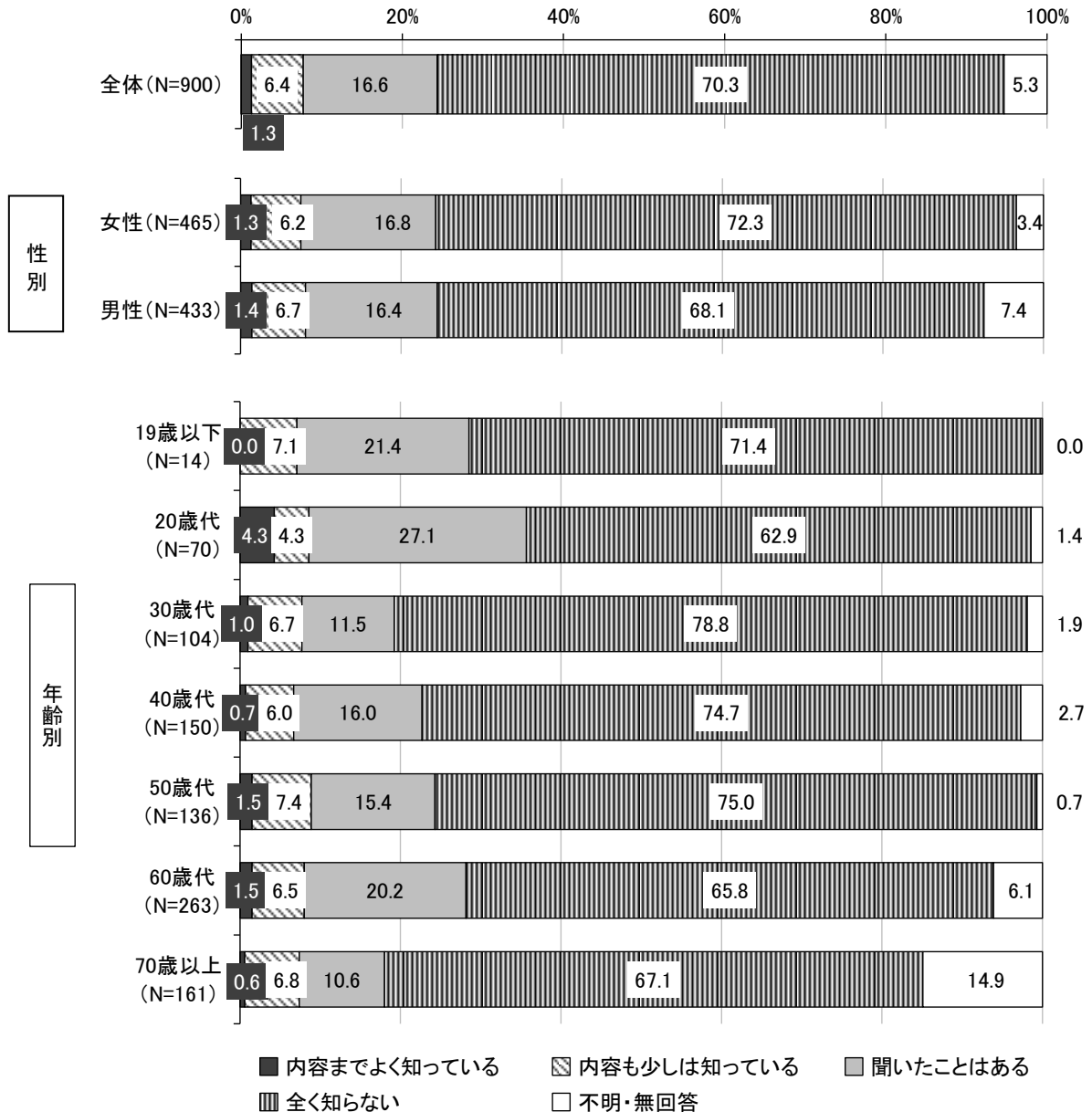


⑫ SOGIE

全体で見ると、「全く知らない」が70.3%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が16.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、各年代ともに『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）は1割未満となっています。

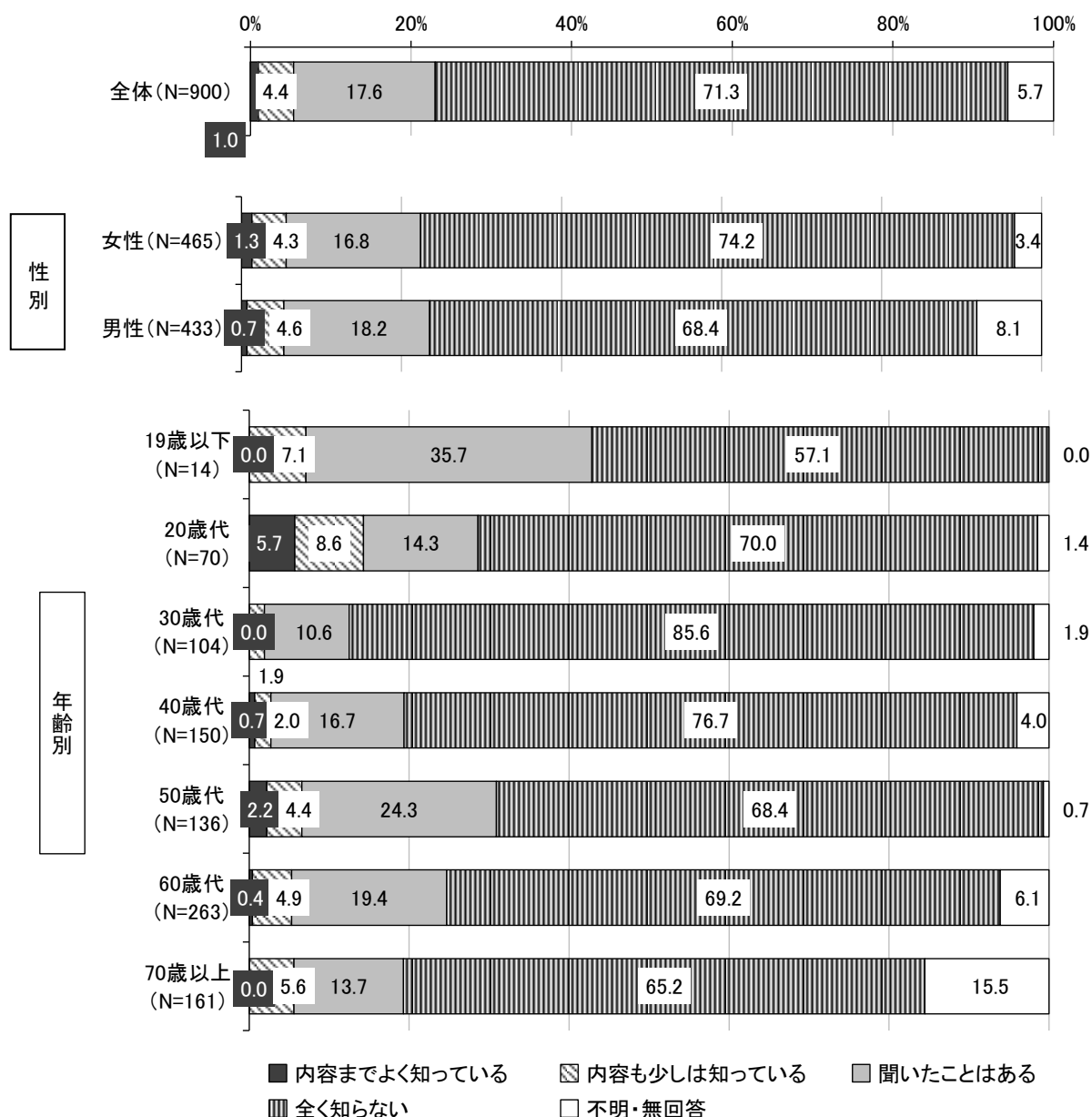


⑬ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

全体で見ると、「全く知らない」が71.3%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が17.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が1割を超えています。

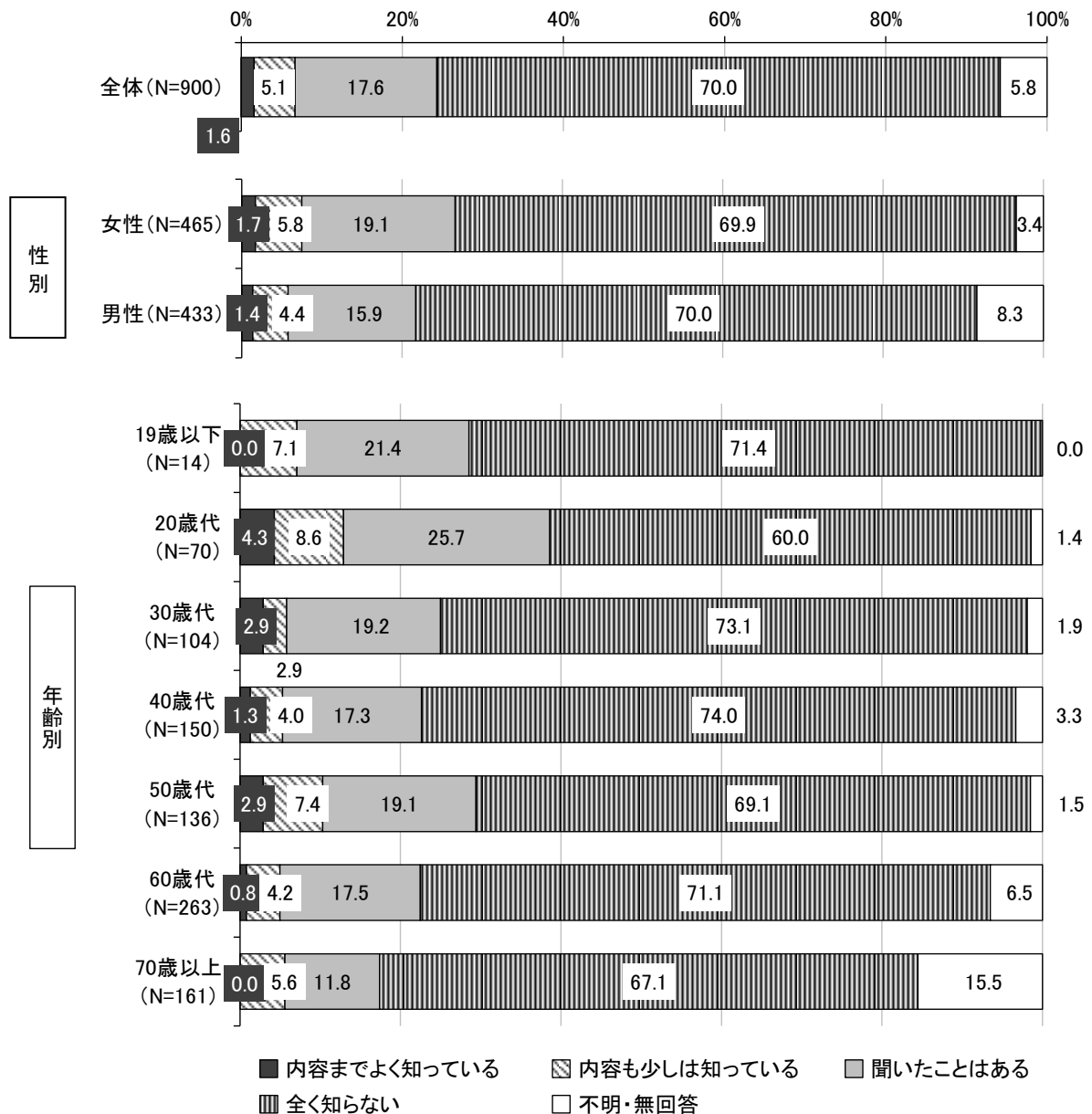


⑭ 女性のエンパワーメント

全体で見ると、「全く知らない」が70.0%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が17.6%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、20・50歳代では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が1割を超えています。

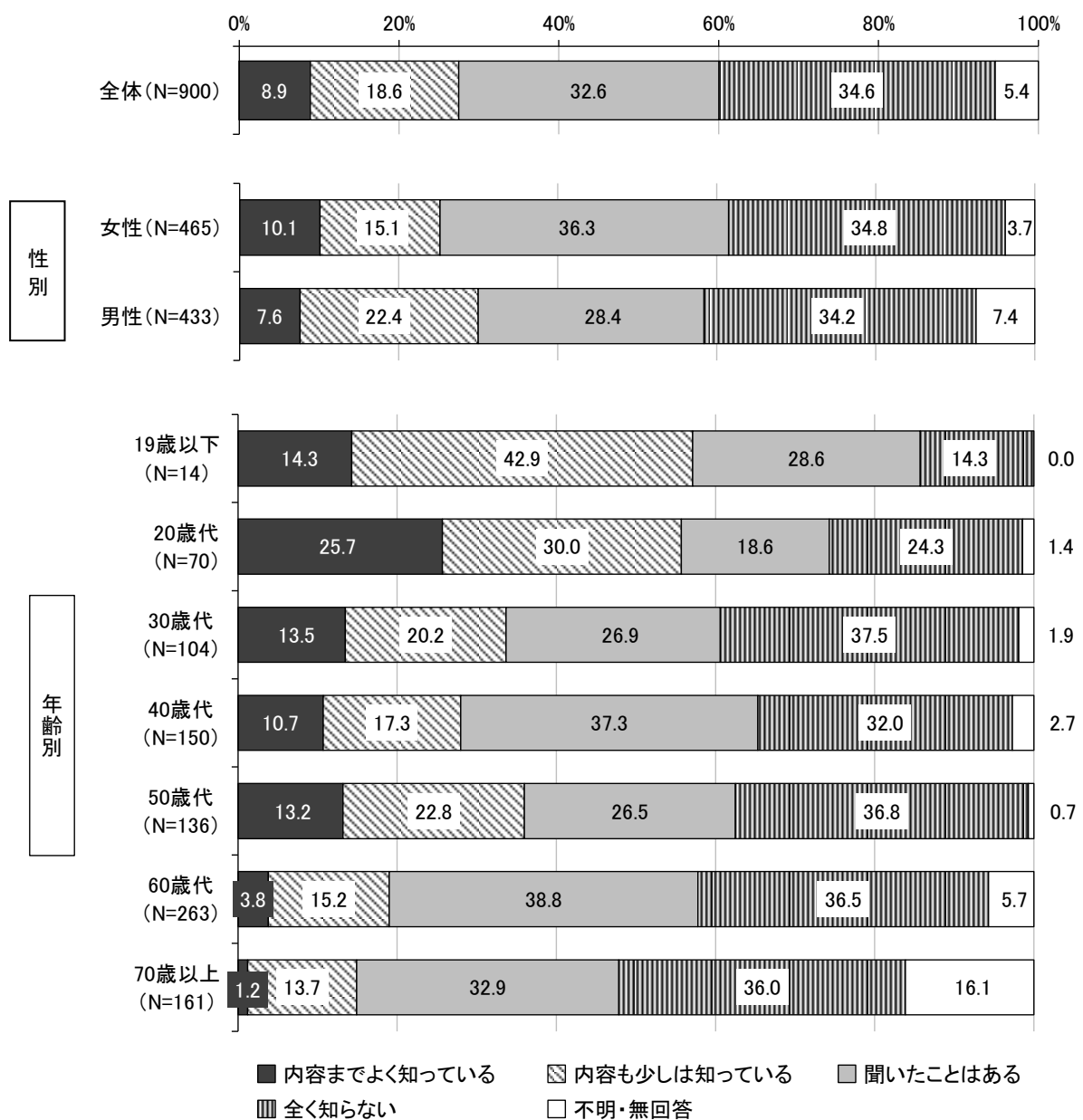


⑮ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

全体で見ると、「全く知らない」が34.6%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が32.6%となっています。

性別で見ると、女性は「聞いたことはある」が36.3%と最も高く、次いで「全く知らない」が34.8%となっています。男性は「全く知らない」が34.2%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が28.4%となっています。

年齢別で見ると、30歳未満では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が5割を超えています。

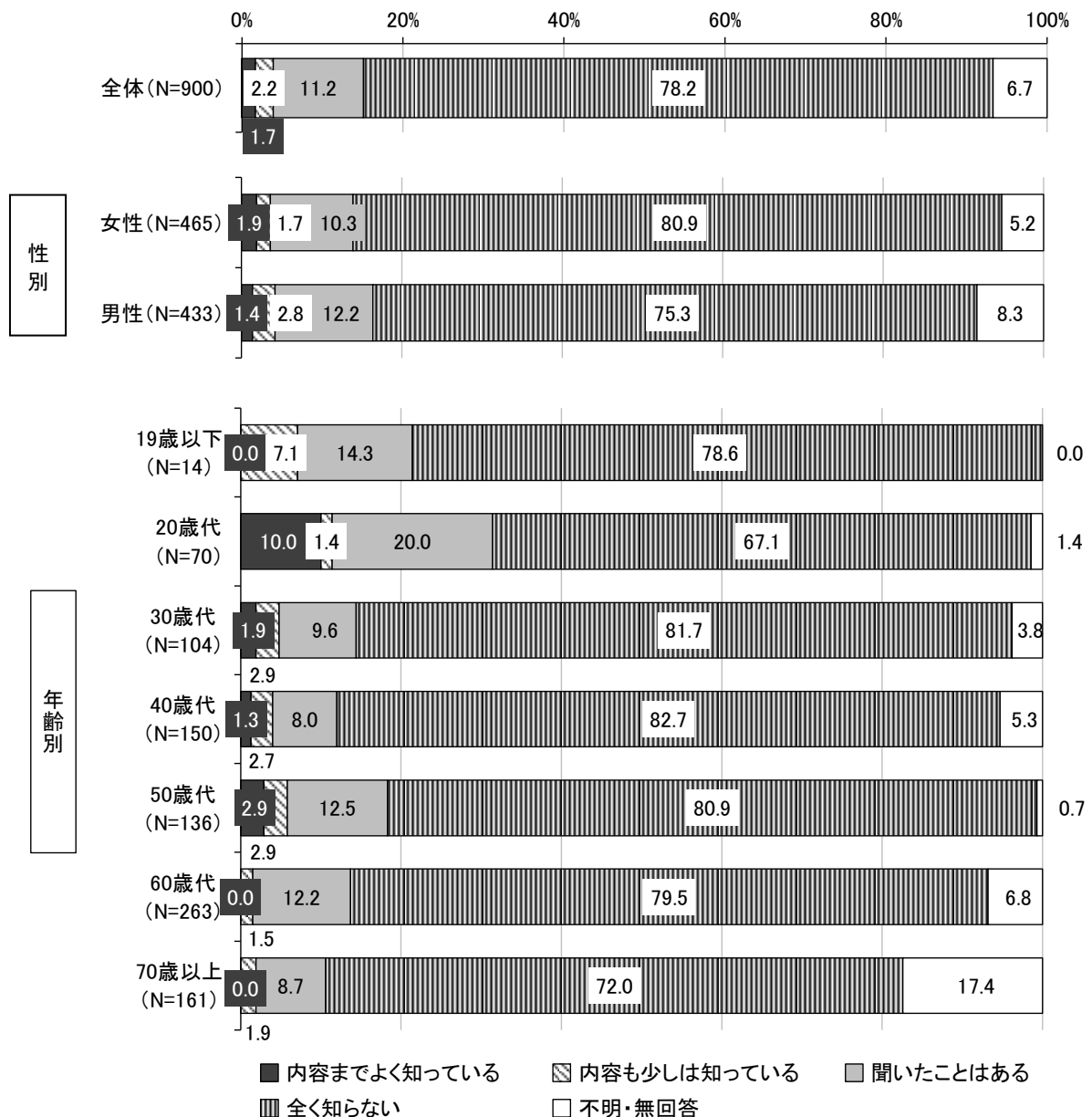


⑩ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

全体で見ると、「全く知らない」が78.2%と最も高く、次いで「聞いたことはある」が11.2%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高く、次いで「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が1割を超えています。

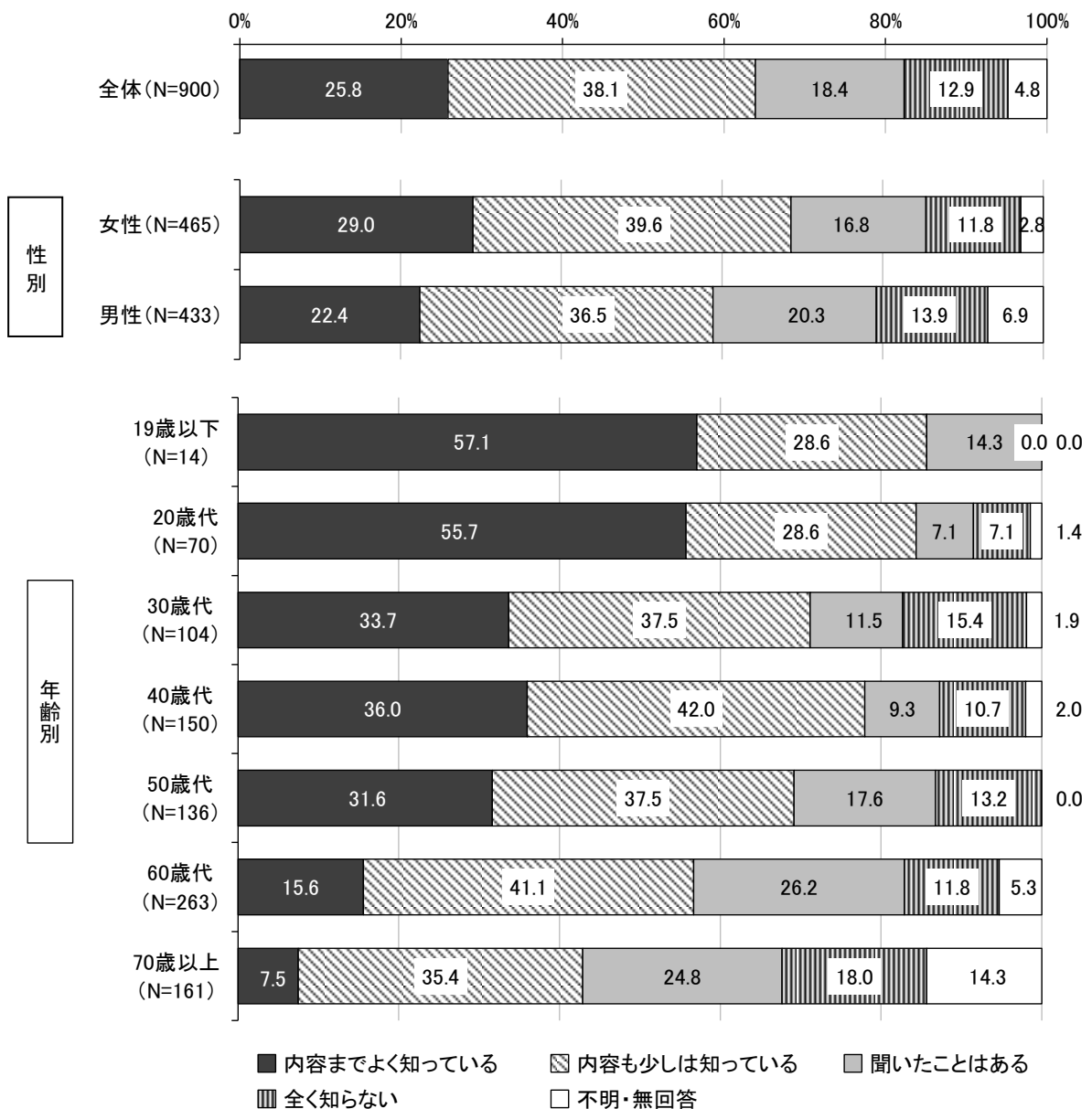


⑰ ドメスティック・バイオレンス（DV）

全体で見ると、「内容も少しは知っている」が38.1%と最も高く、次いで「内容までよく知っている」が25.8%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「内容も少しは知っている」が最も高く、次いで「内容までよく知っている」が高くなっています。

年齢別で見ると、概ね年代が上がるほど『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が低くなっています。

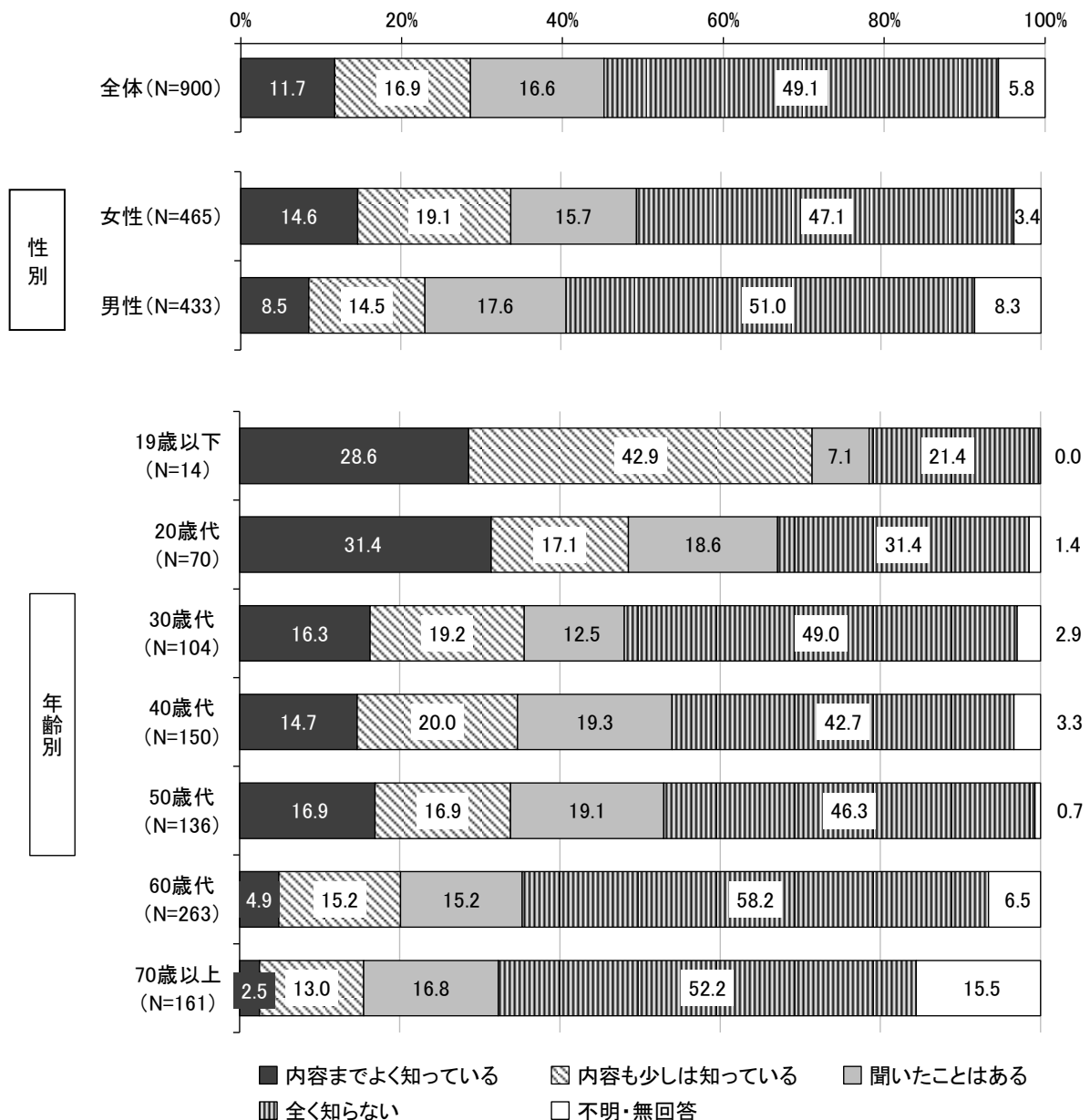


⑱ デートDV

全体で見ると、「全く知らない」が49.1%と最も高く、次いで「内容も少しは知っている」が16.9%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「全く知らない」が最も高くなっています。次いで女性では「内容も少しは知っている」、男性では「聞いたことはある」が高くなっています。

年齢別で見ると、年代が上がるほど『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が低くなっています。

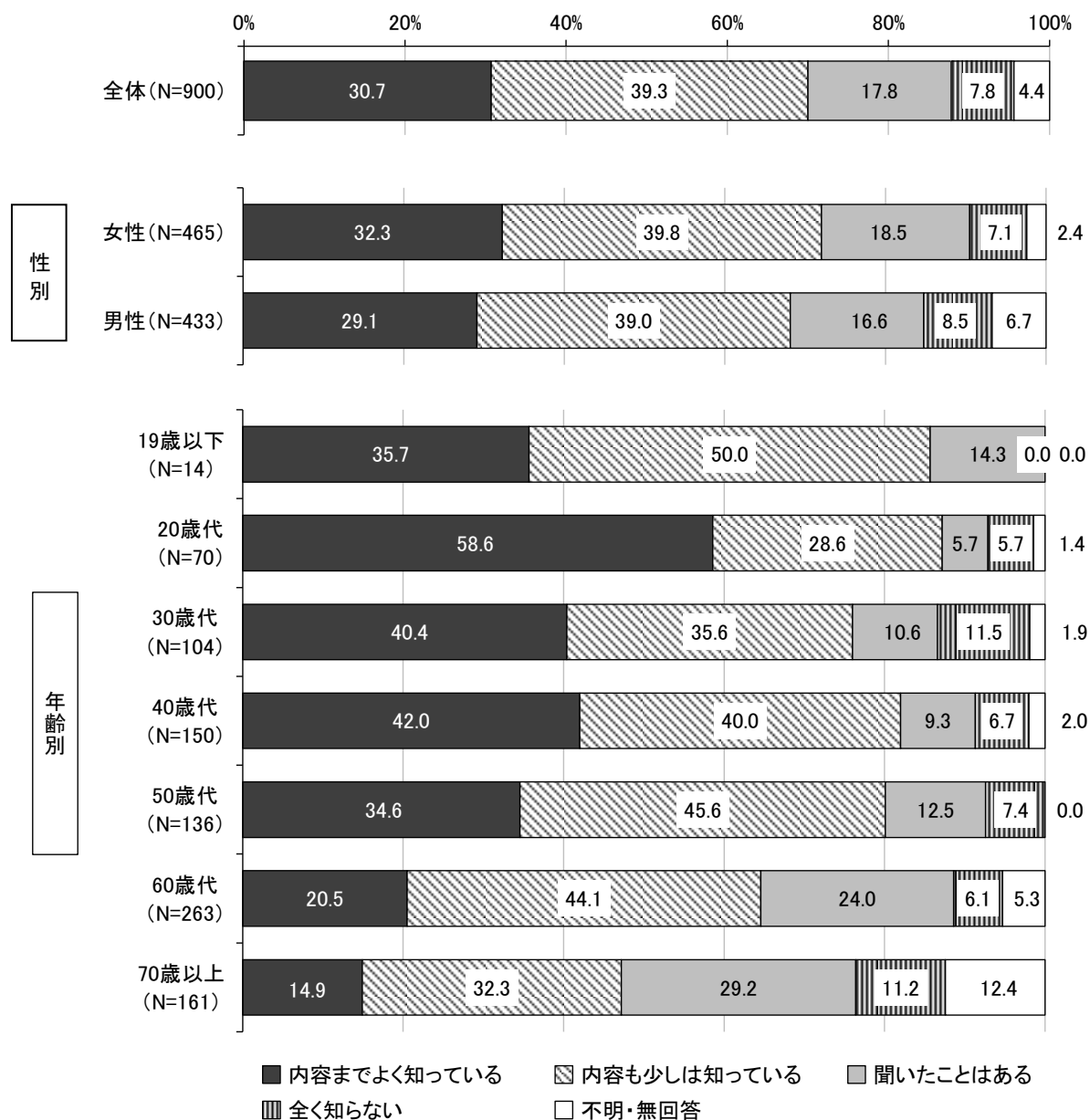


⑱ セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

全体で見ると、「内容も少しは知っている」が39.3%と最も高く、次いで「内容までよく知っている」が30.7%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「内容も少しは知っている」が最も高く、次いで「内容までよく知っている」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳未満・40歳代・50歳代で『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が8割を超えています。

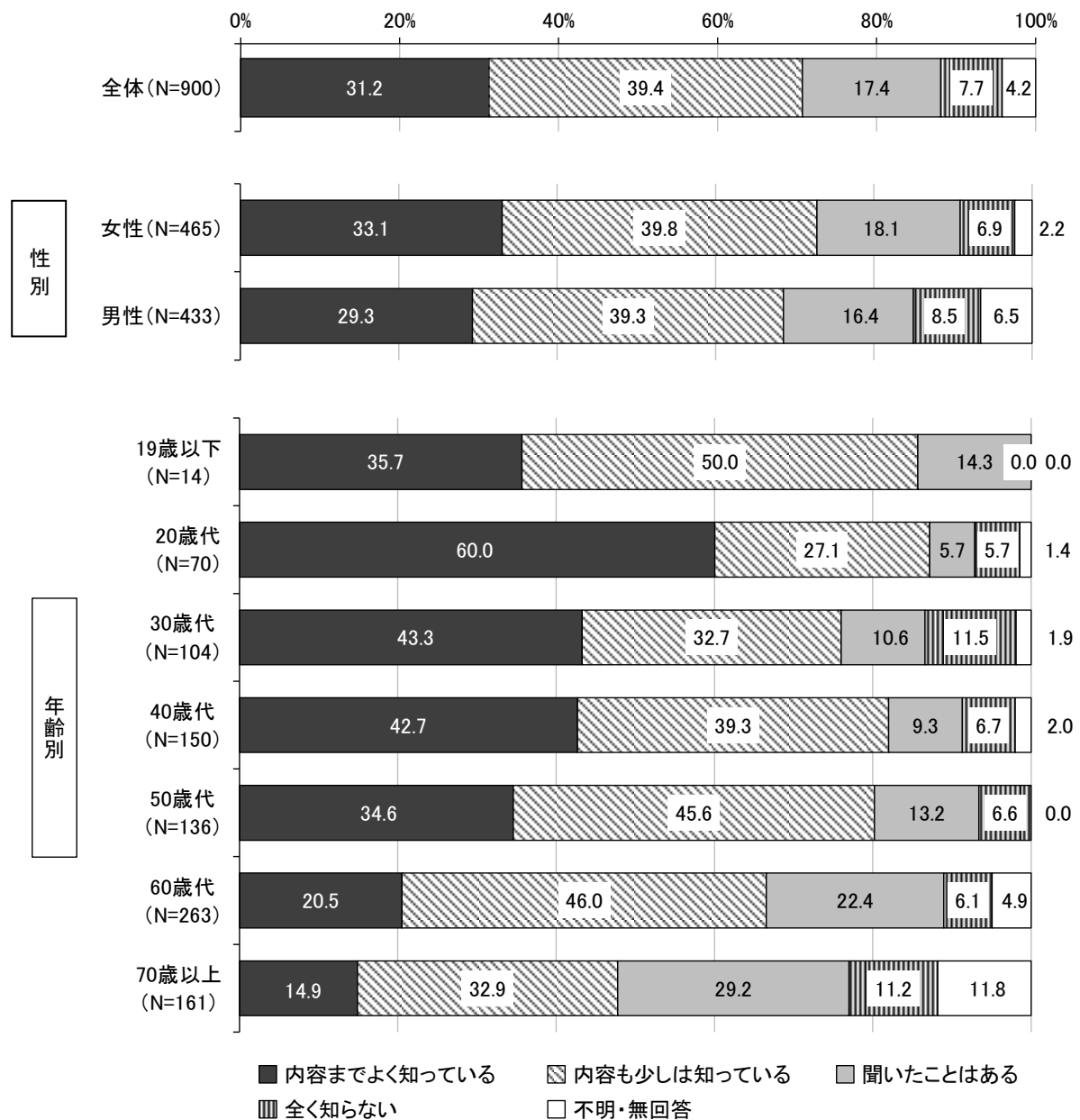


⑳ パワー・ハラスメント（パワハラ）

全体で見ると、「内容も少しは知っている」が39.4%と最も高く、次いで「内容までよく知っている」が31.2%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「内容も少しは知っている」が最も高く、次いで「内容までよく知っている」が高くなっています。

年齢別で見ると、30歳未満・40歳代・50歳代で『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が8割を超えています。

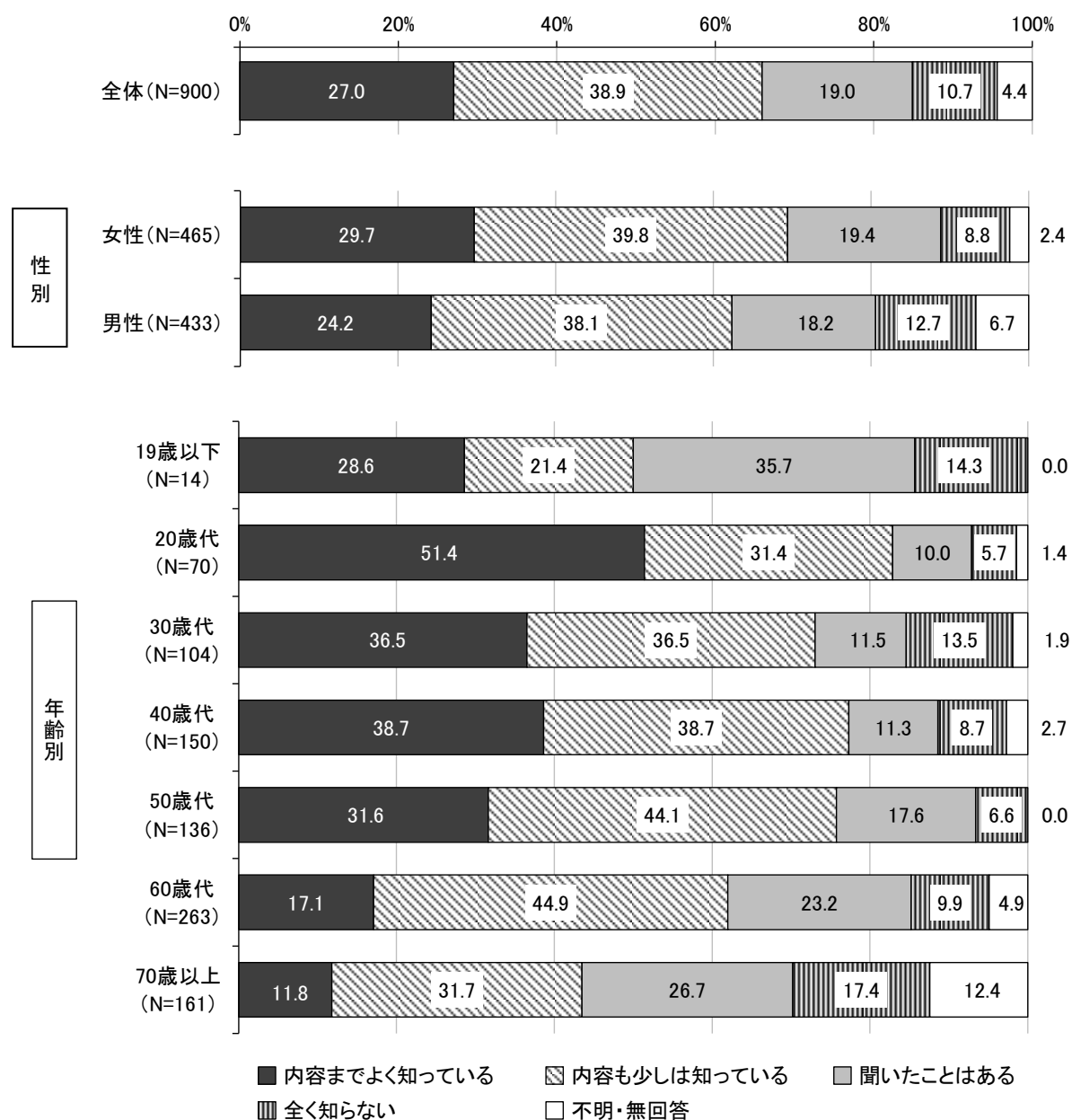


②1 マタニティ・ハラスメント（マタハラ）

全体で見ると、「内容も少しは知っている」が38.9%と最も高く、次いで「内容までよく知っている」が27.0%となっています。

性別で見ると、女性・男性ともに「内容も少しは知っている」が最も高く、次いで「内容までよく知っている」が高くなっています。

年齢別で見ると、20歳代から50歳代では『知っている』（「内容までよく知っている」「内容も少しは知っている」を合わせたもの）が7割を超えています。

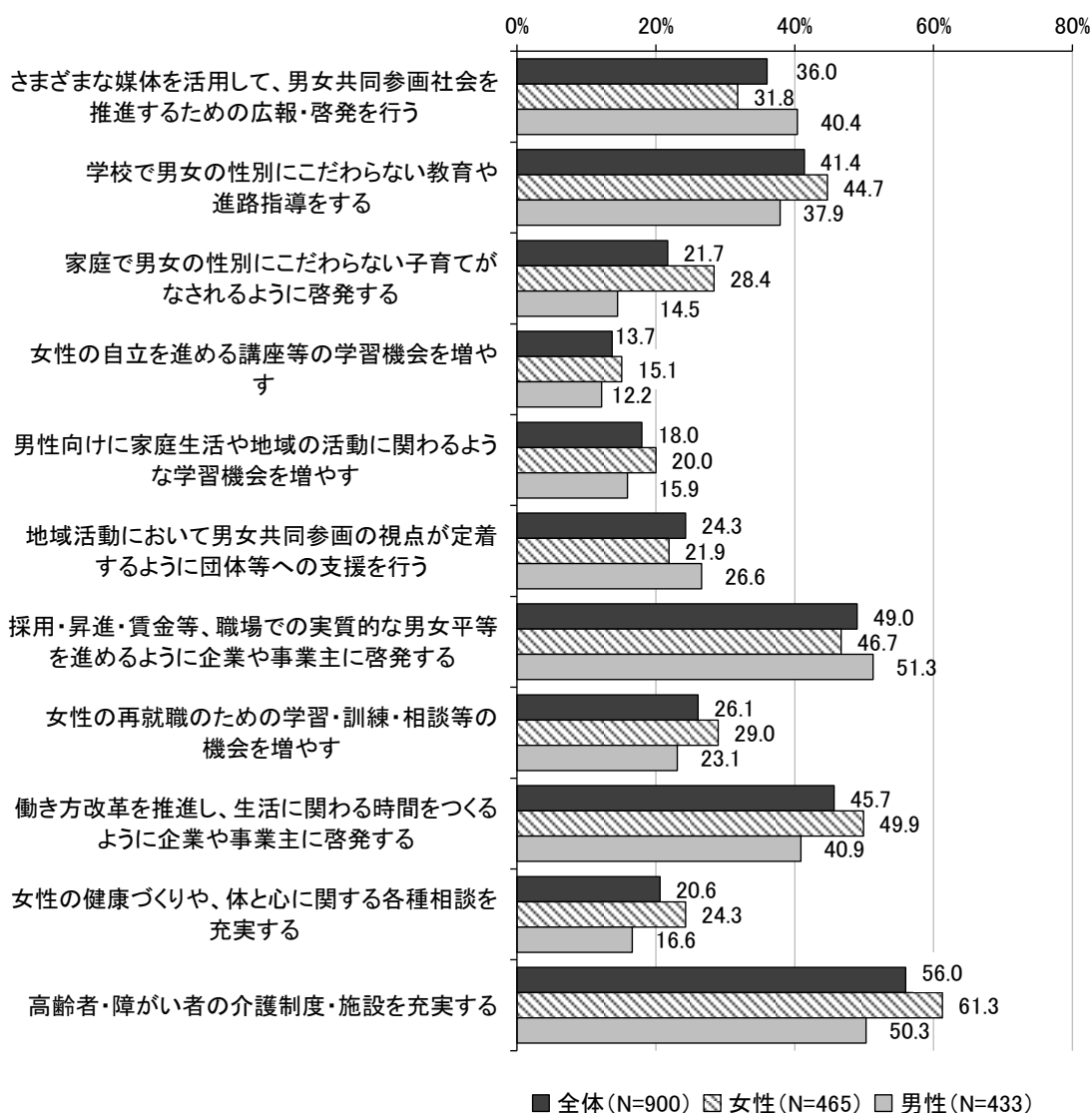


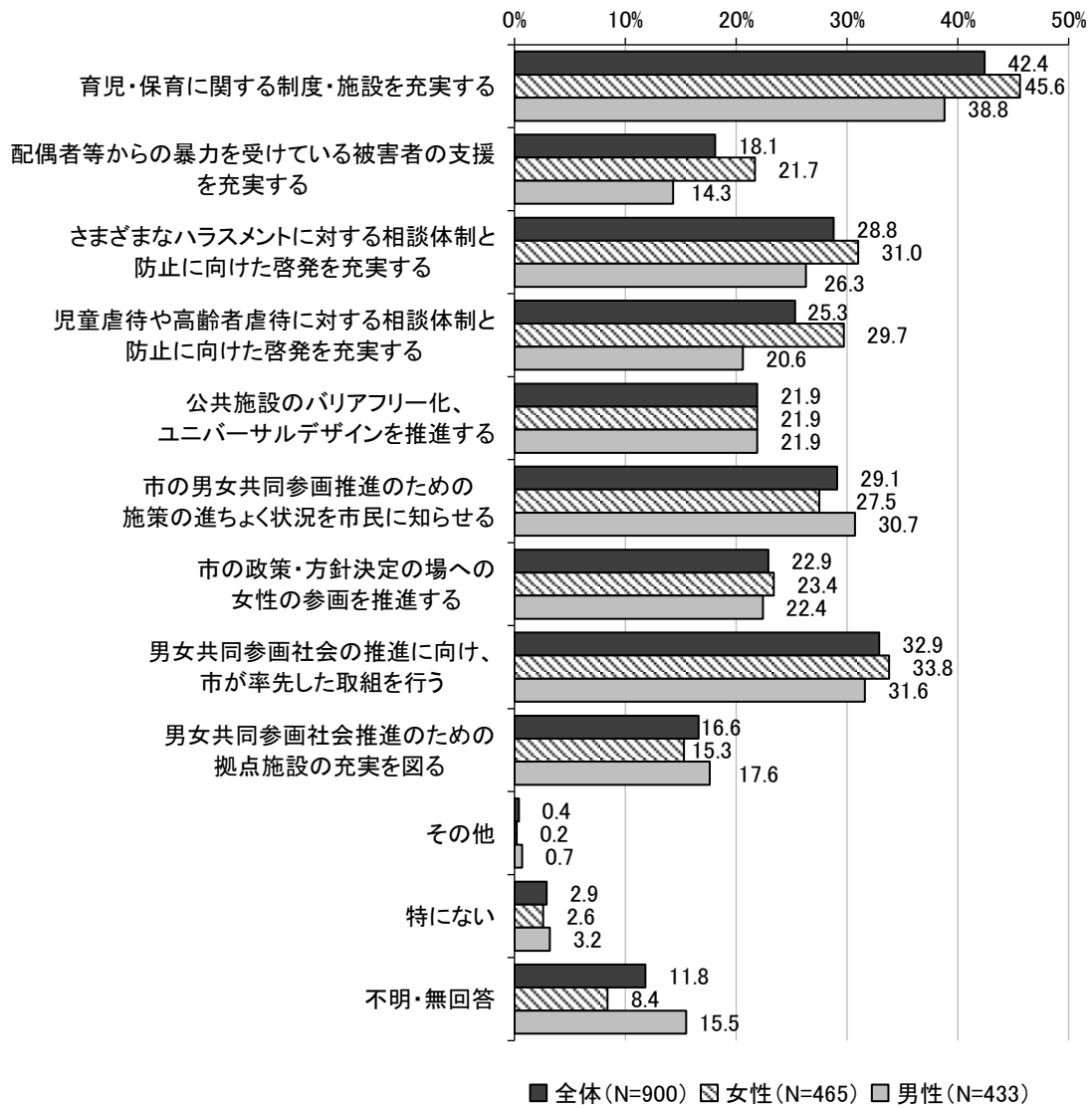
問 48 男女共同参画社会の実現に向けて今後、市が特に力を入れるべきだと思うものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

全体でみると、「高齢者・障がい者の介護制度・施設を充実する」が56.0%と最も高く、次いで「採用・昇進・賃金等、職場での実質的な男女平等を進めるように企業や事業主に啓発する」が49.0%となっています。

性別でみると、女性では「高齢者・障がい者の介護制度・施設を充実する」が61.3%と最も高く、次いで「働き方改革を推進し、生活に関わる時間をつくるように企業や事業主に啓発する」が49.9%となっています。男性では「採用・昇進・賃金等、職場での実質的な男女平等を進めるように企業や事業主に啓発する」が51.3%と最も高く、次いで「高齢者・障がい者の介護制度・施設を充実する」が50.3%となっています。

年齢別でみると、30歳未満では「採用・昇進・賃金等、職場での実質的な男女平等を進めるように企業や事業主に啓発する」、30歳代では「育児・保育に関する制度・施設を充実する」、40歳以上では「高齢者・障がい者の介護制度・施設を充実する」が最も高くなっています。





上段:件数 下段:%	合計	さまざまな媒体を活用し、男女共同参画社会を推進するための広報・啓発を行う	学校で男女の性別にこだわらない教育や進路指導をする	家庭で男女の性別にこだわらない子育てがなされるように啓発する	女性の自立を進める講座等の学習機会を増やす	男性向けに家庭生活や地域の活動に関わるような学習機会を増やす	地域活動において男女共同参画の視点が定着するように団体等への支援を行う	採用・昇進・賃金等、職場での実質的な男女平等を進めるように企業や事業主に啓発する	女性の再就職のための学習・訓練・相談等の機会を増やす
全体	900 100.0	324 36.0	373 41.4	195 21.7	123 13.7	162 18.0	219 24.3	441 49.0	235 26.1
19歳以下	14 100.0	2 14.3	9 64.3	4 28.6	0 0.0	3 21.4	0 0.0	10 71.4	4 28.6
20歳代	70 100.0	23 32.9	30 42.9	18 25.7	10 14.3	17 24.3	9 12.9	40 57.1	25 35.7
30歳代	104 100.0	22 21.2	52 50.0	30 28.8	21 20.2	18 17.3	20 19.2	53 51.0	36 34.6
40歳代	150 100.0	50 33.3	65 43.3	28 18.7	23 15.3	35 23.3	34 22.7	75 50.0	32 21.3
50歳代	136 100.0	51 37.5	56 41.2	26 19.1	17 12.5	23 16.9	30 22.1	72 52.9	41 30.1
60歳代	263 100.0	118 44.9	100 38.0	57 21.7	38 14.4	46 17.5	78 29.7	130 49.4	63 24.0
70歳以上	161 100.0	57 35.4	60 37.3	32 19.9	14 8.7	20 12.4	46 28.6	59 36.6	34 21.1

上段:件数 下段:%	合計	働き方改革を推進し、生活に関わる時間をつくるように企業や事業主に啓発する	女性の健康づくりや、体と心に関する各種相談を充実する	高齢者・障がい者の介護制度・施設を充実する	育児・保育に関する制度・施設を充実する	配偶者等からの暴力を受けている被害者の支援を充実する	さまざまなハラスメントに対する相談体制と防止に向けた啓発を充実する	児童虐待や高齢者虐待に対する相談体制と防止に向けた啓発を充実する	公共施設のバリアフリー化、ユニバーサルデザインを推進する
全体	900 100.0	411 45.7	185 20.6	504 56.0	382 42.4	163 18.1	259 28.8	228 25.3	197 21.9
19歳以下	14 100.0	7 50.0	2 14.3	7 50.0	8 57.1	5 35.7	4 28.6	5 35.7	2 14.3
20歳代	70 100.0	30 42.9	17 24.3	30 42.9	37 52.9	19 27.1	22 31.4	16 22.9	21 30.0
30歳代	104 100.0	54 51.9	30 28.8	43 41.3	56 53.8	25 24.0	32 30.8	27 26.0	25 24.0
40歳代	150 100.0	71 47.3	28 18.7	84 56.0	71 47.3	27 18.0	44 29.3	30 20.0	33 22.0
50歳代	136 100.0	60 44.1	32 23.5	82 60.3	52 38.2	25 18.4	41 30.1	32 23.5	35 25.7
60歳代	263 100.0	128 48.7	59 22.4	168 63.9	114 43.3	47 17.9	80 30.4	80 30.4	60 22.8
70歳以上	161 100.0	59 36.6	17 10.6	89 55.3	42 26.1	15 9.3	35 21.7	37 23.0	21 13.0

上段:件数 下段:%	合計	市の男女共同参画推進のための施策の進捗状況を市民に知らせる	市の政策・方針決定の場への女性の参画を推進する	男女共同参画社会の推進に向け、市が率先した取組を行う	男女共同参画社会推進のための拠点施設の充実を図る	その他	特になし	不明・無回答
全体	900 100.0	262 29.1	206 22.9	296 32.9	149 16.6	4 0.4	26 2.9	106 11.8
19歳以下	14 100.0	5 35.7	3 21.4	3 21.4	5 35.7	0 0.0	0 0.0	1 7.1
20歳代	70 100.0	16 22.9	16 22.9	21 30.0	10 14.3	0 0.0	2 2.9	8 11.4
30歳代	104 100.0	27 26.0	23 22.1	27 26.0	14 13.5	1 1.0	5 4.8	9 8.7
40歳代	150 100.0	40 26.7	30 20.0	47 31.3	24 16.0	1 0.7	4 2.7	17 11.3
50歳代	136 100.0	41 30.1	35 25.7	46 33.8	21 15.4	1 0.7	4 2.9	13 9.6
60歳代	263 100.0	87 33.1	72 27.4	92 35.0	53 20.2	0 0.0	7 2.7	24 9.1
70歳以上	161 100.0	45 28.0	27 16.8	58 36.0	20 12.4	1 0.6	4 2.5	34 21.1